Governor's Monthly Letter

7月

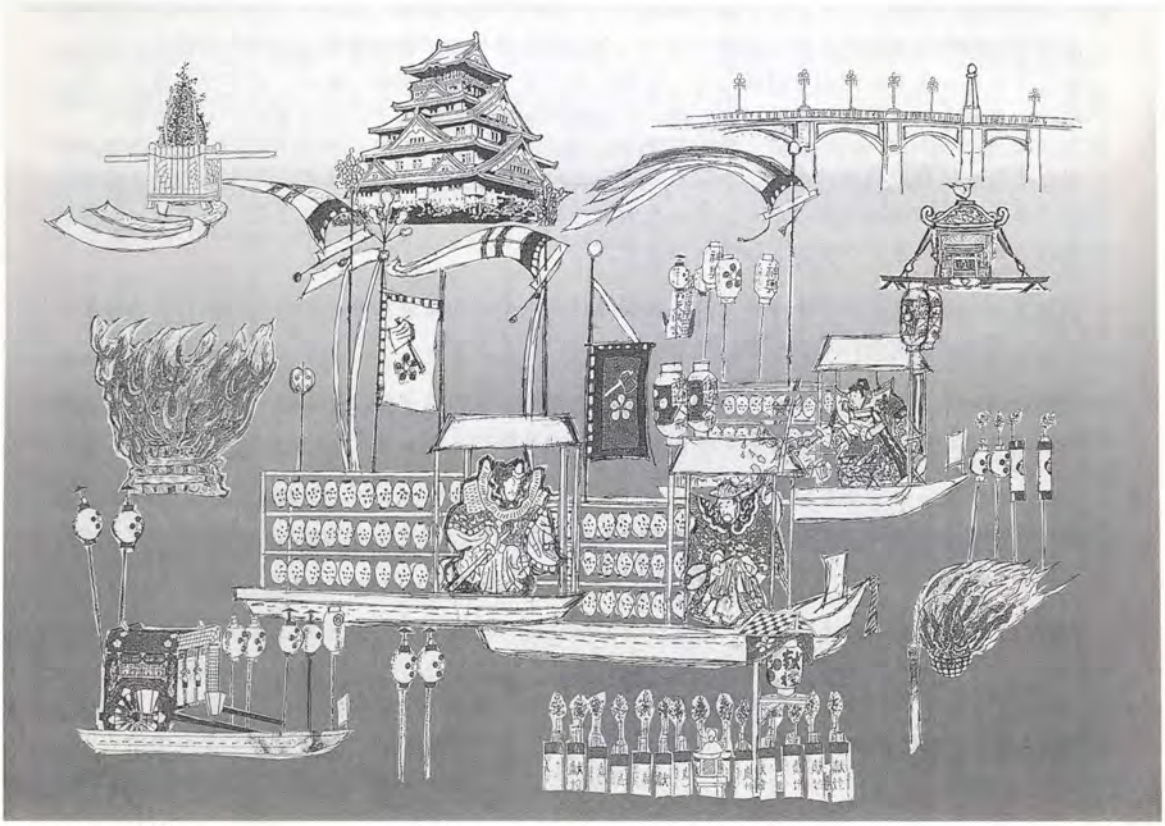
Jul.1 1992
NO.1
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和



天神祭 (木村光佑)

ガバナー就任の

ご 挨 拶

ガバナー 山中文和

ロータリーの奉仕活動は、ロータリアン個人の身近で地味な奉仕活動が最も大切であることは言うまでもありません。ロータリークラブの中で利害の伴わない純粋な友情に培われて、自らの品性を高め人格を磨き、また、クラブの団体奉仕活動の経験を通じて、ロータリーの奉仕の理想と活動の実践の方法を学び取ります。

言うまでもなく国際ロータリーを構成する基本単位は各ロータリークラブであり、そのクラブの運営や活動を統率する文字通りの代表者は会長であります。その会長と一心同体となってクラブの運営活動を補佐するのがクラブ幹事です。今年度のクラブの運営活動をどのような素晴らしいものにするか、一にかかってあなたがたの双肩にあります。

ＲＩ会長をはじめ、世界各クラブの会長、幹事その他役員の任期はほとんどが一年であります。この毎年の更新がロータリーをいつまでも若々しい活力をもたせている理由であり、世界中に25,841ＲＣ、1,139,579名のロータリアンを擁する大組織の原動力となっているのであります。

クラブの伝統を尊重するのは当然ですが、ただ前年通りの活動の継承にのみ終わることなく、とかくマンネリ化する傾向を打破して、世界が変わりつつある現状に鑑み、クラブもまた、新しい時代の息吹をとりいれ、大きく窓を開いて活動の活性化を図っていただきたいと存じます。

ロータリーは自分自身の幸せにもなる素晴らしい奉仕の場でもあります。今年度のＲＩのテーマは「まことの幸福は人助けから」という大変地味ではありますが、これこそロータリーの奉仕の原点とも言うべきすがすがしいテーマです。

クリフォード・Ｌ・ダクターマンＲＩ会長は、「ささやかな身近な無欲の行為が私たち自身の心の中に、どれほど暖かい幸福の喜びをもたらしていることでしょう。」と言っております。

子供が初めてよちよち歩きをする時、大人が無意識のうちに子供に手をさしのべた時のほのぼのとした喜びと安堵感、これこそが今年のテーマの真髄だと思います。

なお、ダクターマン会長は「私はロータリーの新しい奉仕プログラムは提出いたしません。それよりも昨年度に実践できなかったプログラムを前進させ、バランスのとれた奉仕プログラムを強く推進させたいと思います。」と言っております。

先輩の歩んでこられたあなたがたのクラブの伝統は、敬意をもって尊重しながらも、今一度あなたのクラブの運営活動について詳しい再検討をしていただき、それをもとに新しい時代に適応するバランスのとれたクラブの運営活動ができるよう、継承すべきは継承し、改革すべきは勇気をもって改革して、今年度の素晴らしい活動計画をたてて実施していただきますよう切望いたします。

菅生浩三直前ガバナーへ

感謝の言葉

ガバナー 山中文和

菅生さん

ガバナーの任期を無事に終了せられ、ほっとしておられることでしょう。本当にご苦労さまでございました。

前年度のＲＩのテーマ「Look Beyond Yourself」を指針とされつつ真のロータリーの活性化を求められ、一年間、献身的にご奉仕とご指導を賜りました。激動の地球的な社会環境に対応して、地域対策室を設け、その活動として、環境・身体障害者・高齢者問題に関する講演会とフォーラムを２回に亘り実施されましたが、このようにロータリーの奉仕活動の今の、また明日の、あるべき姿を謙虚に再検討され、地区内全ロータリアンに広域的な規模で行われている各種の奉仕活動の実態について、正確な認識を共有することによってロータリーの一層の活性化を図られました。

なお広く社会全体からロータリーの姿勢を正しく理解していただくべく、数々の地区活動を収録したビデオを制作され、また地区大会でのシンポジウム「21世紀の教育と研究を考える……ロータリー活動と大学問題」は、時宜を得たものとして、テレビ・新聞等マスコミで大きくとりあげられるなど、すばらしい広報面の新規軸を打ち出されました。

あなたは４大奉仕部門を単に縦割りのみでなく、ボーダレスにその活動方針を見いだされ、自己の責任と信念に基づいて力強く実行されました。

私はとてもおよびませんが、この一年ご指導いただきました事を充分わきまえながら精一杯努力いたします。どうか今後なお一層ご健康に留意され、当地区の発展のために、引き続きご指導賜ります事をお願い申し上げ感謝の言葉といたします。

Cliff Dochterman

クリフ・ダクターマン
1992—93年度国際ロータリー会長

先ず最初に、あなたをロータリーに引き付けたものは何でしたか？　単に親睦を楽しむことでしたか？ それともあなたが地域社会で何か意義ある仕事に参加することでしたか？ そもそも、それがあなたの人生に新しい意味をもたらす契機になると考えられたでしょうか？　あなたのロータリー・クラブの会員：誇りをもって交際できる人々について一寸考えてみましょう。こうしたロータリーの会員達が本当のロータリアンになってゆく様子を見届けましたか？ ロータリアンを、一味違った男や女に仕立ててゆくものは何でしょうか？ ロータリアンは自分の人生にある種の幸福感と深い満足感を見いだしているようにみえますが、それはなぜでしょう？

個人的な喜びや、満足感と幸福を求めることは万人共通の目標です。だが**真のロータリアン**とは、他人に奉仕し、人助けをすることによって得られる大きな満足感と尽きせぬ果報を発見した男達女達です。

心の奥でそう思いながらあまり口に出しては言いませんが、ロータリアンはよく知っています——大義の要請に動かされてやむにやまれず、その目的達成のため、人生の大半を捧げた人こそ、世界で最も幸福な人の一人であると。**まことの幸福は人助けから**ということをロータリアンは発見します。

ロータリーの理想の真髄は、何ら個人的見返りを求めることなく進んで他人に援助の手を差しのべることです。驚くべきことですが、我々にとって最高の幸福感は、他人のために役立つように、また自分がこの世の務めを終わった後まで永続するような目的のために、惜しみなく自分の時間と労力と財力を捧げる時に得られます。

助けを求める人にほんの一寸親切にしてあげるだけで、いくたびあなたの人生が高められたことでしょう。人々に奉仕するために肩を組んで力を合わせる時、どれ程濃密な友情がはぐくまれたことでしょう。助けを求める真剣な声に応えてあげれば、何ともたとえようのない心の充実感に目の覚める思いがするではありませんか。幸福——それは恐らく人間すべての真底からの熱望——それが、他人を助ける、という行為によっていともたやすく手に入る、という途方もない秘訣と普遍的真理をロータリアンは分かち合うのです。

まことの幸福は
人助けから

Real Happiness
is
Helping Others

(1992－'93年度 国際ロータリーのテーマ)

●ロータリアンは事業および専門職務によって人の役に立ち、そこから真の幸福を見いだしています。私達の職業技能は、私達がロータリーに与えることのできる最も重要な財産の一つです。本年度、あなたは自分の職業にロータリーの奉仕の理想を傾注しますか？

●ロータリアンは窮乏や不健康な状態、あるいは人間の尊厳を損なうような事態に苦しむ地域の人々に援助の手を差しのべることによって、真の幸福が得られます。意義ある奉仕のできる最適の場所が、時にはあなた自身の近隣村落にあるかもしれません。本年度、あなたのクラブはあなたの地域の人々の生活改善プロジェクトを手がけますか？

●ロータリアンは、貧困、飢餓、疾病、絶望に苦悩する遠い国の人々を助けることによって真の幸福を見いだしています。この人達と私達が顔を合わすことはないでしょう。しかし私達はこの人達の生活に触れる機会をもっているのです。本年度、あなたのクラブや地区は、世界のどこかで、苦しみを和らげ、生活水準を高め、平和と親善を推進するプログラムを支援しますか？

●ロータリアンは、人の役に立つと同時に、友情を築き深めることによって真の幸福を見いだしています。実際のところ、ロータリーの変わらぬ魅力の秘密は、私達の周囲の世界を本当に変えることのできる任務に向かって、あらゆる国の男女が力を合わせようとする熱望にあるのです。本年度、あなた自身がロータリーの奉仕に参加することで、あなたのクラブに、また広く世界にロータリーの友情の輪が広がるでしょう？

報いられることの一番大きい仕事というものは、多くの場合、品格ある男女が、自分達でよいと信ずる目的のため、精力と財源を分かち合って行動する、地味で控え目な企画の中にあるものです。この人達は、自分達の行動が、「援助をする人」「援助を受ける人」双方のためになる、という点に真の幸福を見いだしているのです。あらゆる会員がロータリーから受けるものは、このような機会です――なぜならロータリアンは、**まことの幸福は人助けから**と知っているからです。

◆I.G.F. 日程

組	年 月 日	ホストクラブ	参 加 ク ラ ブ	ゼネラルリーダー	臨席PG
8	1992年 9月19日(土)	大阪天王寺	大阪阿倍野、大阪阪南、大阪阪和、大阪平野、大阪城南、大阪住之江、大阪住吉、大阪東南、大阪天王寺	菅 生	世 戸 戸 田
4	1992年 10月3日(土)	八 尾 東	東大阪、東大阪東、東大阪中、東大阪西 大阪柏原、大阪東、八尾、八尾東、八尾中央	廣 瀬	伊 瀬 中 西
7	1992年 10月17日(土)	大阪南西	大阪南、大阪難波、大阪なにわ、大阪南西、大阪西南、大阪船場、大阪心斎橋、大阪うつぼ、大阪本町	中 西	古 田 武 尾
1	1993年 1月23日(土)	池 田	池田、池田くれは、箕面、箕面中央、大阪北、豊中、豊中南、豊中－大阪国際空港、豊中千里、大阪ちゃやまち	古 田	中 村 武 尾
5	1993年 2月6日(土)	大阪堂島	大阪中央、大阪堂島、大阪港、大阪西、大阪大淀、大阪西北、大阪天満橋、大阪梅田、大阪梅田東、大阪北梅田	戸 田	廣 瀬 菅 生
6	1993年 2月20日(土)	大 阪 城	大阪、大阪東淀、大阪城東、大阪城、大阪北淀、大阪大手前、大阪城北、大阪鶴見、大阪淀川	武 尾	松 本 廣 瀬
3	1993年 3月6日(土)	四 条 畷	大東、枚方、枚方くずは、門真、交野、守口、寝屋川、四条畷	坂 東	伊 藤 種 田
2	1993年 3月13日(土)	高 槻 西	茨木、茨木東、千里、摂津、吹田、吹田西、吹田江坂、高槻、高槻東、高槻西	松 本	坂 東 菅 生

◆1992～'93年度 公式訪問日程

…7 月…

14日 (火) 大阪本町
15日 (水) 大阪北淀
16日 (木) ☆高槻西
17日 (金) 寝屋川
20日 (月) 大阪堂島
21日 (火) ☆八尾中央
22日 (水) 枚方くずは
23日 (木) 豊中南
24日 (金) 八尾東
27日 (月) 大阪東淀
28日 (火) 千里
29日 (水) 大阪阿倍野
31日 (金) 大阪城南

…8 月…

4日 (火) 大阪阪南
5日 (水) ☆四条畷
7日 (金) 大阪天王寺
10日 (月) 大阪南西
11日 (火) 吹田江坂
17日 (月) ☆吹田西
19日 (水) 東大阪
21日 (金) 豊中-大阪国際空港
24日 (月) ☆東大阪西
25日 (火) 大阪東南
27日 (木) 大阪港
28日 (金) 高槻東
31日 (月) 大阪住之江

…9 月…

1日 (火) 豊中
2日 (水) 大阪城
3日 (木) 門真
8日 (火) 大阪西北
9日 (水) 池田
10日 (木) 大阪難波
11日 (金) 箕面中央
16日 (水) 豊中千里
17日 (木) 吹田
18日 (金) 大阪大手前
21日 (月) 東大阪中
22日 (火) 大阪柏原
24日 (木) 大阪大淀
25日 (金) 交野
30日 (水) 高槻

…10 月…

1日 (木) 茨木東
2日 (金) 大阪城東
5日 (月) 大阪西
6日 (火) 枚方
7日 (水) 大阪西南
8日 (木) 大阪天満橋
9日 (金) ☆大阪うつぼ
12日 (月) 大阪船場
13日 (火) 大阪鶴見
15日 (木) 大阪中央
16日 (金) 大阪
19日 (月) 大阪北梅田
22日 (木) ☆大阪なにわ
23日 (金) 摂津
26日 (月) 大阪ちゃやまち
28日 (水) 大阪北
29日 (木) ☆箕面
30日 (金) 大阪心斎橋

…11 月…

4日 (水) 茨木
10日 (火) 大阪梅田
11日 (水) 守口
13日 (金) 大阪淀川
16日 (月) ☆池田くれは
17日 (火) 大東
19日 (木) ☆大阪阪和
24日 (火) 大阪南
25日 (水) 大阪城北
26日 (木) 東大阪東
27日 (金) 大阪梅田東

…12 月…

3日 (木) 大阪平野
9日 (水) 八尾
10日 (木) 大阪東
11日 (金) 大阪住吉

☆印：夜間例会

1992～'93年度　国際ロータリー第2660地区 組織図表

○：委員長

国際ロータリー

会長	理事	事務総長
クリフォード・L・ダクターマン	松本卓臣	スペンサー・ロビンソン・ジュニア

地区諮問委員会

パスト・ガバナー

原田秀雄(大阪北)
伊藤恭一(大阪)
伊瀬芳吉(池田)
種田憲次(大阪住吉)
戸田孝(八尾)
世戸一夫(大阪難波)
中村俊一(東大阪)
中西正二(大阪西)
坂東宏(吹田)
松本良諄(大阪東)
古田敬三(大阪)
武尾敬之助(大阪西北)
廣瀬勘一郎(大阪西南)
菅生浩三(大阪北)

意義ある業績賞委員会

○菅生浩三(大阪北)
武尾敬之助(大阪西北)
廣瀬勘一郎(大阪西南)

地区ガバナー指名委員会

○菅生浩三(大阪北)
原田秀雄(大阪北)
伊藤恭一(大阪)
伊瀬芳吉(池田)
種田憲次(大阪住吉)
戸田孝(八尾)
世戸一夫(大阪難波)
中村俊一(東大阪)
中西正二(大阪西)
坂東宏(吹田)
松本良諄(大阪東)
古田敬三(大阪)
武尾敬之助(大阪西北)
廣瀬勘一郎(大阪西南)

第二六六〇地区 ガバナー

山中文和(大阪南)

ガバナーノミニー

大森慈祥(茨木)

地区リーダー会議

議長　津江孝夫(大阪南)
副議長　中田康仁(大阪南)
〃　村主恵快(茨木)

地区幹事

○津江孝夫(大阪南)
中田康仁(大阪南)
村岡秀雄(大阪東)
菅生清左衛門(大阪南)
久我三郎(大阪南)
安川隆三(大阪南)
白山隆(大阪南)
山野茂(大阪南)
越井健(大阪南)
木村吉弥太(大阪南)
酒井宏(大阪南)
新田精一(大阪南)
伊藤隆彦(大阪南)
島岡司(大阪南)
清野耕作(茨木)

地区財務委員会

○池田一郎(大阪南)
西田文明(大阪北)
中村憲次(茨木)
会計　國分紀一(大阪南)

地区大会

委員長　酒井芳申(大阪南)
幹事　新田精一(大阪南)
プログラム委員長　久我三郎(大阪南)

地区協議会 ホスト

茨木ロータリークラブ

ロータリーの友 地区委員

伊藤隆彦(大阪南)

拡大部門

中西正二(大阪西)

拡大委員会
拡大カウンセラー
○池田幹雄(大阪南)
杉本一三(八尾)
高林辰行(大阪西北)
委員
小西豊和(守口)
森藤憲一(大阪城)
石津潤司(大阪大手前)

米山奨学部門

武尾敬之助(大阪西北)

米山奨学委員会
○増本猛(茨木東)
渡辺斌(東大阪中)
菅晃生(大阪うつぼ)
崎山耕作(大阪住吉)
平岡龍人(大阪)
板垣周男(豊中－大阪国際空港)
三好三郎丸(大阪天満橋)
渋谷敏郎(大阪北)
アドバイザー
永野啓之介(豊中－大阪国際空港)

ロータリー財団部門

古田敬三(大阪)

ロータリー財団委員会
○古田敬三(大阪)
塩川二朗(千里)
細江重(大阪東淀)
田中穣二(大阪西南)
大井勝利(東大阪西)

財団増進委員会
○田中穣二(大阪西南)
執行経世(枚方)
柳澤忠麿(大阪住之江)
橋本孝司(大阪大手前)
谷口勉(大阪難波)
矢部文治(大阪)
畑田豊(大阪城南)
山口幸雄(八尾)

財団学友委員会
○大井勝利(東大阪西)
西村一夫(池田)
杉森芳雄(東大阪東)
野村正勝(箕面中央)
真鍋昭三(大阪北)

財団国際親善奨学金委員会
○塩川二朗(千里)
名張隆政(吹田)
大川進一郎(大東)
大野真義(高槻)
西原明(大阪心斎橋)
泉亮(四条畷)
小野典郎(大阪阿倍野)

研究グループ交換委員会
○細江重(大阪東淀)
木村英一(大阪住吉)
村上實(池田)
増田鼎(八尾)
東平介(寝屋川)
大内昭男(大阪鶴見)
横田喜久雄(大阪東淀)
橿村泰信(摂津)
大森慈祥(茨木)

国際奉仕部門

坂東宏(吹田)

世界社会奉仕委員会
○堀内顕(八尾東)
藤井宏一(大阪西北)
西原漸(高槻東)
吉川謹司(東大阪東)
横山守雄(大阪中央)
堀訓也(大阪心斎橋)
坂本旭(大阪東淀)
大森慈祥(茨木)

青少年交換委員会
○八木頼夫(大阪)
入江和夫(高槻)
中一皓(枚方くずは)
三宅一嘉(大阪東南)
泉潔(豊中－大阪国際空港)
林輝久(大阪東)
村上白士(大阪城北)
毛利哲三(大阪西南)
近藤眞道(高槻西)
木川稔(摂津)

国際交流・平和委員会
○松本一夫(大阪中央)
野村浩司(大阪港)
三好秀弘(八尾中央)
小山雄三(大阪東)
玉井三貴男(大阪東淀)
笹井敏之(大阪阪和)

青少年奉仕部門

戸田孝(八尾)

青少年活動委員会
○西正中(大阪城北)
北田他実夫(高槻東)
露口佳彦(大阪西南)
桂知良(大阪城東)
対馬祥全(茨木東)
片山通夫(枚方くずは)
新堂庄二(大阪西)

ローターアクト委員会
○北村英一(吹田)
目幸等僊(大阪天満橋)
北方龍一(大阪西)
小西眞明(寝屋川)
山内尚隆(大阪北)
伊藤七郎(大阪東)
大槻太郎(大阪淀川)

インターアクト委員会
○中島孝夫(八尾)
和田健(大阪阪南)
岡部州雅(大阪城南)
小西欣一(大阪南)
松下文武(大阪阿倍野)
吉本晴之(大阪)

社会奉仕部門

廣瀬勘一郎(大阪西南)

社会奉仕委員会
○新津敬直(大阪西)
福田守(大阪阪和)
吉山公(大阪中央)
亀井龍彦(大阪阿倍野)
木下久則(交野)
岡本克持郎(大阪城南)
村岡大輔(大阪西)
大橋融(大阪北淀)

環境保全委員会
○岡部次郎(箕面)
遠藤渉(大阪)
藤江正謹(大阪阪和)
南克昌(大阪南西)
室木啓一(池田くれは)
浜谷利一(東大阪)
北野武治(門真)
近藤雅臣(千里)

職業奉仕部門

松本良諄(大阪東)

職業奉仕委員会
○浅沼清太郎(大阪)
北村巌(大阪梅田)
大木令司(茨木)
大谷國明(大阪東)
山田潤太郎(大阪)
布川宗治(大阪柏原)

ボランティア活動委員会
○杉本久仁一(八尾中央)
小山隆三(大阪阪南)
四碇行雄(大阪阪南)
寺井種伯(大阪天満橋)
北浦信行(高槻東)

クラブ奉仕部門

菅生浩三(大阪北)

会員増強委員会
○山本三雄(大阪大淀)
和田俊一(大阪平野)
八田昌三(豊中南)
中西敏明(吹田西)
山崎啓一(大阪平野)

広報・雑誌委員会
○足達忠利(吹田)
福西幸夫(大阪心斎橋)
木戸栄久(大阪)
小松陽一郎(大阪阪和)
竹田正司(大阪心斎橋)
ビデオ・スライド銀行
中村覚(大阪北)
木村孝(大阪北)
清野耕作(茨木)
新田久治(大阪中央)

規定・情報委員会
○土井正裕(大阪北)
赤根賢治(大阪阪和)
大原健司(大阪東)
播磨昌幸(大阪平野)
田中寿秋(大阪なにわ)
野上五夫(豊中)
卓話銀行
橋本崇志(大阪北)
伊藤徳次郎(吹田)
岩田宙造(大阪南)

1992～'93年度　国際ロータリー第2660地区　ロータリー・クラブ一覧表

	クラブ名	創立年月日	例会日	時間	例会場		電話	事務所			電話	会長	幹事
I	大東	1967.12.26	火	12：30	大東市民会館4階「鳳凰の間」	大東市曙町4-6	0720-71-0001	ポップタウン別館内	574	大東市赤井1-2-12	0720-75-1200	樋口秀和	米沢三吾
R	東大阪	1957. 6. 4	水	12：30	都ホテル大阪	大阪市天王寺区上本町6-1-55	06 -773-1111	佐古ビル6階	542	大阪市中央区上本町西5-2-22	06 -764-6391	寺村定雄	川口暢彦
	東大阪東	1965. 3. 4	木	12：30	ホテルセイリュウ	東大阪市上石切町1-11-12	0729-81-5001	ホテルセイリュウ306号室	579	東大阪市上石切町1-11-12	0729-85-0577	吉川忠章	水谷弘
	東大阪中	1972. 2.20	月	12：30	都ホテル大阪3階「志摩の間」	大阪市天王寺区上本町6-1-55	06 -773-1111		543	大阪市天王寺区上本町6-8-26	06 -772-2320	尾崎弘昌	石田栄助
	東大阪西	1985. 3.18	月	18：30	大阪国際交流センター	大阪市天王寺区上本町8-2-6	06 -772-5931	佐古ビル6階	542	大阪市中央区上本町西5-2-22	06 -764-7077	高木宏	宮本貞雄
R	枚方	1961. 2.28	火	12：30	北大阪商工会議所	枚方市大垣内町2-12-27	0720-43-5151	北大阪商工会議所内	573	枚方市大垣内町2-12-27	0720-43-5304	服部修	小野忠幸
	枚方-くずは	1974. 5.30	水	12：30	京阪レストランくずはモール店	枚方市楠葉花園町15-2	0720-55-0398	京阪くずは会館3階	573	枚方市楠葉花園町15-1	0720-55-4718	中川定雄	井口清剛
R	茨木	1959.12.23	水	12：30	いばらき京都ホテル	茨木市中穂積1丁目1-10	0726-20-2121	茨木商工会議所内	567	茨木市上中条1-9-20	0726-22-2255	高島健	中田耕平
	茨木東	1974. 2.14	木	12：30	茨木市福祉文化会館	茨木市駅前4-7-55	0726-25-5421	国里メディカルビル1階101号	567	茨木市永代町8-8	0726-27-5753	吉田操	久保和男
R	池田	1954. 4.24	水	12：30	池田商工会議所2階	池田市城南1-1-1	0727-52-3355	池田商工会議所3階	563	池田市城南1-1-1私書函61号	0727-52-3355	中住譲秀	永原雄平
R	池田-くれは	1984. 4.16	月	18：30	池田市民文化会館	池田市天神1-7-1	0727-61-3131	池田商工会議所内	563	池田市城南1-1-1	0727-53-5353	米田正和	森茂寛
	門真	1969. 4.17	木	12：30	松下電工本社内	門真市門真1048	06 -908-1131	松下電工本社	571	門真市門真1048	06 -904-4045	斎藤正己	小田仁彦
	交野	1984. 6.25	金	12：30	グリーンビレッジ交野 1階グリル交野	交野市私市9-4-5	0720-93-1358	グリーンビレッジ交野内	576	交野市私市9-4-5	0720-93-3700	楠田虎一	仲上裕
	箕面	1969. 4.17	木	18：30	箕面観光ホテル内	箕面市温泉町1-1	0727-23-2323	箕面観光ホテル内	562	箕面市温泉町1-1	0727-24-2781	中西和也	神内紘典
	箕面中央	1980. 6.13	金	12：30	千里阪急ホテル	豊中市新千里東町2-1.D-1	06 -872-2211	千里中央第1立体駐車場3階	565	豊中市新千里東町1	06 -835-2300	神藤昭隆	楠誠二
R	守口	1961. 3.20	水	12：30	守口プリンスホテル内	守口市河原町1	06 -994-1111	サンキュービル2階209号室	570	守口市寺内町2-6	06 -994-0010	常盤泰弘	吉中光雄
R	寝屋川	1969. 4.18	金	12：30	大和銀行寝屋川支店3階会議室	寝屋川市桜木町1-3	0720-26-3301	樋口第一ビル2階	572	寝屋川市八坂町15-10	0720-22-6622	荒木実	田辺和宏
IR	大阪	1922.11.17	金	12：15	ロイヤルホテル「山楽の間」	大阪市北区中之島5-3-68	06 -448-1121	ロイヤルホテル418号室	530	大阪市北区中之島5-3-68	06 -448-1121	佐々木誠二	辻卓史
I	大阪阿倍野	1979. 5. 9	水	第1・3 18：00 2・4・5 12：30	近鉄百貨店本店10階 バンケットルーム	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1	06 -625-2398	アベノセンタービル6階	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36	06 -647-8621	石黒為三	三栖昭明
	大阪ちゃやまち	1992. 1.27	月	12：30	新阪急ホテル2階「星の間」	大阪市北区芝田1-1-35	06 -372-5101	新阪急ホテル3階	530	大阪市北区芝田1-1-35	06 -371-0290	水野昭典	山下達雄
	大阪中央	1984. 1.26	木	12：30	㈱大阪ターミナルホテル内	大阪市北区梅田3-1-1	06 -344-1235	㈱大阪ターミナルホテル21階	530	大阪市北区梅田3-1-1	06 -344-1235	元吉正文	武田直和
	大阪堂島	1987. 6.15	月	12：30	大阪全日空ホテル・シェラトン ガーデンルーム5階	大阪市北区堂島浜1-3-1	06 -347-1112	大阪全日空ホテル・シェラトン 722号室	530	大阪市北区堂島浜1-3-1	06 -344-2008	戸谷晴治	中庭裕明
I	大阪阪南	1969. 6.10	火	12：30	天王寺都ホテル	大阪市天王寺区悲田院町10-48	06 -779-1501	㈱新和興産ビル302号	543	大阪市天王寺区悲田院町8-11	06 -772-5816	吉田英哲	増田亨
	大阪阪和	1986. 1.23	木	18：00	ホテルエコーオーサカ	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-4-7	06 -633-1141	竹澤ビル5階	545	大阪市阿倍野区旭町1-1-10	06 -631-3951	三木優	藤江正課
R	大阪東	1957. 6. 6	木	12：30	大阪コクサイホテル内	大阪市中央区本町橋2-33	06 -941-2661	大阪コクサイホテル1階	540	大阪市中央区本町橋2-33	06 -945-0076	青井隆	稲垣邦弘
	大阪東淀	1970. 6.26	月	12：30	東洋ホテル内	大阪市北区豊崎3-16-19	06 -372-8181	東洋ホテル	531	大阪市北区豊崎3-16-19	06 -375-0088	藤川芳男	赤堀精一
R	大阪平野	1975. 2.20	木	12：30	天王寺都ホテル新館	大阪市阿倍野区近鉄あべの橋駅東口	06 -627-4910	天王寺都ホテル5階	543	大阪市天王寺区悲田院町10-48	06 -771-1622	中都由雄	西村淳
	大阪本町	1991. 3.26	火	12：30	ホテルアルパ大阪	大阪市西区靱本町2-2-20	06 -446-6111	ホテルアルパ大阪612号室	550	大阪市西区靱本町2-2-20	06 -445-5000	井村義治	金沢忠昭
	大阪城	1988. 5.11	水	12：30	大阪国際交流センター	大阪市天王寺区上本町8-2-6	06 -772-5931	M.U.ビル2階	543	大阪市天王寺区清水谷町19-10	06 -764-0919	内海浩之	要信行
I	大阪城南	1969. 5.30	金	12：30	都ホテル大阪3階	大阪市天王寺区上本町6-1	06 -773-1111	近鉄百貨店内	543	大阪市天王寺区上本町6-1	06 -771-9009	今岡巌	朝倉良
	大阪城東	1973. 4.27	金	12：30	ホテルニューオータニ大阪	大阪市中央区城見1-4-1	06 941-1111	大阪マーチャンダイズマートビル 郵便局 私書箱13号	540	大阪市中央区大手前1-7-31	06 -943-2226	野村裕二	松野隆一
	大阪柏原	1970. 6. 1	火	12：30	柏原市農協柏原支店2階	柏原市大正1-6-28	0729-73-3655	柏原市農協柏原支店2階	582	柏原市大正1-6-28	0729-73-3655	関口啓	島野均
R	大阪北	1952.12.16	水	12：30	㈱阪急百貨店8階特別食堂	大阪市北区角田町8-7	06 361-1381	㈱阪急百貨店8階	530	大阪市北区角田町8-7	06 -361-2681	西田文明	荒井敬一郎
	大阪北梅田	1992. 1.20	月	12：30	ホテルプラザ	大阪市北区大淀南2-2-49	06 -453-1111	ホテルプラザ940号室	531	大阪市北区大淀南2-2-49	06 -454-0401	岩田淳一	辻本俊彦
	大阪北淀	1985. 5. 8	水	12：30	新大阪ワシントンホテル内	大阪市淀川区西中島5-5-15	06 -303-8111	新大阪ワシントンホテル	532	大阪市淀川区西中島5-5-15	06 -305-1010	稲田正伸	仲堅勝
IR	大阪南	1952.12.16	火	12：30	南海サウスタワーホテル大阪7階 「芙蓉の間」	大阪市中央区難波5-1-60	06 -646-1111	㈱高島屋本社秘書部	542	大阪市中央区難波5-1-5	06 -631-1262	岡田敏	奥村安正
	大阪港	1980. 4.10	木	12：30	中之島センタービル内 トップラウンジ31	大阪市北区中之島6-2-27	06-445-1977	中之島センタービル内 (私書箱69号)	530	大阪市北区中之島6-2-27	06 -445-0654	井上隆晴	石田圭一
	大阪難波	1976. 8. 5	木	12：30	南海サウスタワーホテル大阪7階 「芙蓉の間」	大阪市中央区難波5-1-60	06 -646-1111	歯科センタービル6階	542	大阪市中央区千日前2-5-2	06 -632-3956	安座信雄	飯田順雅
	大阪なにわ	1984. 2.23	木	18：00	ホテル南海3階「真珠の間」	大阪市浪速区難波中1-17-11	06 -649-1521	堤ビル403号	556	大阪市浪速区元町1-10-6	06 -648-0330	瀧川弥州男	伯井守
I	大阪南西	1974. 6.10	月	12：30	高島屋別館2階 レストラン「ローズルーム」	大阪市中央区難波千日前12-22	06 -631-1101	㈱高島屋本社秘書部	542	大阪市中央区難波5-1-5	06 -631-1262	長濱晃	四方幸一郎
R	大阪西	1957. 6. 4	月	12：30	阪神百貨店11階グリーンルーム	大阪市北区梅田1-13-13	06 -345-1201	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田1-13-13	06 -348-8436	中筋一朗	鴻池忠彦
	大阪大手前	1983. 3.18	金	12：30	大阪コクサイホテル	大阪市中央区本町橋2-33	06 -941-2661	大阪コクサイホテル内	540	大阪市中央区本町橋2-33	06 -946-7174	田中健	矢野信夫
	大阪大淀	1973. 2.22	木	12：30	ホテルプラザ	大阪市北区大淀南2-2-49	06 -453-1111	ホテルプラザ1240号室	531	大阪市北区大淀南2-2-49	06 -458-2918	平野茂夫	島伸彦
	大阪西北	1969. 5.27	火	12：30	大阪ヒルトン4階「真珠の間」	大阪市北区梅田1-8-8	06 -347-7111	大阪ヒルトン1105号室	530	大阪市北区梅田1-8-8	06 -347-7100	岡本行善	小林則夫
R	大阪西南	1969. 5.21	水	12：30	ロイヤルホテル	大阪市北区中之島5-3-68	06 -448-1121	ロイヤルホテル4階416号室	530	大阪市北区中之島5-3-68	06 -443-2819	久我次郎	平田勝久
	大阪船場	1988. 5.23	月	12：30	ホテル日航大阪32階	大阪市中央区西心斎橋1-3-3	06 -244-1111	㈱大丸炭屋町別館6階	542	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	06 -244-1008	徳永孝哉	江尻伊助
	大阪心斎橋	1970.11.10	金	12：30	ホテル日航大阪32階	大阪市中央区西心斎橋1-3-3	06 -244-1111	㈱大丸炭屋町別館3階	542	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	06 -245-4950	吉川泰一郎	黒川辰藏
	大阪城北	1977. 6.29	水	12：30	太閤園迎賓館	大阪市都島区網島町9-10	06 -356-1111	太閤園内	534	大阪市都島区網島町9-10	06 -352-0634	高士茂	西山富士太郎
	大阪住之江	1975. 3.24	月	12：30	近鉄百貨店本店10階 バンケットルーム	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	06 -624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	06 -624-1111	崎島七郎	大和司
IR	大阪住吉	1961. 2.14	金	12：30	近鉄百貨店本店10階 バンケットルーム	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	06 -624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	06 -624-1111	飯原弘章	新井文三
R	大阪天満橋	1967.11. 4	木	12：30	大阪ヒルトン4階「真珠の間」	大阪市北区梅田1-8-8	06 -347-7111	大阪ヒルトン1117号	530	大阪市北区梅田1-8-8	06 -345-1115	野口幸助	赤木頌一
	大阪天王寺	1988. 9.10	金	12：30	天王寺都ホテル4階	大阪市天王寺区悲田院町10-48	06 -779-1501	天王寺都ホテル5階	543	大阪市天王寺区悲田院町10-48	06 -775-0077	八島和久	藤立明
	大阪東南	1985.11.26	火	12：30	ホテルニューオータニ大阪	大阪市中央区城見1-4-1	06 941-1111	大実ビル2階205号室	542	大阪市中央区東平2-3-15	06 -765-4404	野崎瞭一	西谷伸介
	大阪鶴見	1984. 7.10	火	12：30	太閤園内	大阪市都島区網島町9-10	06 -356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町9-10	06 -357-8171	平林昇	須田潤市朗
	大阪梅田	1977. 6.29	火	12：30	ホテル阪神2階 クラブ・スターライト	大阪市北区梅田2-3-30	06 -344-1661	ホテル阪神2階	530	大阪市北区梅田2-3-30	06 -345-3688	北村巌	梶谷健二
	大阪梅田東	1988. 5.20	金	12：30	新阪急ホテル2階「星之間」	大阪市北区芝田1-1-35	06 -372-5101	新阪急ホテル3階	530	大阪市北区芝田1-1-35	06 -375-3522	青柳貞次	大野忠雄
	大阪うつぼ	1981. 4.17	金	18：00	ホテルアルパ大阪	大阪市西区靱本町2-2-20	06 -446-6111	ホテルアルパ大阪605号室	550	大阪市西区靱本町2-2-20	06 -445-1000	横井浩	藤井健藏
R	大阪淀川	1961. 1.14	金	12：30	阪神百貨店11階グリーンルーム	大阪市北区梅田1-13-13	06 -345-1201 内線 3314	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田1-13-13	06 -348-8437	浅野照雄	武田慶之助
	千里	1973. 6.12	火	12：30	千里阪急ホテル内	豊中市新千里東町2-1-D-1	06 -872-2211	千里阪急ホテル	565	豊中市新千里東町2-1-D-1	06 -833-7891	天野正	伊藤誠
	摂津	1970. 9.26	金	12：30	オオサカサンパレス	吹田市千里万博公園1-5	06 -878-3400	近畿コカコーラボトリング㈱6階	566	摂津市千里丘7-9-31	06 -330-2267	向井楠秋	中井清司
	四條畷	1977.11.30	水	18：00	四條畷神社会館	四條畷市南野2-18-1	0720-79-5505 (直)-2888	四條畷神社会館	575	四條畷市南野2-18-1	0720-79-5505	山口愛彦	松村正毅
R	吹田	1958.12.18	木	12：30	サニーストーンホテル	吹田市広芝町10-3	06 -385-1281	サニーストーンホテル	564	吹田市広芝町10-3	06 -388-0266	戸田博	成尾紹雄
	吹田江坂	1990. 2.27	火	12：30	江坂東急イン3階	吹田市豊津町9-6	06 -338-0109	大同生命ビル12階	564	吹田市江坂町1-23-101	06 -821-0222	芳賀洋	田中襄吉
	吹田西	1980. 6.12	月	18：00	江坂東急イン3階	吹田市豊津町9-6	06 -338-0109	江坂東急ビル1階	564	吹田市豊津町9-40	06 -338-0832	前田博	家村武志
R	高槻	1954. 6.15	水	12：30	西武タカツキS/C5階 バンケットルーム	高槻市白梅町4-1	0726-84-5494	西武タカツキS/C2階	569	高槻市白梅町4-1	0726-83-1158	園田昭治	花増朝道
	高槻東	1973. 3. 1	金	12：30	西武タカツキS/C5階 バンケットルーム	高槻市白梅町4-1	0726-84-5494	西武タカツキS/C2階	569	高槻市白梅町4-1	0726-83-1159	石川武憲	松浦寛法
	高槻西	1989. 6.15	木	18：30	西武タカツキS/C5階 バンケットルーム	高槻市白梅町4-1	0726-83-0111	グリーンプラザ1号館402号室	569	高槻市紺屋町1-1	0726-83-0015	白神正夫	山本和成
	豊中	1959. 6.16	火	12：30	ホテルアイボリー	豊中市本町3-1-16	06 -849-1111	ホテルアイボリー	560	豊中市本町3-1-16	06 -858-1551	橋本万太郎	田中勇之祐
	豊中南	1969. 6. 5	木	12：30	ホテルアイボリー	豊中市本町3-1-16	06 -849-1111	ホテルアイボリー3階	560	豊中市本町3-1-16	06 -841-6996	栗本武	山田寛二
	豊中・大阪国際空港	1972. 2.23	金	12：30	大阪国際空港ターミナルビル4階 「華の間」	豊中市蛍池西町3-555	06 -856-6671	大阪国際空港ターミナルビル内	560	豊中市蛍池西町3-555	06 -856-8855	永野啓之介	中尾正三
	豊中千里	1986. 2. 5	水	12：30	千里阪急ホテル	豊中市新千里東町2-1 D-1	06 -872-2211	緑地駅ビル2階	560	豊中市寺内2-4-1	06 -866-2800	高津秀剛	甚田倫弘
I	八尾	1961. 3.28	水	12：30	八尾商工会議所会館3階	八尾市本町2-2-8	0729-22-1181	八尾商工会議所2階	581	八尾市本町2-2-8	0729-91-2129	仲谷常次	大槻美佐夫
	八尾中央	1982.12. 7	火	18：30	八尾商工会議所3階	八尾市本町2-2-8	0729-22-1181	八尾商工会議所2階	581	八尾市本町2-2-8	0729-92-1110	三好秀弘	大林盾臣
R	八尾東	1973. 2.23	金	12：30	西武百貨店八尾店8階 バンケットルーム	八尾市光町2-60	0729-97-0111 内線 580	岩田ビル4階10号	581	八尾市山本町南4-1-3	0729-97-0626	橋本隆	井上悟

左欄外のI＝インターアクトクラブの提唱ロータリークラブ、R＝ローターアクトクラブの提唱ロータリークラブ、®＝ローターアクトクラブの共同提唱ロータリークラブを示します。

1992～93年度　国際ロータリー第2660地区

収　支　予　算　書

作成　1992年3月31日
承認　1992年5月9日

ガバナー　山中文和
財務委員長　池田一郎
会　計　國分紀一

収入の部

（単位：円）

科目	予算額	前年度予算
前期繰越金	17,000,000	15,000,000
R. I. 交付金	800,000	800,000
地区資金（15,000×5,550人）	83,250,000	79,500,000
雑収入	700,000	700,000
合計	101,750,000	96,000,000

支出の部

（単位：円）

科目			予算額	前年度予算額
委員会活動費	地区ガバナー指名委員会		200,000	200,000
	意義ある業績賞委員会		50,000	50,000
	クラブ奉仕部門	会員増強委員会	200,000	200,000
		広報雑誌委員会	500,000	3,500,000
		規定情報委員会	700,000	700,000
	職業奉仕部門	職業奉仕委員会	400,000	400,000
		ボランティア活動委員会	150,000	150,000
	社会奉仕部門	社会奉仕委員会	1,950,000	1,770,000
		環境保全委員会	250,000	250,000
	青少年奉仕部門	青少年奉仕委員会	2,600,000	2,600,000
		インターアクト委員会	3,200,000	2,800,000
		ローターアクト委員会	5,700,000	5,400,000
	国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	200,000	200,000
		青少年交換委員会	500,000	500,000
		国際平和交流委員会	250,000	250,000
	ロータリー財団部門	ロータリー財団委員	100,000	100,000
		国際親善奨学金委員	1,500,000	1,500,000
		研究グループ交換委員会	1,300,000	6,620,000
		財団増進委員会	240,000	240,000
		財団学友委員会	600,000	400,000
	米山奨学部門	米山奨学委員会	700,000	500,000
	拡大部門	拡大委員会	200,000	150,000
	委員会活動予備費		900,000	900,000
	計		22,390,000	29,380,000
会議費	地区大会補助		310,000	310,000
	地区協議会補助		310,000	310,000
	地区委員会		3,500,000	3,100,000
	ガバナー打ち合わせ会議費		2,100,000	2,100,000
	R. I. 会長記念品代		160,000	160,000
	R. I. 会長歓迎費		370,000	370,000
	直前ガバナー記念品代		260,000	260,000
	ガバナーノミニー国際会議参加補助		830,000	830,000
	予備費		800,000	800,000
	計		8,640,000	8,240,000
日本国内地区ガバナー会…（200円×5,550人）			1,110,000	1,060,000
ロータリー文庫協力費……（300円×5,550人）			1,665,000	1,060,000
地区大会分担金……（3,000円×5,550人）			16,650,000	15,900,000
ガバナー月信印刷費	製版・印刷・送料・ホルダー		9,400,000	9,400,000
	予備費		300,000	300,000
	計		9,700,000	9,700,000
ガバナー事務所経費			27,540,000	24,869,000
合計			87,695,000	90,209,000
次年度繰越金			14,055,000	5,791,000

	'92年12月末	'92年2月末
クラブ数	74	74
会員数	5,550(予)	5,437

〔備考〕社会奉仕委員会予算のうち1,000,000円は、他部門と合同で行う活動に要する費用である。

（単位：円）

ガバナー事務所経費内訳		
科目	予算額	前年度予算額
借室料・光熱費	5,160,000	4,429,000
賃金給料	12,920,000	11,400,000
ガバナー交通通信費	1,300,000	1,240,000
印刷費	1,600,000	1,650,000
交通通信費	2,400,000	2,300,000
文献費	160,000	150,000
事務用消耗品費	1,100,000	1,000,000
什器備品費	600,000	500,000
雑費	1,800,000	1,700,000
予備費	500,000	500,000
合計	27,540,000	24,869,000

◆国際ロータリー 主要年間行事

年　月	行　事　名
8　月	会員増強及び拡大月間 (Membership and Extension Month)
9　月	青少年活動月間 (Youth Activities Month)
10　月	職業奉仕月間 (Vocational Service Month)
10　月	米山月間 (Yoneyama Month)
11　月	ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)
1　月	ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)
2　月	世界理解月間 (World Understanding Month)
2月23日	ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日 (World Understanding & Peace Day)
4　月	ロータリーの雑誌月間 (Rotary's Magazine Month)

◆1992～'93年度国際ロータリー第2660地区 年間カレンダー

年　月　日	行　事　名	会　場
1992年7月11日(土)	合同地区委員会	新阪急ホテル
8月7日(金)～9日(日)	青少年ニコニコキャンプ	
9月12日(土)～14日(月)	山のライラ	
11月1日(日)	インターアクト年次大会	
1993年3月31日(水)～4月4日(日)	1993年国際協議会	
4月17日(土)	会長エレクト研修セミナー 次期地区委員長会議	弁天宗信者会館 (サラスバティホール)
4月23日(金) 4月24日(土)	1992～'93年度地区大会 〃	ロイヤルホテル フェスティバルホール
5月1日(土)	1993～'94年度のための地区協議会	ロイヤルホテル
5月2日(日)～4日(火)・祝	海のライラ	
5月15日(土)	現・次年度地区合同委員長会議	薬業年金会館（予定）
5月16日(日)	ローターアクト年次大会	
5月23日(日)～26日(水)	1993年国際大会	オーストラリア メルボルン

◆報告書送付先及び送金先

国際ロータリー中央事務局	Rotary International, One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL, U.S.A. 60201
国際ロータリー日本支局	〒160 東京都新宿区新宿1-36-12　サンカテリーナ 1階 奉仕室 ☎(03)3355-5383　地区・クラブ関係のお問い合わせ FAX(03)3226-4606 資料室 ☎(03)3355-5391　文献、資料の注文、お問い合わせ（各室共通） 財務室 ☎(03)3355-5425～6　財務関係、お問い合わせ 送金先：さくら銀行東京営業部 口座No.普0968049　国際ロータリー財務長代理　吉井　陞(のぼる)
財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 8階 ☎(03)3434-8681(さくら銀行京橋支店 口座No.普0920373) FAX(03)3578-8281
ロータリーの友事務所	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 8階 ☎(03)3436-6651(さくら銀行丸ノ内支店 口座No.普0964061) FAX(03)3436-5956
青少年交換事務局 事務局長　河合　良	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 8階 ☎(03)3433-6497 FAX(03)3433-7395
国際ロータリー第2660地区 会計國分紀一	〒542 大阪市中央区難波5-1-60 南海サウスタワーホテル大阪 1403号室 ☎(06)634-7511（大和銀行難波支店 口座No.普4793257）

◆主要報告書

報告事項	期日	報告先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	①R.I.中央事務局（RIより送付された指定用紙） ②(写) ガバナー ③(写) R.I.日本支局財務室 ④(写) クラブに保管
2. クラブ出席率報告	翌月10日までに必着	ガバナー事務所（所定の用紙）
3. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
4. 充填未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
5. クラブ計画および目標の要約	クラブ公式訪問日の2週間前に	所定の用紙3部に記入して、ガバナー事務所に2部 1部はクラブに保管
6. 地区大会提出・信任状証明書	1993年3月31日	会員数25名またはその過半数毎に1名の選挙人を選ぶ。 (R.I.細則第12条第5節b) (ガバナー事務所より送付された指定用紙)
7. 新入会員、退会者、会員の住所または種類の変更	その都度	①R.I.中央事務局（英文・所定の用紙） ②ガバナー事務所
8. クラブの会長、幹事、例会場、日時、事務所等の変更届	その都度	①R.I.日本支局 ②ガバナー事務所　③ロータリーの友事務所
9. R.I.文献購入申込 各R.C.常備の注文用紙にて	その都度	R.I.中央事務局（英文の文献） R.I.日本支局（和文の文献）
10. 次年度クラブ会長、幹事報告（公式名簿・記載資料）	クラブ役員選挙後2週間以内に	①R.I.中央事務局（RIより送付された3色刷りの用紙） ②ガバナー　③ガバナー・ノミニー
11. 全国会員名簿のための校正（送られてきたゲラ刷を校正し返送する）	2月	ロータリー全国名簿編集室 宛 〒162 東京都新宿区市谷左内町1 山本ビル3階 TEL.(03)3267－5265
12. 国際大会提出・信任状証明書（会長、幹事のサインが必要）	4月	国際大会出席の代議員またはその代理者（ガバナー・ノミニーなど）用紙はR.I.より直接各クラブに送付される。会員50名以上のクラブは50名毎に、またはその過半数につき追加代議員1名を選ぶ。（R.I.定款第8条第3節a）

◆主要送金

送金	期日	送金先
1. 人頭分担金1人当り半年分$14.50 ●7月2日より10月1日まで ●1月2日より4月1日までに中途入会した会員$7.25	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	R.I.日本支局財務室
2. ロータリー財団への寄付 寄付金は1人 $10.00以上 新入会員は入会時 $10.00 その他の寄付は随時送金	7月1日	
3. 地区資金1人当り半年分¥7,500(内、地区大会分担金¥1,500) 中途入会者および新クラブ設立の場合 ●7月2日より10月1日まで及び1月2日より4月1日までに入会した会員に対し¥5,000(地区大会分担金¥1,000を含む)	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	R.I.第2660地区会計
4. 地区青少年交換ファンド 1人当り半年分¥1,500	7月1日・1月1日	
5. 財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は 1人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日・1月1日	ロータリー米山記念奨学会
6.「The Rotarian」の購読料(希望数) 半年分$6.00	7月1日・1月1日	R.I.日本支局財務室
7.「ロータリーの友」購読料 半年分¥1,236(消費税含) (但し、中途入会者については雑誌を受取った月より月割1部¥206計算)	7月1日・1月1日	ロータリーの友事務所

表紙(版画)の紹介：大阪の歳時記を画題として、毎号、元大阪南西ロータリークラブ会員木村光佑先生に版画をお願いすることになりました。

木村光佑先生のプロフィール

木村光佑先生は1936年に大阪で生れ、1959年京都市立美術大学（現・芸術大学）日本画科卒業後、ジャパンアート・フェスティバル大賞、イギリス、アメリカ、ユーゴー、ポーランド、ノルウェー、ソウルなどの国際版画ビエンナーレ国際大賞をはじめ、かずかずの国際的な賞を受け、世界的レベルで活発な創作活動を続けておられる作家で、現在京都工芸繊維大学工芸学部の教授である。

〔代表的作品〕

1980●大阪大学本部陶板壁画
1984●版画集〝交響楽〈ザ・シンフォニー〉〟朝日放送刊行
1985●インテックス大阪壁画
●川端康成記念館壁画
1988●大阪市政100周年記念ポスター〈大阪の詩〉〈伝承〉〈交流〉
●茨木市モニュメント〈空の方へ〉
●大阪音楽大学壁画〈響１〉〈響２〉

ロータリーレート

7月1日からロータリー為替レートが1ドル＝130円に変更されました。

◆1992～'93年度 ガバナー事務所

●**ガバナー事務所** 〒542 大阪市中央区難波5-1-60 南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 06-634-7511　FAX 06-634-7500
●**執務時間** 月曜～金曜 10:00～17:00　土曜 10:00～12:00
●**休日** 日曜・祝日　夏期 8月13日(木)～16日(日)　年末年始 12月29日(火)～1月3日(日)
●**地区幹事・財務委員**

津江孝夫(大阪南)　代表幹事、総括、公式訪問、諸会合、ＲＩ
中田康仁(大阪南)　代表幹事補佐、事務所管理、ローターアクト
村岡秀雄(大阪東)　幹事、規定、拡大、ガバナー月信、地区大会
菅生清左衛門(大阪南)　幹事、クラブ奉仕(増強、広報、雑誌)、地区大会
久我三郎(大阪南)　幹事、職業奉仕、地区大会
安川隆三(大阪南)　幹事、社会奉仕、地区大会
白山　隆(大阪南)　幹事、青少年活動、地区大会
山野　茂(大阪南)　幹事、インターアクト、地区大会
越井　健(大阪南)　幹事、国際奉仕(世界社会奉仕、青少年交換、国際交流平和)地区大会
木村吉弥太(大阪南)　幹事、ロータリー財団、地区大会
酒井　宏(大阪南)　幹事、米山奨学会、地区大会
新田精一(大阪南)　幹事、地区大会
伊藤隆彦(大阪南)　幹事、ガバナー月信、クラブ会報、地区大会
島岡　司(大阪南)　幹事、I.G.F.、地区大会
清野耕作(茨　木)　幹事、事務連絡
池田一郎(大阪南)　財務委員長
國分紀一(大阪南)　財務委員、会計
西田文明(大阪北)　財務委員
中村憲次(茨　木)　財務委員

●**事務所職員** 新甚裕己・粟生理子

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 山本文和

〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

8月

Aug.1 1992
NO.2

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山井文和

（木村光佑）

会員増強と拡大月間に因んで

ガバナー 山中文和

国際ロータリーの役割は３つあります。否むしろ３つに絞られています。

１．奉仕の理念の追求とその提唱

２．ロータリーの拡大

３．ロータリーに関する情報の媒介

であります。

１と３については、またの機会に譲るとしまして、今月は会員増強および拡大の月間ですので、２についてお話を申しあげたいと思います。

ポール・ハリスは「ロータリーはこれで良いということはあり得ない、現在のロータリーがこれで良いと思っているとすれば、退廃こそあれ発展はあり得ない」といっています。クラブの活性化と次の世代での発展のために会員の増強とクラブの拡大は欠かすことの出来ない大切な問題です。

がしかし、会員増強がともすれば量的拡大にのみとらわれがちだが、ぜひとも質的増強にも留意しなければならないと思います。

会員の退会防止も大きな増強といえるでしょう。やむを得ない退会以外の理由が、新会員がロータリーの世界に心から溶け込めないという理由が多いことです。新会員が出来るだけ早くロータリーに慣れるように特別なオリエンテーションプログラムを試してみてはいかがでしょうか。

また、50名以下の会員のクラブは運営上いろいろな問題があると思いますので、ぜひとも増強に力を入れてください。

今年度の地区の拡大委員会では、各クラブのテリトリーの人口とロータリアンの対比、また企業数との対比を詳しく調べ、その上で各地域の特異性をも考慮にいれて拡大へのアドバイスの資料とするつもりで検討しております。

ロータリーが今まで同様に将来にも素晴らしい発展を期するためにはその組織のたえざる新陳代謝が必要なのはいうまでもありません。どうか増強と拡大に各会長、幹事さんの熱意あるご協力を切にお願いする次第です。

1994～'95年度 ガバナー・ノミニー候補者を 推薦して下さい!!

◆締切：９月末日

地区ガバナー指名委員会
委員長　菅生　浩三（大阪北）

国際ロータリー細則第12条第７節（ｅ）の規則及び当地区ガバナー指名委員会規約第６により候補者の推薦をお願いします。

（註）地区ガバナー指名委員会規約第６
指名委員会は、期限を定めて地区内クラブに対し、地区ガバナー・ノミニー候補者の指名案の提出を要請する。

地区大会ニュース（No.１）

1992～'93年度の地区大会を下記の要領で開催いたします。手帳にご予定下さい。

●地区大会日程及び開催場所

平成５年４月23日(金)　於：ロイヤルホテル
会長・幹事懇談会、部門別懇談会
RI会長代理歓迎晩餐会、夫人の集い

平成５年４月24日(土)　於：フェスティバルホール
本会議

●地区大会事務局

〒542 大阪市中央区難波5-1-5 ㈱高島屋本社秘書室
大阪南ロータリークラブ事務局内
電 話 06-631-1262
FAX 06-631-9851

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会
委員長　菅生　浩三（大阪北）

ロータリー・クラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、ＲＩから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、ＲＩに選定を証明する手続をとることになっていますが、本年度の第2660地区における選定の基準及び手続は、次のとおりであります。

◆選定の基準

１．プロジェクトは、その土地において重要とみられているか、域いはその土地のみに限らず誰の目からも重要とみられている問題又はニーズを対象とするものでなければなりません。

２．プロジェクトは、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半又は全員が直接参加するようなものでなければなりません。

３．プロジェクトは、他のロータリー・クラブもこれと競争して行うことができるようなものでなければなりません。

４．プロジェクトは、当該年度に始められたものであることを要しないが、そのプロジェクトが現に実施中のものか、又はその表彰の行われるロータリー年度に終わるものでなければなりません。

５．同一プロジェクトについて、重ねて業績の認証を受けることはできません。

◆選定の手続

１．各クラブは、表彰申請書を、できるだけ詳しい資料を添えて、10月31日(木)までに、ガバナー事務所気付「意業ある業績賞委員会」宛提出して下さい。

２．「意義ある業績賞委員会」は、12月１日までに会議を開き、５クラブまでを限度として受賞候補クラブを選び、これをガバナーに申請します。

３．ガバナーは、その中の１クラブを選んで、ＲＩに選定を証明する手続をとります。

４．ＲＩから正式の認定状が送付されてきますと、ガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰します。

本年度地区委員会活動計画（その1）

◆地区ガバナー指名委員会

委員長　菅生　浩三（大阪北）

1)　地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信2号において、1994～95年度の地区ガバナー・ノミニー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を9月末日とする。

2)　10月1日以降、出来るだけ早く指名委員会を開き、候補者の指名を行い、ガバナー月信6号乃至7号で公示し、7号乃至8号でガバナー・ノミニーの宣言を行う。

◆意義ある業績賞委員会

委員長　菅生　浩三（大阪北）

1)　ガバナー月信2号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を10月末日とすることを公示する。（申請手続きについては手続要覧42～43頁参照）

2)　12月1日までに選考委員会を開催し、5クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに送達する。

3)　各ロータリークラブに対して、幅広い奉仕活動の実践につき積極的に申請することを勧奨する。

◆会員増強委員会

委員長　山本　三雄（大阪大淀）

1.　各クラブの会員増強意欲の盛りたてをはかり、会員増強推進フォーラムを企画し実行していただき、各クラブの会員増強を可能な限り新しい会員を獲得していただきたい。

2.　会員歴5年以上の方でまだ一人も会員増強をしていない会員に是非会員増強をしていただく、各クラブでの会員増強委員会の委員会活動を活性化していただくよう卓話及びスライドで増強委員会の活性化に努力する。

3.　50名未満のクラブの会員増強を前年に引き続き重点的に、各クラブ会員増強委員会と接触し、会員増強意欲の推進を引き出すよう具体策を検討する。

4.　各クラブの会員増強の実態を調査し、減少クラブ、及び、増強出来ないクラブ、退会会員の多いクラブ、の実態を究明し、原因の検討会を開く。

5.　職業分類表の充填及び未充填分類表を再考し、職業分類委員会及び会員選考委員会の人々にも積極的に会員増強委員会に協力していただく。

◆広報・雑誌委員会

委員長　足達　忠利（吹田）

1.　8月上旬にクラブ広報・雑誌委員長会議を開催し、本年度の地区としての基本的な考え方を説明する。

2.　9月下旬に在阪主要新聞、放送、通信社の幹部とガバナーとの懇談会を開催。

3.　毎月一回、「ロータリー・広報ニュース」を発行し、マスコミを中心に約50社に送付して、広報に務める。

4.　「ビデオ・スライド銀行」のビデオ作品を各クラブの卓話の時間に観ていただくよう撤底した依頼活動を行う。

5.　「ロータリーの友」英語版を、各クラブの海外姉妹クラブに送付し、日本のロータリーの現状の一端を知らせる。

◆規定情報委員会

委員長　土井　正裕（大阪北）

1.　1992年規定審議会で決まった諸規定改正点のクラブへの周知

「標準ロータリークラブ定款」「推奨ロータリークラブ細則」「手続要覧」の1992年7

月１日からの改正点を、クラブ委員長会議を早期に開催して説明する等クラブへの周知に努める。

2．システム・マニュアルの改訂

イ）上記諸規定の改正に伴い、情報「システム・マニュアル」の改訂を行なう。

ロ）この機会に、「クラブにおけるシステム・マニュアル利用の実態」および「マニュアルの内容等に関するクラブの意見」について、アンケート調査を早急に行ない、改訂の参考に資する。

3．クラブのロータリー情報活動の実態把握と対応

クラブにおけるロータリー情報活動の実態についても、アンケート調査を行い、これを集約して地区関係各位に配布するとともに、

イ）優れた活動および特色ある活動を行なっているクラブの事例を全クラブに紹介し、

ロ）ロータリーの基本に照らして望ましくないと思われる事例については、対応を考える。

4．ロータリー理解推進月間（１月）

１月の「ロータリー理解推進月間」に、各クラブがロータリー情報の必要性を強調し、普及させるためのプログラムを実施することを要請する。

〈卓話銀行〉

1．前年度の外部卓話講師の一部をクラブの意見を聴いて入れ替える。

2．地区内各クラブから推進を受けたロータリアンを、本年度の卓話講師に加える。

◆職業奉仕委員会

委員長　浅沼清太郎（大　阪）

1．基　本　方　針

職業奉仕の意義、特に職業奉仕の新方針、職業宣言、四つのテスト、道徳律の意義についての理解をより深めることを推し進める。

職業奉仕は、あくまでも会員個人が企業において、職業倫理の向上を目指す実践活動であるが、同時に、職業奉仕の新方針は、従来ともすればなおざりにされてきた、クラブ自身の任務、即ち、各クラブは個人が倫理基準に従って行動することを鼓舞育成すべき役割を担っていることを強調している。

特に本年度ＲＩ理事会は、ロータリーの活性化を図るため指導者（リーダーシップ）養成制度を導入し、職業奉仕部門においては、会員個人による積極的な活動を促すよう、各クラブがより一層リーダーシップを発揮して奨励することを期待している。

職業倫理の向上を目指すのはロータリアンのみではないが、世の中に沢山ある団体の中で、職業倫理の向上を目指して集まっているのはロータリーだけであり、その意義を再認識する必要がある。

2．活　動　計　画

クラブ会員の職業倫理を高めるため、主として1990～'92年度実施の各活動を踏襲しこれを促進する。

(1)　卓話及びフォーラム

ア）職業奉仕の意義・会員個人の職業倫理について

（「ロータリアンの職業宣言」の配布）

イ）四つのテストの推進について

ウ）違法駐車問題について

エ）産業廃棄物問題について

オ）身障者に対する「職業相談プロジェクト」について

(2)　会員の事業所見学

(3)　職業活動表彰

(4)　違法駐車問題解決に向けての具体的実践活動

1990～'91年度地区大会は、「地域社会の職業代表人として職業倫理の高揚を掲げるロータリアンは、その先達として会員及び会員の属する団体や企業の、マイカー通勤や業務用車両の持ち帰りの自粛

を提唱し推進すること』を決議している。

そこで引続き、この大会決議に深くかかわる違法駐車問題の解決に向けての具体的な活動を介し、職業倫理の向上に努めるとともに、経済諸団体等との協調を進めて活動の拡大に努力する。

ア)「パークライトシール」の普及拡大について

イ)「めいわく駐車追放モデル事業所宣言」の拡大について

ウ)「めいわく駐車追放啓発活動」への参加について

◆ロータリーボランティア活動委員会

委員長　杉本久仁一（八尾中央）

社会奉仕部門において、3年間という試験的プログラムとして取り上げられたが、所属を変更して、引き続き存続する事になった。

社会奉仕部門に於ける3年間の初年度、次年度には、ロータリーボランティア・ピューローの設立を中心に活動し、そして3年度には、ロータリアンの技能登録を行い、又個人の国際的ボランティア活動に対し、ガバナー表彰を受けた。

現在、ロータリーボランティア活動委員会設置クラブは14で、社会奉仕部門の所属である。

地区ロータリーボランティア委員会としては、この所属を職業奉仕部門に変更すること、又委員会の無いクラブでは、職業奉仕委員長が担当者を指名し、職務に当たる事としている。

1. ロータリーボランティア活動委員会の担当者に、技能登録の呼び掛けをお願いする。登録は、ロータリアンに限らず、家族・ローターアクト・ロータリー財団学友を対象とする。
2. ボランティア奉仕希望の事例の発見・要請は、四大奉仕委員長さんにお願いする。
3. 地区内のボランティアに必要なリストは、各クラブで保管し、地区においては、国際的にご奉仕頂ける方のリストの整備を行い、要請に広じて活用する。尚、国外の要請に対しては、国際奉仕委員長を通じて財団補助金の申請をお願いする。
4. 個人の国際的なボランティア活動に対して、前年度に引き続き、ガバナー表彰をお願いする。

◆社会奉仕委員会

委員長　新津　敬直（大阪西）

① 高齢者問題

A ●社会奉仕活動のマニュアル
A ●老人収容施設の場所、内容
A ●高齢者雇用の際の政府からの助成金
　　→ 紹介

B ●美しく老いる為の心身の条件
B ●寝たきりにならない為の10項目
B ●痴呆判定のスケール
　　→ を紹介し、自分自身ロータリー内、地域社会への啓蒙

C ●S&C　海遊館招待
(Senior, Children と附き添いの三世代)

D ●高齢者の作文募集、審査、表彰

E ●特別養護老人ホームの介護者への憩いの場提供

F ●GSC　ロータリアンの70才以上高齢者の交流
80%を占める元気な高齢者の方々が相集い、親睦を深め、情報を交換し、加えて病弱の方々、元ロータリアンの方々を助け合うクラブとする目的です。特にロータリークラブに屋上屋くを架すものでなく、柔軟なソフトな組織にしたいものである。

② 地域社会への社会奉仕

A ●全養護施設の紹介

B ●身障者雇用問題
B ●助成金の数々
B ●身障者の特技
　　→ 紹介

C ●養護施設の子供達の過去の白浜招待旅

行、未参加者への配慮

D●週末里親の紹介

E●視覚障害者への配慮

F●太陽の家訪問（障害者自立施設）

③　社会奉仕活動事例集の編集提供

以上はもとより本来の社会奉仕活動の理念に基ずくものであり、又昨年度活動した地域対策室の成果をふまえ、勘案した計画である。

◆環境保全委員会

委員長　岡部　次郎（箕　面）

◎本年度も各クラブに画一的プロジェクトを押しつけることなく、各クラブの自主的活動を積極的に推進していただく。これは委員会の基本姿勢であり、現実に単独クラブ或は地域を同じくする数クラブ合同で意義ある活動を実行していただいている。

◎クラブ環境保全委員長（担当者）会議を開催し、他クラブの活動を紹介し参考に供する。

◎「意識の昂揚」については既にロータリアンは卒業したものとし、職域・地域を対象として実施していただくよう各クラブにお願いする。例会の一回の卓話のみが年間活動のすべてであっては困ると思う。

◎本年度も環境問題について実地研修・見学会を明春に実施したい。計画としては「水質問題」をとりあげたいと考えている。

◎環境保全問題はＲＩで、また全地区で積極的に取組んでいる問題なので、当地区に対してもいろいろと報告を求められることも多く、またアンケートに答える機会も多いが、これらすべてに対して当委員会としては誠実に対応してゆきたい。

◎地珠サミットが６月にブラジルで開催され地珠規模の環境問題への対応が論議される。ロータリアン個人、クラブ単位での身近な実践活動の域を越えて、ロータリーとして如何に貢献すべきか、何がなし得るかを長期的視点で考える初年でありたいと念願する。

◆青少年活動委員会

委員長　西　　正中（大阪城北）

1．ライラＲＹＬＡ（青少年指導者養成セミナー）の実施

目的と内容への理解が進みましたので、青少年の参加が大変多くなりました。最近ではチームプレイとか環境問題とかのテーマを掲げて、活発な意見交換を行ない、参加青少年の意識に、大きな刺激を与えています。これまで通り秋と春の２回実施します。

①山のライラ　ホスト：茨木東ＲＣ
1992年９月12日～14日　大阪府立青少年野外活動センター（能勢町）

②海のライラ　ホスト：枚方くずはＲＣ
1993年５月２日～４日　大阪府立青少年海洋センター（岬町淡輪）

2．少年少女ニコニコキャンプの実施

小学校５・６年生（４年生と中学１年生の参加も可）を対象に、２泊３日のキャンプを通して、自然と親しみ、集団生活を体験して、新しい友だちも作ってもらおうというプログラムです。また、ライラの参加者やＲＡＣ・ＩＡＣの青少年をリーダーにして、リーダーとしての実地訓練をすることも目的です。昨年参加したリーダーは子どもたちとの交流を通して、すばらしい経験を得たようです。

今年度は初めて海で実施いたします。

1992年８月７日～９日　大阪府立青少年海洋センター（岬町淡輪）

ホストクラブ：大阪西南ＲＣ

3．近隣四地区青少年活動委員長会議

昨年は開催できませんでしたので、今年度は秋に開催します。

4．ライラマニュアルの改訂

最近の資料を加えて改訂版を発行いたします。

◆ローターアクト委員会

委員長　北村　英一（吹　田）

(1)　地区内19ＲＡＣは会員増強、出席率等困難な問題を抱えながらも若いエネルギーに充ちた夫々のクラブらしい特色のある活動を展開している。又さまざまな地区行事に積極的に参加し、各クラブ間の交流は年毎に密接になり地区としてまとまった良い雰囲気の中で成長して来ているのはたいへん喜ばしい。之は各提唱ＲＣの援助、指導による効果が次第にも上りをみせて来たのであろう。各提唱ＲＣの一層のご協力をお願いした。

(2)　本年度の地区ローターアクトのターゲットは「咲かそうＲＡＣの花、広げようＲＡＣの輪」で、ソフトに又着実にＲＡＣの広がりとその華やかな開花を計ろうとするもので、地域社会への活動の場を一層広げて行く事を目指している。

(3)　今年度最大の目標は新クラブの結成にある。19番目の吹田ＲＡＣが設立されたのが1986年、現在迄６年間も新クラブが誕生していない。幸に山中ガバナーは青少年育成に見識、経験共に深く、積極的な抱負を持って居られるこの機会に是非とも数クラブの結成にこぎつけたい。提唱の気運のあるクラブに地区委員会ＲＡＣ地区役員で積極的に援助を行うと共に、地区内各ＲＣにＲＡＣのＰＲを展開したい。

(4)　本年度の海外研修はシンガポール及び香港とし、現地ＲＡＣとの親善交流と社会奉仕活動を重点的に行い、観光、ショッピング等は出来るだけ控える計画を立てている。

(5)　今年度より新しく世界ローターアクトＤＡＹ（３月13日）が定められたので、従来日本で行われてきた「全国統一RACの日」（９月）を之に統合し、地区行事としてチャリティウォークを開催し、広く一般市民の参加を呼びかける事にした。

◆インターアクト委員会

委員長　中島　孝夫（八　尾）

1)　当委員会は、提唱９ＲＣの理解と協力を得て、加盟校顧問、インターアクターと協調、本年度地区運営方針にもとづき、インターアクトの理想を実現すべく、活発な活動を展開する。

2)　当年度の当番校、金光八尾高等学校（提唱　八尾RC）が計画したサブテーマ

「水・私達の環境を見つめよう」

を各クラブの活動に取り入れる。

3)　海外研修は、現地インターアクトと交流し、相互理解を深める事を主目的とし、現地インターアクトと活動のありかたフォーラムを計画する。

ホームスティによる現地の家庭生活にふれ、家庭と友好を深めながら、相互の理解を得る。

訪問地　米国カリフォルニア

ロサンゼルス　６日間

4)　インターアクトクラブ未提唱のロータリークラブに設立を働きかける。

学校単位のインターアクトクラブ提供と共に、地域内でのロータリー手づくりのインターアクトクラブ設立を推進する。

5)　地区委員会を充実し、地区としてのインターアクト運営方針を委員会が策定、諸活動の理解、運営分担を検討する。

「ビデオ・スライド銀行」について

広報・雑誌委員会委員長　足達　忠利

次のようなビデオ作品を用意しております。ロータリーの奉仕活動の現状を、ぜひ、各クラブでご覧ください。

●ビデオ作品名

①「G．S．E．」＝研究グループ交換（16分）
私どもの地区と海外の地区との間での交換プログラムで、それぞれ仕事の違う若者5人を相手地区に約5週間派遣して、現在のロータリアン家庭にホームステイして、その国、及び諸施設を研究し、自分の専門領域の研究を行います。
91年2月、我々の地区からアメリカのノースカロライナへ派遣しました5人の若者の体験を楽しくまとめたものです。

②「インターアクト」（10分）
若い人達のために、ロータリーが提唱するクラブで、高校生が入会できます。91年の夏にシンガポールに研修旅行を行い、現地のメンバーとの交換を中心にまとめてあります。

③「ニコニコキャンプ」（13分）
毎年夏に地区の行事として行います。小学校5年と6年の子供たち100人ほどを、大阪府能勢町の青少年野外活動センターに2泊3日で招待し、自然の豊かさ、団結の大切さなどを勉強してもらいます。
飯盒炊さん、自分たちで作ったカレーライスのおいしかったことなどがまとめられています。

④「身障児等白浜旅行」（10分）
恵まれない子供達120人ほどを、毎年11月に白浜旅行に招待しています。子供たちの楽しい1日の記録です。

⑤「S＆C、海遊館への招待」（8分）
S＆Cとは、シルバーアンドチャイルドのことで、高齢者、孫、嫁など3世代の人達を大阪港にある海遊館に招待しています。

⑥「海のライラ、山のライラ」（15分）
若い人達が2泊3日の共同生活を通じ、地域社会で貢献できるよう研修を行うプログラムで海のライラは、大阪府淡輪の海洋センター、山のライラは、能勢町の野外活動センターで行います。

●製作予定作品
「ロータアクト」(完成済)、「ロータリー財団」、「米山奨学」

●ご利用の方法について

①　貸し出し、又は買い取りご希望の向きは、ガバナー事務所へお申込ください。
(TEL：06－634－7511、FAX：06－634－7500　担当：地区幹事 菅生清左衛門)

②　貸し出しは無料。ご使用後は、早目にご返却ください。
買い取りご希望の場合は、1本当り1万円です（送料含む）。

③　再生装置は、各クラブで準備してください。

■お知らせ

○地区委員の変更
山内尚隆君、退会のため地区ローターアクト委員辞任

○マンスリーレター1号・12頁の年間カレンダー
1993年国際協議会
1993年3月31日(水)～4月4日(日)→
1993年3月31日(水)～4月8日(木)に訂正
ＰＥＴＳ・次期地区委員長会議
1993年4月17日(土)→4月16日(金)に変更

○摂津ＲＣ会長、ガバナー公式訪問日変更
向井楠秋君　→　橿村泰信君、10月23日→12月18日

○東大阪中ＲＣ事務局移転
〒543　大阪市天王寺区砂辻町5-5　丸善88
シティハイツ303号(8/1より、TEL・FAX従来通り)

訃　報

川嶌　一雄君（枚方くずはＲＣ）
平成4年6月4日逝去（享年81才）
明治43年12月10日生まれ
昭和49年5月30日入会（チャーターメンバー）
1978～1979年度会長
ポール・ハリス・フェロー

稲野　治兵衛君（大阪北ＲＣ）
平成4年7月7日逝去（享年74才）
大正7年1月21日生まれ
昭和57年1月13日入会
1983～'84年度　広報委員長
1990～'91年度　職業奉仕担当理事

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第2660地区各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表

（単位：円）

クラブ名	入会金	年会費	ビジター・フィー	クラブ名	入会金	年会費	ビジター・フィー
大東	150,000	210,000	3,000	大阪難波	200,000	300,000	4,800
東大阪	100,000	280,000	4,700	大阪なにわ	150,000	330,000	4,000
東大阪東	100,000	320,000	4,000	大阪南西	150,000	230,000	3,500
東大阪中	100,000	285,000	4,700	大阪西	150,000	230,000	3,800
東大阪西	100,000	300,000	4,000	大阪大手前	200,000	320,000	3,900
枚方	200,000	250,000	3,000	大阪大淀	200,000	300,000	4,400
枚方くずは	200,000	250,000	3,500	大阪西北	200,000	260,000	4,500
茨木	100,000	230,000	4,300	大阪西南	150,000	250,000	4,600
茨木東	100,000	230,000	3,000	大阪船場	150,000	300,000	4,800
池田	150,000	260,000	3,000	大阪心斎橋	150,000	300,000	4,800
池田くれは	150,000	240,000	3,000	大阪城北	200,000	280,000	4,000
門真	100,000	260,000	3,500	大阪住之江	200,000	280,000	3,600
交野	150,000	200,000	3,000	大阪住吉	150,000	260,000	3,600
箕面	150,000	230,000	3,300	大阪天満橋	150,000	300,000	4,500
箕面中央	200,000	276,000	4,000	大阪天王寺	150,000	300,000	3,800
守口	100,000	280,000	4,000	大阪東南	150,000	120,000	4,500
寝屋川	100,000	290,000	3,000	大阪鶴見	200,000	280,000	4,000
大阪	100,000	280,000	4,600	大阪梅田	200,000	270,000	3,500
大阪阿倍野	150,000	300,000	3,600	大阪梅田東	200,000	350,000	4,300
大阪ちゃやまち	300,000	300,000	4,000	大阪うつぼ	200,000	200,000	4,000
大阪中央	200,000	270,000	4,000	大阪淀川	150,000	220,000	3,800
大阪堂島	200,000	300,000	4,500	千里	150,000	240,000	4,000
大阪阪南	100,000	300,000	3,600	摂津	100,000	230,000	3,500
大阪阪和	150,000	310,000	4,500	四条畷	100,000	200,000	2,000
大阪東	150,000	230,000	3,900	吹田	150,000	200,000	3,000
大阪東淀	150,000	240,000	4,200	吹田江坂	200,000	300,000	4,000
大阪平野	150,000	320,000	4,700	吹田西	200,000	270,000	4,000
大阪本町	200,000	200,000	3,800	高槻	120,000	230,000	3,000
大阪城	200,000	280,000	4,500	高槻東	120,000	240,000	3,000
大阪城南	100,000	130,000	4,700	高槻西	120,000	240,000	3,000
大阪城東	150,000	280,000	4,500	豊中	200,000	280,000	3,500
大阪柏原	100,000	260,000	2,500	豊中南	200,000	280,000	3,500
大阪北	150,000	250,000	4,000	豊中—大阪国際空港	150,000	240,000	3,000
大阪北梅田	300,000	300,000	4,400	豊中千里	200,000	300,000	4,000
大阪北淀	180,000	260,000	3,500	八尾	100,000	274,000	2,500
大阪南	200,000	300,000	4,500	八尾中央	100,000	300,000	3,000
大阪港	200,000	300,000	3,500	八尾東	100,000	250,000	2,500

第2660地区各クラブ創立日・認証日一覧表

クラブ名	創立日	認証日	クラブ名	創立日	認証日
大東	昭和42.12.26	昭和43. 1.24	大阪難波	昭和51. 8. 5	昭和51.8.27
東大阪	32. 6. 4	32. 6.17	大阪なにわ	59. 2.23	59. 3. 5
東大阪東	40. 3. 4	40. 4.28	大阪南西	49. 6.10	49. 6.17
東大阪中	47. 2.20	47. 3. 3	大阪西	32. 6. 4	32. 6.17
東大阪西	60. 3.18	60. 3.29	大阪大手前	58. 3.18	58. 4. 6
枚方	36. 2.28	36. 4. 3	大阪大淀	48. 2.22	48. 3.20
枚方くずは	49. 5.30	49. 6.25	大阪西北	44. 5.27	44. 6.13
茨木	34.12.23	35. 2. 9	大阪西南	44. 5.21	44. 6. 9
茨木東	49. 2.14	49. 3. 8	大阪船場	63. 5.23	63. 6. 3
池田	29. 4.24	29. 5. 4	大阪心斎橋	45.11.10	45.11.19
池田くれは	59. 4.16	59. 4.24	大阪城北	52. 6.29	52. 6.20
門真	44. 4.17	44. 6.13	大阪住之江	50. 3.24	50. 4.27
交野	59. 6.25	59. 6.28	大阪住吉	36. 2.14	36. 4. 7
箕面	44. 4.17	44. 5. 9	大阪天満橋	42.11. 4	42.12.21
箕面中央	55. 6.13	55. 6.13	大阪天王寺	63. 9.10	63. 9.26
守口	36. 3.20	36. 4.24	大阪東南	60.11.26	60.12.10
寝屋川	14. 4.18	44. 6.25	大阪鶴見	59. 7.10	59. 8. 6
大阪	大正11.11.17	大正12. 2.10※	大阪梅田	52. 6.29	52. 7.30
大阪阿倍野	昭和54. 5. 9	昭和54. 6. 6	大阪梅田東	63. 5.20	63. 6. 1
大阪ちゃやまち	平成 4. 1.27	平成 4. 5.25	大阪うつぼ	56. 4.17	56. 4.28
大阪堂島	昭和62. 6.15	昭和62. 6.29	大阪淀川	36. 1.14	36. 3.28
大阪中央	59. 1.26	59. 2. 6	千里	48. 6.12	48. 6.28
大阪阪南	44. 6.10	44. 6.21	摂津	45. 9.26	45.10. 9
大阪阪和	61. 1.23	61. 2.17	四条畷	52.11.30	53. 2. 3
大阪東	32. 6. 6	32. 6.17	吹田	33.12.18	34. 4.15
大阪東淀	45. 6.26	45. 8.10	吹田江坂	平成 2. 2.27	平成 2. 3.15
大阪平野	50. 2.20	50. 3.29	吹田西	昭和55. 6.12	昭和55. 6.13
大阪本町	平成 3. 3.26	平成 3. 4.12	高槻	29. 6.15	29. 7. 6
大阪城	昭和63. 5.11	昭和63. 5.30	高槻東	48. 3. 1	48. 4.19
大阪城南	44. 5.30	44. 6.13	高槻西	平成元. 6.15	平成元. 6.27
大阪城東	48. 4.27	48. 6. 7	豊中	昭和34. 6.16	昭和34. 6.27
大阪柏原	45. 6. 1	45. 6.17	豊中南	44. 6. 5	44. 6.13
大阪北	27.12.16	28. 1.16	豊中—大阪国際空港	47. 2.23	47. 3. 2
大阪北梅田	平成 4. 1.20	平成 4. 5.11	豊中千里	61. 2. 5	61. 2.20
大阪北淀	昭和60. 5. 8	昭和60. 5.17	八尾	36. 3.28	36. 5. 3
大阪南	27.12.16	28. 1.16	八尾中央	57.12. 7	57.12.15
大阪港	55. 4.10	55. 4.29	八尾東	48. 2.23	48. 5. 2

※(注) 大阪R.C.は昭和24年4月13日に再認証

文　庫　通　信

ロータリー文庫にはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、１万６千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお待ちしております。

★ 利　用　方　法 ★

文庫資料は自由に閲覧出来ますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

（文庫資料をご希望の場合は）

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- 絶版のものは実費（１枚20円＋送料）でコピーサービスを致します。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。

（貸　出　し）

- 一般資料（印刷物）の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料（ビデオ・スライド・フィルム）は予約制（申込用紙有）で貸出し致します。

（登録資料の紹介）

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用として１セット（３冊）をお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

（ご　寄　贈）

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わず**ロータリーに関する資料**をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

★ 半年間に登録された資料の中から ★

◎「はじめてのロータリー（拡大情報マニュアル）」　田中　毅　1990年　113頁
〔申込先＝芦屋川ＲＣ　☎0797-22-0084〕

◎「ロータリー財団マニュアル（地区及びクラブＲ財団委員会のための）」
D.258(1990～92)　1991年　191頁
〔申込先＝D.2580　☎03-3506-1102〕

◎「ロータリー活動の理念と実践について思う」　森　紀二　1991年　272頁
〔申込先＝森　紀二　☎0489-74-6474〕

◎「高校生の留学と教育の国際化」　毛利公也　1991年　177頁
〔申込先＝新居浜ＲＣ　☎0897-34-6767〕

◎「新入会員のためのロータリー入門」　森　紀二　1992年　85頁
〔申込先＝森　紀二　☎0489-74-0474〕

◎「Ｓ．Ａ．Ａ．」　大館北ＲＣ　1992年　８頁　〔申込先＝大館北ＲＣ　☎0186-49-2098〕

◎「職業奉仕実践事例集」　D.2590　1992年　80頁　〔申込先＝D.2590　☎044-246-2590〕

◎「ロータリー早わかり（新入会員教育用資料）」　D.2550　1992年　40頁
〔申込先＝D.2550　☎0287-44-2662〕

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

国際ロータリー第2660地区

ガバナー　山中文和

〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話　大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

9月

Sep.1 1992
NO. 3

ROTARY INTERNATIONAL

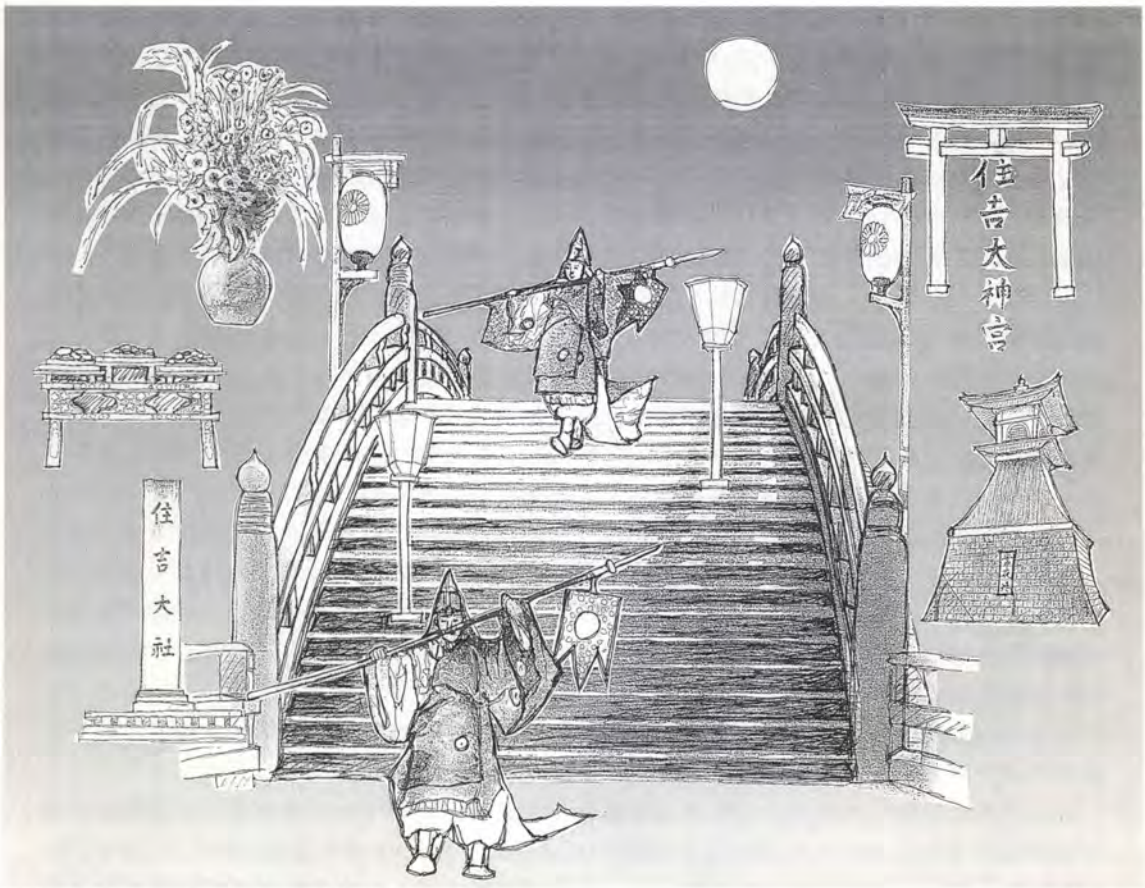
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和



観月祭 （木村光佑）

青少年活動月間にあたって

ガバナー　山本文和

むせ返るような暑さの８月もやっと過ぎましたが、会長さん、幹事さん、お変わりありませんか。

８月は盂蘭盆の月で（仏を敬い、先祖に感謝し、この世をすでに去りし友人、知人に憶いを馳せる）「過去を憶ふ月」であります。

そして、さわやかな秋風と共にやっとやってきた、澄みわたった青い空の９月はお彼岸（仏の世界、そして次の世に思いをはせる）を迎える等、「未来を想ふ月」であります。この月をロータリーが青少年月間にしたこともむべなるかなと思います。

さて、ロータリーの青少年奉仕についても私たちのロータリーの先輩たちは常にいろいろな試行錯誤を重ねながら最良の実践方法を模索し、すばらしい実践の型を残してくれました。

即ち、ロータリーの初期には困っている若者を金銭上で助けようという素朴な実践からやり始めました。これが貧しい学生に対する「奨学金制度」であります。勿論これはすばらしい活動であり今も脈々と続いているのはいうまでもありません。が、しかしこれは財源に限りありすべての苦学生を助けることはできず、与えられるものと選からはずれたものとの間に峻しい区別をせねばならぬ問題があり、やがてロータリーは**与える奉仕**に並行して**育てる青少年奉仕**に目を向けるようになりました。

私たちすべてのロータリアンも昔は少年であり青年でありました。なるが故に育てる奉仕がもう一段と浄化され、育てるだけでなく、もう一歩ふみこんで打ち解けた、

「For　Youth　から　With　Youth」へ

即ち青少年に「対して」ではなく青少年と「共に」の考えが強く打ち出されてまいりました。

ロータリアン自身がロータリークラブで日々人格の研鑽を積みロータリアンどうしが親睦と奉仕を通じておたがいの心を増幅しあうことで「よりよいあなたを」をつくり「よりよい私」をつくるクラブ制度である、1960年代になるとその点に着目した発想があらわれ、ロータリーは青少年活動にクラブ形態による実践方法を考え出した。

これが1962年の「インターアクトクラブ」であり、1965年の「ローターアクトクラブ」であります。クラブ制度によって良い青少年の輪を大きく育てようとするものであります。

続いて1970年以降には「RYLA」「指導者キャンプ」等のセミナー形式による実践方法が開発され更に「青少年交換」や「研究グループ交換」等の国際交流形態による方法も提唱されて現在に至っております。

ＲＡＣ．ＩＡＣ．の活動が始まった当初は、果たしてこのようなクラブ活動が日本で定着するのであろうかと大変危惧されたのは事実であります。

日本での受験制度（ＩＡＣ）による問題のみでなく、多くのロータリアンには青少年奉仕は単に「与える奉仕」の発想しかなかった当時に「共に考え、共に活動し、共に切瑳琢磨する」クラブ活動を通じての型まで一足飛びに飛び越えたので簡単になじめなかった

からだと思います。

今から18年前当地区（366地区時代）にやっと５つのＲＡＣ.ができあがり独立にＲＡＣ.の地区組織をこしらえようという頃に、３年間のローターアクトの地区委員長を仰せつかりました。

元委員長の世戸さん（現ＤＰＧ）や前委員長平松さん（和歌山市御坊ＲＣ）の御指導を得て、若い彼らとそして彼女らと共にものを考え、共に旅をし、共に語り合い、次の世代の人々を育てることに大きな喜びを覚え、共に奉仕活動をさせて頂きました。

それまでに得てきた私の人生経験を、人間としての私の考え方を、ロータリーで得た奉仕に対する知恵を、精一杯若人たちに、受け取って頂けるよう努力しました。

が、しかし逆に、その若人たちのきまじめなものの考え方、未知なるものへの旺盛な知識欲、ひたむきな情熱、すばらしい迫力などに、たびたび驚き、むしろ私自身大きな感動を覚え、かつ教えられることも多くありました。

引き続いてインターアクトの地区委員長を２年させて頂く機会に恵まれました。高校生の若人たちの何かを得ようとするひたむきな心に触れまた、顧問の先生方の少しでも他人への思いやりと感謝を高校生たちに持たせようとする大変な努力に接し、これまた誠に大きな感動といろいろな思い出を持つことができました。

その頃初めてロータリアンになった喜びを心から思えるようになったといって過言でありません。

その頃の多くのインターアクターたちが、引き続きローターアクターになり、立派な社会人として活躍し、中には母校の先生になり、顧問を務めている人もおります。ローターアクターたちの中には十数人がロータリアンとなり、随所で大変な活躍をされております。顧問の先生とは、18年もの長い間おつき合い願っておる方もあり、今もってそのころの多くの若人たちと嬉しい交流が続いております。

幸いロータリーの先輩たちは、ロータリーの青少年奉仕にこんなすばらしい実践の形を作ってくれております。高齢化が進み、目まぐるしく変化するこの時代に今ほど次の世代を背負う青年たちを考えることの大切なときはないと思います。

会長さん、幹事さん、ＩＡＣ．ＲＡＣ.の設立育成に力を尽くして頂くことを心から切望するのであります。

ロータリー財団国際親善奨学生、青少年交換、ＧＳＥなど民間では世界最大の奨学制度であり、米山奨学制度はその数においても金額においても文字通り民間としては日本最大の奨学制度であります。それに加え、ＲＹＬＡ、ニコニコキャンプなど地区としては日々熱心に取り組んでおります。これらの諸活動がこれほどすばらしくなったのは歴代のパストガバナーはいうに及ばず地区委員長、地区委員の大変なご尽力と地区内全ロータリアンの努力の賜物と心から感謝するものであります。

事故を恐れていてはいかなる活動もできないという話もありますが、こと青少年に関するかぎりには専門的教育を受けておらない我々ロータリアンとしては（一部の専門家はおられますが）事故に対しては全知全能を尽くして細心の注意を払ってもなお払いすぎることはないと思います。すなわち、青少年と共に活動するとはいうものの我々**大人が青少年を預かる**ことの重大さをあらためて思うべきだと存じております。

青少年月間にちなんで常々考えていることの一部を申し上げ会長さん、幹事さんのますますのご活躍を念じあげます。

ロータリーと青少年奉仕

青少年奉仕部門担当
パストガバナー　戸　田　　孝

青少年問題とロータリーとの問題は極めて深く、且つ遠い。1920年、少年保護行事が行われて以来、今日まで連綿と続き、多くの実践的プログラムが行われている。

ロータリアンが地域社会で、また世界という大きな社会で、いかに熱心によい仕事をしつゞけても、**若い人達が自分の時代を迎えた時に、その指導力や奉仕の精神を受け継いでくれなければ、ロータリアンの努力も歴史のひとこまとして途切れてしまうことになる。**

ロータリーは地球、世界の将来を担う青少年にバトンタッチして、より良き世界を引きつぐ重要な役割を担ってもらう為に多彩なプログラムを組み、次の基本的な目的を達成するよう、長期にわたり積極的に推進している。

1) 世界各地の子供達に恵まれた人生のスタートが切れるよう協力すること。
2) 機会と課題を与えることで、また、高い倫理観を奨励することにより青少年が幸福で健全な市民になる為の援助をすること。
3) 頭で理解するだけでなく、人類愛的な社会性や国際性を身につけ、他との協調と良き習慣を体得できるよう援助すること。

これ等を具現するために各種の事業を行っている。

⊙インターアクト・クラブ（ＩＡＣ）1962年　14才～18才の高校生を対称
⊙ローターアクト・クラブ（ＲＡＣ）1968年　18才～29才の青年男女を対称
⊙ロータリー青年指導者養成プログラム（ＲＹＬＡ）1971年　若い指導者の育成と訓練
⊙国際青少年交換プログラム　1976年　相互留学により国際理解と親善の増進
⊙ハンディ・キャンプ　1976年　身障者と健常者のキャンプによる国際親善
⊙ロータリー国際職業人交換（ＲＯＶＥ）1956年
　若い職業人の国際交流（18才～25才）
⊙ロータリー財団奨学制度　1947年　広い意味での国際的青少年奉仕であり、世界最大級の奨学事業に成長している。

その他、非行、薬物乱用の防止、失業問題、職業指導など重要な課題と取組んでいる。

◎青少年奉仕に理解と情熱を

「各ロータリアンは青少年の模範」の標語は私達のあるべき姿勢を示し、私達に各部門で奉仕の理想を広げる機会を与えている。将来を託す青少年へのロータリーの奉仕活動は、私達の行った奉仕の100倍にも1,000倍にもふくらんで人類の幸福に寄与する力となることを信じ全力を投入しなければならない。**そのために真に必要なのは奨来を見透す長い目と、青少年問題への正しい理解と、実行への燃える情熱と、一人ひとりのロータリアンの参加こそが最も重要であろう。**

少年少女ニコニコキャンプ報告

地区青少年活動委員会委員　露口　佳彦

去る8月7日から9日まで泉南郡岬町淡輪にある大阪府立青少年海洋センターでＲＩ2660地区の少年少女ニコニコキャンプが大阪西南ＲＣのホストにより行われた。

小学５、６年の児童74名ＲＡＣのリーダー８名ロータリアン10名が母親、先生、ロータリアン等多数の見送りを受けて午後１時南海電車難波駅出発、尾崎駅乗換え、淡輪駅で下車、ほぼ西へ徒歩約10分午後２時半に現地に到着。

午後３時から入所式。戸田ＰＧが「小学生の頃の楽しい思い出はいつまでも残るので皆さんも楽しい思い出を作るように」、西地区委員長が皆で楽しく友達を作るように」、松林センター所長が「決められたことをきっちり守って楽しい生活を作り上げるように」とそれぞれ挨拶された。なお挨拶はされなかったが大森ＧＮも参列された。式の後リーダーの紹介、児童の班別編成、宿泊室の決定、班旗作成、館内見学等あり。

夕食後キャンプファイアが行われた。女性リーダーのリードで皆が声を合わせて祈るうちに、白衣を纏った２人の男性のリーダーの扮する火の神が松明を持って現れ、櫓に組んだ薪に点火し、数人のリーダーが交替でリードし、全員が火を囲んで歌と踊りに興ずること約１時間、やがて火の勢いの衰えたところで児童が目を閉じて下を向いている間に火が消されてキャンプファイアは終わった。

第２日目は台風10号の影響で天気が心配され午前に児童全員がＯＰヨット（１人乗り小型ヨット）に乗ることになった。リーダーから組み立て方の説明を受けて皆で協力して組み立て、ライフジャケットを付け、リーダーが舵を握り児童は帆と舟を結ぶロープを持ちこれを緩めたり引き締めたりしてスピードを調節した。風が少し強かったが却って舟がよく走って楽しそうだった。

午後は体育館でドッヂボールに興じ、また修了証書に色を塗る作業をした。

夕方頃から強い雨が降りだし、野外炊さんの予定が室内での立食パーティーに変更された。リーダーがあらかじめ鉄板で焼肉、ソーセージ、とうもろこし、焼きそば、豚肉と野菜炒めを準備し男の児童がお握りを作り、果物、ビール、ジュースなども添えられ盛沢山の御馳走で児童、リーダー、ロータリアンが一堂に会しての楽しい集いであった。

第３日目は台風の影響も全く消え上々の好天気で波もなく児童待望の海水浴と決まった。センターのすぐ北側にある一般の海水浴場で奥行き100米幅700米をテトラポットと一部フェンスで囲み、鮫やモーターボートの侵入の心配の無いところで児童達は喜々として水と戯れていた。やがて西瓜割りとなり各班から１人ずつ13人が試みた。命中しない子が多く命中しても傷をつける程度。１人だけ見事に割った子がいたが、腕を伸ばした構えの良さは剣道でもやっているのかと思わせた。 最後にＲＡＣのリーダーの１人がパワフルな一撃で２つ割りにしたのは流石であった。児童がまだ泳ぎたいとせがむうちにリーダーが海水浴の終了を告げ、未練を残しつつセンターに戻った。

昼食から山中ガバナーも参加されセンターの食事と後片付けを体験された。午後１時から退所式、山中ガバナーの挨拶と修了証書の授与、松林所長の講評、久我ホストクラブ会長のお礼の言葉、西委員長の閉会の言葉があって総ての行事を終え、午後２時15分センターのリーダーが整列して拍手で見送る中を別れを惜しみながらセンターを出て予定どおり午後４時先生や母親の出迎えを受け難波駅に全員無事帰着した。

今回は初めての海のキャンプで募集に当たり参加希望者の人数の見通しを誤り小学４年生はお断りし、関係の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫び致します。またご協力頂きました山中ガバナー始め地区のクラブ及びホストクラブの皆様に厚く御礼申し上げます。

地区社会奉仕委員会 第1回研修会報告

地区社会奉仕委員長　新津　敬直

去る平成４年７月２日、身障者自立施設、京都太陽の家へ参り、身障者に対する自立と共生の認識を深めました。

参加者は、山中Ｇ、広瀬ＰＧ、岡部環、西青少年、北村Ｒ.Ａ.、中島Ｉ.Ａ.以上の地区委員長及び69ＲＣの社会奉仕委員長が参加し、93.2%の出席率でした。欠席は東大阪、大阪住之江、大阪天王寺、大阪柏原で八尾東は既にクラブ単独で見学に行かれ、大阪東は病欠でした。

太陽の家に到着、施設の方々の大食堂をお借りし、羽田野事業本部長より、命名は水上勉氏で開設の経緯、施設の内容の詳しい説明を受け、４班に分かれ、身障者が懸命に仕事に打ち込む姿を見、感動されたことと思います。又、寄宿設備のやさしい心配りで完璧なものでした。

太陽の家

目的　障害者がその有する能力を活用することにより、総合的にリハビリテーションの機会を提供し、健全な社会人として生活することができるように援助することを目的とする。

モットー　世に身心障害者(児)はあっても、仕事に障害はありえない。
身障者に保護より働く機会を！

京都太陽の家　障害別等集計表

（平成４年７月１日 現在）

障害名別

（　）内女子再掲

	重度授産	福祉工場	協力企業	事務局	計	%
脳性マヒ	26（6）	25（5）	4		55（11）	35.2
脊髄損傷	3（1）	17（3）	4（1）		24（5）	16.7
ポリオ	1（1）	3	2		6（1）	3.8
筋ジストロフィ	1（1）	3			4（1）	2.6
骨関節結核		3（1）			3（1）	1.9
視聴覚言語		4（1）	1		5（1）	3.2
切断	1	4		1（1）	6（1）	3.8
先天性股関節脱臼	1	3（1）			4（1）	2.6
頸髄損傷	3	1	1		5（	3.2
脳血管障害	9	3			12	8.0
その他の障害	5（1）	23（4）	1	1（1）	30（6）	19.2
小計	50（10）	89（15）	13（1）	2（2）	154（28）	80.8
健常者			8（2）	30（9）	38（11）	19.2
合計	50（10）	89（15）	21（3）	32（11）	192（39）	100.0

※体育館職員３名含む　※嘱託医及びパートは除く

年齢別

	重度授産	福祉工場	計	%
20才未満	1（0）	0（0）	1（1）	0.7
20～29	27（6）	42（4）	69（10）	49.6
30～39	9（1）	21（6）	30（7）	21.6
40～49	7（2）	24（3）	31（5）	22.3
50才以上	6	2（1）	8（1）	5.8
計	50（10）	89（15）	139（25）	100.0

補装具等使用状況

	重度授産	福祉工場	計	%
手動車椅子	13（3）	35（5）	48（8）	66.6
電動車椅子	1（1）		1（1）	1.4
松葉杖		5（1）	5（1）	6.9
杖	3	1（1）	4（1）	5.5
下肢装具	3	2（1）	5（1）	7.0
その他の装具	2	7（2）	9（2）	12.6
補装具使用者	22（4）	50（10）	72（14）	51.7
補装具不用者	28（6）	39（5）	67（11）	48.3
計	50（10）	89（15）	139（25）	100.0

財団法人ロータリー米山記念奨学会
寄付金納入明細総合表

1992年6月30日現在（単位：円）

地区	1991年7月～1992年6月 期間入金分			会員数（12月末）（名）	1人当り平均額	過去累計分		
	普通寄付金	特別寄付金	合計			普通寄付金	特別寄付金	合計
2500	6,341,750	9,252,750	15,594,500	3,239	4,814	101,112,485	92,943,936	194,056,421
2510	9,561,000	24,178,699	33,739,699	4,133	8,163	139,024,900	115,759,326	254,784,226
2520	9,113,320	8,980,330	18,093,650	3,577	5,058	128,050,947	85,919,758	213,970,705
2530	5,945,400	10,693,412	16,638,812	2,798	5,946	87,332,550	69,622,190	156,954,740
2800	4,536,500	8,169,196	12,705,696	2,124	5,981	58,386,800	33,939,011	92,325,811
2540	7,421,450	15,587,751	23,009,201	3,508	6,559	132,407,400	85,338,897	217,746,297
2550	16,279,500	89,069,252	105,348,752	5,026	20,960	207,346,200	592,396,698	799,742,898
2560	15,759,250	41,757,422	57,516,672	5,170	11,125	212,664,000	281,895,671	494,559,671
2570	11,021,200	25,957,024	36,978,224	2,711	13,640	109,590,125	205,039,948	314,630,073
2770	12,357,370	70,079,306	82,436,676	3,577	23,046	120,356,830	410,157,030	530,513,860
2580	21,113,400	59,721,658	80,835,058	4,645	17,402	240,797,403	665,575,120	906,372,523
2750	20,890,750	83,264,419	104,155,169	5,419	19,220	227,629,750	758,993,690	986,623,440
2590	12,316,250	63,697,115	76,013,365	3,038	25,020	127,990,250	448,650,087	576,640,337
2780	13,244,000	65,266,000	78,510,000	3,527	22,259	138,086,100	451,047,747	589,133,847
2790	15,656,000	44,216,240	59,872,240	4,106	14,581	160,419,020	346,894,103	507,313,123
2600	9,080,000	63,374,708	72,454,708	2,878	25,175	88,917,740	256,861,257	345,778,997
2760	17,203,500	65,304,473	82,507,973	5,827	14,159	202,341,850	535,508,529	737,850,379
2610	6,841,920	27,677,015	34,518,935	3,067	11,254	100,859,070	229,915,898	330,774,968
2620	17,083,750	41,118,137	58,201,887	4,313	13,494	178,449,250	229,813,482	408,262,732
2630	12,817,100	58,913,421	71,730,521	4,340	16,527	156,300,965	385,750,261	542,051,226
2650	27,371,750	135,198,242	162,569,992	6,235	26,073	306,371,845	1,115,304,277	1,421,676,122
2640	23,696,000	77,119,600	100,815,600	3,821	26,384	234,904,350	581,895,595	816,799,945
2660	26,298,500	107,440,240	133,738,740	5,311	25,181	281,831,360	893,530,970	1,175,362,330
2680	13,876,750	50,003,408	63,880,158	4,105	15,561	156,510,860	256,233,462	412,744,322
2670	9,976,500	50,334,201	60,310,701	3,735	16,147	135,114,950	148,857,375	283,972,325
2690	15,362,950	46,549,666	61,912,616	3,954	15,658	138,389,050	246,987,203	385,376,263
2710	11,614,500	28,446,239	40,060,739	3,878	10,330	129,668,490	240,966,293	370,634,783
2700	13,597,250	31,315,076	44,912,326	3,796	11,831	147,449,300	216,695,460	364,144,760
2740	6,672,670	26,385,498	33,058,168	2,814	11,747	87,569,890	183,237,848	270,807,738
2720	10,277,100	22,791,548	33,068,648	3,437	9,621	104,696,570	131,878,187	236,574,757
2730	7,236,800	10,266,365	17,503,165	3,056	5,727	84,645,774	58,763,679	143,409,453
その他	0	0	0	0	0	0	12,762,642	12,762,642
合計	410,564,180	1,462,128,411	1,872,692,591	121,165	15,455	4,725,216,074	10,369,135,640	15,094,351,714

注：1.会員数は1991年12月31日現在（"ロータリーの友"1992年3月号より）

2.その他欄内訳　国際ロータリー東京大会賛助剰余金10,379,693・ロータリー日本50年史委員会1,000,000・日韓親善会議に於ける韓国より個人寄付196,670・トロント大会朝食会委員会97,230・ウィリアム.R.ロビンスR.I.元会長110,495・台北士林扶輪社300,000・台北大同扶輪社350,000・R.I.D3650直前総裁　朴昌源300,000・その他28,554

3.(半)は半期分、返は返金、振は振替。

◆1992～'93年度 地区合同委員会

山中ガバナーの新年度初の地区行事である「地区合同委員会」が7月11日(土)午前10時から、新阪急ホテル紫の間で開催された。

山中ガバナーはじめ菅生直前ガバナー伊瀬、種田、戸田、世戸、中村、中西、板東、松本、古田、武尾、各パストガバナーと大森ガバナーノミニーの出席のもと、会議は津江孝夫地区代表幹事の司会で進められた。

今年度、当地区は「奉仕の理念と実践の調和」を図り「バランスのとれた奉仕」を活動方針としたい旨の山中ガバナーの挨拶、参加者の紹介、菅生直前ガバナーの退任挨拶があって、引続き各委員長より本年度の方針と活動計画の説明が行われた。本会議は予定通り15時過に終了、恒例の通りロータリーソング「手に手つないで」で幕を閉じた。

第2660地区 財団法人ロータリー米山記念奨学会

クラブ名	1991年7月～1992年6月 期間入金分			年間一名当り	過去累計分		
	普通寄付金	特別寄付金	合計		普通寄付金	特別寄付金	合計
大東	276,000	1,350,000	1,626,000	4,000	4,236,000	14,532,079	18,768,079
東大阪	427,500	4,540,000	4,967,500	5,000	6,148,900	21,661,170	27,810,070
東大阪東	426,000	1,380,000	1,806,000	6,000	4,144,000	13,389,580	17,533,580
東大阪中	310,000	2,130,000	2,440,000	5,000	4,120,750	9,756,080	13,876,830
枚方	336,000	590,000	926,000	6,000	5,367,450	8,505,360	13,872,810
枚方くずは	315,000	540,000	855,000	6,000	2,848,000	5,120,650	7,968,650
茨木	615,000	1,230,000	1,845,000	10,000	5,373,250	10,055,435	15,428,685
茨木東	228,000	770,000	998,000	4,000	3,267,000	9,349,500	12,616,500
池田	333,000	560,000	893,000	6,000	5,307,100	18,784,793	24,091,893
池田くれは	151,500	616,000	767,500	3,000	1,194,500	10,369,500	11,564,000
門真	97,500	60,000	157,500	3,000	1,432,100	2,321,210	3,753,310
箕面	310,500	1,156,000	1,466,500	4,500	4,451,300	9,790,570	14,241,870
箕面中央	220,000	840,000	1,060,000	4,000	2,244,000	8,593,070	10,837,070
守口	528,000	1,300,000	1,828,000	6,000	7,107,800	18,145,140	25,252,940
寝屋川	351,000	1,299,000	1,650,000	6,000	3,763,200	12,610,570	16,373,770
大阪	1,238,000	3,450,500	4,688,500	4,000	17,683,500	26,271,586	43,955,086
大阪阿倍野	248,000	1,040,000	1,288,000	4,000	3,003,000	11,053,550	14,056,550
大阪中央	248,000	2,180,000	2,428,000	3,500	1,577,000	10,981,070	12,558,070
大阪東	873,000	6,377,620	7,230,620	6,000	8,854,000	25,925,436	34,779,436
大阪阪南	660,000	750,000	1,410,000	8,000	7,661,100	12,938,430	20,599,530
大阪東淀	292,000	2,040,000	2,332,000	4,000	3,258,000	16,947,144	20,205,144
大阪平野	307,500	910,000	1,217,500	5,000	2,539,000	10,531,290	13,070,290
大阪城南	342,000	1,488,000	1,830,000	4,000	4,616,550	14,983,000	19,599,550
大阪城東	400,000	2,255,000	2,655,000	5,000	4,263,250	16,165,932	20,429,182
大阪柏原	184,000	930,000	1,114,000	4,000	2,368,000	10,128,140	12,496,140
大阪港	186,000	543,000	729,000	4,000	1,566,000	6,136,930	7,702,930
大阪なにわ	417,000	1,250,000	1,667,000	6,000	2,471,000	8,780,000	11,251,000
大阪難波	579,000	900,000	1,479,000	6,000	6,850,500	36,211,740	43,062,240
大阪南西	284,000	1,200,000	1,484,000	4,000	3,148,000	15,619,820	18,767,820
大阪北	995,000	1,685,000	2,680,000	5,000	13,901,000	21,165,280	35,066,280
大阪西北	320,000	820,000	1,140,000	4,000	4,427,250	18,574,620	23,001,870
大阪大淀	292,000	1,270,000	1,562,000	4,000	4,045,500	13,470,404	17,515,904
大阪大手前	393,000	670,000	1,063,000	6,000	2,238,000	7,536,070	9,774,070
大阪心斎橋	330,000	1,720,000	2,050,000	4,000	4,119,000	13,485,500	17,604,500
大阪城北	238,000	600,000	838,000	4,000	2,948,000	8,478,292	11,426,292
大阪南	1,128,000	1,740,000	2,868,000	6,000	11,468,000	31,690,930	43,158,930
大阪西南	581,500	2,380,000	2,961,500	5,000	5,756,300	35,694,430	41,450,730

寄付金納入明細書

1992年6月30日現在（単位：円）

クラブ名	1991年7月～1992年6月 期間入金分			年間一名当り	過去累計分		
	普通寄付金	特別寄付金	合計		普通寄付金	特別寄付金	合計
大阪住之江	212,000	1,030,000	1,242,000	4,000	4,132,000	12,393,930	16,525,930
大阪住吉	503,500	1,110,000	1,613,500	6,000	6,211,100	12,139,640	18,350,740
大阪鶴見	238,500	1,051,000	1,289,500	4,500	1,405,750	7,141,640	8,547,390
大阪天満橋	537,000	4,200,000	4,737,000	5,000	5,732,700	19,085,530	24,818,230
大阪梅田	345,000	1,560,120	1,905,120	5,000	4,067,000	11,850,941	15,917,941
大阪うつぼ	295,500	2,910,000	3,205,500	4,000	2,326,500	25,388,220	27,714,720
大阪西	577,500	3,430,000	4,007,500	5,000	7,724,100	21,098,840	28,822,940
大阪淀川	396,000	1,879,000	2,275,000	4,000	5,845,200	14,308,676	20,153,876
摂津	220,500	1,940,000	2,160,500	4,500	2,151,500	7,319,770	9,471,270
四條畷	50,000	0	50,000	2,000	938,750	4,423,500	5,362,250
吹田	392,500	1,450,000	1,842,500	3,750	5,753,750	20,121,060	25,874,810
千里	320,000	1,180,000	1,500,000	4,000	3,697,000	14,348,290	18,045,290
吹田西	282,000	1,040,000	1,322,000	4,000	2,223,000	13,466,080	15,689,080
交野	306,000	1,650,000	1,956,000	6,000	1,616,000	6,160,860	7,776,860
高槻	465,500	540,000	1,005,500	7,000	4,449,650	7,132,726	11,582,376
高槻東	280,000	740,000	1,020,000	5,000	2,920,500	9,601,070	12,521,570
豊中	415,250	580,000	995,150	5,500	6,299,350	13,081,342	19,380,692
豊中－大阪国際空港	508,000	3,270,000	3,778,000	8,000	5,295,750	14,745,290	20,041,040
豊中南	343,750	1,040,000	1,383,750	5,500	5,210,510	15,682,560	20,893,070
八尾	372,500	2,150,000	2,522,500	5,000	6,080,200	18,546,080	24,626,280
八尾東	297,500	1,140,000	1,437,500	5,000	3,774,750	12,616,015	16,390,765
八尾中央	250,000	1,590,000	1,840,000	5,000	2,040,000	11,084,640	13,124,640
東大阪西	162,000	1,050,000	1,212,000	3,000	1,038,000	8,142,140	9,180,140
大阪北淀	348,000	2,440,000	2,788,000	6,000	1,730,000	5,810,574	7,540,574
大阪東南	264,000	1,560,000	1,824,000	4,000	1,424,000	5,122,000	6,546,000
大阪阪和	242,500	2,050,000	2,292,500	5,000	1,243,500	5,140,000	6,383,500
豊中千里	200,000	300,000	500,000	5,000	1,112,500	2,150,000	3,262,500
大阪堂島	244,000	2,110,000	2,354,000	4,000	1,102,000	8,710,000	9,812,000
大阪城	81,000	100,000	181,000	3,000	310,500	1,309,092	1,619,592
大阪船場	348,000	940,000	1,288,000	6,000	960,000	4,289,000	5,249,000
大阪梅田東	230,000	1,050,000	1,280,000	4,000	996,000	2,290,000	3,286,000
大阪天王寺	309,000	1,830,000	2,139,000	6,000	912,000	5,215,000	6,127,000
高槻西	205,000	0	205,000	5,000	575,000	600,000	1,175,000
吹田江坂	178,000	1,230,000	1,408,000	4,000	348,000	2,780,000	3,128,000
大阪本町	169,500	2,760,000	2,929,500	3,000	169,500	3,360,000	3,529,500
大阪北梅田	124,000	0	124,000	2,000	124,000	0	124,000
大阪ちゃやまち	124,000	0	124,000	2,000	124,000	0	124,000
その他	0	0	0	0	0	1,122,163	1,122,163

1992年7月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	7月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	7月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	69	−1	100.00	4	1	大阪なにわ	69	71	+2	94.29	5	63
東大阪	84	84	0	95.54	5	52	大阪南西	73	74	+1	96.11	4	48
東大阪東	67	70	+3	94.83	5	61	大阪西	113	113	0	95.40	4	54
東大阪中	60	60	0	97.50	4	32	大阪大手前	66	66	0	100.00	5	1
東大阪西	62	62	0	100.00	4	1	大阪大淀	70	71	+1	97.97	5	23
枚方	54	57	+3	95.86	4	51	大阪西北	79	79	0	97.04	4	37
枚方くずは	50	50	0	97.04	5	37	大阪西南	116	116	0	100.00	5	1
茨木	62	62	0	97.83	5	26	大阪船場	57	57	0	95.98	4	49
茨木東	58	58	0	96.89	5	41	大阪心斎橋	81	82	+1	97.10	5	36
池田	58	58	0	95.12	5	57	大阪城北	63	63	0	97.00	5	39
池田くれは	51	52	+1	94.54	4	62	大阪住之江	48	48	0	97.87	4	25
門真	31	31	0	91.67	5	70	大阪住吉	84	84	0	93.86	5	64
交野	49	49	0	95.88	5	50	大阪天満橋	105	105	0	95.28	5	55
箕面	68	67	−1	97.70	5	28	大阪天王寺	51	51	0	93.30	5	67
箕面中央	58	58	0	96.90	5	40	大阪東南	65	65	0	95.00	4	59
守口	87	87	0	98.32	5	20	大阪鶴見	54	56	+2	95.46	4	53
寝屋川	60	60	0	96.36	5	44	大阪梅田	67	67	0	97.68	4	29
大阪	311	314	+3	88.09	5	73	大阪梅田東	62	62	0	98.39	5	19
大阪阿倍野	61	64	+3	94.93	5	60	大阪うつぼ	78	78	0	98.12	5	21
大阪ちゃやまち	62	62	0	99.60	4	12	大阪淀川	97	97	0	96.31	5	46
大阪中央	69	69	0	100.00	5	1	千里	79	79	0	97.50	4	32
大阪堂島	62	62	0	97.58	4	30	摂津	48	48	0	87.90	5	74
大阪阪南	80	80	0	98.43	4	18	四条畷	25	25	0	95.28	5	55
大阪阪和	48	48	0	92.26	5	69	吹田	76	77	+1	100.00	5	1
大阪東	144	144	0	97.44	5	34	吹田江坂	50	50	0	100.00	4	1
大阪東淀	73	73	0	96.36	4	44	吹田西	66	66	0	100.00	4	1
大阪平野	62	62	0	99.00	5	14	高槻	71	71	0	98.07	5	22
大阪本町	62	62	0	97.58	4	30	高槻東	57	57	0	100.00	5	1
大阪城	23	23	0	91.42	5	71	高槻西	42	42	0	97.14	5	35
大阪城南	81	81	0	100.00	5	1	豊中	73	74	+1	96.69	4	43
大阪城東	72	72	0	98.86	5	15	豊中南	59	58	−1	100.00	5	1
大阪柏原	45	46	+1	97.82	4	27	豊中−大阪国際空港	64	64	0	95.09	5	58
大阪北	198	199	+1	92.88	5	68	豊中千里	38	40	+2	93.50	5	66
大阪北梅田	64	64	0	99.21	4	13	八尾	78	78	0	98.50	5	16
大阪北淀	53	53	0	98.46	5	17	八尾中央	50	51	+1	97.96	4	24
大阪南	194	191	−3	93.59	4	65	八尾東	55	56	+1	96.30	5	47
大阪港	47	48	+1	89.32	5	72	クラブ数	期初会員数		月末会員数		増減	平均出席率
大阪難波	87	87	0	96.89	5	41	74	5,356		5,379		+23	96.59%

本年度地区委員会活動計画（その2）

◆世界社会奉仕委員会

委員長　堀内　　顕（八尾東）

I　活　動　方　針

「世界社会奉仕活動は、ロータリアンの成熟のバロメーターである。」今、世界社会は苦しんでいる。世界人口の2/3の人々は、栄養失調、飢餓、貧困のために、その日一日を生きるために苦闘している状態である。

ロータリーの世界社会奉仕(W.C.S.)は、地区と地区、またはクラブとクラブの協力、その他の方法で生活の向上、自立のための開発の援助を主としながら、国境を越えて奉仕をする部門である。

過去の顕著な実績に加えて、地区内ロータリアン全員参加を目指し、充実した意義ある奉仕が展開できるように地区プロジェクトを計画すると共に、情報の交換や協力を励まし、効果的な活動を実施するために努力する。

II　活　動　計　画

1．全クラブ内に世界社会奉仕担当委員を置くように奨励する。
2．W.C.S.奉仕の理解を深め、かつ積極的に協力し、活動できるように広報活動を行う。
3．援助の必要を調査、視察する旅を8月4日～8月14日の期間で実施する。
4．世界に頻発する災害発生時には、各クラブの協力を得て募金し、適切な救援活動に参加する。
5．各クラブからは一人当り 5,000円の拠出金を受け、地区合同のプロジェクトを実施、奉仕する。但し、会員一人当り 5,000円以上負担のクラブ単独WCS事業実施のクラブは除く。

◆青少年交換委員会

委員長　八木　頼夫（大　阪）

I　主な年間活動

1．交換学生派遣受け入れに関する折衝実務。
2．派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催。
3．交換学生歓送迎会。
4．ホストクラブ、ホストファミリーのオリエンテーション開催。
5．来阪学生に就いてホストファミリーよりの率直な意見の聴取。
6．来日学生を囲む新年会をREX(OB)学生と共に開催し、来日学生の4ケ月余の間における日本語能力向上度合を試聴する。
7．派遣された日本人学生よりのアンケート調査（待遇及び小遣い等に就いて）。
8．交換国へ派遣される日本人学生の為に交換国地区委員長並びに其の関係者よりのアドバイスに就いてアンケート調査をする。
9．来日学生が通学する高等学校選択の検討を続行する。
10．来阪学生の感想文発行並びに学生受け入れ高校、ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状贈呈及び帰国学生への青少年交換留学ディプローマ授与。
11．広島研修旅行、禅寺一日研修等を計画。

II青少年交換計画と交換ファンド

青少年交換は、国際理解、国際親善、善意の交換を目標とした手造りの奉仕活動であると考えられる。従って関係者の苦労と忍耐には心から感謝したい。

今年度（1992～1993年）と前年度（1991～1992年）の長期、短期交換の状況は別記の通りである。

青少年交換は一般の学生のみならずロータリアンによる多大の奉仕援助で成立するものであるから、ロータリアンの子弟の積極的な参加を求めたいと思う。

前年度より増額を頂いた結果、交換ファンドの為に地区の全員から年間 3,000円の拠金を頂き、それを交換計画実施経費として交換学生ホストクラブの援助費等に当てる事とする（長期交換に対してのみ）。

レックス(交換学生ＯＢ、ＯＧ)にその活動を充実していくよう援助し、来日及び派遣交換学生のオリエンテーション等に際して、各自の体験を生かし具体的な交換生活を説明させる。またレックス学生には、ローターアクト、インターアクトに入るよう薦め、ロータリーとの縁が切れないようにしたい。

毎年度、新たに長期、短期青少年交換に参加するクラブを見出し4～5年に一度は

各クラブが青少年交換を実施されるよう求めたい。

◆国際交流・平和委員会

委員長　松本　一夫（大阪中央）

1）メルボルン国際大会

1992～1993年の国際大会は、オーストラリア・メルボルンで1993年5月23日～26日の4日間開催されます。観光地としても大変人気のある場所なので、多くの参加者が期待されますが、あらゆる機会を通じてメルボルン国際大会参加をアピールしたい。

2）姉妹・友好クラブ

姉妹・友好クラブの交流も各クラブとも活発になってきてはいるものの、実際の具体的な交流がどのような形で行われているか、アンケート等を行って、各クラブの状況を把握し、ガバナー月信に掲載して、他クラブの交流を促す。又、まだ姉妹・友好クラブを持たないクラブに積極的にアピールしていきます。

3）友　情　交　換

地区各委員長会議およびガバナー月信等を利用して、知識の充実、各ロータリアンの意識の向上を目指す。

4）世界親睦活動（WFA）

色々な趣味を通じて国際交流を図っている親睦クラブがあるということを、委員長会議を通じて、各ロータリアンへ伝達し、その後実際に参加希望者がいれば、積極的に案内を行う。

5）平　和　委　員　会

1993年2月の国際理解月間中に各クラブにおいて平和プログラムを開催していただき、結果報告をしてもらい、ガバナー月信等で紹介する。

6）伝　　達

国際交流及び平和委員会に関する通知、伝達事項及び国際大会に関する事項はガバナー月信にできるだけ掲載し、各クラブへ伝達していく。

〈そ　の　他〉

各クラブにおいて国際交流・平和委員会のないクラブには設置のお願いをする。

◆ロータリー財団委員会

委員長　古田　敬三（大　阪）

ロータリー財団委員会の責務

1．ロータリー財団が世界理解と平和の為に極めて重要なプログラムを実行しつつあることを地区ロータリアンに認識して貰うことにつとめる。
2．地区ガバナーが地区内各クラブが財団プログラムを推進するにつき援助協力する。
3．財団各小委員会活動の調整を図る。
4．ガバナーの決定した1992～'93年度一般寄付額の目標達成に協力する。
5．財団の新しいシェア・システムについて地区内各クラブに説明、今後の理解協力を求める。
6．地区大会において表彰されるべきロータリー財団特別功労章、ロータリー財団功労章、ロータリー財団地区奉仕賞、各候補者をガバナーに推薦する。

◆財団国際親善奨学金委員会

委員長　塩川　二朗（千　里）

本年度の活動計画

1．1993～'94年度奨学金受領候補者の地区選考は、本年6月13日および20日の二次にわたって実施されたが、各候補者について地区確認事項を記載した申請書を、7月末までに財団本部に送付予定。
2．財団本部から合格内示の送付あり次第(10月頃)、奨学生および顧問ロータリアン合同の第1回オリエンテーションを開催し、来年3月に第2回として中間報告を行い、5月には壮行会を兼ねて第3回目を催す予定。また、その機会に適当な講師を招き、文化、宗教、経済、マナー等のレクチャーを実施する。
3．本年12月19日の各クラブ財団委員長会議では、奨学生の現況を報告するとともに、1994～'95年度から適用されるシェアシステムについて説明する予定。
4．1994～'95年度奨学生についての申請書受付は、クラブ受付締切りを1993年4月下旬、ガバナー事務所受付締切りを5月中旬とし、選考試験は6月中に二次にわたって実施する予定。

◆財団増進委員会

委員長　田中　穣二（大阪西南）

活　動　方　針

1）地区ロータリー財団委員長を中心として、財団各小委員会との緊密な連絡の下に、ロ

ータリー財団の意義や活動に対するロータリアンの認識と自覚を深めると共に、財団プログラム推進のための金銭的支持と参加をもとめる。

2) 本年度の一般寄付目標額を１人当り 120ドル以上とし、その達成につとめる。

3) 1994～'95年度より実施されるシェア・システムにつき検討し情報を収集する。

活　動　計　画

1) 増進委員会を適時開催して、地区および各クラブの現況を把握し、各クラブに必要な情報・資料を提供して増進につとめる。またガバナー月信11月号および４月号にその成績を発表する。

2) 各クラブに対してポール・ハリスフェロー、ポール・ハリス準フェローおよびマルチプルポール・ハリスフェローの増加をお願いする。

3) ９月26日(土)開催のクラブ財団委員長会議をホストし、各クラブ委員長と地区財団関係者との連絡を深め財団増進活動の円滑な推進をはかる。

4) ロータリー財団月間(11月)には各クラブにふさわしい行事の実施を要請する。

5) 財団創立75周年に際して要請されているベネファクター(1995～'96年度までに各地区で最低75名)の勧誘に努力する。

6) ＩＧＦ組別に委員が担当し、財団活動の報告と情報を提供する。

◆財団学友委員会

委員長　大井　勝利(東大阪西)

今年度の財団学友委員会の活動方針はPSC(パストサービスクラブ)を中心として活動致したく思います。

ＰＳＣと学友委員会の課題

(1)　ＰＳＣメンバーの自主的活動の定例会合の場所として喫茶店平野屋３階に集合し次年度出発予定財団奨学生とその顧問ロータリアン及び奨学生ＯＢであるＰＳＣメンバーと学友委員会委員との合同例会として実行したく思います。(2、4、6、9、11月第１金曜日午後6:30より)

(2)　年１回のＰＳＣ総会（今年度は８月22日(土)午後 5:30～YMCA会館)には1992年度帰国歓迎報告会にはオブザーバーとして次年度出発予定奨学生とその顧問ロータリアンも参加していただきたく思いますので関係委員会とも打ち合せをしたく思います。

(3)　帰国奨学生がスポンサークラブでの報告義務完了後、ＰＳＣメンバーとしてメンバー同志の交流を深め、将来ロータリークラブに入会する事に先駆けた奨学生Ｏ.Ｂ.を海外経験を生かせるようにする事が我々の財団学友委員会の大事な役目であると思います。

(4)　財団学友委員会とＰＳＣの役割り

(イ) 財団奨学生は出発前にロータリーの理念を学ぶ機会が少なく、留学先の国と志望校には興味を多分に持っているが、ロータリー活動を理解して奉仕の一部として奨学生制度を活用しようという目的意識を持つことが大事だと思われますのでその点について一緒に話し合いをしたく思います。

(ロ) 帰国後義務的にスポンサークラブとその近隣クラブへは海外体験談の卓話に行くが、その後ロータリーの経験を継続的に将来に結び付けて自己啓発の機会がない為、帰国後ロータリークラブとの交流において距離感が出来、数年でロータリーと自然疎遠となる為、そのクラブの顧問ロータリアンに財団学友委員として連絡をし、たえずコミュニケーションが図れるようにしたいと思います。

(ハ) 仲前委員長が整備された財団学友会の名簿が完成次第各クラブのロータリー財団委員長及び歴代顧問ロータリアン（各クラブを通じて）並びに学友会全員に送付致します。

(注) (1)のＰＳＣメンバー定例会場の平野屋を８月より大阪国際交流センターホテル内レストラン(パンジーステンドの間)に変更致します。開催月も２、４、６、８、10、12月と隔月開催致します。（第１金曜日午後６時30分より)

◆研究グループ交換委員会

委員長　細江　　重(大阪東淀)

方　　針

1．本年度にはG.S.E.は実施しないが前年度D7690ノースカロライナチームの受入れについての友省、並びに次年度にはD5650ネブラスカとの受入れ派遣を単年度内に実

施せねばならないので、可能な限りの準備に務める。

2．D5650ネブラスカとのG.S.E.は、1993(平成5)年秋に来阪、1994(平成6)年春に派遣との合意を得ているので、本年度末には派遣メンバーを決定し、来日受入れの時には合同活動するべく準備する。

3．次々回のG.S.E.はD1760南フランス或はD2400南スウェーデンと組合せ希望が合致した段階であるが、進展実施させるよう鋭意交渉を重ねる。

計　　画

1992年

7月　第1回委員会（委員会の統一方針の決定、ノースカロライナ受入れの反省）

8月　第2回委員会（ネブラスカとの受入れ派遣計画立案開始、派遣団募集計画開始）

9月　第3回委員会（受入れ地区内ブロック編成計画）

10月　第4回委員会（受入れ計画大綱完成、南フランス、南スウェーデン交渉）

11月　第5回委員会（受入れ計画実施開始、補助金申請作製）

1993年

2月　第6回委員会（派遣団員募集開始、受入れ計画の細部調整）

3月　1992～'93年度地区大会に於ける決議案作成。

4月　第7回委員会（受入れブロックのプログラム調整）

5月　第8回委員会（派遣団員選考、受入れ計画決定）

6月　派遣団員第1回オリエンテーション

◆米山奨学委員会

アドバイザー　永野啓之介(豊中-大阪国際空港)

I　募金目標

●1人当り　2万円

●地区総額　約1億1千万円

(1)普通寄付

1人当り、5千円以上をお願いする。

(2)特別寄付

準功労者となっていただくようにお願いすると共に、免税措置を強調し、米山ファンドフエロー、米山功労法人の増加に努める。

II　1993学年度米山奨学生選考について

申し込み受付期間　10月1日～10月15日

米山記念奨学会より奨学金申込書のコピーがガバナー事務所に送付されたら専門委員(ロータリアン)を委嘱し、12月に書類選考を行なう。'93年2月に、一般委員（ガバナー、ガバナーノミニー、地区担当理事、部門担当P.G、委員長）と専門委員にて面接試験を行う。（クラブ米山奨学金制度の受付け―3月1日～3月11日、8月1日～8月15日）

III　米山月間（10月1日～10月31日）

各クラブで、米山奨学生、クラブ米山奨学委員長による卓話を推奨する。依頼があれば地区委員、米山奨学生、学友を斡旋する。特別寄付の増加を推進する。

IV　1992学年度米山奨学生（1992年4月～1993年3月）

継続受給者	17名	延長1名
新規奨学生	学部奨学生	4名
	大学院〃	14名
	地区米山〃	A1名、B10名
	特別米山〃	(OB)3名
		50名

奨学生には、諸会合に極力出席を奨励し、ロータリアンとの交流をはかる。

V　米山学友会（関西）への援助

現及び元米山奨学生間の交流を通じて、親睦及び互助を促進する。米山奨学事業の発展に寄与することを目的として設立された米山学友会(関西)の活動を支援する。

VI　諸行事日程

●全国地区委員長会議（東京）（9月2日）

●クラブ委員長会議（9月4日）
於薬業年金会館

●米山月間（10月1日～10月31日）

●1993学年度米山奨学生募集
10月1日～10月15日

●米山学友会（関西）交流会

●米山奨学生レクリエーション（11月）

●米山奨学生終了者歓送会
(1993年3月7日)　於新阪急ホテル

●新規米山奨学生オリエンテーション(5月)

●地区委員会　5～6回／年

VII　そ　の　他

昨年度の重要活動方針として、現地選考の考え方の促進について(財)米山記念奨学

会への働きかけに努力しました。奨学会でも種々の委員会を開き討議されました。近い将来にこれを実現することは大変むつかしい状況ですが更に努力を進めてまいります。

◆拡　大　委　員　会

委員長・カウンセラー　池田　幹雄（大阪南）

活　動　方　針

本年度のクラブ拡大については、少くとも2クラブの設立を目標とするよう要請されているので、その達成に努力したい。

活　動　計　画

(1)　大阪市域南部及び西南部区域を重点として1クラブを新設すべく、すでに大阪南ロータリー・クラブは自らスポンサーとして、クラブ設立の可不可を検討して来られた。ついに前年度末にはクラブ拡大委員会を組織・編成して活発な活動を開始された。

新クラブの区域限界は、大阪南、大阪難波、大阪なにわ各ロータリー・クラブと共有する方向にあり、クラブ名、例会場等も近く成案を得られる模様。

(2)　大阪天満橋、大阪大手前ロータリー・クラブの区域限界内である大阪城東部方面は城見町を中心として、近年企業の集中著しく頓に殷賑の度を増している。

大阪大手前ロータリー・クラブは、本年恰も創立10周年を迎えるに当り、その記念事業の一環として、区域限界を共有する1クラブを設立すべく準備を進められてきた。去る年度末には、ガバナー特別代表に服部昌美会員を、ガバナー拡大補佐として、阪本昌三会員の両氏が委嘱され、拡大準備が着々と進行している。

(3)　なお委員会は、北摂淀川左岸各都市の人口動態を研究しつつ、クラブ拡大の可能性を模索している。

◆ロータリーの友委員会

地区委員　伊藤　隆彦（大阪南）

I　「ロータリーの友」委員会

ロータリーの友委員会は原則として奇数月の第一月曜日に東京において開催されます。

今年度は7月1日東京プリンスホテルにおいて、新地区委員オリエンテーション、新旧委員合同会議、懇親会を行い、新年度の諸事項を検討し併せて運営方針を決定いたします。

II　「ロータリーの友」への出稿

地区委員として「地区のたより」「わがまち・わが地区」のページの編集を担当します。

1．地区のたより　　'93年5月号

2．わがまち・わが地区　'93年1月号

尚、一昨年まで毎7月号に掲載されました地区の概況は昨年より除かれました。

III　活　動　方　針

山中文和ガバナーの方針の下ロータリーの友委員、地区広報雑誌委員長、クラブ雑誌委員長と協力して、親しみ易く、役に立つ「ロータリーの友」となるよう広く会員の投稿を呼びかけ、お願いしていきたいと思います。

◆財　務　委　員　会

委員長　池田　一郎（大阪南）

1．　1992～'93年度の収支予算は、収入（前期繰越金を含む）については、10,175万円と前年度より、575万円（6％増）多く計上した。支出については、各委員会の要求について充分考慮したが、全体的には8,769万円と前年度より、251万円(2.8％減)の減少となった。

2．　収　　入

(1)　前年繰越金については、直近の実算に基づき前年度より200万円増の1,700万円とした。

(2)　地区資金については、前年度データーを分析して、250名の会員増加を見込み5,550人、前年度より375万円の増加とした。

3．　支　　出

前年度予算及び実績並びに本年度事業計画を参考とし、一部の委員会について増額または減額した。

(1)　広報雑誌委員会

「ビデオ・スライド銀行」の製作は、前年で終ったのでこの分300万円の減額とした。

(2)　社会奉仕委員会

社会奉仕事例集の刊行を予定しているので、前年度より18万円の増額とした。

(3)　インターアクト委員会

インターアクトクラブを1クラブ結成する予定なので、その費用として40万円増額した。

(4)　ローターアクト委員会

30万円増額した。

(5)　研究グループ交換委員会

今年度は受入年度ではないが、オリエンテーションを4回中3回開く費用と、選考

委員会の費用を予算計上するに止めた為、532万円の減額とした。

(6) 拡大委員会
5万円の増額とした。

(7) 会議費は、地区委員会の分を40万円増額するに止めた。

(8) ガバナー事務所経費については、前年度より267万円(10.7%増)増額したが、主に人件費と借室料である。

4. 以上種々の角度より検討し本年度予算を作成しましたが、各委員会におかれましても、予算内の執行にご協力を賜りたく、お願いを申し上げる次第であります。

◆地 区 大 会

委員長 酒井 芳申(大阪南)

(1) 前年度が始まると同時に、ガバナー、地区代表幹事とプログラム委員会を中心とするメンバーで打合せ会を発足させ、ガバナーの基本方針を充分に確認しながら全体の構想を練って来ました。更に本年5月からこれを実行委員会に移し、細部に亘って検討し逐一実行に移していく予定です。

(2) 地区大会の日程及び開催場所
平成5年(1993年)4月23日(金)
於ロイヤルホテル
会長・幹事懇談会
部門別懇談会
RI会長代理夫婦歓迎晩餐会
夫人プログラム
平成5年(1993年)4月24日(土)
於フェスティバルホール
本 会 議
尚、記念ゴルフ大会は、4月22日(木)茨木カントリークラブで行います。

(3) 地区大会の内容については、過去の当地区、他地区の大会運営を参考にしながら、ガバナーの“楽しい地区大会”と云う基本方針に添い、形式にとらわれない、楽しくかつ有意義な、参加者の心に残る大会にしたいと思います。

(4) 地区大会事務局
〒542 大阪市中央区難波5—1—5
(株)高島屋本社秘書室
大阪南ロータリークラブ
事務局内
電話 06—631—1262
FAX 06—631—9851

訃 報

荻野 良雄君(大阪梅田RC)
平成4年7月23日逝去(享年83歳)
明治42年2月28日生まれ
昭和52年6月29日入会(創立会員)
1992～'93年度副会長
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お 知 ら せ

◆大阪ちゃやまちRCのビジターフィの変更

(旧) 4,000円 ➡ (新) 4,300円
例会所臨時変更のお知らせ
9月14日(月) 12:30～ “ル・シェル”(梅田)
9月28日(月) 〃 TEL:06(372)5100

◆大阪難波RCの年会費の変更

(旧)300,000円 ➡ (新)330,000円

◆訂正とお詫び

月信8月号(No.2)に誤りがありましたので、訂正とともにお詫び申し上げます。
P.9 東大阪中RC事務局
〒543 大阪市天王寺区砂辻町5-5 丸善88 シティハイツ303号
⬇
㊟〒543 大阪市天王寺区右ケ辻町5-5 丸善88 シティハイツ3003号

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

10月

Oct.1 1992
NO.4

ROTARY INTERNATIONAL

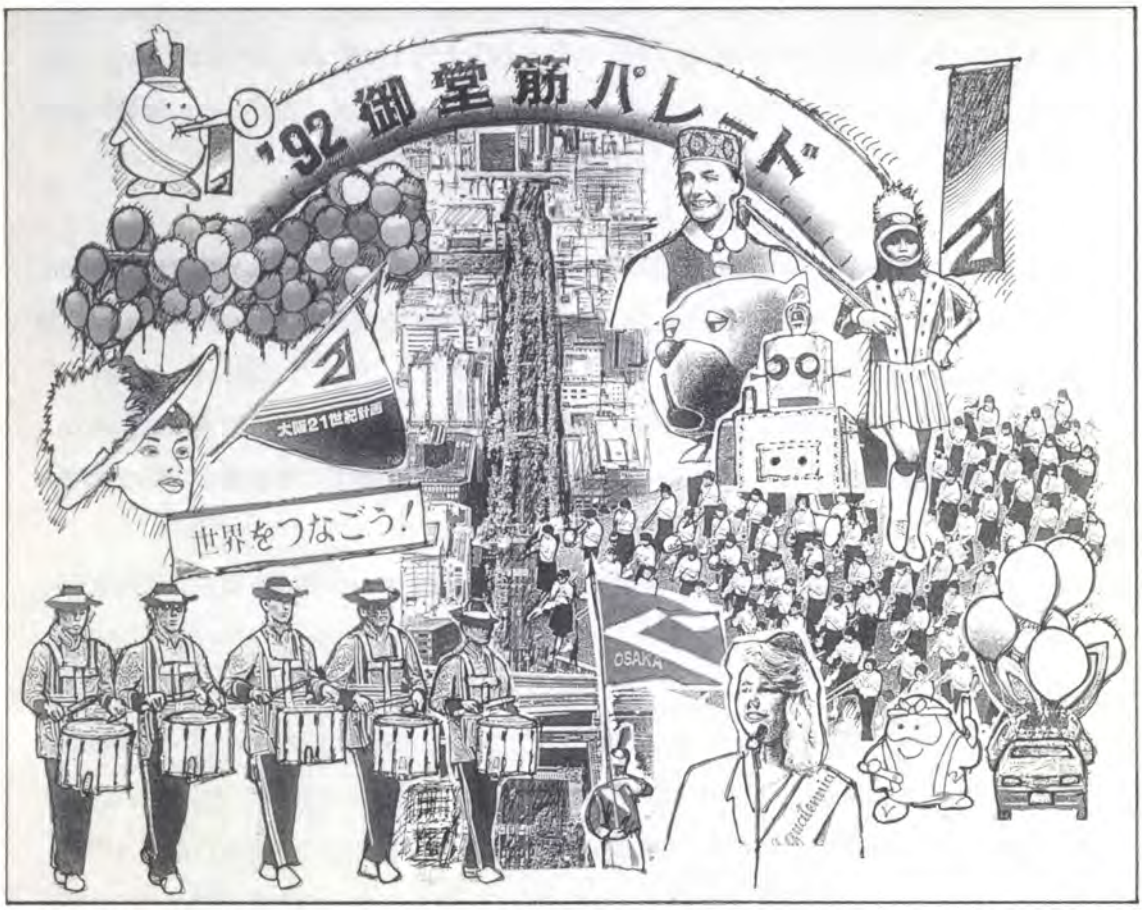
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和



御堂筋パレード

（木村光佑）

職業奉仕月間に因んで

ガバナー 山中文和

心からすがすがしい朝夕を感じる頃となりましたが、会長さん、幹事さんはお元気でご活躍のことと存じます。

ロータリーとは職業奉仕（VOCATIONAL SERVICE）を目的としたクラブであると言って過言でありません。

ロータリーの綱領の先づ最初に「ロータリーの綱領（目的）は有益な企業の基礎として奉仕の理想を鼓吹育成するにある」と明記されております。

「OBJECT OF ROTARY」をロータリーの綱領と訳しているので解りにくいが、「ロータリーの目的」と翻訳すると解かりやすいと思います。むしろ、ただ一つの**単数**の目的でありましょう。

世に多くの奉仕団体はありますがこの様に職業奉仕を根幹とする団体は他にありません。

87年前に出来たロータリーが今や115万以上の友を有する一大組織となり四つの奉仕部門に大きく発展して来ました。

また、ロータリーの綱領（目的）の第2項に事業及び専門職務の道徳的水準を高めること；と記されている如くロータリーの**職業奉仕は職業倫理の向上こそが最も大切**なのであります。

我々は事業において適正な利益を得る事は当然でありますが、利益を得る方法が大事なことなのです。

身近な問題として、

○お客様をだましてより多くの利益を得るようなことはないだろうか。

○従業員をだまして利益をあげていないだろうか。

○自分のおかした過失により出来た事故を自分の部下の責任にしてはいないだろうか。

○日々の感謝のための盆暮れの贈物の限度をこえて、自分（自分の企業）だけがより多く

の利益を得るために贈り物をしてはおらないだろうか。

等々**自問**する事も大きな職業奉仕です。

「職業奉仕は何のことだか解らない」と言うロータリアンが多いようですが「人のために尽す道はいろいろあるが日常不断にできるのは自分の職業を通じての奉仕だ。その実践こそがロータリーの本領である」とある先輩は言っておられます。

また、当地区の今は亡き塚本義隆パストガバナーは次のように言っておられます。

「職業と言うと「生活のための仕事」と解釈されるのですが英語では、

BUSINESS, JOB, OCCUPATION, PROFESSION, TRADE, VOCATION 等多くの表現があり、この中でロータリーが特にVOCATIONを選んだのは深い思慮があってのことと思います。

即ち、VOCATIONはラテン語のVOCATIO（神のお思し召し）から出ている言葉で**天職**という使命観を含んでいるからです。そこにはたとえ自分のための仕事であっても同時に人間全般のために役立てると言う心掛けがあるべきです。ロータリーの言葉の中には「有益な事業」とか「有用な業務」とか言う言葉が使われるのはこの様な意味なのです。」と言われています。

塚本パストガバナーは、また「ロータリーの道徳律」を翻訳されていますがその中で、

（第三）われは実業人であり、成功するべく大望を抱くのは事実である。さりながら、われは先ずもって徳義を重しとする人間であり、最高の正義と道徳にもとづかざる成功は、これを欲するものではないことを自覚する。

（第九）社会通念の上から普通人が拒絶するような機会を不当に利用して、これによってかち得た人の成功は、これを合法ないしは徳義に叶うものとは認容しない。同様に道徳的に疑問があって他人が退けている機会をば、わが物質的成功のために利用するが如きは、われは決してこれを行わない。

そしてなおまた、夢窓国師の言葉を引用され**「君子財を愛す。これを取るに道あり」**と言っておられるのは古い言葉使いですがうまくその心を伝えていると思います。

近頃は、あらゆる分野で職業道徳の低下を伝えるニュースが溢れるように全世界を流れている。まことに残念ながら我々のまわりもその例外ではありません。

ぜひ、我々ロータリアンがお互い戒めあって職業倫理の向上に日々努めたいと念願するものであります。

職業奉仕月間に贈る

パストガバナー　松本　良諄

職業奉仕はロータリーの金肩板であり、ロータリー活動の中心をなすといわれるが、今一つ分り難い、特にクラブ活動としては扱い難いと考えている人が多いようである。

私も新入会員の頃「職業奉仕は自分の職業を通じて社会に貢献することである」と教えられ、考えたものである。入会する前、或はロータリーに入らない人でも、大抵「自分の仕事は社会のために有用であり、社会の役に立っている」と思っているので、ロータリーが、特に職業奉仕と銘打って、社会奉仕や国際奉仕よりも基本的な奉仕といわなくてもよいではないかと考えたものである。

その後、ロータリーでは、会員は職業を基盤に入会を認められ、先ず職業奉仕を通じて、自らを奉仕の理想の実践者として確立し、その後、他の奉仕に及ぶべきこと、即ちロータリーは職業倫理の高揚を目指して切瑳琢磨するロータリアンの集りで、これが類似の団体には見られない特色であることが分ってきた。

ロータリアンは自己の職業上の生活において、常にロータリーの綱領を念頭におき、良心に照して自問自答するもので、職業奉仕は、専ら個人的にしてしかも内面的な奉仕である。従ってクラブ活動としては捉え難いが、クラブ或は地区、R.I.が職業奉仕を鼓吹育成するために行う団体奉仕は奨励されている。

さて近時、社会の指導的立場にある人達の法律上ないし道徳上由々しい不祥事が跡を断たず、実に寒心にたえないところである。青少年の教育にも悪影響を及ぼすのでロータリーとして、どう対処すべきか、クラブで討論の機会をもたれるよう奨めたい。

ロータリーは80数年の間に、二つの標語、四つのテスト、道徳律、職業宣言、決議23－34等公式の活動指針をはじめ、個々のロータリアン、クラブ、地区、R.I.それぞれに永年実践してきた貴重な蓄積をもっているが、その中から約60年前の、いわば骨薫品を、職業奉仕月間のプレゼントとして贈りたいと思う。

それは昭和11年に神戸で開かれた第70地区の地区大会で、大会宣言に擬せられた大連R.C.（旧満州）のロータリー宣言の一部である。

「第一　須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは、因って世を益せんが為なり。故に吾人は道義を無視して所謂事業の成功を獲んとする者に与(くみ)せず。

第二　成否を云うに先立ち、退いて義務を尽さんことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せんことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。

第三～第五　略」

以上

「米山月間」について

ロータリー米山記念奨学会地区担当理事　種田　憲次

§米山奨学事業の特色

たんに奨学金を支給するだけでなく奨学生ひとりひとりに世話クラブとカウンセラーを決め、彼等の相談相手になっていることです。

1992年度		世話クラブ数	
全　国	689RC	2660地区	44RC

当地区では69RCが世話クラブの経験があります。

§主な奨学金と奨学生数（1992年度）

	全　国	2660地区
学部奨学金	268名	5名
大学院奨学金	378名	31名
地区米山……A	2名	1名
地区米山……B	117名	10名
1992学年度の奨学生	823名	50名

§選考・オリエンテーション・歓送会

10月1日～15日が申込の期間です。11月から12月の間に第1次選考が専門委員・一般委員によって行われ、面接試験受験者を決めます。

来年の2月に一般の奨学生と地区米山奨学生に分けて第2次選考が行われ、3月末に合格者が米山奨学生になります。4月に奨学生の世話クラブ・カウンセラーが決まります。5月に新規米山奨学生に対しオリエンテーションを行います。

2年間の奨学期間終了者に対し、3月に指導教官、カウンセラーをお呼びし、歓送会をして米山奨学生終了証のプレイトとガバナーからの記念品が贈られます。

§寄付金と表彰制度

普通寄付金

全ロータリアンから、クラブ毎に会員1人につき年額1,000円以上を定額で寄付するもの。当地区では最低3,000円～最高1万円になっています。（平均4,951円）

特別寄付金

個人、クラブ、法人として寄付するもので免税措置があります。

米山ファンドフェロー……15万円寄付　　米山功労法人……35万円寄付
米山功労者……30万円寄付　　米山特別功労法人……105万円寄付

クラブの普通寄付と特別寄付の合計が1,000万円に達しますと、1,000万円達成クラブとして表彰されます。

	全　国	地　区		全　国	地　区
1,000万円達成	384RC	28RC	3,000万円達成	14RC	2RC
2,000万円達成	95RC	16RC	4,000万円達成	13RC	4RC

今年度も米山奨学事業に一層のご理解とご支援をお願いします。

クラブ便り

◆大阪うつぼロータリークラブ「うつぼ基金」懸賞論文

『あなたは今、社会に何を奉仕できますか』

平成４年６月26日(金)私達うつぼロータリークラブでは、最終例会に先立ち17時30分よりＲＩ2660地区ガバナー菅生浩三氏、大阪市立大学前学長崎山耕作氏をお迎えして、表題の懸賞論文入選発表式が行われました。

当日の内容にふれる前に「うつぼ基金」について、少しご説明を致します。

当クラブ創立10周年を翌年にひかえた平成２年、10周年を単に記念式典だけで祝うのではなく、それを記念してクラブが存続する限りロータリーの理念の実現に値するような何かを創設・活動しようという主旨のもと、このうつぼ基金が設立されました。

又、この基金の目的や社会的意義についてはクラブ会員全員によるアンケートやうつぼ基金運営委員会において論議を尽し、最終的に

青少年の「創造力の育成」「奉仕する心の育成」「奨学金制度」

の３つの目標をもって社会に貢献する基金と位置づけ、本年第１回は「奉仕する心の育成」にスポットを当て「あなたは今、社会に何を奉仕できますか」のテーマで懸賞論文が募集されました。

ポスターやリーフレットをつくり府下の各ボランティア関係の団体や学校、青少年団体に配布し掲載をおねがいしたり、又、朝日新聞、大阪新聞のご協力もいただいた結果43通の力作が集りました。応募者を年齢でみますと80才から16才まで職業でみますと会社員、公務員、福祉関係、看護婦さん、主婦、ＯＬ、学生さんと多岐にわたり内容面では、夫々実際に体験された身近なことに基づいての貴重なご意見ばかりでありました。

その中から栄えある一席に輝かれたのは、青木恵子さん（ボランティア関係の学生さん21才）の作品で彼女は交通遺児の為の募金活動に参加した体験を通じ、奉仕とは自分が出来る身近かで小さなことから自からの意思で積極的に参加してゆくことであり、何よりも大切なことは、何かをしてあげるというのではなく、何かをする機会を得られたことを感謝することを知り得たと力説し、現在、介護福祉士にむけて頑張っておられる様です。

これら43通の作品は本当に甲乙つけ難くご審査いただきました菅生ガバナー、崎山前学長には大変なご苦労をおかけ致しました。

とりわけ菅生ガバナーには国際大会参加の為アメリカへ出発なされる直前やっと全作品をおとどけすることになり旅中ご精読いただき又当日入選作品についてご懇篤なご講評を賜り改めましてお礼申し上げます。

又崎山前学長には「奉仕と人権」と題し健常者の論理は弱者の人権を踏みにじってはいないだろうか？人権を尊重し「してあげる」から「させていただく」という謙虚な姿勢を持ち続けようという含蓄あるご講演をいただきました。今回集った作品はいずれもいきいきとボランティアの現場の声を伝えており、ある時は個人である時はグループで奉仕活動を行う多くの人達と、質の高さに今はまだ小さなこの水滴をいつの日か大河にしようとする私達の運動の意義を今あらためて痛感しています。

このうつぼ基金の活動は、クラブ創立20周年の年まで続けてまいります。

文責 '91～'92　幹事　蓮舎　勝克

第１回提唱RC・ローターアクト地区正副委員長会議報告

地区ＲＡＣ委員長　北村　英一(吹田)

日　時　1992年７月30日(木) 14:00～16:30

場　所　薬業年金会館４Ｆ

出席者　山中ガバナー、戸田担当パストガバナー、大森ガバナーノミニー、中田地区幹事、地区委員６名、提唱クラブ正副委員長38名

特別参加：大阪梅田、東大阪東ＲＣ４名、磯田ローターアクト地区代表

山中ガバナー及び戸田パストガバナーの挨拶に始まり、北村委員長の年間指針の説明に続いて磯田地区代表のアクト活動計画のインフォーメーションが行われた。次いで各提唱クラブから活動計画についての説明並びに今後のＲＡＣのあり方についての討議があり、途中休憩時間を利用して前年度ＲＡＣ活動のビデオを上映、９月に行われる海外研修旅行の説明の後、ガバナー及びガバナーノミニーから講評、地区幹事、前委員長から御意見を頂き閉会。

今回の委員長会での一番の喜びは、今年度最大目標としていた新クラブ結成の呼びかけに早速応えて頂いて、今年度既にローターアクト委員会を発足させた大阪梅田、東大阪東ＲＣの会長、委員長等４名の出席を得た事である。両クラブは今年度中に新クラブ結成の予定を組まれ、着々と準備を進められている事は、既提唱クラブの会員増強とその活性化にもたいへん励みになるであろう。

2660地区内から更に両クラブに続くクラブが名乗りをあげて下さる事を期待して止まない。

クラブ広報・雑誌委員長会議報告

広報・雑誌委員長　足達　忠利(吹田)

日時　1992年８月１日(土) 13:30～14:45

於：薬業年金会館

- ロータリーの活動を外部の人達にどのように広報し、理解を得るのかを中心に討議した。その方法の一つとして、地区からは毎月「ロータリー広報ニュース」を発行し、ロータリーの活動状況をマスコミを中心に約50社に報告している。各クラブ単位の奉仕活動を記事としてとりあげてもらえる確率が高いので、各クラブから地区へどしどし情報を送ってほしいと要請した。
- 各クラブでの活動を外部に広報するには、どのような方法があるのかを詳しく説明した。
- 「ビデオ・スライド銀行」が制作したビデオ作品の内「インターアクト」と「山のライラ、海のライラ」の２本を上映し、各クラブでの卓話の時間にぜひ、上映していただき、ロータリーの活動を会員にも広報してもらうよう強くお願いした。
- 地区雑誌委員会と「ロータリーの友」地区委員との役割の違いをまず説明。
- 山中ガバナーより「全国会員名簿」を一冊でも多く購入してもらうよう要請があった。
- 毎年４月の雑誌月間用の資料として「ロータリーの友」に関する情報を詳しく報告、また、全国のロータリアンの「友」に対する意見も要約して説明した。
- なお、広報及び雑誌委員長会議両方に山中ガバナー、菅生直前ガバナー、大森ガバナーノミニーのご出席をたまわったことをご報告します。

第1回・クラブ規定情報委員長会議報告

地区規定情報委員長　土井　正裕(大阪北)

日　時　1992年８月20日(木)
14:00～16:30

場　所　薬業年金会館

出席者　山中ガバナー、大森ガバナーノミニー、種田パストガバナー、菅生クラ

ブ奉仕部門担当パストガバナー、地区規定情報委員（委員長以下６名全員）、村岡担当地区幹事。
クラブ規定委員長、ロータリー情報委員長（計104名）。

議　事

地区側出席者の紹介、山中ガバナー、菅生担当パストガバナーの挨拶に続き議事に入った。

1）改正「標準ロータリークラブ定款」、「推奨ロータリークラブ細則」の説明。

日本支局から送付された定款・細則の条文及び当地区で作成した新旧対照表により地区規定情報委員長が改正点を詳細に説明した後、質疑応答に入ったが、メークアップの方法の改正（標準クラブ定款）、クラブ社会奉仕部門組織の改正（推奨クラブ細則）等に関する質疑が活発に行われた。

なお、国際ロータリーの定款・細則等の改正を織り込んだ日本語版『手続要覧』（1992）は、11月１日完成を目標に日本支局で作成作業中であり、各クラブが入手される時期に、第２回クラブ規定情報委員長会議を開催し、国際ロータリー細則等の改正点について説明することを予定している。

2）「クラブのロータリー情報活動に関するアンケート調査」結果の報告。

ロータリー情報に関するシステムマニュアルの改訂その他地区委員会活動の参考に資するとともにクラブの委員会活動の参考に供するために行った標記アンケート調査の結果（回答クラブ数70）について、地区規定情報委員長から、配布資料により概略の説明を行ったが、時間が不足し意を尽くせなかったので、資料を十分読み頂くことをお願いして、ほぼ定刻に会議を終えた。

社会奉仕委員長会議報告

地区社会奉仕委員長　新津　敬直（大阪西）

1992年９月７日、山中ガバナー臨席のもと開催されました。

議　題

Ⅰ．高齢者問題

①高齢者作文

ホストクラブ大阪住吉ＲＣ募集・審査を終え、９月９日、西区子供文化センターにて表彰式。　（新津委員長）

②老人ホームで働く寮母さん達への慰問　（新津委員長）

③第３回海遊館招待行事

平成５年４月９日に開催前２回の反省点に立ってよりよい方向に向って実施する。　（亀井委員）

④ＧＳＣ（グランドシニア会）

平成３年８月31日の地域対策合同委員長会議におけるフォーラムの成果により結成を皆様に呼びかける。

詳細に理由を説明。

74ＲＣの中で90才以上９ＲＣ。　（新津委員長）

高齢者の声作文

この企画は、昭和54年に大阪北ＲＣと大阪市教育委員会の共催で開始され、参加ＲＣが年ごとに増え、第９回からは大阪市内全ＲＣの参加を得て、本年で第14回を数えます。

ホストクラブの大阪住吉ＲＣの会長さんをはじめ、皆様の大変な努力で５月12日、市内ＲＣ社会奉仕委員長会議で募集・広報を７月９日には審査。９月９日には、子供文化センターで発表、表彰。第２部では平均年齢72才によるシルバーコーラス、コンガを主としたラテン調で、皆と共になつかしい歌の数々を

歌い、来会者一同、満足して帰られました。

応募作品は 388で市長賞１、教育委員会委員長賞５、ＲＣ会長賞５、市内ＲＣ賞35を差し上げました。

本年の作品は特に高齢者の方々が非常に明るく積極的に生きていこうという姿勢が、うかがわれました。

尚、廣瀬社会奉仕担当パストガバナーをはじめ、ロータリアンが45名も参加され、会場がいやがうえにも盛り上がりました。

80才以上44ＲＣ、70才以上66ＲＣ
趣意書を各ＲＣの70才以上の方全員に配布し、皆様の御意見を聞き、発足を期待。

II．社会福祉

① 平成４年７月２日、身障者自立施設太陽の家へ各ＲＣ委員長全員で研修に行き感動を受けられたことと存じます。その後、数クラブで訪問しておられます。
（新津委員長）

② 身障者雇用
身障者技術取得の施設を紹介し、障害者雇用継続助成金とヘルスキーパーのパンフレットを配布し、雇用には職業安定所にリストがあり、そこを通じて雇用を推奨する。（新津委員長）

③ 視覚障害者とのふれあいとチャリティコンサート招待（大阪城東ＲＣの開催）
（福田・木下委員）

④ 週末里親の推奨
（大橋委員）

⑤ 身障者等とロータリアンとのふれあい運動会（実行委員会　大橋委員／運動会内容　村岡委員）

以上、参加された方々は、ほとんどの方がノートをとられ、誠に実のある委員会でした。不参加ＲＣは、６ＲＣです。

クラブ米山奨学委員長会議報告

地区米山奨学委員長　増本　　猛

1992年９月４日（金）
於：薬業年金会館401・402室

例年になく残暑尚厳しい中、山中Ｇ、大森ＧＮ、武尾担当ＰＧ、種田地区担当米山奨学会常務理事、永野アドバイザー他、地区内各クラブの米山奨学委員長71名の参加のもとで熱心な会議がもたれた。

会議は来る10月の米山月間に各クラブにて委員長の方々が有効に月間行事を運営して頂く資料の提供や理解の助けとなればとの立場から、種田常務理事の〝ロータリー米山記念奨学会〟の組織と運営を中心に話され、次いで増本地区委員長から本年度の活動方針について説明があり。休憩後再び種田常務理事から奨学生の募集について各クラブの役割をかみくだいて説明され、最後に増本委員長から各クラブから返ってきたアンケートの結果報告をされて、各クラブの考え方の披露があり、質疑応答約１時間を有意義に持って定刻に散会した。

要は奨学会としては在日の外国人留学生に対して、国際理解と親善を深めるために、日本のロータリアンの寄付金によって、奨学金を支給援助する民間最大の奨学団体であることを、地区内全ロータリアンに十分ご理解願いたいための会議であった。

地区としての本年度の募金目標は、

１人当り２万円、地区総額約１億１千万円何とかこの程度のご協力を各クラブともお願いしたいと思います。

1992年8月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	7月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	69	68	−1	100.00	3	1
東大阪	84	84	0	95.20	3	56
東大阪東	67	70	+3	96.61	3	41
東大阪中	60	61	+1	96.00	5	51
東大阪西	62	60	−2	100.00	5	1
枚方	54	59	+5	96.29	3	47
枚方くずは	50	50	0	97.21	3	34
茨木	62	61	−1	99.39	3	17
茨木東	58	60	+2	97.21	3	34
池田	58	59	+1	93.77	3	61
池田くれは	51	54	+3	91.95	5	67
門真	31	31	0	93.06	3	65
交野	49	49	0	94.49	3	59
箕面	68	67	−1	98.37	3	26
箕面中央	58	58	0	97.12	3	37
守口	87	86	−1	96.36	3	44
寝屋川	60	60	0	96.36	3	44
大阪	311	315	+4	89.23	3	72
大阪阿倍野	61	64	+3	95.70	3	54
大阪ちゃやまち	62	61	−1	99.20	4	18
大阪中央	69	68	−1	99.50	3	15
大阪堂島	62	62	0	98.39	4	25
大阪阪南	80	82	+2	98.31	3	27
大阪阪和	48	48	0	92.33	3	66
大阪東	144	143	−1	97.32	3	32
大阪東淀	73	74	+1	94.51	4	58
大阪平野	62	61	−1	99.44	3	16
大阪本町	62	62	0	96.23	3	48
大阪城	23	22	−1	97.06	3	38
大阪城南	81	79	−2	99.59	3	13
大阪城東	72	73	+1	100.00	3	1
大阪柏原	45	46	+1	97.82	3	30
大阪北	198	201	+3	90.38	3	70
大阪北梅田	64	64	0	97.15	5	36
大阪北淀	53	53	0	95.61	3	55
大阪南	194	190	−4	93.22	3	64
大阪港	47	47	0	86.24	3	74
大阪難波	87	85	−2	98.01	3	28
大阪なにわ	69	71	+2	98.59	3	22
大阪南西	73	74	+1	95.76	4	52
大阪西	113	113	0	96.15	4	50
大阪大手前	66	66	0	100.00	3	1
大阪大淀	70	71	+1	99.52	3	14
大阪西北	79	80	+1	96.49	3	43
大阪西南	116	116	0	100.00	3	1
大阪船場	57	57	0	98.66	4	20
大阪心斎橋	81	82	+1	96.89	3	40
大阪城北	63	63	0	100.00	3	1
大阪住之江	48	48	0	100.00	4	1
大阪住吉	84	84	0	93.52	3	62
大阪天満橋	105	104	−1	96.22	3	49
大阪天王寺	51	51	0	90.20	3	71
大阪東南	65	65	0	95.74	3	53
大阪鶴見	54	55	+1	91.47	3	69
大阪梅田	67	67	0	97.87	3	29
大阪梅田東	62	62	0	97.31	3	33
大阪うつぼ	78	78	0	97.33	3	31
大阪淀川	97	97	0	96.53	3	42
千里	79	80	+1	98.61	3	21
摂津	48	48	0	91.85	3	68
四条畷	25	25	0	88.00	3	73
吹田	76	78	+2	100.00	3	1
吹田江坂	50	50	0	100.00	4	1
吹田西	66	67	+1	100.00	4	1
高槻	71	71	0	95.00	3	57
高槻東	57	57	0	100.00	3	1
高槻西	42	42	0	99.20	3	18
豊中	73	74	+1	98.53	3	23
豊中南	59	58	−1	100.00	3	1
豊中一大阪国際空港	64	64	0	94.20	3	60
豊中千里	38	41	+3	93.50	3	63
八尾	78	78	0	98.50	4	24
八尾中央	50	52	+2	97.00	4	39
八尾東	55	56	+1	96.30	3	46

クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率
74	5,355	5,382	+27	96.53%

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。 (1992)

中嶋康裕	東大阪RC
橋本公宏	池田RC
田中俊彌	池田くれはRC
福元輝雄	大阪中央RC
小林力	大阪南西RC
奥田孝夫	大阪梅田RC
堂前善宣	吹田RC
喜多村勲佑	大阪北淀RC
花原昭弘	大阪北淀RC
※西岡俊徳	大阪梅田東RC
寺野福男	茨木RC
荒木実	寝屋川RC
飯田成一	大阪南西RC
横溝豊	大阪南西RC
一里山泰造	大阪大淀RC
西川建次	大阪南RC
服部裕	大阪住吉RC
荒金和郎	大阪鶴見RC
田村實	四條畷RC

(※印＝2回目以上)

米山ファンドフェロー

次の方たちに米山ファンドフェローの称号が贈られました。 (1992)

黒田謙三	東大阪中RC
庄司修三郎	箕面RC
北野幸男	大阪中央RC
白井教雅	大阪中央RC
武田直和	大阪中央RC
西川正澄	大阪中央RC
新田久治	大阪中央RC
藤田義人	大阪中央RC
和田高明	大阪中央RC
山田秀雄	大阪鶴見RC
菅本憲一郎	大阪北淀RC
立川隆蔵	大阪北淀RC
石田晃	大阪阪和RC
網野正雄	寝屋川RC
河野芳夫	寝屋川RC
神戸昭典	寝屋川RC
田辺和宏	寝屋川RC
西川忠博	寝屋川RC
東森一	寝屋川RC
住友元夫	大阪RC
菊川起男	大阪大淀RC
城谷昌利	大阪大淀RC
長谷川英一	大阪大淀RC
矢野巌	大阪大淀RC
山田直七	大阪大淀RC

文庫通信 No.60

★ 職業奉仕月間に因んで ★

◎「職業奉仕」 (「ロータリアン必携」第3巻) R.I. 1987年 60頁
(目次) 職業奉仕とは何か／職業奉仕の機会／四つのテスト：人生の指針／事例研究／他
〔申込先 日本支局 ☎03-3355-5391〕

◎「奉仕こそわがつとめ (Service is my business)」 R.I. 1979年 140頁
(目次) 職業を品位あらしめる／愛すべき敵／現代のギルド／正直は失われつつあるか／
それは真実であるか？／人間関係の開拓者／心の通い路／協調の礎石／他
〔申込先 ロータリー文庫 (コピー)〕

◎「おゝロータリアン 職業奉仕とは」 金沢北R.C. 1975年 84頁
(目次) 職業奉仕とロータリー 神守源一郎／ロータリーの根幹とは 塚本義隆／職業奉仕
の指導と若手の問題にふれて 若松徳衛／他 〔申込先 ロータリー文庫 (コピー)〕

◎「我等のなりわい 職業奉仕の手引き」 D.362 1976年 106頁
(目次) 職業奉仕の原点 安野譲次／職業奉仕 ジェームス・E・ランベス／
座談会 職業奉仕はまほろしか？ 神守源一郎・斎木亀治郎・直木太一郎／他
〔申込先 ロータリー文庫 (コピー)〕

◎「奉仕こそ我が職業」("Service is my business" 抄訳) 和歌山R.C. 1980年 85頁
(あとがき)「我々の職業は人々のためにServeすることであり、それ自体が奉仕である」
小中義美 〔申込先 ロータリー文庫 (コピー)〕

◎「私の職業奉仕」 成田R.C. 1988年 171頁
(発刊にあたって) 職業奉仕月間に当り、会員の皆様方(65名)に経営理念、社是社訓、
私の好きな言葉、事業経営でご苦労されたことなどについて原稿を
お願いいたしました……。 〔申込先 成田R.C. ☎0476-24-0474〕

ロータリー文庫

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

	後藤　真澄	交野RC	6.12
	大宮　力以	交野RC	6.12
	羽渕　一司	豊中-大阪国際空港RC	6.16
	下平　健	豊中-大阪国際空港RC	6.16
※	渡邊　源治	豊中-大阪国際空港RC	6.16
	足立　陽一	大阪中央RC	6.26
	今西　義弘	大阪中央RC	6.26
	中西　一郎	大阪中央RC	6.26
	清水　安一	大阪中央RC	6.26
	杉谷　正廣	大阪中央RC	6.26
	高木　義輝	大阪中央RC	6.26
	高橋　克彦	大阪中央RC	6.26
	田中　久雄	大阪中央RC	6.26
※	依岡　孝明	大阪平野RC	6.26
	成瀬　宗	大阪RC	7.14
	森下　孝	大阪RC	7.14
	柏　壽	大阪RC	7.14
	中田　耕平	茨木RC	7.14
	柳本　久治	四条畷RC	7.15
	浅桐　紀元	大阪大手前RC	7.17
	三好　正三	大阪大手前RC	7.17
	田中　健	大阪大手前RC	7.17
	船田　芳一	大阪RC	7.20
	熊平　雅人	大阪RC	7.20
	仲崎　義弘	大阪港RC	7.22
	大山　勇	大阪港RC	7.22
	奥中　克治	大阪港RC	7.22
	井上　隆晴	大阪港RC	7.22
	平井　蠡	大阪港RC	7.22
	中北　清	大阪港RC	7.22
	舟橋　浩男	大阪港RC	7.22
	今川　佑一	大阪港RC	7.22
※	山中　文和	大阪南RC	7.22
※	溝辺　明夫	交野RC	7.23
	山口　愛彦	四条畷RC	7.28
	濱田鍒之助	大阪RC	7.29
※	川淵　秀夫	大阪RC	7.29
※	小松　健男	大阪RC	7.29
	谷　紀明	大阪鶴見RC	7.29
	森田　修輔	大阪南RC	7.29
	松本　晴次	大阪南RC	7.29
※	佐野　静夫	大阪南西RC	7.29
	片岡　洋一	大阪南西RC	7.29
	西村　忠雄	吹田西RC	7.29
	龍田　宇内	東大阪西RC	7.30

※印＝マルチ・フェロー

訃　報

北荘　香也君（大阪難波RC）
平成４年８月24日逝去（享年65歳）
大正15年10月31日生まれ
昭和55年１月31日入会
1991～'92年度　副会長
米山功労者

杉山　和隆君（大阪ちゃやまちRC）
平成４年８月30日逝去（享年70歳）
大正12年４月23日生まれ
平成4年1月27日入会　チャーターメンバー
職業奉仕委員長

金銅　一二君（枚方くずはRC）
平成４年９月８日逝去（享年68歳）
大正14年12月４日生まれ
昭和52年10月19日入会
1990～'91年度　副会長
1991～'92年度　会長エレクト

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆訂正とお詫び

２号11頁(正)大阪ちゃやまち
平成４．２．20
(正)大阪北梅田　平成４．２．17
認証日を上記のとおり訂正いたします。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

11月

Nov. 1 1992
NO. 5
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和

神農祭

（木村光佑）

「奉仕の理念の追求と提唱」

ガバナー　山　中　文　和

朝夕は、肌寒さをおぼえるようになったとは言え、一年中で最も活動的なシーズンを迎え、会長さん、幹事さん、ご就任以来４カ月を経て、いよいよお元気にてご活躍のことと存じます。

ガバナーは、当地区内における唯一人の国際ロータリーの役員ですから、今月は国際ロータリーの仕事（役割）に関して申してみたいと思います。

それは、３つあります。

①奉仕の理念の追求とその提唱

②ロータリーの拡大

③ロータリーの情報提供と奉仕の実践の媒介

で、あります。

この内、今日は、①の「奉仕の理念の追求とその提唱」について述べてみたいと思います。

「親睦と互恵」

1905年２月、今から87年前、不景気のどん底で人心が荒れに荒れていた頃、シカゴでポール・ハリス等４人が会合を持ちお互いが助け合って必要な品物を特に安く融通し合おうと言う目的で出発しました。

即ち、「親睦」と「物質互恵」の考えで出発したのは皆様ご存じのとおりです。

ところが、1906年の暮れ頃からはクラブ会員同士だけでなく、クラブの外の人々にも親切にし、また街のためになるようなことをしなければいけないと言う考えが生まれてきました。

ポールは、今までの「親睦」と「物質互恵」の外に「世のため、人のため」との考えを一段と強め、1907年シカゴクラブ３代目の会長に就任してからは今までの軌道修正をして「世のため、人のため」の一項を加え全会員に熱心にこれを説いた。この時点でシカゴクラブは150名に達していたかと思われるがそれからロータリーの高度の哲学を模索する時代に入ったと言えよう。

「人のため　世のため」

ポールは、シカゴロータリークラブ第３代の会長に就任して次の３つの方針を樹立した。

①シカゴクラブの増員

②他都市でのクラブの設立

③「人のため 世のため」と言う考えの推進

であり、特に③に力を入れ、ポールは来る例会、来る例会ごとに「世のため人のため」と言う考えを解いて「親睦とお互いの助け合い」との単純な考えで入会した人達を戸惑わせ、ついに多くの会員の顰蹙を買うようなことになっていく。

1908年１月には、ポールは進んで第４代会長に再任されることを望み、それが実現したときに、アーサー・シェルドンとチェスリー・ペリーの新人の入会を得た。

シェルドンは、ミシガン学派の職業倫理学を身につけていた書籍販売業者であるが、傍ら職業学校を経営していた。彼はロータリーの行動の中に職業を通じての“SERVICE”の理念の存在を

知り、ポールの考え方に同調し、これを支援した。

ポールは、入会後日の浅いシェルドンをクラブの宣伝拡大委員長に任命し、「人のため世のため」と言う自分の理念を推進し、実行していくのであるが、クラブ内はいよいよ騒然として、ついにシェルドンは反対派—親睦派の反撃にあい、委員長を降ろされる。

続いて、ポールも4代目会長の任期途中で会長を降り、親睦派の領袖ハリー・ラグルスにその椅子を譲る羽目となる。

「全米ロータリー・クラブ連合会」

その後、かなり激烈を極めた親睦・奉仕両派の論争を終息せしめたのは、アーサー・シェルドンと共に入会していたチェスリー・ペリーの絶大な組織能力による。

即ち、1910年8月、全米各地にでき上がっていた16のロータリークラブの連合会を結成することに成功した。

この連合会は、

①奉仕の理念の推進

②ロータリーの拡大を目標とし、更に

③各クラブ間の連絡調整の任務を授けられて

これが後の国際ロータリーに発展したのである。

「親睦」と「物質互恵」の当初のクラブ指向が「奉仕の理念」と真っ向から対立したが、やがて流れは調和に変わっていったのである。

「HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST」

アーサー・シェルドンのミシガン学派職業倫理観が、初期ロータリーの思潮に入ったのは当然であり、このビジネスの利潤に関する社会哲学的思考—即ち自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする利他の感覚を調和させるのがロータリーの奉仕の哲学であるとした。「すべての職業の根底に奉仕する気持ちをおりこまねばならぬ」をロータリーの目的(綱領)(OBJECT OF ROTARY)とし、商売をして利潤を得ることは当然のことであるが、利潤に名を借りて悪いことをしたり、人をだまして利潤を得たりするのが悪いのであるというのであり、東洋的な表現では夢窓国師の言った「君子財を愛す、されどそれを得るに道あり」という考えであろう。

これが後に“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”のモットーを生んだのである。この「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これをまた、東洋的な表現で言えば、「積善の家に余慶あり」の心であり、奉仕は「して上げる」のではなく自分のためにも「させて頂く」と言う気持ちである。利己と利他の調和をはかろうとしているのである。今年のＲＩのテーマ「まことの幸福は人助けから」は、まさにこの気持ちを謂わんとしているのである。

「“SERVICE, NOT SELF”と“SERVICE ABOVE SELF”」

ところがこのような実業倫理主義の立場を取るポールやシェルドンの存在にもかかわらず、「自己を否定する宗教的な世界」にロータリーを求めようとする人達が現れた。

ミネアポリスのフランク・コリンズが1911年8月にポートランド大会で発表した「SERVICE, NOT SELF」という、「無私の奉仕」とも言うべきもので、これに続いて1915年「ロータリーの道徳律」と呼ばれる11カ条が出されその後長く職業訓として用いられた。この「SERVICE, NOT

SELF」の精神はまさに宗教的境地に一致するもので、我々ロータリアンにとっては余りにも崇高すぎ、特に道徳律はその後種々の批判が生じ、1927年以降9回に亘り論議された後、1980年、遂にすべてのロータリーの文章からなくなり、削除されることになった。

それに先立ちその基本になった、「SERVICE, NOT SELF」は1921年にアーサー・シェルドンの考えで「SERVICE ABOVE SELF」＝「超我の奉仕」に変更された。

これによりロータリーから強い宗教色が排除されたことになり、全世界の多くのロータリアンに受け入れられ易い理念となった。が、しかし、ポール・ハリスとその多くの友人たちはこのような宗教的環境で育ったので、ロータリーの理念もかかる倫理観に強く影響されていることは否定できない。職業奉仕「VOCATIONAL SERVICE(天職としての職業奉仕)」と言っているのもそのひとつである。

「個人奉仕か団体奉仕か」

ロータリーの奉仕は余り目立たなくて地味であっても、あくまでも個人がその立場に応じて個々に実践したり、指導したり世論を喚起することにとどめて努力すべきであると奨めてきたのである。

ところが、1912年ニューヨーク州のシラキューズクラブやオハイオ州トレドクラブ全体を上げての身障児や身体障害者へのクラブ活動が大きな成果を挙げて世間的な名声を上げた。そこで団体奉仕がもっと効果があると言う革新派が現れてきた。

たまたま、1915年にはキワニスクラブができ上がり、1917年秋にはライオンズクラブ協会が結成され、特に後者は「奉仕するのは単に理論の唱導だけでは足りないのであって、実践を主体とせねばならない。社会が現実に資金を期待しているものに対しては、金銭の補給を行うことであり、より大きく活動するためには我々は、“WE SERVE”をMOTTOとして、団体で奉仕活動を行う」と盛んに活動を開始し数多くの活発な運動が展開された。ロータリーも「個人奉仕か団体奉仕か」「“I SERVE”か“WE SERVE”なのか」「理論か実践か」とこの2つの論争は熾烈を極め、危うくロータリーが両派に別れんとするにいたった。

「23—34号の決議」

時に1923年これを憂えてテネシー州ナッシュビルRCのウイルメニアJR.がセントルイスの国際大会に第34号として提案したのを採択決議されたのが、所謂決議23—34なのである。

これは「ロータリーの般若心経」とまで称せられ、奉仕活動の指針として今日にいたるまで60数年間幾多のロータリアンを教えてくれた。これをもってさしも厳しかった“個人か”“団体か”“奉仕か実践か”の論争が漸く終息しロータリーの奉仕のあり方が元のごとく1本に納まったのである。その内容は結論的にはあくまでも個人奉仕が基本であるが必要な時にはクラブ全体やクラブ合同で行う奉仕もすべきである。但しこれはあくまでもロータリークラブの会員個々の人たちに奉仕の訓練を行うものと見るべきであると述べているのである。

「異質のものの調和」

このように私たちの先輩たちは、ロータリーの世界に常に異質なるものを内包しながら只管その調和を模索してきたといえましょう。

即ち、「親睦か奉仕か」、「利己か利他か」、「理論か実践か」、「団体奉仕か個人奉仕か」等々。かなり激烈な葛藤の後それらの調和を見いだし、今日あるようなすばらしい理念を築き上げたのであり、ロータリーの今のこの大へんな発展の心の支えとなってきたのであります。

11月は「ロータリー財団月間」です。

地区ロータリー財団委員長
パストガバナー　古田敬三

1916年第6代国際ロータリー＝アーチ・クランフ会長が「人類の為に何か役立つことを」と称えて基金をつくることから発展した「ロータリー財団」は1992年6月満75才の誕生日を迎えました。

ロータリー財団の目標は国際レベルでの人道的教育的プログラムを通じて世界の平和を達成することにあります。

教育的プログラムとしては、

1) 国際親善奨学金
2) 開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金
3) 研究グループ交換（GSE）
4) ロータリー平和会議

人道的プログラムとしては、

5) 同額補助金
6) 保健飢餓追放及び人間尊重（3H）補助金
7) ロータリーボランティア補助金
8) ポリオ・プラス

の8プログラムがあります。

さてこれ等のプログラムを推進する為には皆様方の強力なご寄付援助が必要なのであります。

1991年度当地区寄付は、

一般寄付	$674,466.14
特定寄付	5,039.06
計	$679,505.20

会員1人当り 127ドルでありました。

一般寄付額では世界トップ30地区内で、

1) 2650地区（日本＝京都、奈良、滋賀、福井）
2) 2640地区（日本＝和歌山、大阪）

について当地区は第3位でした。

皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

1992年度RI財団一般寄付目標は4,300万ドルで昨年度4,000万ドルに比し 7.5%増と示されました。

当地区本年度山中ガバナーの示された目標は1人当り 120ドルであります。昨年度目標は1人110ドルでしたが皆様方のご協力で実績は127ドルでありました。本年度も120ドルの目標は必ず達成して頂けるものと確信しています。

皆様方のクラブ目標額（120ドル×会員数）を達成する為に1,000ドルの寄付をした方に与えられる「ポール・ハリス・フェロー」又最初 100ドルを寄付した人に与えられる「ポール・ハリス準フェロー」そして複数の1,000ドルを寄付した方に与えられる「マルティプルポールハリスフェロー」又ロータリー財団基金をふやす為の「ベネファクター」（1,000ドル寄付者）を1人でも増やす努力をして下さい。

11月はロータリー財団月間です。

1) 財団月間中の例会で財団に関するスピーチ、ビデオ等財団プログラムを実施する。
2) 財団月間中の週報、月報で財団についての情報を会員に提供する。
3) 募金箱設置、100万ドルランチ、オークション等特別募金活動を行う等、適切な行事を行って下さい。

本年度のRI目標「まことの幸福は人助けから」を実践する最も早い近道はロータリー財団プログラムへの支援をすることです。

皆様のご協力をお願いします。

1994～'95年度

地区ガバナー・ノミニー候補者の推薦

地区ガバナー指名委員会規約に基づき、平成４年10月27日開催した指名委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、大阪阪南ロータリークラブ辻井録郎君を1994～'95年度第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定しました。

ガバナー月信第２号(８月号)において、地区内クラブに対し、国際ロータリー細則第12条第７節（ｅ）項及び当地区ガバナー指名委員会規約６により候補者の推薦をお願いしましたが、そのお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第12条第７節（ｅ）項に基づき、本指名委員会により選出された同君を前年度のガバナー・ノミニーとして推薦致します。

平成４年10月27日　　地区ガバナー指名委員会

R.I.第2660地区1994～'95年度ガバナー・ノミニーの宣言

国際ロータリー細則第12条第７節（ｅ）項の規定に基づき、大阪阪南ロータリークラブ会員辻井録郎君を1994～'95年度第2660地区ガバナー・ノミニーとして宣言します。

平成４年11月１日　　R.I.第2660地区ガバナー　山中　文和

辻井録郎君の略歴

生年月日	大正14年１月１日	
現住所	大阪市住吉区帝塚山西３丁目１－22	
最終学歴	昭和22年３月立命館大学経済学部卒業	
職歴	昭和22年４月	辻井木材(株)　常務取締役
	昭和30年４月	辻井木材市売(株)　常務取締役
	昭和31年４月	辻井木材センター(株)常務取締役
		ほか関連４社　常務取締役
	昭和42年４月	関西材木市場(株)　取締役
	昭和47年７月	(株)辻井　代表取締役
	平成２年７月	同　相談役
ロータリー歴	昭和45年５月26日	大阪阪南ロータリークラブ入会
	昭和51年～52年度	幹事
	昭和55年～56年度	副会長、クラブ奉仕委員長
	昭和57年～58年度	会長
	昭和63年３月	大阪天王寺ロータリークラブ創立にあたり、ガバナー特別代表
	昭和63～平成3年度	地区拡大委員会拡大カウンセラー
		米山功労者、ポール・ハリス・フェロー
職業分類	シニア・アクチブ（木材販売）	

バランスのとれたクラブ業績に対する
会　長　賞

ロータリアンは、まことの幸福は人助けからということを知っています。バランスのとれたクラブ業績によって他の人に奉仕するよう会長からロータリー・クラブに課題が提起されました。クラブは、以下に概説された4大奉仕部門のそれぞれの業績の数に基づいて、会長賞を受賞することになります。これは、競争というより、ロータリー・クラブが奉仕の水準を設定する課題といえます。

基準と締切日

参加するために、まず、下記の表からあなたのクラブの会員数に該当するところを探して下さい。すると、あなたのクラブが各奉仕部門内でいくつの業績を上げなければならないかが分かります。次に、奉仕部門別に、活動の種類を検討します。あなたのクラブが実行できるものを選び、それを目標としましょう。この目標は、1992年7月1日から1993年2月1日までに達成しなければなりません。（7月1日から1月1日までの半期報告の会員数に基づくクラブ出席率を例外とします）。

これらの目標が所定の期間内に達成できたなら、地区ガバナーが、1993年2月15日までに、クラブの会員数と、その活動をR.I.会長に証明します。受賞資格のあるクラブには、1993年5月1日までに、国際ロータリー会長と地区ガバナーの署名入りの賞状を送ります。

地区ガバナーへの特別賞

地区内クラブの50パーセント以上が受賞資格を備えているときは、地区ガバナーも、1992～93年度会長賞の受賞資格があります。資格を有するガバナーには、国際ロータリー会長から特別賞を送ります。

あなたのクラブの会員数による実績

クラブの会員数	奉仕部門内の業績の数
1～ 50	2
51～150	3
151＋	4

クラブ奉仕

□少なくとも10パーセントの純会員増（7月1日から1月1日までの半期報告の会員数に基づきます）
□あなたの地域または近隣区域で新ロータリー・クラブを結成
□クラブ全体の親睦活動を2回主催すること（例えば、会食、ピクニック、ゴルフ、クリスマス・パーティーなど）少なくともクラブ会員が半数出席すること
□全クラブ会員を対象とするロータリー情報プログラムを少なくとも2回開くこと（例えば、クラブ・フォーラム、ラウンド・テーブル討論、クラブ協議会など）
□クラブ会員の10パーセントが地区大会に出席すること
□クラブ会員の少なくとも1人がオーストラリアのメルボルンで開かれる国際大会に登録すること
□次期クラブ役員全員が地区協議会に出席すること（会長、幹事、会計）

職業奉仕

□地区職業奉仕委員長がロータリー・ボランティア活動（ＲＶＩＡ）のボランティアを探せるように、クラブ会員の職業名簿を渡すこと
□地域の青少年の職業相談プロジェクトを主催するか、参加すること
□青少年に高校卒業を奨励するプロジェクトを地元の学校で実施すること
□地元の障害者のために職業相談プロジェクトを主催するか、参加すること
□仕事に復帰したいと思っている人々のために、技能再訓練プロジェクトを主催するか、参加すること
□四つのテストを地元の学校に配布するか、地域の掲示板に張り出すこと
□働く人々を対象に識字率向上プロジェクトを主催するか、参加すること
□一人または数人の地域住民の職業上の業績を表彰すること
□クラブ会員全員に「ロータリアンの職業宣言」を配布すること

社会奉仕

□識字率向上プロジェクトを主催するか、参加すること
□地域の高齢者または障害者のニーズに応えるようなプロジェクトを主催するか、参加すること
□ローターアクト・クラブを結成するか、あなたのクラブが既に提唱しているローターアクト・クラブとの合同プロジェクトに参加すること
□インターアクト・クラブを結成するか、あなたのクラブが既に提唱しているインターアクト・クラブとの合同プロジェクトに参加すること
□地域のためになるような完全に新しいプロジェクトを提唱すること
□エイズ理解推進プロジェクトを提唱するか、参加すること
□薬物乱用防止プロジェクトを提唱するか、参加すること
□われらの天体、地球の保全プロジェクトを主催するか、参加すること
□小児病の予防接種に関する地元のプログラムを提唱するか、参加すること
□地域内で飢餓に苦しむ人々のニーズに応えるプロジェクトを提唱するか、参加すること

国際奉仕

□財団への年次寄付を前年度より10パーセント増やすこと
□少なくとも一人のクラブ会員が財団ベネファクターになること
□世界社会奉仕プロジェクトに参加すること
□ロータリー友情交換参加者を派遣するか、受け入れること
□青少年交換学生を受け入れること
□数人のクラブ会員が国際共同委員会委員を務めること
□他国の「組み合わせクラブ」と合同プログラムを設けること
□ロータリー財団の同額補助金を授与されるようなプロジェクトを提唱すること
□研究グループ交換のチーム・メンバーを派遣するか、受け入れること
□クラブ会員の一人がロータリー国際親善奨学生の顧問を務めること
□クラブ会員に一人がロータリー・ボランティアを務めること
□現物拠出情報ネットワークへあなたのクラブの物資または奉仕の提供を広報すること

R.I.理事指名委員会委員候補者選挙の件

頭書の件については９月15日付を以て国際ロータリーから通達があり、ご高承のことと存じますが、当第2660地区は、第2670地区と区域Dに指定され、１名の候補者を選出することになっております。

候補者を推薦されようとするクラブは12月31日までに事務総長の許へ指定通りの書類を提出せねばなりません。

詳細はガバナー事務所へお問合せ下さい。

まことの幸福は人助けから

米山奨学生レクリエーション会開催される

地区米山奨学委員長　増　本　　猛

さる10月４日（日）心配された雨も、時折り日も射す位で終日楽しい一日をスケジュールに従って催された。山中ガバナー始め、武尾、種田、廣瀬、伊瀬パストガバナー、永野アドバイザー他、地区委員が総出勤でお世話する中、奨学生36名、その家族20名、学友会員７名その家族３名、ロータリアン52名その家族31名と実に全員で149名の多数の参加を得て、誠に賑かな且つ心のこもった有意義なリクリエーションでした。

家族歌劇のはなやかな舞台に身をのり出して楽しんだり、少々時間的に短かったけれど久振りでの家族そろっての宝塚ファミリーランドでのピクニックで、日頃の勉学によるストレスを解消したりで伸びのび時を楽しみ、お腹をすかしてから15時30分から園内食堂で皆んな集っての懇親会が持たれ、あり余る程のバイキング形式のご馳走を頂き乍ら、カラオケ大会や自己紹介等で心から打とけて、ひとときを楽しみました。あまり盛上ってロータリーでは珍らしい30分の延長となりましたが18時解散、それぞれの想い出を胸に家路につきました。

参加されたロータリアンの方々は、ご苦労様でした。「まことの幸福は人助けから」本年度のターゲットを心から味わって頂いたことだろうと存じました。

「地区ロータリー財団奉仕賞」の授与についてお知らせ

―― 適格者推薦の依頼 ――

ロータリー財団の推進のために称賛に価する奉仕を行ったロータリアンに対し、本年度地区大会において、「地区ロータリー財団奉仕賞」を授与し表彰することになりました。

つきましては、各クラブより１～２名の特別表彰に価する顕著なロータリアンを平成５年１月末日までに、ガバナー宛ご推薦下さい。

■1993～'94年度

大森慈祥ガバナー・ノミニー事務所開設

大森ガバナー・ノミニー事務所が下記の通り開設されました。

開設月日　1992年11月2日
事務所　〒567 茨木市西穂積町7-41
宗教法人 辯天宗冥応寺
信者会館2F
電話　0726－23－2668(代)
FAX　0726－24－2669
執務　現ガバナー事務所に同じ
事務職員　廣瀬智子　福川登美江

なお、1993年7月1日以降は、そのまま地区ガバナー事務所として使用される予定。

お知らせ

◆マンスリーレター1号・12頁の年間カレンダー

1993～'94年度のための地区協議会
1993年5月1日(土)　ロイヤルホテルを
1993年5月8日(土)　辯天宗信者会館に
変更。

◆訂正とお詫び

大阪中央RC入会金・ビジターフィの訂正
入会金（誤）200,000円→（正）250,000円
年会費（誤）270,000円→（正）300,000円
米山功労者
服部　裕　大阪住吉RCは2回目です。
上記のとおり訂正いたします。

◆ロータリー・レート変更

11月1日から　1ドル＝120円

文庫通信 (61号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万6千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や通信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ロータリー環境保全デーに因んで

◎「社会奉仕〈社会奉仕委員会…環境保全〉」(「ロータリアン必携」第4巻)　R.I.
1987年　84頁　〔申込先　日本支局　☎03-3355-5391〕
◎「浪費ひどすぎる〈こうして物を大切に〉」　D.366　1975年　49頁
〔申込先　ロータリー文庫（コピー）〕
◎「いまナゼ環境問題か」　立川　涼　1991年　20頁
〔申込先　松山南R.C.　☎0899-32-4426〕
◎「シンポジウム 地球環境保全のために地域で何ができるか」　D.259（地区大会）
1990年　15頁　〔申込先　ロータリー文庫（コピー）〕
◎「市民シンポジウム 地域の環境保全 —私達は今なにをなすべきか—」　京都南R.C.
1991年　72頁　〔申込先　京都南R.C.　☎075-341-4610〕
◎「ロータリーこそ—地球環境保全—プロジェクトがよく似合う」　D.271（分区IM）
1991年　49頁　〔申込先　D.2710　☎0823-25-0045〕

＜ビデオ＞
◎「人類は大地に属する」　R.I.　1974年　10分
〔申込先　ロータリー文庫（貸出・コピー）〕
◎「人類の共有財産、地球を守ろう」　R.I.　1990年　23分
〔申込先　ロータリー文庫（貸出・コピー）〕

ロータリー文庫

国際ロータリー第2660地区 1991－'92年度

クラブ名	'91.1.31 会員数	1991.7.1～1992.6.30 一般寄付	1名当り平均額	1992.8.31 現在 過去累計分	ポール・ハリス準フェロー	ポール・ハリスフェロー	マルチプル ポール・ハリス・フェロー
大東	70	11,870.00	169	117,765.98	45	46	2
東大阪	86	22,291.92	259	147,037.03	24	60	2
東大阪東	73	10,209.00	139	117,547.87	39	49	0
東大阪中	60	10,310.00	171	99,753.71	47	50	7
東大阪西	55	5,980.00	108	59,565.72	42	20	1
枚方	58	2,870.00	49	80,253.96	21	32	1
枚方くずは	52	2,070.00	39	48,540.88	24	21	0
茨木	64	11,680.00	182	123,262.66	44	46	7
茨木東	55	7,040.00	128	113,144.21	55	38	2
池田	53	5,457.62	102	114,214.96	34	55	2
池田くれは	51	5,220.00	102	47,254.79	31	27	5
門真	33	3,854.42	116	36,187.42	9	11	0
交野	50	6,241.91	124	46,614.01	33	21	4
箕面	69	9,531.00	138	96,434.24	56	43	2
箕面中央	56	4,326.61	77	71,130.10	25	42	4
守口	85	5,560.00	65	135,154.23	23	81	3
寝屋川	57	9,113.00	159	111,451.59	16	40	3
大阪	316	43,777.95	138	464,728.87	93	160	23
大阪阿倍野	63	6,940.00	110	94,401.56	10	60	1
大阪ちゃやまち	62	7,930.00	127	8,550.00	62	0	0
大阪中央	74	9,440.00	195	95,935.44	48	52	6
大阪堂島	59	17,220.00	291	77,198.90	35	30	6
大阪阪南	89	7,607.44	89	140,656.41	21	27	3
大阪阪和	49	5,310.00	108	54,846.94	42	21	0
大阪東	90	12,960.00	90	251,439.68	65	89	11
大阪東淀	73	14,852.04	203	132,804.74	24	38	2
大阪平野	60	11,047.18	184	127,280.74	41	66	6
大阪本町	54	7,979.00	147	9,994.00	57	3	0
大阪城	28	5,630.00	201	24,179.46	33	8	1
大阪城南	82	5,642.57	68	110,567.57	18	65	3
大阪城東	83	8,740.00	105	137,989.00	18	62	4
大阪柏原	45	7,337.85	163	91,021.74	23	45	10
大阪北	203	24,493.98	120	315,978.89	192	107	6
大阪北梅田	64	8,510.00	132	9,590.00	64	2	0
大阪北淀	56	4,170.00	74	55,308.30	24	32	0
大阪南	184	12,440.00	67	292,832.87	61	140	14
大阪港	46	6,700.00	145	71,136.01	35	33	1
大阪難波	97	9,990.00	102	118,629.66	23	71	3

ロータリー財団寄付額明細表

単位：$　　1992.6.30現在

クラブ名	'91.1.31 会員数	1991.7.1～1992.6.30		1992.8.31　現　在			
		一般寄付	1名当り平均額	過去累計分	ポール・ハリス準フェロー	ポール・ハリスフェロー	マルチプルポール・ハリス・フェロー
大阪なにわ	72	6,714.61	93	65,398.66	1	48	2
大阪南西	67	9,833.84	146	108,472.96	1	78	3
大阪西	109	18,440.95	169	179,154.42	23	84	3
大阪大手前	63	7,018.88	111	72,651.03	37	13	1
大阪大淀	70	17,084.69	244	157,145.43	56	64	1
大阪西北	81	7,700.00	95	122,165.23	60	58	3
大阪西南	119	13,914.44	116	222,504.61	123	98	7
大阪船場	53	9,145.15	172	39,372.93	58	11	1
大阪心斎橋	84	7,180.00	85	111,669.05	78	55	2
大阪城北	58	8,180.00	141	78,116.59	9	32	2
大阪住之江	55	4,050.00	73	93,348.70	55	48	3
大阪住吉	85	9,845.00	115	132,351.58	10	61	4
大阪天満橋	101	12,108.77	119	151,133.38	7	81	2
大阪天王寺	47	6,549.23	139	33,640.95	44	15	0
大阪東南	63	9,870.00	156	49,393.33	20	50	6
大阪鶴見	52	4,020.00	77	44,006.80	33	18	1
大阪梅田	71	10,074.19	141	118,915.80	27	34	1
大阪梅田東	57	11,231.96	197	49,185.85	0	17	1
大阪うつぼ	76	10,774.00	141	124,441.97	72	52	3
大阪淀川	92	11,153.90	121	150,195.66	4	59	3
千里	73	7,913.79	108	90,012.91	68	23	2
摂津	44	3,200.00	72	53,368.88	17	22	1
四条畷	26	2,890.84	111	42,382.22	10	12	3
吹田	77	7,100.00	92	133,222.28	71	55	3
吹田江坂	44	5,960.00	135	16,346.74	47	0	0
吹田西	66	8,210.00	124	95,512.38	63	35	1
高槻	66	7,433.56	112	79,989.70	14	36	1
高槻東	56	6,220.00	111	72,520.36	52	26	2
高槻西	43	4,090.00	95	20,059.99	49	5	0
豊中	73	11,280.00	154	119,990.74	48	63	4
豊中南	64	8,380.83	131	113,542.94	51	50	5
豊中－大阪国際空港	66	10,230.00	155	117,811.45	71	57	8
豊中千里	40	1,260.00	31	26,081.50	4	12	3
八尾	76	12,695.00	167	164,978.58	68	70	13
八尾中央	51	5,231.00	102	56,433.70	46	19	3
八尾東	57	11,470.00	201	104,928.96	57	43	6
その他				58,109.06	7	6	0
合計	5,350	680,798.12	128	7,718,941.46	3,718	3,303	249

国際交流・平和委員会報告

国際交流・平和委員長　松　本　一　夫（大阪中央）

日時：1992年８月18日（火）（14:00～16:30）　　場所：薬業年金会館

本年度第１回の委員会には74クラブ中、71クラブ出席、国際奉仕委員長又は国際交流・平和委員長出席し、当2660地区山中文和ガバナー、坂東宏国際奉仕担当パスト・ガバナー、大森慈祥ガバナー・ノミニー、ＷＣＳ堀内委員長御出席のもとで、ＷＣＳ・国際交流・平和委員会と合同会議を行い地区各姉妹・友好（海外）クラブ活動の状況、1993年オーストラリア・メルボルン国際大会（５月23～26日）・国際交流・平和委員会の設置（８月現在クラブ数16）・ロータリー友情交換・世界親睦活動等熱心に有意義な会議を持つ事が出来ました。特にアンケート等で海外姉妹・友好クラブの交流状況内容の活発な事を各クラブ委員長より報告をいただき、御紹介をと思いましたが、掲載のページ数の都合により、姉妹・友好クラブ提携クラブ一覧表のみを御紹介します。特に、下記のクラブより交流状況・ＷＣＳ・青少年交換・その他について活発に御報告をいただきました（東大阪R.C.・守口R.C.・大阪阪和R.C.・大阪城南R.C.・大阪城東R.C.・大阪柏原R.C.・大阪南R.C.・大阪港R.C.・大阪大手前R.C.・大阪西北R.C.・大阪西南R.C.・大阪東南R.C.・大阪鶴見R.C.・高槻西R.C.・豊中南R.C.・豊中－大阪国際空港R.C.・八尾中央R.C.等）例年のことながらアンケートに多大の御協力を頂きありがとうございました。尚1992年６月のオーランド国際大会に当2660地区からの出席参加者数98名（家族を含む）でした。

第2660地区海外提携クラブ一覧表

1992年８月現在

クラブ名	相手国	地区	相手クラブ	締結年月	姉妹・友好
大東	韓国	3670	裡里	1978・5	姉妹
	米国	5340	スクリップ・メサ・サンライズ	1987・12	友好
東大阪	台湾	3460	台中	1969・2	姉妹
	米国	5000	カパア	1987・4	姉妹
東大阪東	韓国	3660	昌寧	1972・6	姉妹
	ブラジル	4610	リベルダーデ	1981・6	姉妹
	タイ	3350	ヤンナワ	1985・7	姉妹
東大阪中	台湾	3460	鹿港	1985・6	姉妹
東大阪西	なし				
枚方	台湾	3480	台北七里	1989・11	姉妹
枚方くずは	なし				
茨木	台湾	3450	台北西北	1967・6	姉妹

クラブ名	相手国	地区	相手クラブ	締結年月	姉妹・友好
茨木東	米国	5950	ミネアポリス・シテー・オブ・レイクス	1991・11	姉妹
池田	オーストラリア	2830	ローンセストン	1981・11	姉妹
	韓国	3650	ソウル東南	1983・3	姉妹
池田くれは	韓国	3650	ソウル安岩	1989・4	姉妹
門真	オランダ	1610	アイントフォーフェン	1969・9	姉妹
	ブラジル	4600	サンショゼドス・カンポス	1970・5	姉妹
交野	カナダ	7010	コリングウッド	1990・6	友好
箕面	なし				
箕面中央	フランス	1720	オルレアン	1982・1	姉妹
	英国	1040	リーズ	1989・7	姉妹
守口	カナダ	5040	ニューウェストミンスター	1962・12	姉妹
	フィリピン	3850	バユロド	1982・4	姉妹
	フィリピン	3850	バゴ	1983・12	友好
寝屋川	カナダ	7080	オークビル	1984・4	友好
	米国	7600	ニューポートニューズ		友好
大阪	韓国	3650	ソウル	1982・7	姉妹
大阪阿倍野	韓国	3650	景福宮	1985・6	姉妹
	台湾	3480	淡水	1983・9	友好
大阪ちゃやまち	なし				
大阪中央	台湾	3450	圓山	1985・5	姉妹
大阪堂島	なし				
大阪阪南	ニュージーランド	9910	ニューリーン	1990・5	姉妹
大阪阪和	フィリピン	3810	マカディセ	1991・4	姉妹
	米国	5340	オーシャンサイド	1992・3	友好
大阪東	フィリピン	3820	マニラ	1984・10	姉妹
	韓国	3660	釜山東	1972・5	友好
大阪東淀	米国	5950	チヤスカ	1987・6	姉妹
大阪平野	タイ	3350	プラカノン	1982・11	姉妹
	米国	5000	ワイキキ	1991・2	友好
大阪本町	なし				
大阪城	なし				
大阪城南	香港	3450	香港島東	1979・4	姉妹
	台湾	3460	豊原北区	1987・4	姉妹
大阪城東	米国	5910	ハンツビル	1978・10	姉妹
	米国	7430	ワーリントレ	1978・11	姉妹
	スウェーデン	2320	ルレア・ノア	1978・12	姉妹
	韓国	3650	ソウル南山	1985・3	姉妹
	台湾	3450	中壢	1982・12	友好

クラブ名	相手国	地区	相手クラブ	締結年月	姉妹・友好
大阪柏原	フィリピン	3820	パラニケヤ	1976・11	姉妹
	韓国	3650	新永登浦	1979・9	姉妹
	台湾	3460	大甲	1988・4	友好
大阪北	韓国	3650	ソウル南	1979・9	姉妹
	台湾	3480	台北北	1979・9	姉妹
大阪北梅田	なし				
大阪北淀	なし				
大阪南	米国	7930	ボストン	1960・3	姉妹
	カナダ	5360	カルガリーイースト	1975・6	姉妹
	米国	7390	マウントジョイ	1977・5	友好
	米国	5840	サンマルコス	1982・8	友好
大阪港	台湾	3470	路竹	1983・12	姉妹
	韓国	3650	永登浦	1984・10	姉妹
大阪難波	韓国	3660	釜山西北	1977・10	姉妹
	台湾	3460	台中西南	1982・4	姉妹
	米国	5000	ワイキキ	1985・6	友好
大阪なにわ	韓国	3650	ソウル南西	1990・11	友好
	タイ	3350	バンクエン	1991・1	友好
大阪西南	タイ	3350	デユーシット	1987・8	友好
大阪西	韓国	3660	釜山西	1969・10	姉妹
	台湾	3470	高雄西	1978・6	姉妹
大阪大手前	台湾	3480	台北百齢	1987・4	姉妹
大阪大淀	シンガポール	3300	マリーナシテイ	1988・4	姉妹
大阪西北	ニュージーランド	9970	クライストチャーチ北	1982・6	姉妹
	オーストラリア	9680	ゴスフォード	1982・6	姉妹
大阪西南	韓国	3660	北釜山	1971・4	姉妹
	シンガポール	3300	シンガポール イースト	1989・12	姉妹
大阪船場	なし				
大阪心斎橋	フィリピン	3820	ルセナ	1981・12	姉妹
	フィリピン	3810	パサイ	1987・6	姉妹
大阪城北	香港	3450	ペニンシュラー	1980・5	姉妹
	フィリピン	3810	マカディ	1984・11	姉妹
大阪住之江	韓国	3660	釜山南山	1989・2	姉妹
	台湾	3450	台北東南	1983・7	友好
	米国	5030	ショアライン	1984・9	友好
大阪住吉	韓国	3650	ソウル中央	1986・2	姉妹
大阪天満橋	台湾	3450	台北陽明	1978・3	姉妹
大阪天王寺	なし				

クラブ名	相手国	地区	相手クラブ	締結年月	姉妹・友好
大阪東南	米国	5320	フェナパーク	1992・6	姉妹
	香港	3450	香港島東	1986・7	友好
	米国	5400	ポカテロ		友好
大阪鶴見	オーストラリア	9750	アッシェフィールド	1986・4	姉妹
	オーストラリア	9910	ノーフォーク島	1991・1	友好
大阪梅田	韓国	3660	七釜山	1979・9	姉妹
	台湾	3480	台北天母	1983・4	姉妹
大阪梅田東	台湾	3480	台北明徳	1992	友好
大阪うつぼ	韓国	3660	釜山西面	1983・4	姉妹
大阪淀川	台湾	3470	高雄	1970・6	姉妹
千里	なし				
摂津	英国	1220	ロングイートン	1975・9	姉妹
	デンマーク	1440	オース	1980・3	姉妹
	韓国	3650	ソウル南大門	1989・6	友好
四条畷	なし				
吹田	米国	5340	エンシニタス	1961・5	姉妹
	台湾	3450	新竹東	1984・4	姉妹
	米国	5340	レディング	1987・4	友好
吹田江坂	なし				
吹田西	スリランカ	3220	コロンボ セントラル	1987・6	姉妹
高槻	なし				
高槻東	なし				
高槻西	なし				
豊中	米国	5130	サンマテオ	1987・7	姉妹
豊中南	韓国	3720	梁山	1973・9	姉妹
	台湾	3480	台北士林	1977・2	姉妹
豊中－大阪国際空港	台湾	3490	桃園東	1984・2	姉妹
豊中千里	なし				
八尾	台湾	3480	台北東	1971・2	妨妹
	フィリピン	3770	サンタマリア	1975	友好
	ブラジル	4590	モコカ	1982	友好
八尾中央	台湾	3460	高雄西南	1985・3	姉妹
八尾東	フィリピン	3810	ダウンタウン	1985・5	姉妹
	オーストラリア	9790	ゴバーグ	1986・2	姉妹
	米国	5030	オーバーレイク(ベルビュー)	1986・6	姉妹
	パキスタン	3270	カラチミッドタウン	1985・12	友好

社会奉仕委員長会議報告

地区社会奉仕委員長　新津　敬直（大阪西）

1992年９月７日、山中ガバナー臨席のもと開催されました。

議　題

Ⅰ．高齢者問題

①高齢者作文

ホストクラブ大阪住吉ＲＣ募集・審査を終え、９月９日、西区子供文化センターにて表彰式。　（新津委員長）

②老人ホームで働く寮母さん達への慰問　（新津委員長）

③第３回海遊館招待行事

平成５年４月９日に開催前２回の反省点に立ってよりよい方向に向って実施する。　（亀井委員）

④ＧＳＣ（グランドシニア会）

平成３年８月31日の地域対策合同委員長会議におけるフォーラムの成果により結成を皆様に呼びかける。

詳細に理由を説明。

74ＲＣの中で90才以上９ＲＣ。

80才以上44ＲＣ、70才以上66ＲＣ

趣意書を各ＲＣの70才以上の方全員に配布し、皆様の御意見を聞き、発足を期待。　（新津委員長）

Ⅱ．社会福祉

①　平成４年７月２日、身障者自立施設太陽の家へ各ＲＣ委員長全員で研修に行き感動を受けられたことと存じます。その後、数クラブで訪問しておられます。　（新津委員長）

②　身障者雇用

身障者技術取得の施設を紹介し、障害者雇用継続助成金とヘルスキーパーのパンフレットを配布し、雇用には職業安定所にリストがあり、そこを通じて雇用を推奨する。　（新津委員長）

③　視覚障害者とのふれあいとチャリティコンサート招待（大阪城東ＲＣの開催）　（福田・木下委員）

④　週末里親の推奨　（大橋委員）

⑤　身障者等とロータリアンとのふれあい運動会　（実行委員会　大橋委員／運動会内容　村岡委員）

以上、参加された方々は、ほとんどの方がノートをとられ、誠に実のある委員会でした。不参加ＲＣは、６ＲＣです。

『高齢者の声作文発表会報告』

地区社会奉仕委員長　新津　敬直（大阪西）

この企画は、昭和54年に大阪北ＲＣと大阪市教育委員会の共催で開始され、参加ＲＣが年ごとに増え、第９回からは大阪市内全ＲＣの参加を得て、本年で第14回を数えます。

ホストクラブの大阪住吉ＲＣの会長さんをはじめ、皆様の大変な努力で５月12日、市内ＲＣ社会奉仕委員長会議で募集・広報を７月９日には審査。９月９日には、子供文化センターで発表、表彰し、第２部では平均年齢72才によるシルバーコーラス、コンガを主としたラテン調で、皆と共になつかしい歌の数々を歌い、来会者一同、満足して帰られました。

応募作品は388で市長賞１、教育委員会委員長賞５、ＲＣ会長賞５、市内ＲＣ賞35を差し上げました。

本年の作品は特に高齢者の方々が非常に明るく積極的に生きていこうという姿勢が、うかがわれました。

尚、廣瀬社会奉仕担当パストガバナーをはじめ、ロータリアンが45名も参加され、会場がいやがうえにも盛り上がりました。

■訂正とおわび

※マンスリーレター10号の８頁、９頁に記載されていました社会奉仕委員長会議報告に誤りがありましたので、今月号にて上記の通り訂正させていただきます。

1992年9月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	9月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	9月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	69	−1	100.00	4	1	大阪なにわ	69	70	+1	95.71	4	55
東大阪	84	84	0	95.58	3	57	大阪南西	73	74	+1	94.01	4	65
東大阪東	67	69	+2	96.62	4	47	大阪西	113	112	−1	96.98	4	42
東大阪中	60	60	0	98.75	4	19	大阪大手前	66	66	0	100.00	4	1
東大阪西	62	61	−1	100.00	4	1	大阪大淀	70	71	+1	98.19	4	29
枚方	54	59	+5	99.54	4	14	大阪西北	79	80	+1	98.71	4	20
枚方くずは	50	49	−1	99.09	4	18	大阪西南	116	116	0	100.00	4	1
茨木	62	62	0	99.56	4	13	大阪船場	57	57	0	95.98	4	53
茨木東	58	61	+3	98.36	4	25	大阪心斎橋	81	82	+1	95.67	4	56
池田	58	59	+1	93.97	4	66	大阪城北	63	63	0	100.00	4	1
池田くれは	51	54	+3	94.75	5	62	大阪住之江	48	48	0	100.00	4	1
門真	31	32	+1	96.87	4	45	大阪住吉	84	84	0	95.13	4	58
交野	49	49	0	94.49	4	64	大阪天満橋	105	105	0	96.06	4	51
箕面	68	67	−1	97.08	4	40	大阪天王寺	51	50	−1	95.00	4	67
箕面中央	58	58	0	96.97	4	43	大阪東南	65	65	0	97.67	4	37
守口	87	86	−1	97.86	4	33	大阪鶴見	54	55	+1	93.56	4	67
寝屋川	60	61	+1	96.88	4	74	大阪梅田	67	71	+4	97.76	4	34
大阪	311	317	+6	88.74	4	72	大阪梅田東	62	63	+1	98.44	4	24
大阪阿倍野	61	64	+3	96.37	4	49	大阪うつぼ	78	78	0	97.30	4	39
大阪ちゃやまち	62	63	+1	99.21	4	16	大阪淀川	97	97	0	97.70	4	35
大阪中央	69	69	00	100.00	4	1	千里	79	80	+1	98.26	4	27
大阪堂島	62	63	+1	95.97	4	54	摂津	48	48	0	92.78	4	70
大阪阪南	80	82	+2	100.00	4	1	四条畷	25	25	0	78.10	4	74
大阪阪和	48	49	+1	96.38	4	48	吹田	76	77	+1	99.35	4	15
大阪東	144	144	0	97.59	4	38	吹田江坂	50	50	0	100.00	4	1
大阪東淀	73	73	0	98.24	4	28	吹田西	66	67	+1	100.00	4	1
大阪平野	62	60	−2	99.17	4	17	高槻	71	71	0	98.47	4	22
大阪本町	62	62	0	96.78	4	46	高槻東	57	57	0	98.34	4	26
大阪城	23	19	−4	93.47	4	68	高槻西	42	43	0	98.17	4	30
大阪城南	81	79	−2	99.68	4	11	豊中	73	77	+4	95.12	4	60
大阪城東	72	74	+2	99.66	4	12	豊中南	59	59	0	98.03	1	31
大阪柏原	45	47	+2	97.87	4	32	豊中−大阪国際空港	64	64	0	94.72	4	63
大阪北	198	202	+4	92.65	4	71	豊中千里	38	42	+4	95.13	4	58
大阪北梅田	64	66	+2	98.48	4	21	八尾	78	79	+1	97.03	3	41
大阪北淀	53	54	+1	97.68	4	36	八尾中央	50	52	+2	96.00	3	52
大阪南	194	190	−4	93.01	4	69	八尾東	55	55	0	96.30	4	50
大阪港	47	48	+1	84.52	4	73	クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率		
大阪難波	87	85	−2	98.47	4	22	74	5,356	5,402	+46	96.76%		

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

富江豊三郎	大阪港RC	7.22
寺田保男	大阪港RC	7.22
石川和夫	大阪港RC	7.22
井上英隆	大阪港RC	7.22
国田稔	大阪港RC	7.22
尾藤昭二	大阪港RC	7.22
堀万作	大阪港RC	7.22
清水忠治郎	大阪港RC	7.22
木村信彦	大阪南RC	8. 4
奥村安正	大阪南RC	8. 4
吉本晴彦	大阪RC	8. 6
市川宏	大阪RC	8. 6
執行和子	枚方RC	8. 7
武田欣治郎	大阪天王寺RC	8.11
岩崎旭人	東大阪西RC	8.14
吉城鉄也	東大阪西RC	8.14
安座信雄	大阪難波RC	8.18
谷口勉	大阪難波RC	8.18
※小林正人	大阪南RC	8.21
※山野茂	大阪南RC	8.21
宗方秀晴	大阪城東RC	8.25
田畑正芳	大阪城東RC	8.25
最上八郎	東大阪西RC	8.26
嶋田亘	東大阪西RC	8.26
竹内剛治	東大阪西RC	8.26
宮阪登	大阪城RC	8.26
船越三男	枚方RC	8.31
毛利征一郎	吹田西RC	8.31

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。 (1992)

岡市半三	枚方RC
黒川義春	大阪RC
西村五郎	大阪城南RC
葉山泰弘	大阪南西RC
三代文夫	大阪南西RC
※岡田義昭	大阪淀川RC
宮川定吉	吹田西RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。 (1992)

田中邦夫	東大阪東RC
大谷歓男	枚方RC
大野順造	枚方RC
式地皓	枚方RC
山本昭宏	枚方RC
吉本晴彦	大阪RC
片山勝彦	大阪城南RC
吉原康雄	大阪大手前RC
平野善次	吹田西RC
山村幸明	吹田西RC
宮本貞雄	東大阪西RC

訃報

岡田　正蔵君（守口ＲＣ）
平成４年８月14日逝去（享年78歳）
大正４年６月３日生まれ
昭和42年11月15日入会
1980～'81年度　副会長
1983～'84年度　会　長
ポール・ハリス・フェロー　米山功労者

本出　眞三君（大阪東淀ＲＣ）
平成４年９月15日逝去（享年67歳）
大正15年７月30日生まれ
昭和60年６月１日入会
ポール・ハリス・フェロー　米山準功労者

藤野　隆行君（大阪住之江ＲＣ）
平成４年９月21日逝去（享年61歳）
昭和６年12月18日生まれ
昭和55年12月22日入会
1984～'85年度　副幹事
1991～'92年度　副会長

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

12月

Dec.1 1992
NO.6

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山本文和

除夜の鐘

（木村光佑）

「ロータリーの情報の媒介」

ガバナー　**山　中　文　和**

ご就任以来はや５カ月が過ぎ、慌ただしい師走となって参りましたが、会長さん、幹事さん、ますますお元気にてご活躍のことと存じます。

11月号で国際ロータリーの役割は３つあり

①奉仕の理念の追求とその提唱

②ロータリーの拡大

③ロータリーの情報の媒介

と申しましたが、そのうち①については11月号で、また②については拡大月間に因んで８月号に書かせて頂きましたので、今月は③の「ロータリーの情報の媒介」について述べてみたいと思います。

「今年度の活動計画としては、地区の○○事業と○○事業に協力して参加する予定です。」即ち地区の活動に参加するだけをもって事たれりとされる方もあり、また

「地区の事業が多くて、それに参加するだけに精一杯で、その上色々な実行委員会の名目で協賛金を取られるので時間的にも金銭的にも自分のクラブでの独自の活動ができません。」

といわれる方もあります。

が、しかし、これは大きなお思い違いです。

もし本当に地区の活動とクラブ独自の活動がつき当たったら、何よりもクラブ独自の活動を大切にするべきであり、もっと言えばロータリアン各自の行う身近な奉仕を最も優先するのが望ましいのです。

職業奉仕の面でも社会奉仕・青少年奉仕の面でも国際奉仕・世界社会奉仕の面でも地区全体として、また時には数クラブが相集いて多くの奉仕活動をしているのは事実であり、その度毎に地区委員さんはじめ、各クラブから選ばれた実行委員の皆様方は、大へんな準備とお世話をして頂いて居り、各クラブに対しその活動への参加を呼びかけて頂いているのも事実です。

しかし地区(国際ロータリー)のしている奉仕の実践は原則的にはあくまでも各クラブがする奉仕活動の為の見本であり、奉仕の模範を示しているのにすぎないのです。

どうしてよいかわからないクラブやロータリアンの為に最適と思われる奉仕の実践を示して、それに参加して頂き、なるほどこんな事をするのかと思って頂く為の活動なのです。

もう少し正しく言えば、**地区**は奉仕の事業をするのではなく、最適と思える奉仕の実践を斡施し、地区内各クラブに対する連絡と調整の為のお手伝いをするだけであります。

しかし地区がお手伝いして、地区内全クラブで行う大きな奉仕に参加する事で大きな感動を得、新たなる奉仕への意欲を燃やすことも事実であり、参加すること自体大へん大事なことは言うまでもありません。

なお一つの奉仕活動を効果のある活動として定着さすまでには、時としては3年とか4年或いはもっとかかることもあります。「継続は力」なりと言われる通り、永年続けてこそ定着する活動もあります。

けれども、その活動が立派に成功し定着すれば地区としての連絡調整のお手伝いは完全に果たし得たのですから、その活動は各クラブにお持ち帰り頂き、地区はまた新たなるニーズに対し、新しい奉仕活動について各クラブへの媒介・連絡など調整のお手伝いをするべきであります。

但し、ここで一寸申しそえておかねばならない事は、ロータリーが出来てからしばらくして、人道的・教育的分野での奉仕ができる基金を出そうとの意見が出てきて、色々苦難の道の後にやっと1928年ロータリー財団の設立を見るに至った。この財団はご存知の如く、その後大きく発展し、4つの教育的事業と4つの人道的事業を全世界において行っており、いつまでも継続を願って活動している。即ち国際ロータリーの中で唯一のしかも立派な事業体組織であります。日本において米山記念奨学会もこれ又しかりであり、地区としては併わせてこの2つの事業のお手伝いをしているのもご存知の通りです。

しからば**各クラブ**の団体活動はどうあるべきかと言うと手続要覧99頁にも書かれてる如く「何か一つ主だった奉仕活動を、それもなるべく毎年異なっていて、できればその会計年度内に出来るようなものが望ましい」と言っている。その理由は

①あまり永く一つの奉仕活動を続けると、貰う方に慣れの気風ができる。

②その奉仕活動が、素晴らしければ素晴らしいほど全クラブ員の目がその活動のみに奪われ、地域社会にもっと必要なニーズがある事を見落としてしまい、限られた予算の中では奉仕の不公平を生む恐れがある。

と安易な継続を戒めているのである。

しかしながら「**望ましい**」のであって、全ての活動を単年度で終らなくてはならないのではありません。時には継続して行ってこそ素晴らしい効果がある奉仕もあるのはご存知の通りなので、活動によっては3年5年と続けても決して悪くはありません。

即ち、毎年しっかりと再検討した後に、継続と改革のバランスをとるべきと教えているのです。

この機会に各奉仕部門の地区委員長さんはじめ地区委員の皆様方がお忙しい中、地区内各クラブに対する連絡と調整のため、大変なお時間を使って日々ご協力賜っていることに対し、改めて厚くお礼申し上げます。

クラブ　職業奉仕委員長会議報告

地区職業奉仕委員長　浅沼　清太郎(大阪)

日　時　1992年9月5日(土) 14:00～16:00
場　所　大阪府神社庁　5階研修室
出席者　山中ガバナー・松本担当パストガバナー・大森ガバナーノミニー・浅沼職業奉仕委員長・久我地区幹事・地区委員4名・クラブ職業奉仕委員長64名
結　果

山中ガバナー及び松本パストガバナーの挨拶にはじまり、浅沼委員長による年間活動方針と活動計画並びに活動計画に関するアンケート調査結果についての説明が行われ、続いてこの活動に関しての討義に入った。

その結果、職業奉仕部門では、昨年度実施した各活動を踏襲し、これを更に促進するための活動として「違法駐車問題について」・「事業所におけるゴミ問題について」等を取り上げ、これを重点的に実践していくこととなった。

また、具体的な実践活動としては、活動計画に関するアンケート調査結果を踏まえて、違法駐車問題については

●「めいわく駐車追放モデル事業所」の宣言
●「パークライトシール」の自動車への貼付
●「めいわく駐車追放啓発活動」への参加

等について強力に推進していくこととなった。

さらに「事業所におけるゴミ問題について」に関しては、ロータリアン一人ひとりが、それぞれの立場と責任において、資源の大切さや不必要なゴミは出さないといった意識改革を図っていくことが重要であるとの認識に立って、社員教育等を徹底していくこととなった。

実践活動に関する討議では「駐車問題」・「ゴミ問題」とも地域社会に密着した問題であるだけに、終始活発な意見交換が行われ、これらの問題を改善していこうとする意気込みが感じられるなど意義ある会議であった。

終わりに、ガバナー及びガバナーノミニーから講評を頂き閉会した。

ロータリー・ボランティア委員長会議

地区ロータリー・ボランティア委員長
杉本　久仁一(八尾中央)

H4.9.18 於〔薬業年金会館〕
出席者　松本担当パストガバナー
世戸、戸田パストガバナー
地区委員全員

山中ガバナーが、公式訪問のため、欠席され、最初に松本担当パストガバナーから、挨拶と、委員会の所属を、職業奉仕部門に変更し、2660地区では職業奉仕委員会と併設することを報告、職業奉仕は見えない・数えられない内面的な奉仕であり、ボランティアは、見える、数えられる顕在的な奉仕である、と説明された。

ついで、過去3年間の委員会の経過と実績について、小山前委員長が、ボランティア・ビューローについて、現状の説明をされた。

つづいて、委員長から、ロータリー・ボランティア・プログラム〔R・V・P〕は、私達周辺のボランティアに対して、ロータリアンの職業・技能・労力と時間そして多少の金銭的負担をもって奉仕し、社会のニーズに応えるプログラムであり、今までの金銭的・団体的奉仕に加えて、個人的な見える奉仕をすることによって、世間のロータリークラブに対する理解と認識を高める為のものであると説明。

更に、各クラブに委員会の設置をお願いし、そして委員会の職務について、この委員会の任務の一つは、ボランティアの登録であり、登録資格は、ロータリアン・配偶者・家族そしてアクトに限ること。

2つ目は、ボランティア奉仕の対象としてのプロジェクトの要請であり、テレトリー内2660地区内・地区外の日本国内、そして国外のプロジェクトにわかれる事。この内で、国外のプロジェクトは、年間2回RIから送られて来る資料により、地区委員会においてコージネートするが、クラブのテレトリー内の対象には、そのクラブで取り扱って頂くこと。

このボランティア登録と、プロジェクトの要請が、2つ共に非常に難しいものなので、委員長は「ボランティアに生じる自発性パラドックスの問題」と「医師・弁護士などの職業組織における報酬の問題」を取り上げ、この障害は、ロータリーの奉仕として行うことで取り除けるので、ボランティアがやり易くなる。と説明。登録をお願いした。

出席の方から、登録の事。ボランティア・ビューローの事。クラブに於ける海外の医療奉仕の事について質問を頂き、最後に戸田パストガバナー・瀬戸パストガバナーから意見を頂戴した。

社会奉仕委員会第２回研修会の報告

地区社会奉仕委員長　新津　敬直(大阪西)

平成４年10月14日、大阪市立盲学校へは、大阪市内各ロータリークラブ社会奉仕委員長、大阪府立盲学校へは、大阪府下各ロータリークラブ社会奉仕委員長が参加し、下記に記す如く研修しました。

【大阪府立盲学校】

視覚障害者への理解を深めるために盲学校訪問見学。

出席者：地区社会奉仕委員会・新津委員長、地区委員・亀井、村岡、福田、参加ロータリークラブ（市外）社会奉仕委員長30名
（盲学校より）
校長、教頭、進学指導教師、大阪府労働部職業対策課課長補佐・高橋勉、大阪府労働部能力開発課企画調整係主査・村上真幸
学校施設見学
理療科の実習、図書館の設備等、教頭より説明

内　容：
- 生徒の年齢は中途から入学してくるものが多い。平均30才代。
- ヘルスキーパーをする時の設備は３坪ほどの部屋、ベッド、消毒、設備、特殊なものは要らない。
- 歩行訓練について
- 助成金について
- 高橋課長補佐より障害者職業訓練所及び障害者職業訓練校についての追加説明あり。
- 新津委員長より盲学校へ金一封贈呈。

【大阪市立盲学校】

出席者：山中ガバナー、地区委員・大橋、木下、参加ロータリークラブ（市内）社会奉仕委員長34名

内　容：
- 山中ガバナー挨拶
- 学校長による食事法の説明
- 教頭先生による見学行事説明（小学部３年生くらいで点字による読書ができるようになる、白杖による歩行訓練、現在スクールバス４台、全生徒数約130名、寄宿舎75名等）
- 見学＝あんま実習室→製版印刷室→あんま鍼灸実習→体育館→教育機器室→図書館（各種本の説明…さわる絵本、布の絵本、大活字本、拡大写本）→視聴覚教室にてビデオ（学校紹介のビデオ）
- 山中ガバナーより盲学校へ金一封贈呈。
- 教頭先生よりビデオテープ５巻ロータリーへ寄贈。
- ヘルスキーパー、就職の件につきお話。

以上の如く勉強し、感動を覚えたことを各ロータリークラブで報告し、社会奉仕活動の一端としてもらうよう要請しました。

クラブ会員増強委員長会議

地区会員増強委員長　山本　三雄(大阪大淀)

地区内会員増強委員長会議が10月20日(火)午後２時より薬業年金会館にて開催された。

山中ガバナー、菅生直前ガバナー、大森ガバナーノミニー、菅生地区幹事、八田、和田、山崎、中西地区会員増強委員と地区内74クラブの会員増強委員長が出席して熱心な質疑応答が行われ午後４時閉会した。

先ず、山中ガバナー、菅生直前ガバナーより会員増強の努力必要性の説明があり、地区会員増強委員の各委員から地区会員増強委員会の概況説明、各クラブの増強方針アンケート集計、会員増強の現況についての説明があった。

議題は主として、前年度に習い地区内各ク

ラブを対象にしたアンケート調査に依るものである。

地区内各クラブは会員増強には積極的で今期の純増目標３％以上の新会員の入会を期待している。又、質と量の問題については、質に重点をおくが量・質共に重視となっており、両者を合計すると各クラブが質を重視している事が特徴的である。会員増強の目標達成には、退会防止に対する配慮、会員増強の為のフォーラム開催、新入会員に対するインフォーメーションの実施等努力目標としている。

尚、50名未満のクラブについては近い将来50名以上達成出来る展望を持っており、達成困難なクラブについては、地区会員増強委員会と直接対話することになる。

ＷＣＳにご協力を！

地区世界社会委員長　堀内　顕(八尾東)

“世界社会奉仕(ＷＣＳ)”は、人が人並みに人間として生きられるように、助けを必要としている地域の人々に、その地域のＲＮを通して援助をすることにあります。したがって金銭だけでなく、物資により、また、ボランティアの人的奉仕も含めた世界社会（国内を除く）へのロータリアンの奉仕であります。

去る８月の2660地区クラブ委員長会議では下記の申し合わせができました。

Ⅰ．本年度の地区プロジェクトの承認

その結果、①バングラデッシュの水害復興計画のために展開される自立援助資金のローンプロジェクトに390万円、②マナウス(ブラジル）の日伯学校教室の１教室建設援助に50万円、③グルシャンRC社会福祉と教育センターの働き支援に39万円、④カンボジア貯水池工事と調査支援に2,775千円、これはすでに現地で活動しているＮＧＯのＦＨＩを通じて支援する。⑤タイ水資源開発支援に2,121千円、⑥フィリピン・ケソンの低所得家庭自立ローンプロジェクトに130万円、⑦フィリピンRC、スープキッチン財団のピナツボ被災者職業訓練学校の支援に180万円、⑧インド北部の学校施設建設支援に20万円、これは水野Ｒが提唱している。⑨災害の急報、緊急支援のために300万円。⑩ペルー及びガテマラ支援物資輸送のために100万円等々。

Ⅱ．各クラブに、必ず、最底一人のＷＣＳ担当委員を国際奉仕委員会の中に立てること。これはＷＣＳ委員会を設けていない場合。

Ⅲ．クラブ単独WCSプロジェクト実施の場合には、寄附金受取責任者名と住所に、プロジェクト実施確認報告を求めていくことを申し合わせた。後日の視察資料にできる。

Ⅳ．本年度の第三世界研修と視察の旅は、93年１月に実施すること。現在の予定では、１月17日(日)から23日(土)を予定している。フィリピン、タイ、カルカッタ、ダッカ等。各クラブの活躍、ご協力を大いに期待しつつ。

ＲＩ第2660地区第８組ＩＧＦ報告

大阪天王寺ＲＣ会長　八鳥　和久
フォーラム委員長　花田　　力(大阪天王寺)

９月19日(土)午後１時より５時迄、天王寺都ホテル新館にてＩＧＦを開催しました。未熟な私達クラブがホストで、到らぬ点多かったにもかかわらず、320名の多数の会員及び来賓の御参加をいただき、盛会裡に終らせていただき感激の限りでした。懇切な御指導をいただいた山中ガバナー、菅生ゼネラルリーダ

一、戸田パストガバナー各位に深く感謝の意を捧げます。“次代を担う青少年に夢と希望を伝えよう”という過大なメインテーマをかかげまして、まず大阪市教委嘱託・楠本正輝氏により「大人の期待、子供の夢」と題して基調講演を伺いました。青少年白書に基いて青少年の実態を述べられ、家庭、職場、学校国際社会における青少年問題の実例と今後の対策について詳細な説明がなされ、大人が自らの課題を自問して認識を深めて実行にうつさなければ、子供に勇気を出せ、夢をもてといえないし、諸問題も解決しないとしめくくられました。次いで、①家庭における親と子の心の交流　②職場における青少年との接し方　③国際社会における青少年との交流　④日本の学校教育の現状と将来、の４つのサブテーマを28卓に別れてバズセッションを１時間に亘り行い、各人身近な問題でもあり、活発な討論がなされました。この討論をふまえて青少年４名(内留学生２名)と会員４名による公開討論をガバナーの司会で進め、各人３分間の意見発表がなされました。青少年の発表は各々今後のロータリー青少年活動の糧ともなる貴重な内容でした。ガバナー、ゼネラルリーダー、楠本氏の講評をうけ、「手に手つないで」合唱をもって終了しました。

最後まで退席もなく活発な討論をいただいた会員各位には、何か一つでも青少年問題についての見識を深められたでしょうか。討論内容の詳細は後日記録誌を一読下されば幸甚に存じます。

今後の皆様の御活躍とロータリークラブの発展を祈って報告とさせていただきます。

〈参加クラブ〉

大阪阿倍野ＲＣ、大阪阪南ＲＣ、大阪阪和ＲＣ、大阪平野ＲＣ、大阪住之江ＲＣ、大阪住吉ＲＣ、大阪東南ＲＣ、大阪天王寺ＲＣ
（第８組外）大阪城ＲＣ

ＩＧＦ第４組報告書

ホスト：八尾東ロータリークラブ
実行委員長　和田　輝夫

日　時：1992年10月３日（土）
会　場：石切ホテルセイリュウ
ガバナー：山中　文和
ゼネラルリーダー：廣瀬勘一郎
招待者：ＰＧ伊瀬芳吉、ＰＧ中村俊一、ＰＧ中西正二、地区大会委員長酒井芳申、地区ロータリー財団増進委員山口幸雄、地区米山奨学委員板垣周男
登録者数：659名　　**出席者数**：326名

初秋の快適な時候に恵まれ参加者全員が展望の開けたホテルセイリュウの一堂に会しＩＧＦ第４組が開催されました。

開会セレモニーのあと、●地区大会について酒井委員長の案内があり、●ロータリー財団の報告が山口地区財団増進委員よりなされ、●米山記念奨学会全般に亘る説明が板倉地区米山委員よりありました。

続いて愈々メイン行事であるＩＧＦがバズセッション形式で行われました。参加者に大いに関心のあるテーマとして「高齢化社会とロータリーの役割」を取りあげ、それに基ずく小課題しとて、1. 豊かさとは何か。2. 後継者問題。3. 若者への要望。4. 高齢者の活用と適性。の４項目を掲げ１テーブルに約10名を配し32テーブルで活気ある討論会が始められました。因みにこれらのテーマは事前の所属クラブ会長・幹事会において選択されたものであります。本バズセッションの進行には所属の９クラブより４名宛のテーブルマスター

を指名して頂き、その方々のリードによって話題を盛りあげ談論風発、真剣な討議が重ねられました。その後バズセッションの結果を各クラブ代表者が発表し討論テーマに準じた有用な意見を聴講することができました。まさに今後の高齢化社会に一石が投じられた感じで受け止められました。

討論会終了後慰労と親睦を兼ねて懇親会が開催され、緊張の雰囲気を解かれた立食パーティでは各クラブ間の交流が往来し雑談に花が咲きました。

ここに無事本年度ＩＧＦ第４組のホストの任を全うしご指導いただいたリーダー、ご支援頂いた会員各位に厚く感謝申しあげます。

ＩＧＦ第７組報告書

ホスト：大阪南西ロータリークラブ

記録委員長　葛井　重雄

はじめに

本地区７組（南、西南、心斎橋、難波、うつぼ、なにわ、船場、本町、南西の９クラブ）のＩＧＦが平成４年10月17日、13時30分より中央区の福徳銀行本店８階福徳ホールで開催され、ＤＧ、ＰＤＧおよび地区役員の御来賓のほか７組所属クラブの登録者294名（当日出席者232名）が参加し、なごやかに、また楽しく１日を過ごしました。

企画としては

ゼネラルリーダーにＰＤＧ中西正二氏、リーダーに村岡秀雄氏（直前地区規定情報委員長）、中西 淳氏（地区規定情報委員会担当幹事）の両氏を迎え、「ロータリークイズで楽しもう」という、新企画によりフォーラムは運営されました。

中西ＧＬのおたてになったこの企画は、ＮＨＫの「クイズ100点満点」にヒントを得たもので、この番組は娯楽番組であると同時に教養番組でもある、ＩＧＦも楽しく運営されねばならないが、当然、ロータリーの活動の場でもあるのでロータリーの知識を深めることを目標に上記番組にならってクイズ形式をとったということでした。

クイズの問題は

これまでガバナー事務所によせられた定款・細則上の問題点や、今後予想される問題点をクイズの問題として正解を選ぶという方式がとられました。全部で25問、１問１点で25点満点ですが、想像していたより難解な問題でした。

講評と成果は

クラブ単位の平均点で争い、第一位船場、第二位本町、第三位心斎橋で賞金が当たり、第四以下は参加賞で順位の発表はしませんでした。問題は難しかったが、それ以上に参加者全員夢中になり、あっという間に終わった、というのが感想です。定款・細則について、参加クラブの理解と認識が深められ、まことに有意義な一日でした。

日米ロータリアン親善会議出席のお誘い

1993年6月11日～12日、米国テネシー市において、テネシー・オークリッジ・ロータリークラブ提唱、ロータリー財団援助による日米親善会議が挙行されます。この会議は国際ロータリー承認済みのもので、オスターマン会長も日米ロータリアン親善の為、期待されておられます。

主催者側は200名の出席を希望しておりますので、各地区から大勢で出席をお願いしたいと思います。日本語通訳設備、その他日本人向けに色々趣向が企画される予定です。

プログラム、パネリスト等はこれから決定されますので、順次お知らせいたします。

例会場・事務所移転

■大阪ちゃやまちロータリークラブ（平成5年1月より）

例会場　ホテル阪急インターナショナル4階
「月華の間」大阪市北区茶屋町19-19
Tel.06-377-2100

事務局　同上（5階）　Tel. 06-371-0290
Fax.06-371-0292

お　知　ら　せ

◆新クラブ創立おめでとう!!

本ロータリー年度になって最初の新クラブが地区は第75番目として発足いたしました。

創立総会　10月29日（木）
クラブ名　大阪中之島ロータリークラブ
区域限界　大阪天満橋、大阪大手前両ＲＣと同一区域限界
スポンサー　大阪大手前ロータリークラブ
例会日時　毎日木曜日　12：30～13：30
例会場　大阪市都島区網島町9-10
大閣園　Tel. 06-356-1111　〒534
事務局　同上
Tel. 06-353-2215
Fax. 06-353-9889
会長　牛島奎学
幹事　山本　肇

何とぞ新クラブの発展にご協力賜わりますよう、お願い申し上げます。

文　庫　通　信　（第62号）

このたびは昨年度の会計報告をさせて頂きます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 1991～92年度会計報告

（貸借対照表）

資座		負債	
現金	67,592	雇用保険料預り金	7,143
普通預金	2,777,975	社会保険料預り金	4,725
定期預金	3,000,000	仮受金	50,000
（現金預金計）	5,845,567	（負債合計）	61,868
		正味財産	
		次期繰越剰余金	5,783,699
（合計）	5,845,567	（合計）	5,845,567

（収支計算書）

収入		支出	
前年度繰越金	2,784,139	委員会費	1,493,075
クラブ協力金	29,913,000	業務費	2,676,253
コピー関係収受金	302,438	事務所費	11,505,922
受取利息	92,987	人件費	11,633,618
		次期繰越剰余金	5,783,699
（合計）	33,092,564	（合計）	33,092,564

ロータリー文庫

ロータリー青少年交換学生募集について

青少年交換委員長　八　木　頼　夫

次代を担う若人に、国境を越えて他国で生活し勉強する機会を与えることは、世界を理解し、平和と親善に役立つ為の最も有意義な奉仕活動であります。

それぞれのロータリアンが、力と智恵を出し合って、この価値ある奉仕活動に参加して下さいます様お願い申し上げます。

目下、次年度（1993年～94年）の交換学生を下記の通り募集しております。

交換学生は、ロータリアンの子弟のみならず、親戚や関係者の子弟、また来日学生が、お世話になった学校から推薦などにより応募できます。この機会に、特にロータリアンの子弟の参加について、お勧めします。

1．留学先

アメリカ、カナダ、ドイツ、ブラジル等希望国の高等学校

2．留学期間と人数

（留学には長期と短期がありますが、一般には、長期を主体としています。）

1993年８月又は1994年１月より、一年間。

募集人数は、予算の都合上12～13名を限度とし採用は青少年交換委員会において、決定します。

3．留学生活

ロータリークラブ会員宅で生活し、通学する。この間語学を修得し、その土地の人々と交わり、その生活や歴史を学ぶと共に、日本の国情を伝え、国際理解と親善に努める。

4．留学費用

留学地までの往復旅費と保険料は本人が、負担する。

彼地での生活費と教育費の全額は受け入れロータリークラブ並びにホストファミリーが、負担する。

5．応募資格

1）留学出発時、公私立高等学校１年又は２年在学中の男女生徒であること。

2）健康で志操正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の修得に意欲的な生徒であること。学業成績は、学年の1/3以内の者。

3）学校長の推薦と、１か年間の休学許可が得られる生徒であること。

4）ロータリークラブの推薦が得られる生徒であること。

6．申し込み

早急に申し込んで下さい。

7．応募案内

応募者は、必ず各ロータリークラブを通じて、ガバナー事務所又は青少年交換委員長まで申し込んで下さい。関係書類を渡し、応募手続を説明致します。

8．学生受入れ

原則として、派遣学生を送り出したクラブには相手国より学生が派遣されることになります。

お問い合わせは、交換委員長・八木まで　TEL. 06-227-6838

又は、ガバナー事務所まで　TEL. 06-634-7511

1992年10月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	10月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	10月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	70	0	99.61	4	12	大阪なにわ	69	70	+1	97.14	5	37
東大阪	84	83	−1	95.26	5	62	大阪南西	73	71	−2	97.83	4	30
東大阪東	67	69	+2	97.04	4	39	大阪西	113	111	−2	96.70	4	44
東大阪中	60	60	0	96.25	4	49	大阪大手前	66	66	0	100.00	5	1
東大阪西	62	62	0	98.39	4	24	大阪大淀	70	71	+1	98.54	5	21
枚方	54	59	+5	97.65	4	32	大阪西北	79	80	+1	98.39	4	24
枚方くずは	50	49	−1	96.33	4	48	大阪西南	116	119	+3	100.00	4	1
茨木	62	59	−3	100.00	4	1	大阪船場	57	57	0	96.43	4	47
茨木東	58	60	+2	97.63	5	33	大阪心斎橋	81	81	0	95.95	5	53
池田	58	58	0	92.58	4	69	大阪城北	63	62	−1	100.00	4	1
池田くれは	51	54	+3	96.16	4	51	大阪住之江	48	48	0	100.00	4	1
門真	31	31	0	97.49	5	35	大阪住吉	84	84	0	93.57	5	67
交野	49	49	0	95.41	5	60	大阪天満橋	105	105	0	95.48	5	57
箕面	68	67	−1	95.79	5	55	大阪天王寺	51	49	−2	98.92	5	66
箕面中央	58	58	0	96.90	5	42	大阪東南	65	65	0	96.92	4	41
守口	87	85	−2	98.77	4	16	大阪鶴見	54	55	+1	95.46	4	58
寝屋川	60	61	+1	95.35	5	61	大阪梅田	67	71	+4	98.54	4	21
大阪	311	319	+8	89.35	5	72	大阪梅田東	62	63	+1	98.10	5	28
大阪阿倍野	61	67	+6	94.81	4	64	大阪うつぼ	78	78	0	98.18	5	26
大阪ちゃやまち	62	64	+2	98.44	4	23	大阪淀川	97	95	−2	94.99	5	69
大阪中央	69	69	0	100.00	5	1	千里	79	80	+1	97.57	4	34
大阪堂島	62	63	+1	98.02	4	29	摂津	48	47	−1	95.91	5	54
大阪阪南	80	82	+2	98.77	4	16	四条畷	25	25	0	85.41	4	74
大阪阪和	48	52	+4	92.94	5	68	吹田	76	77	+1	99.48	5	13
大阪東	144	144	0	97.07	5	38	吹田江坂	50	49	−1	100.00	4	1
大阪東淀	73	73	0	95.69	4	56	吹田西	66	68	+2	99.63	4	10
大阪平野	62	59	−3	98.67	5	18	高槻	71	70	−1	96.73	4	43
大阪本町	62	68	+6	96.69	4	45	高槻東	57	58	+1	99.63	5	10
大阪城	23	21	−2	100.00	4	1	高槻西	42	42	0	97.02	5	40
大阪城南	81	82	+1	99.76	5	9	豊中	73	77	+4	96.23	4	50
大阪城東	72	74	+2	99.45	5	14	豊中南	59	59	0	96.08	5	52
大阪柏原	45	46	+1	97.82	4	31	豊中－大阪国際空港	64	64	0	95.45	5	59
大阪北	198	203	+5	91.49	4	71	豊中千里	38	41	+3	92.30	4	70
大阪北梅田	64	67	+3	98.88	4	15	八尾	78	79	+1	98.13	4	27
大阪北淀	53	56	+3	98.64	4	19	八尾中央	50	52	+2	97.20	5	36
大阪南	194	190	−4	94.38	4	65	八尾東	55	58	+3	96.49	5	46
大阪港	47	48	+1	86.19	5	73	クラブ数	期初会員数		月末会員数		増減	平均出席率
大阪難波	87	85	−2	98.55	5	20	74	5,356		5,413		+57	96.78%

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。 (1992)

関西電力㈱	大阪RC
※本田良光	大阪東RC
※吉岡清輝	大阪東RC
※安積義雄	大阪東RC
㈱北浜製作所	大阪東RC
今村周平	大阪東淀RC
石原一良	大阪東淀RC
坂本旭	大阪東淀RC
神内志郎	大阪東淀RC
高井利一	大阪東淀RC
玉井三貴男	大阪東淀RC
田村正徳	大阪東淀RC
堀野郁三	大阪東淀RC
松本忠重	大阪平野RC
川畑徳幸	大阪住吉RC
※板垣周男	豊中-大阪国際空港RC
林銑吉郎	大阪東南RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。 (1992)

飯田常俊	大阪東淀RC
清水敏之	豊中-大阪国際空港RC
行岡義蔵	豊中-大阪国際空港RC

◆11月号訂正とおわび

大阪西南RC 9月度出席報告 (19頁)
出席率 100.00%→99.77%
地区平均出席率 96.76%→96.75%

ポールハリスフェロー (20頁)
安座 信雄君、谷口 勉君 (大阪難波)
マルチフェロー

大阪西北RC、海外提携クラブ (16頁)
クライストチャーチ北 締結年月 1975.5

訃報

有信 春二君 (茨木RC)
平成4年8月9日逝去 (享年82歳)
明治43年3月24日生まれ
昭和57年3月10日入会
ポール・ハリス・フェロー

荒川 直治君 (豊中RC) (名誉会員)
平成4年9月23日逝去 (享年86歳)
明治39年2月22日生まれ
昭和34年6月25日入会(チャーターメンバー)
1960—'61年度 副会長
1963～'64 会長
1984.7— 名誉会員
ポール・ハリス・フェロー

安井 快之君 (大阪西RC)
平成4年9月30日逝去 (享年84歳)
明治41年8月12日生まれ
昭和37年8月27日入会
1977～'78 会長

立石 八郎君 (大阪南西RC)
平成4年10月1日逝去 (享年68歳)
大正13年8月24日生まれ
昭和50年6月00日入会
1988～'89年度 会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

田中 好一君 (大阪淀川RC)
平成4年10月26日逝去 (享年82歳)
明治43年2月12日生まれ
昭和36年1月14日入会(チャーターメンバー)

荒井 琢也君 (茨木RC)
平成4年10月23日逝去 (享年61歳)
昭和6年2月24日生まれ
昭和45年7月1日入会
1989～'90年度 会長
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

〈COPY〉

Governor's Monthly Letter

1月

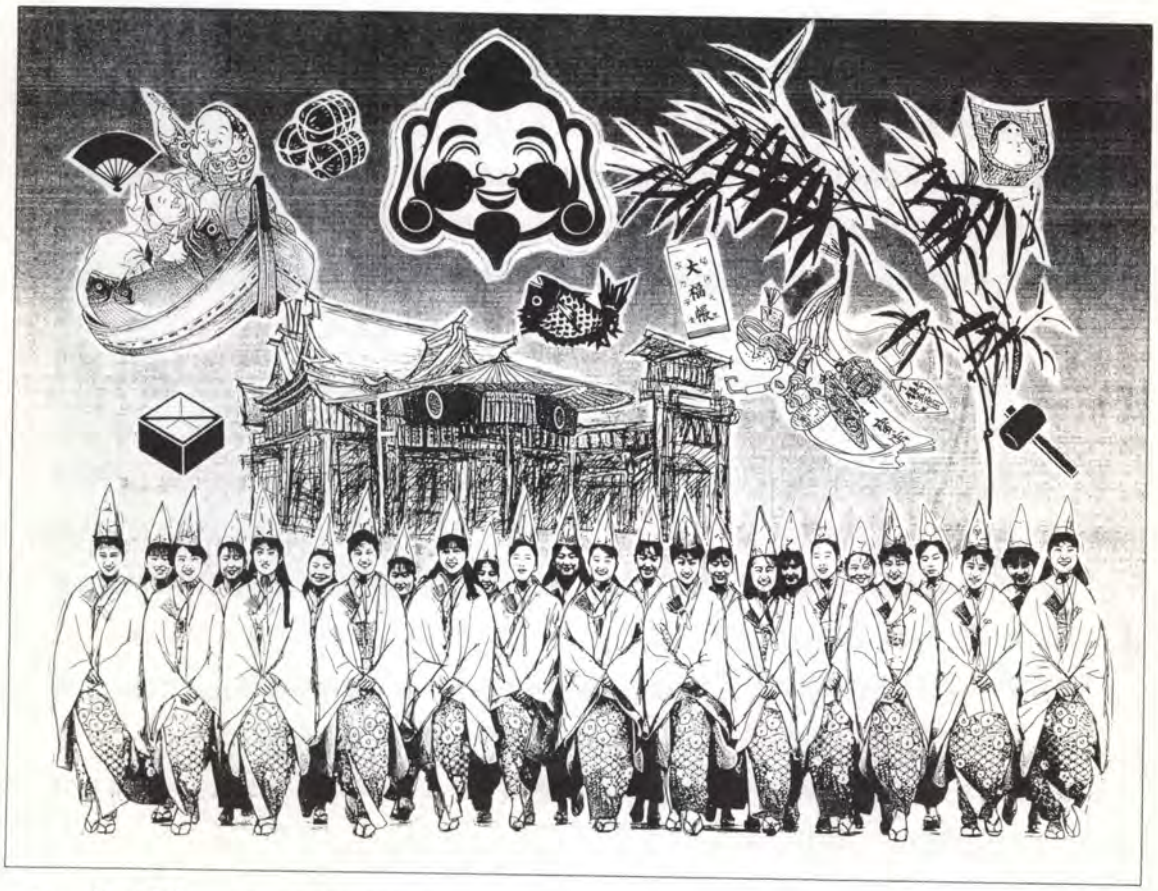
Jan.1 1993
NO.7
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和



今宮戎

（木村光佑）

公式訪問を終えて

ガバナー　**山　中　文　和**

不景気の中にも、さしもお正月、なんとなくほのぼのとした明るさを感じる月となりました。私の任期もやっとおれまがり点へ到着しほとんどのクラブへの訪問を済まさせていただきました。その節に頂いた各クラブの会長さんはじめ皆様方からの大変なご高配に対し心から厚くお礼を申し上げます。あと６カ月となりましたが会長さん、幹事さんますますお元気にてご活躍と存じます。

当地区第2660地区には75クラブあり（なほクラブ設立中）

- 22名のクラブから316名の大クラブまで。
- 70年の歴史を持つクラブから今まさに産声をあげたばかりのクラブ。
- １クラブに大小28委員会をもつクラブから13委員会しかないクラブ。
- ローターアクトクラブ、インターアクトクラブを提唱しているクラブと未だしていないクラブ。
- ロータリー財団や米山奨学会へ大変な累計額を寄付しておりなお、今も頑張っていただいているクラブと今からやろうとしているクラブ。
- 財団や国際親善奨学生や米山奨学生のお世話をされているクラブと未だしていないクラブ。
- 国際交流や世界社会奉仕に独自のプランを持ち力強く押し進めているクラブとそうでないクラブ。
- 海外のクラブとシスタークラブや友好クラブの関係を結んでいるクラブとこれからしようとするクラブ。

それぞれ型はちがっても全クラブともそれぞれの規模と特徴をもって各部門の奉仕に取り組まれ大きな成果をあげて居られます。

当地区は全クラブにわたって総括的には稀にみる活力のある素晴らしい地区であります。

創立間もないクラブは勉強熱心で基礎固めに懸命であり生き生きと明るくやる気十分でありまことに頼もしい限りであります。

特別代表やそのお手伝いの方々の大変なご努力で素晴らしい仕事をして頂いた事に対し

改めて感謝申しあげます。

10年を経たクラブは初代会長をはじめ歴代役員のご尽力により立派な線が敷かれており世界各国と交流が持たれ、既にそのクラブ独特の伝統が築かれつつあり、しかもまだまだ若々しさも失われず活気に満ちていて、大方のメンバーはいろいろな問題を熱心に勉強しようと意欲的である。

20年を経たクラブは立派な歴史と長年の業績に対して大いなる誇りと自覚をお持ちになり、インターアクトやローターアクトの提唱もなさって各奉仕部門に自信をもって力強い活動を続けられて居ります。

30年以上のクラブになると地区の中枢のクラブとして常に全地区クラブから模範とされているだけにむしろ大きな責任を感じて、古い輝かしい伝統の上に立ってただマンネリに陥いることなく常に継続と改革のバランスを保ちながら絶えざる努力により新生面を拓きつつ頑張って居られる。

ロータリーでの自己の長いクラブ歴や素晴らしい経験や役職、高年齢は勿論尊敬される対象ではありますが、それを何か「もの申す権利」と誤解し、自分のみがロータリーの知識と経験を有しておると錯覚し現役の会長、幹事の方針や行動に口をさしはさむ困った先輩。「皆に変わってわしが会長・幹事にものをいってやるのや」と言う自己顕示欲の強い先輩。この種の先輩ベテラン会員がおられるため、クラブの活力が大変阻害されているクラブ。また、そのような困ったベテランが二人以上おればロータリーにあってはならない「派閥」が存在する一因ともなっておりそれがため会員増強がむずかしくスムーズな人事がまとまらないクラブがあるとも聞き及んでおります。

しかし、地区内のほとんどのクラブは「年月を経るに従って慣習、しきたり等が生じ、ひとつの伝統をつくっていく、ほとんどの場合それはロータリーのルール以外のところで出来上がり、定款・細則からはみ出さない範囲で一種の運営上の施行細則となっている」(2580地区玉村PDG言) したがって、会長・幹事、各委員長はそれに依って行動することにより安全運転ができる。現役は先輩にはすばらしい敬意を持ち大先輩はそれらの現役の方々を暖かく見守り、頼まれた時のみ力強く応援し、それにより現役は必要と思えばその権限の許す限り大胆かつ自由に改革し常に若々しい魅力的なクラブを保ち、全く硬直や動脈硬化のないすばらしいクラブとなっているのは大変喜ばしいことであり又当地区の先行きは極めて明るいと心から感謝しています。会長さん、幹事さん、あと半年いよいよ色々な活動の実践を思いきって推し進めて下さることを念じあげております。

◎クラブ拡大について下記の通り委嘱されました。

特別代表　酒井　芳申(大阪南RC)

拡大補佐　海堀　寅一(大阪南RC)

ＲＡＣ海外研修報告

ローターアクト委員長　北村　英一(吹田)

今年度の海外研修は昨年と同じくシンガポールと香港としましたが、日程を一日つめて９月19日から23日迄の４泊５日のかなり濃密スケジュールながら、土、日、祝の休日３日間を中に組み入れた為、例年に比べ参加者が多く、ＲＡＣ32名、ＲＣ４名、計36名となりました。観光、ショッピングの時間を出来るだけ少くし、現地ＲＡＣとの交流や社会奉仕活動に重点を置いたので、ハードスケジュールながらＲＡＣメンバーにとって、たいへん印象深く貴重な体験を得た旅であったと思います。

第１日目は朝早く伊丹空港で山中ガバナー、大森ガバナーノミニー等の見送りを頂いて、台北、香港を経る長いフライト乍ら夕刻シンガポール着、現地ＲＡＣのメンバーの出迎えを受けてホテル到着後も夜遅く迄夫々に親しい交流が続けられました。

２日目は先づ市内の養老院を訪問、一緒に折紙をしたり、四季の歌を合唱したり老人と若者の楽しい交流の一時でした。次いで日本人墓地と連合国戦没者墓地を訪問し花輪を捧げて冥福を祈りました。若い人達の知らない「からゆきさん」や戦争の悲劇は共に強い衝撃であった事と思います。夜はシンガポール大学で開催された新生のマリーナシティクラブのチャーターナイトに参加しました。Allan Yap地区ＲＡＣ委員長始め、3310地区の多数のロータリアン、ローターアクターと共に盛大な式典と祝宴を楽しみました。たまたまこうして外国のチャーターナイトに参加出来るという又とない好運に恵まれた事は誠に望外の幸でした。

３日目は現地アクターと共に観光を主としたスケジュールで、海峡を渡って隣国マレーシアのジョホールバル、シンガポール植物園やセントーサ島等一日親しい交流が行われました。又当日別に伊藤地区委員と私はA.Yap委員長のお招きを頂いて、所属しておられるQueenstown R.C.の例会に出席し、共に親睦を深めてまいりました。

４日目は香港に移動し、夜現地ＲＡＣが盛大な交歓会を開いてくれ、Andrew N. Jones地区ロータアクト委員長始め3450地区のロータリアン、ロータアクターの多数の出席を頂きました。正味僅か24時間の滞在でしたが、姉妹提携や年末の訪日の打合せ等、真剣な交流の熱意を示して頂いたのはとても感激でした。

５日目は最後のショッピングの後、午後香港発、夜９時前伊丹空港に無事着陸、楽しい海外研修を終えました。

短時日の訪問乍ら今回の両国の訪問を基礎にして、更に継続的で幅広い交流が行われ、ＲＡＣの皆さんが国際性を身につけてくれる事を期待したいと思います。

国際ロータリー第2660地区
1992～93年度

インターアクト年次大会報告

菊薫る平成４年11月１日(日)、インターアクト地区年次大会が本年度の幹事校である金光八尾高等学校で開催された。金光八尾高等学校は創立７年目の清新な校風を持つ学校で、年次大会の開催にあわせるよう、会場になった体育館には見事な緞帳が用意されていた。今回の年次大会にかける同校の準備は誠に行き届き、数週間、顧問教諭、部員をはじめ関係者は放課後の時間をすべて大会に費やしたようだ。

テーマはＲＩの本年度テーマに添って、「水・私たちの環境をみつめよう」である。

同校インターアクト部員がテーマのいろいろな分野を分担して研究を重ね、人間および動・植物は、「水」により生きている、この"生命の源"がいまや、人間たちが自己の繁栄のために生み出してしまった「汚染」という悪魔に蝕まれつつある。この状況を少しでも理解するために、"どのように水が使われているか""どのような問題が起こっているかを知りたい"と広く情報を集めてきたようである。

校内には、教室に大阪市環境局より借り入れたパネルや、自分達で製作したパネルを展示して、来賓はじめ来会者一同、準備のすばらしさに感嘆の声があがっていた。

年次大会はＡＭ9：30から開催され、司会をインターアクト地区幹事の中村正則君が務め、歓迎のことばとして金光八尾高等学校細木校長、八尾ＲＣ仲谷会長から、山中ガバナーからは力強い励ましのことばをいただき、来賓紹介は八尾ＲＣ、森川委員長、参加クラブ顧問団紹介を今回の顧問団代表の若林正信先生よりおこなわれ、来賓祝辞は八尾市長山脇悦司氏、大森慈祥ガバナーノミニー、新津敬直社会奉仕委員長からいただいた。

祝電披露の後、各校よりスライド映写が行われ、インターアクト活動の実際を見ることができた。

今回基調講演は「水」に関しての講演では既に定評のある大阪府環境保健部環境局水質課参事の小野沢征輝氏にお願いした。「水・私たちの環境を見つめよう」とテーマと同調した演題で、まさに水を得たようなすばらしく感銘深いお話だった。

午後からは教室で「きき水の会」などアイデアに満ちた企画も用意されており、楽しい休憩時間を持つことができた。

午後２：30、主催校、金光八尾高等学校ならではのイベントは記念コンサートである、金光八尾高等学校の吹奏楽部は毎年いくつもの優秀賞に輝き、全国的に名を馳せている。この日も片木先生の指揮の下、期待通りの素晴らしい演奏に、出席者一同の拍手がいつまでも続いた。

尚、来賓11名、地区ＩＡ関係者20名、八尾ＲＣより30名の参加があった。

1992～93年度
インターアクト地区年次大会 出席者数

学校名	顧問	生徒
清風	3	12
教育大付属	1	10
市立東高等学校	4	24
四天王寺	3	15
大阪桐蔭高校	4	26
浪速高校	2	15
大谷中高校	3	15
明浄学院	2	9
金光八尾高校	6	32
計	28名	158名

クラブ環境保全委員長会議報告

地区環境保全委員長　岡部　次郎（箕面）

日　時　1992年12月1日（火）14:00～16:00
場　所　薬業年金会館
出席者　山中ガバナー、廣瀬担当パストガバナー、安川担当地区幹事、地区環境保全委員8名（全員）、クラブ環境保全委員長66名

山中ガバナー、廣瀬パストガバナーの挨拶に続き、岡部委員長がアンケートに協力のお礼を述べ、委員会の活動予定と方針を伝えた。

①アンケートの集約結果について

9～10月実施のアンケート集約について南克昌委員（大阪南西）が報告、クラブ活動の参考に利用されるようお願いした。

②環境保全ガイドラインについて

地区委員会作成の「ロータリーと環境問題―活動推進のためのガイドライン―」を配布し、近藤雅臣委員（千里）の懇切な説明を拝聴。この小冊子は地球環境問題、自然の保護と適正利用、大気汚染、水環境、土壌環境、廃棄物処理対策とリサイクル運動の各項目についての概説と、国としての取り組みと、ロータリーとしての取り組み（地区レベルとクラブレベル）をまとめたものです。

③廃棄物とリサイクル

現状について遠藤渉委員（大阪）より説明、参考書籍等の紹介が行われた。

④事例発表

クラブの環境保全委員会活動について、大阪柏原・吹田西・枚方の委員長より、作文募集・表彰、クリーン＆リサイクル運動、ローターアクトとの協同事業等についての事例発表をいただきました。

限られた時間ではありましたが、内容のある委員長会議が持てました。最後に廣瀬PGの所感をいただき、藤江委員（大阪阪和）の名司会で定刻に閉会しました。尚、前述の小冊子についてご要望があれば増版することを考えております。

第2回クラブ規定情報委員長会議報告

地区規定情報委員長　土井　正裕（大阪北）

日　時　1992年12月14日（月）14:00～16:30
場　所　薬業年金会館
出席者　山中ガバナー、種田パスト・ガバナー（RI会長情報カウンセラー）、菅生クラブ奉仕部門担当パスト・ガバナー、クラブ・ロータリー情報委員長および規定委員長91名、地区委員：委員長以下5名、村岡地区幹事。

議　題

1)『手続要覧(1992)』改正点の説明。
2)「情報システム・マニュアル」改正の方針とスケジュール。
3)「クラブ細則」改正に関するアンケート調査について。
4)質疑応答。

議事次第

山中ガバナーのご挨拶に続いて議事に入り、

1)『手続要覧(1992)』の改正点の説明。
土井地区規定情報委員長から、地区規定情報委員会で作成した『手続要覧』改正箇所の新旧対照表により、改正点について概略を説明した（14:15～16:10、休憩時間を含む）。

2)「情報システム・マニュアル」改正の方針とスケジュール。地区委員長から下記の通り説明し、了承された。

㈠会員候補者に対する情報提供用の10枚の質問シートを、『手続要覧(1992)』の改正箇所について書き改める。

㈡例会5分間情報用の40項目の情報シートも、『手続要覧(1992)』の改正箇所について書き改める。

㈢クラブ討論会、家庭集会用等の情報シートのうち、今日の状況に適合しないものは書き改めるとともに新たな項目を追加する。例えば、環境保全を追加し、高齢者問題、ロータリー・ボランティア、ポリオ・プラスは書き改める。

㈣『別冊教本』に収録されている「ロータリー行事月間」の卓話用テキストについては、担当パスト・ガバナーの方々に、書き改めて頂く。

㈤上記改訂頁だけを印刷配付し、原本の該当頁と差し替えて頂く。原本を保有しない新クラブには、原本を併わせ配付する。

〔情報提供方法のシステムに関する説明

の部分(カラー用紙の部分)は、時間的制約等の事由から、今回は改訂を見合わせる。〕

㈡1993年4月末日完成を目標とする。

3)「クラブ細則」改正に関するアンケート調査について。

クラブ細則改正の実施状況とその内容に関するアンケート調査(用紙を配付)の実施について、地区委員長からご協力をお願いし了承された。

上記の説明の後、質疑応答に移り、『手続要覧』改正点や「クラブ細則」改正事項等に関する質疑応答が活発に行われ、定刻を迎え、菅生パスト・ガバナーのご挨拶があり閉会した。

地区大会についてお知らせ

地区大会実行委員会

本年度（1992～1993）地区大会は平成5年4月23日(金)、24日(土)の両日、開催いたします。

●第1日目はロイヤルホテルで午後1時より開催いたします。今回のシンポジウムは「水都大阪の再生」～近畿は美しく～をテーマとして、水の都と呼ばれるように歴史的観点から、ベイエリア・リバーフロントを中心にした最近の都市開発、また琵琶湖・淀川水系など生態学的な視点から各界有識者により、パネルディスカッション形式で、映像を交えて実施致します。

コーディネーターは

毎日放送アナウンサー　小池　清氏

パネリストは

大阪市助役　佐々木　伸氏

淡水生物研究所所長　森下　郁子様

他1名を予定しています。

●次に各奉仕部門別懇談会は、従来の4部門から青少年奉仕部門を新たに加え、5部門でご討議していただきます。

●夫人のつどいも従来の講演形式ではなく中之島の東洋陶磁美術館を見学致します。中国陶器と朝鮮陶器の魅力を満喫していただきます。(ロイヤルから小型バスでの送迎付き)是非、ご夫人のご参加をお勧めください。また、そのあと開催されますRI会長ご夫妻晩餐会にも多数ご参加下さい。

●2日目の本会議はフェスティバルホールにて12時30分より開会されますが、それに先立ち10時より同ビル地下の「ジオ」に於いて大阪の伝統工芸展を開催します。実演として蜻蛉玉、張子の虎、純金高蒔絵、なにわ竹細工、宮殿作等を計画しています。

午後3時まで行っていますので同ホールに設けられたお茶席で寛ぎながら、本会議の合間にもご覧下さい。

●本会議の登録は10時より行います。受付にてお弁当の引換え券を受け取っていただき開会の13時30分までに昼食を済ませて下さい。

●〔今回の記念講演〕は

関経連の宇野　収氏による「関西の活性化の展望」です。

●〔エンターティメント〕は

ジャズ歌手として圧倒的な人気を誇る、阿川泰子さんが皆さんも良くご存知の名曲をお送りする魅惑のステージです。

これらは一般公開とし、各クラブに招待状を送付しますので是非、会社の方々にもご覧いただいて下さい。

●本会議終了後、再び地下の「ジオ」でローターアクト、インターアクト、財団留学生などを招き、デイスコパーティー・カラオケ大会など楽しい企画で「青年のつどい」を開催致します。

●尚、記念ゴルフ大会は4月22日(木)茨木CC、西コース、8時6分スタートで開催致しますのでこちらのほうも奮ってご参加下さい。

●以上、概要を申し上げましたが、とにかく本年度は山中ガバナーのご意向で、「楽しい地区大会にしよう」をモットーに盛りだくさんの楽しい趣向を凝らしてみました。是非、ご夫人共々多数の方々がご出席下さいますようお願いいたします。

国際ロータリー第2660地区　歴代ガバナー

年　　度	ガバナー	所属クラブ	地　区	地区エリア	クラブ数	会員数	備　　考		
1924(大13)～1926(昭1)	米山　梅吉	東　京	(無地区)		5R.C.	207	スペシャルコミッショナー		
26　～　27	井坂　孝	東　京	(　〃　)		6R.C.	253	〃		
27　～　28	平生釟三郎	大　阪	(　〃　)		7R.C.	319	〃		
28　～　31	米山　梅吉	東　京	70地区	日本、旧満州、朝鮮、台湾	11R.C.	540	ガバナー制度発足		
31　～　33	井坂　孝	東　京	〃	〃	14R.C.	659			
33　～　35	村田　省藏	大　阪	〃	〃	28R.C.	894			
35　～　36	朝吹　常吉	東　京	〃	〃	31R.C.	1,071			
36　～　37	佐藤　昌介	札　幌	〃	〃	39R.C.	1,350			
37　～　38	里見　純吉	大　阪	〃	〃	44R.C.	1,889			
38　～　39	松本健次郎	門　司	〃	〃	46R.C.	2,006			
39　～　40	大沢徳太郎	京　都	71地区	日本西部	20R.C.	794	地区分割		
40　～9月迄	岡崎　忠雄	神　戸	〃	〃	——	——	(R.I.脱退)		
40　～　49		(R.I.脱退期間)		——	——	——			
49　～　51	手島知　健	東　京	60地区	日本全国一地区	64R.C.	2,394			
51　～　52	星野　行則	大　阪	〃	〃	75R.C.	2,947		(全国)クラブ数	会員数
52　～　53	鳥養利三郎	京　都	61地区	日本西部	50R.C.	1,898	地区分割全国2地区	106	4,149
53　～　54	北沢敬二郎	大　阪	〃	〃	71R.C.	2,503		140	5,268
54　～　55	小菅　金造	神　戸	〃	〃	75R.C.	2,977		157	6,337
55　～　56	石川芳次郎	京　都	63地区	近畿、四国	47R.C.	1,977	地区分割全国5地区	188	7,559
56　～　57	今村　荒男	大　阪	〃	〃	56R.C.	2,313		230	9,107
57　～　58	直木太一郎	神　戸	365地区	〃	64R.C.	2,624	地区番号変更	257	10,379
58　～　59	今田　恵	西　宮	〃	〃	75R.C.	3,154		308	12,591
59　～　60	堀場　信吉	京　都	〃	大阪、和歌山、京都、奈良、滋賀、福井	43R.C.	2,000	地区分割全国6地区	376	15,406
60　～　61	中野　静夫	大　阪	〃	〃	60R.C.	2,067	地区分割全国7地区	445	18,619
61　～　62	秦　孝治郎	京都北	〃	〃	63R.C.	2,924	地区分割全国8地区	509	21,724
62　～　63	森　寿五郎	大阪南	〃	〃	65R.C.	3,212		558	24,968
63　～　64	緒方　準一	奈　良	〃	〃	66R.C.	3,480		606	27,947

年度	ガバナー	所属クラブ	地区	地区エリア	クラブ数	会員数	備考		
64 ～ 65	堀内　清	京　都	365地区	大阪、和歌山、京都、奈良、滋賀、福井	68R.C.	3,723	地区分割全国10地区	682	31,865
65 ～ 66	岡島　美行	大　阪	〃	〃	68R.C.	3,936	地区分割全国11地区	739	35,006
66 ～ 67	北村孝治郎	大　津	〃	〃	70R.C.	4,148		798	38,379
67 ～ 68	平沢　興	京都東	〃	〃	73R.C.	4,400	地区分割全国13地区	868	41,527
68 ～ 69	原田　秀雄	大阪北	〃	〃	81R.C.	4,710	地区分割全国14地区	931	44,851
69 ～ 70	塚本　義隆	大　阪	〃	〃	89R.C.	5,282		1,015	49,403
70 ～ 71	井関　久楠	和歌山	366地区	大阪、和歌山	56R.C.	3,445	地区分割全国17地区	1,068	52,940
71 ～ 72	尾形　繁之	堺	〃	〃	43R.C. 13R.C.	2,777 717	地区分割全国18地区	1,122	56,241
72 ～ 73	大谷　一雄	大阪西	〃	〃	61R.C.	3,848		1,174	60,399
73 ～ 74	田宮　佐	高　槻	〃	〃	67R.C.	4,076	地区分割全国20地区	1,222	64,428
74 ～ 75	峯村　英薫	大阪東	〃	〃	72R.C.	4,349	地区分割全国21地区	1,276	67,961
75 ～ 76	平井常次郎	大阪南	〃	〃	76R.C.	4,584		1,333	71,851
76 ～ 77	藤沢　元雄	和歌山	〃	〃	79R.C.	3,819 990		1,373	74,403
77 ～ 78	菅生　謙三	大阪北	266地区	〃	81R.C.	5,005	地区分割全国22地区（地区番号200番台に変更）	1,412	77,043
78 ～ 79	伊藤　恭一	大　阪	〃	〃	85R.C.	5,427	地区分割全国23地区	1,451	79,762
79 ～ 80	伊瀬　芳吉	池　田	〃	〃	89R.C.	5,686		1,496	82,556
80 ～ 81	飯沼　剛	堺	〃	〃	91R.C.	5,831	地区分割全国24地区	1,537	84,605
81 ～ 82	種田　憲次	大阪住吉	〃	〃	92R.C.	5,960		1,561	86,585
82 ～ 83	戸田　孝	八　尾	〃	大阪（大和川以北）	54R.C.	3,751	地区分割全国26地区	1,585	88,637
83 ～ 84	世戸　一夫	大阪難波	〃	〃	57R.C.	4,001		1,631	93,213
84 ～ 85	中村　俊一	東大阪	〃	〃	61R.C.	4,293		1,675	96,339
85 ～ 86	中西　正二	大阪西	〃	〃	64R.C.	4,468	地区分割全国27地区	1,727	99,548
86 ～ 87	坂東　宏	吹　田	〃	〃	65R.C.	4,547		1,779	102,426
87 ～ 88	松本　良諄	大阪東	〃	〃	68R.C.	4,782	地区分割全国28地区	1,814	105,716
88 ～ 89	古田　敬三	大　阪	〃	〃	70R.C.	4,951	地区分割全国29地区	1,861	109,779
89 ～ 90	武尾敬之助	大阪西北	〃	〃	71R.C.	5,100	地区分割全国30地区	1,922	114,623
90 ～ 91	広瀬勘一郎	大阪西南	〃	〃	72R.C.	5,262		1,977	119,103
91 ～ 92	菅生　浩三	大阪北	2660地区	〃	74R.C.	5,442	地区分割全国31地区	2,037	122,800
92 ～ 93	山中　文和	大阪南	〃	〃	——	——	地区分割全国33地区	——	——

1992年11月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	11月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	70	0	98.96	3	15
東大阪	84	84	0	95.39	4	56
東大阪東	67	72	+5	97.01	4	38
東大阪中	60	59	−1	95.44	4	54
東大阪西	62	63	+1	94.00	4	63
枚方	54	59	+5	98.15	3	27
枚方くずは	50	52	+2	98.47	4	23
茨木	62	63	+1	98.73	4	17
茨木東	58	59	+1	96.05	4	49
池田	58	58	0	95.69	4	52
池田くれは	51	54	+3	94.93	3	59
門真	31	31	0	93.75	4	65
交野	49	48	−1	95.28	4	58
箕面	68	67	−1	98.81	4	16
箕面中央	58	58	0	96.97	4	39
守口	87	86	−1	98.48	4	22
寝屋川	60	61	+1	95.54	4	53
大阪	311	319	+8	88.20	4	75
大阪阿倍野	61	67	+6	94.48	4	60
大阪ちゃやまち	62	64	+2	97.27	4	35
大阪中央	69	69	0	100.00	4	1
大阪堂島	62	63	+1	96.83	4	40
大阪阪南	80	82	+2	97.94	3	31
大阪阪和	48	52	+4	94.03	4	62
大阪東	144	146	+2	98.21	4	25
大阪東淀	73	73	0	96.77	4	42
大阪平野	62	59	−3	99.15	4	14
大阪本町	62	68	+6	92.57	3	45
大阪城	23	22	−1	92.86	4	67
大阪城南	81	82	+1	100.00	4	1
大阪城東	72	74	+2	100.00	4	1
大阪柏原	45	47	+2	97.77	3	32
大阪北	198	202	+4	92.66	4	69
大阪北梅田	64	67	+3	98.50	4	21
大阪北淀	53	56	+3	97.77	4	32
大阪南	194	189	−5	92.72	3	68
大阪港	47	46	−1	89.37	4	73
大阪難波	87	89	+2	98.19	4	26
大阪なにわ	69	70	+1	97.14	4	37
大阪南西	73	71	−2	96.07	4	48
大阪西	113	112	−1	97.25	4	36
大阪大手前	66	66	0	100.00	4	1
大阪大淀	70	71	+1	98.57	4	20
大阪西北	79	80	+1	98.69	3	19
大阪西南	116	119	+3	100.00	4	1
大阪船場	57	57	0	95.77	4	51
大阪心斎橋	81	85	+1	96.71	4	43
大阪城北	63	62	−1	100.00	4	1
大阪住之江	48	48	0	100.00	4	1
大阪住吉	84	84	0	92.64	4	70
大阪天満橋	105	104	−4	96.31	4	47
大阪天王寺	51	51	1	92.32	4	72
大阪東南	65	65	0	95.38	3	57
大阪鶴見	54	54	0	94.44	3	61
大阪梅田	67	70	+3	96.61	3	44
大阪梅田東	62	63	+1	98.02	4	29
大阪うつぼ	78	77	−1	97.98	4	30
大阪淀川	97	95	−2	96.79	4	41
千里	79	79	0	98.12	3	28
摂津	48	47	−1	93.23	4	66
四条畷	25	25	0	88.53	4	74
吹田	76	77	+1	99.35	4	13
吹田江坂	50	49	−1	100.00	3	1
吹田西	66	69	+3	100.00	4	1
高槻	71	70	−1	98.34	4	24
高槻東	57	58	+1	99.55	4	12
高槻西	42	41	−1	98.70	4	18
豊中	73	77	+4	95.43	3	55
豊中南	59	59	0	100.00	4	1
豊中－空港	64	64	0	92.59	4	71
豊中千里	38	41	+3	93.90	4	64
八尾	78	80	+2	97.41	4	34
八尾中央	50	52	+2	96.00	3	50
八尾東	55	59	+4	96.55	4	46
大阪中之島	47	47	0	100.00	1	1

クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率
75	5,356	5,478	+122	96.66%

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

鈴木　頼正	茨木RC	9. 9
大野　忠雄	梅田東RC	9. 9
※崎島　七郎	大阪住之江RC	9.11
谷垣　明生	大阪東RC	9.25
寺本　年範	大阪難波RC	9.25
※横田　俊治	大阪大淀RC	9.30
※白木　龍雄	大阪RC	9.30
水間　正一	吹田西RC	9.30
金本　章嗣	大阪城東RC	10. 2
木村　昌民	大阪城東RC	10. 2
野村　裕二	大阪城東RC	10. 2
※長濱　晃	大阪南西RC	10. 8
※中山　寿一	大阪南西RC	10. 8
戸髙　秀明	大阪南西RC	10. 8
植田喜保一	大阪阪和RC	10. 8
※池田　正	大阪本町RC	10.12
Holstein, Jenes C.	大阪RC	10.14
近藤　浩司	大阪南RC	10.14
大槻　峻央	大阪ちゃやまちRC	10.16
坂　治彦	大阪ちゃやまちRC	10.16
今川　隆	大阪難波RC	10.20
山田紘一郎	大阪南RC	10.21
堀岡　晃	枚方RC	10.27
佐々木誠二	大阪RC	10.28
奥田　督	大阪大手前RC	10.30
山本　梁介	大阪大手前RC	10.30

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。 (1992)

辻本　一義	東大阪RC
常楽寺　喜雄	東大阪東RC
坂井　正純	茨木RC
小川　明宏	箕面中央RC
川村　智一	箕面中央RC
右田　堯雄	守口RC
飯塚　順一	守口RC
三宅　英子	大阪RC
中郁　由雄	大阪平野RC
石浜内外硝子㈱	大阪城南RC
タイセイ㈱	大阪城南RC
宮川　宗三	大阪柏原RC
石田　正起	大阪南西RC
荒井　敬一郎	大阪北RC
西田　文明	大阪北RC
㈱ユニオン配ぜん人紹介所	大阪大淀RC
フジカラー新日本名古屋	大阪南RC
※稲垣　三郎(5回目)	大阪南RC

文　庫　通　信 (63号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万6千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や通信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

追悼記念週間に因んで

◎「青少年とスポーツ　竹田恒徳にきく」　ロータリーの友　1968年1月号　4頁
【申込先　文庫(コピー)】

◎「多種多様の中の調和と個人の確立」　佐々木統一郎　1971年　11頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「心の温かさ　こそロータリーの推進力」　松本兼二郎
ロータリーの友　1973年6月号　4頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「ロータリー発祥の背景」　佐々木統一郎　1974年　19頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「そろばんと論語」　塚本義隆　1974年　60頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「ポール・ハリスの願い…中牟田喜兵衛・田宮　佐・内藤卯三郎・佐久間長吉郎・佐藤堅治・岡田正雄の各氏にきく」　ロータリーの友　1976年2月号　4頁
【申込先　文庫(コピー)】

◎「ロータリーの心」　笹気幸助　1978年　9頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「日本人とロータリー」　前原勝樹　1978年　11頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「ポール・ハリスの口授」　中西　進　1985年　2頁　【申込先　文庫(コピー)】

◎「ロータリアン　福島喜三次傳」　有田R.C.　1986年　102頁
【申込先　有田R.C.　☎09554-3-3120】

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

山田紘一郎	大阪南RC
大貴不動産㈱	大阪南RC
前川彦右衛門	大阪住吉RC
井内博見	大阪住吉RC
近藤徹	大阪西RC
浅田憲一	大阪西RC
元木秀彦	大阪西RC
黄金屋販売㈱	交野RC
※星野孝文	交野RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1992)

吉川忠章	東大阪東RC
畑屋太一郎	枚方くずはRC
中田耕平	茨木RC
岡田隆夫	茨木東RC
田中博夫	茨木東RC
矢野克吉	茨木東RC
佐々木誠二	大阪RC
武田繁治	大阪城南RC
森直樹	大阪城南RC
辻谷弘	大阪城東RC
藤田幸一	大阪城東RC
野口房好	大阪北RC
加藤四郎	大阪北RC
柴垣博宣	大阪北RC
池田淳八	大阪住之江RC
柳澤忠麿	大阪住之江RC
南川和茂	大阪天満橋RC
大森周	大阪西RC
鴻池忠彦	大阪西RC
橋本房利	高槻東RC
南坂和一	豊中RC
栗本武	豊中南RC
泉寛治	八尾中央RC
古谷登士光	大阪阪和RC

訃報

須賀川　太郎君（大阪南RC）
平成4年11月5日逝去（享年99歳）
明治26年10月3日生まれ
1952年入会（昭和27年12月）
創立会員
1963～'64年度　会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

平沢　俊雄君（大阪南RC）
平成4年11月19日逝去（享年92歳）
明治32年11月29日生まれ
1955年入会（昭和30年4月）
1972～'73年度　会長
ポール・ハリス・フェロー

藤井　士郎君（大阪天満橋RC）
平成4年11月25日逝去（享年54歳）
昭和13年6月26日生まれ
昭和51年6月16日入会
国際奉仕委員会で姉妹R.C.で活躍される。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お知らせ

◆ロータリー・レート変更
1月1日から　1ドル＝125円

◆箕面中央RC事務所移転
2月1日より
（新）〒565 豊中市新千里東町1-2-1
千里中央センタービル4階

◆12月号
出席報告　寝屋川RC　74位 → **44位**に

◆中之島RC　例会日　毎週木曜日
会長　牛島　奎宇

訂正とともにお詫び申しあげます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

2月

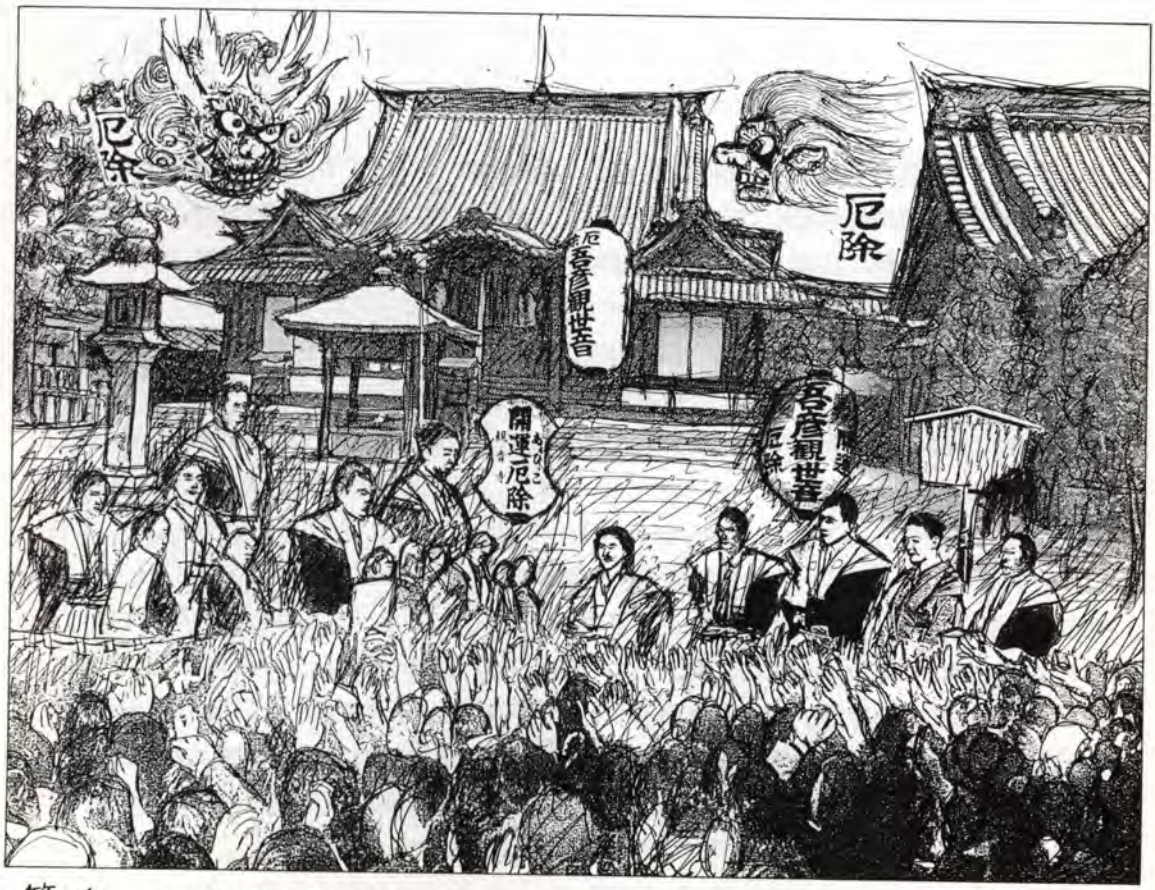
Feb.1 1993
NO.8
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山本文和



節分

（木村光佑）

外国人就労者に温い心を

ガバナー　山　中　文　和

「相互理解の重大さ」

比較的温暖であったお正月もあっという間に過ぎ去り、寒さの一段と厳しい如月を迎えましたが、任期の半分を終えられた会長さん、幹事さん、ますますお元気でご活躍のことと思います。

この世界的社会体制の大変化と激動の時代に人類が生き残り、一層高い水準に向かって前進するためには、全世界の各国の国民がおたがいに正しく理解しあうことは最も必要の事であり、かつ最も重大な事はいうまでもありません。

ときあたかもロータリーが1983年にその創立記念日である２月23日を「世界理解と平和の日」と定めたのは大変意義深いことです。

ひとくちに世界理解と申しても、現実には大変むつかしい事です。新聞雑誌やテレビやラジオでの海外の話を見聞してみるだけではとても真の理解とはほど遠く思われます。

文化、政治、経済、言語、習慣、生活洋式等まったく異なる国や民族をはたして我々はどれだけ理解しているだろうか。

「御飯たべたか」

数年前、中国からの留学生を一年間お預かりした。到着早々彼は「山中先生、吃飽了嗎」(先生御飯たべたか) と言った。私はいささか驚き、「そんな事はどちらでもよい、貴君のこれからの日程について……」と多少語気をあらだてて叱った。翌日、中国の友人にこの話をしたら大笑いをされ、「あなたは数十回も台湾へ行きながら、それは“今晩わ”という意味なのをしらなかったのですか」と言われ改めて驚いた。

古くから台北市に支店を出して数多くの中国人と接している私にして気が付かなかった。勿論何度かこの言葉を聞いていただろうが、その時は文字通り解釈して「食事はまだか　それなら一緒に食べに行こう」という意味と勘違いしていたのである。4000年の歴史に育まれた食文化をもつ中国人の中に生まれた「食べる事を常に感謝し、最も大切にする」感覚は、日本人にはとうてい想像の出来ない世界であった。

毎年(半年毎に)サンパウロ支店から決算書が(日本語)送られてくるが、それを見ていて

も順調にいっているのか損をしているのか全く解らない。昨年の今月100万円で売っていた同じ商品を、今年の今月は2600万円で売らねばならない。2600%のインフレ経済下のブラジルの経済活動は、私共にとっては理解の外にある困難な状態と言わざるを得ない。

現在全世界の70ケ所ぐらいで、軍事的こぜり合いが行われているのは大変悲しい事ですが、イスラム原理主義者と他の宗教の人々との間で、信ずる事が異っているというだけで、血を血で洗う殺し合いをしなければならない問題、そして特にイラクの大統領がアラブの大義をとなえ湾岸戦争を引きおこし、やっと終結したかにみえた今日この頃、再び大きな紛争の目を引き起こしている。この様な中近東の一部の人々の考え方は、私共にとっては、とても理解し難い事であると思っていたが、アメリカはじめアジアの多くの外国人からは、日本もイラク同様大変理解し難い国だと言われて驚いた。

日本は戦後非常に貧しかったので、とても戦時損害賠償をとるのは無理と判断して、米国、中国や東南アジアの被災国の多くは賠償請求を放棄してくれた。そのうえ各国からいろいろな恩恵をいただいて、今日、わが国はすばらしい経済大国に発展した。

同じ敗戦国のドイツは、被災国家に対して現在すでに300億ドルに近い援助をしており、日本はその5分の1もしていないと言われている。米国には湾岸戦争のとき100億ドル以上の貢献をしているが、この事によりなおのことアジアの大戦被災国の人々はどの様に考えているだろうか。

「ロータリーと国際理解」

この様な例は枚挙に暇がありませんが、こうして考えると国際理解は大変幅広く、その上奥の深い難しい事でしかも本当に大事な事であると思います。

ロータリーはシスタークラブや友好クラブとの関連やW.C.S.、交換学生、親善会議や国際大会等多くの方法を用いて、またG.S.E.、国際親善財団奨学生、3-Hプログラム、ポリオプラス等のロータリー財団の奉仕事業や、米山奨学会を通じて国際理解の為に数々の素晴らしい活動を行っております。この様に奉仕の実践を通じての接触が真の理解につながると確信しております。

「多国籍共住共働の時代」

国際理解には国外の方々に対する理解と日本国内に滞在する外国人に対するものとあります。日本に滞在している外国人にたいする対策として米山奨学制度は永年素晴らしい活動を活発に展開しているが、今ここにきて、もう一つ新しい大きな問題が起きてきている。

外国人就労者(単純労働)に対する問題である。欧米では何十年も前から難民や移住労働者の問題をかかえ、その心構えと対策には大きな経験を経てきているが、今や日本も現実にその直撃を受け、いやおうなしに多国籍共住共働の時代が来つつある。今や、我々日本人にとって彼らに対して温かい心をさしのべる事が大きな責務となってきた。我々ロータ

リアンにとっても無関心でおるべき問題ではなく、むしろ卒先して行うべき問題である。

「日本滞在外国人の現状」

平成３年度の

外国人合法長期滞在者	計	258,327人
外国人合法短期滞在者	計	2,979,547人
	合計	3,237,874人

ただし、その他に二重国籍を有する日系外国人(２世・３世)の就労者を加えると長期滞在者はその倍ほどにもなる様に思います。その上に、

外国人不法残留就労者(推定)	男性	145,700人
	女性	70,699人
	合計	216,399人

国別にみると

タ　イ	32,751人	マレーシア	25,379人
韓　国	30,976人	イラン	21,719人
フィリピン	29,620人	その他	

等でその内の摘発者は平成３年中で32,908人に達している。

「高齢化社会をささえる労働人口」

ひるがえって我が国の状態をみてみるとご存知のごとく、すごい勢いで高齢者社会になりつつある。平成３年度ですでに65才以上の老人といわれる人々は、全日本人口の12.5%を超えている。しかもどんどん出生率がおちているのは御存知の通りであります。

この高齢化社会を支えるべき労働人口の減少は、いずれはもっと多くの外国人就労者を必要とし、好むと好まざるに関わらず、法律の整備をし、もっと外国人就労者を正式に受入れなければ社会が成り立たないことは経済原則の上からも当然わかりきっている事であろう。入国管理令、外国人登録令や職業安定法等、外国人に対する法律がいっぱいあるのはこれまたご存知の通りですから、改正されるまでは法律に触れない様充分注意しながら将来にそなえ多国籍共住共働の先輩諸国の事例にかんがみ、前者の轍をふむことなく、ただいたずらに外国人就労者を排斥することなく、むしろこれからの日本社会を支えてくれるこれらの人々にまず我々ロータリアンが理解を示し、感謝の気持ちをもって接してゆく心がまえをもたねばならないと思うのです。

世界理解月間について

国際奉仕部門担当
パストガバナー　坂東　宏

２月23日はロータリー創立記念日であり、この日を世界理解と平和の日と定め、この日を含む２月を世界理解月間とし、世界全体を理解し平和達成を祈念する月と定めました。

ロータリークラブは国際ロータリーの構成員であり、現在185国間に存在し、国際的であるというところに存在価値の半分以上を占めていることは皆様ご承知の通りです。

国際的な活動として、現在私が担当している青少年交換、世界社会奉仕（W.C.S.）国際交流・平和委員会の外、ロータリー財団、米山奨学会があり、ことにポリオプラス基金の寄付額において日本が49億円に達する額を集めたことは記憶に新しいところであります。

国連は今年を国際先住民年であると指定しました。これは先にその土地に住んだ民族を尊重するという意味だと思います。このことで思い起こすのは昨年コロンブス500年祭において問題となった先住民であるインディアンを尊重するのか、侵入者であるコロンブスを尊重するのかという問題です。

今年から国際先住民年を設定したのは各地で民族紛争が起きているからです。ただ私達が考えねばならぬことは世界理解として、それぞれの民族の立場を考えると共に個人々々の幸福が最も優先すべきであるということです。この間テレビで見たユーゴスラビアのクロアチア、ボスニアの戦いですが、その中でフランスに避難する女、子供達の言葉として「私の主人は鉄砲を持って戦いに行った。今何処にいるかわからない。多分民族の組織に入ることと思う。お互いに隣近所で仲良くしていたのに、何故戦わねばならないのですか。」という言葉が印象的であった。そして、この１月10日に放映されたNHKのテレビでもこの異民族を両親に持つこの国出身の女性歌手が「みんなに平和を」という言葉を強く訴えています。

ここで考えられるのは組織と個人ということです。組織は個人の幸福達成のためにあるもので、他の組織と戦うためのものではないのです。あくまでも個人の幸福が優先です。このことについては私達日本人は過去の戦争でいやという程の経験を持っています。

成程、多数を統制するために組織は必要です。しかし、それはあくまでも個人の幸福を望んでのものです。共産主義の国家は崩壊し民主主義が勝利を占めたように見えます。しかし、民主主義の多数決原理も少数意見を圧迫し、必ずしも良いとはいえません。

私達はここに国際理解という言葉を大にするあまり、国家民族の組織そのものを理解することだけで事足れりとしてはならないのです。個人の幸福を考える必要があります。

ここで最後に述べたいのは、組織が大きくなるとその組織が尊重され、個人が無視されるということです。ロータリーの精神は個々のロータリアンの自覚に基づく活動であり、組織はあっても、これは個々のロータリアンの活動を手助けする手段であります。国際ロータリーもこの様な組織にとらわれることなく、ロータリー精神を見直すべき時期に来ているのです。私はガバナー時代に見えない糸と見える糸という言葉、即ち、見えない糸こそ人間が本来持っている調和志向であり、見える糸は権力志向という人間がつくり出した虚構であると述べて来ました。組織は権力志向に結びつき易いのです。

国際ロータリー第2660地区インターアクト
海外研修旅行 報告

米国アナハイム第5320地区 インターアクトと交流

第2660地区インターアクト委員長　中島　孝夫

平成４年12月24日より29日まで、米国ロサンゼルス・アナハイムを訪問し、現地アナハイム第5320地区のインターアクターたちと親しく交流することができました。実現に至りますまでの経過について反省も含め、幾つか報告したい事柄があります。

今回のロス・アナハイム訪問は第2660地区としては、先方との面識も皆無なままに、準備をはじめたことでした。翌年の海外研修のためには訪問地のガバナーノミニーとこちらのガバナーノミニーとの了解が早急につけられるか、あるいは既に訪問の経験があり、気心のわかった地区との交流ができるか、いずれかでなければ交流が難しいと思われます。将来に亘り海外研修が必要なら、地区委員会で数年分の訪問地を選んで置き、担当のクラブと訪問時期、大体の費用枠も決めておけば、ときのガバナーの意向も反映させ得る時間のゆとりも生まれ、学校側の準備もできることになるはずです。本年度は訪問地の選択にも手間取り、担当クラブと地区委員長との連携も拙く地区にも迷惑をかけることになりました。幸い第5320地区のガバナーとインターアクト委員長との地区同士の連絡が地区幹事のご尽力により、取れはじめ、その後は準備がスムーズに運びました。当初学校側ではホームスティをさせたい意向がありましたが、ロス暴動など事件が頻発したこともあり、ホームスティを断念させ、その替わりにインターアクターとの交流をメインに企画しました。幹事校にあたります学校の顧問団はロータリーの対応如何で協力度合も変わり、準備段階での迅速さが海外研修の良否に影響を及ぼします。今回は２回の下見を致しましたが、来年度は１回で十分な体制で臨みたいと思いました。

12月24日、９校インターアクター71名、顧問18名、医師とロータリアン計91名が、クリスマスイブで賑わうロサンゼルスに降り立ち、バス３台を連ねて、暖かい日差しを浴びるマリナデルレイから始まるお定まりのコースを周りました。午後

午後４時アナハイムに着いて、その足で有名なガラスの教会、クリスタルカセドラルに入りました、数千人の赤いクリスマス衣装の目立つ会衆を前に著名な牧師の説教があり、巨大なパイプオルガンの音に圧倒されました。灯りを消してキャンドルが揺れるムードに全員が粛然としたのでした。ホテルに到着後も今日一日の感動続きでインターアクターも興奮ぎみでした。25日は予定通り、ディズニーランドへ、クリスマス当日、どこも休みなのにもかかわらずディズニーランドは開場しており、さしもの広い駐車場もあふれ、場内いずれもすごい行列でした。本部を中央近くに置き、顧問が交替で駐在することになりました。最後のクリスマスパレードで午後９時に集合するまで、みんなどこへいってしまったのかそれまで一度も会わなかったのですが、時間になると全員が集まってきて我が地区インターアクトのマナーのよさに満足しました。アクターたちの瞳が輝いていたのが印象深く、来てよかったと、ご一緒できた金光八尾の細木校長と夜のミーティングの折り、話し合ったのでした。

26日は第5320地区インターアクトとの交流の日となりました。朝早くから顧問たちと会

場づくりです。丸いテーブルを16卓配置して、正面に第2660地区と第5320地区のインターアクト親善交流会と染め抜いた布を張りめぐらせて、間もなく地区インターアクト委員長フランク・パーソン氏ご夫妻で来られ、ロータリアンとインターアクトアドバイザーが計10人、いろんな学校から選ばれたインターアクターが約束通り75名続々と到着、すでにテーブルについていたこちらのアクターの間に席をとってくれました。前半はセレモニー、日本のインターアクトの歌を歌ったのですが、あまりうけませんでしたあまりにも日本的過ぎたようです。両地区代表の挨拶があり、委員長フランク・パーソン氏が歓迎の言葉のなかで経過報告をされ、交流がこれで終わらぬように継続して行きたいという、やさしい心暖まるお話がありました。アナハイムの各クラブバナーがひとりひとりアクターから我々に渡され34枚に達しました。第2660地区からは山中ガバナーの親書と、9枚のバナーを渡しました。全員にプレゼントとして日本でつくっていった地区インターアクトバナーをアクターからアクターへ手渡しました。それとは別にパーソナルギフトをそれぞれ用意していて思い思いに渡していたようです。プログラムが進行し、両地区の活動報告がスライドでなされました、あちらの活動は老人ホームのペンキ塗り奉仕などが目立っていました。アトラクションを両地区披露、日本側はおなじみ折り紙、平生は折り紙など見向きもせぬはずの男生徒がみんなの前でよろしくやっていたのがほほえましく、愉快でした。あちらはサバイバルゲームをやってくれました、当然英語なのでこちらはあらかじめ翻訳しておき、練習もしておりましたのでスムーズに運び、交流が盛り上がりはじめました。さすがに米国らしいダッチダックダンスもリラックスした演技で拍手喝采でした。

昼食は我々の招待として立食で行われ、ロータリアンは途中で名刺交換を致しました。午後はアクターたちだけの時間、ずいぶん心配していたのですが、なんのなんのダンスはやるわ、ゲームはするわ、ドタバタ走りまわるわ、大人の心配はまさに杞憂に終わりました。時間が来てもやめるのは少数で、名残り惜しく、夜デートに誘われたりした子もあったとか。最後は日本のアクターが花道をつくりその間を米国のアクターたちが握手しながら出て行きました、中には大きなアクターに抱きつかれて奇声を発する女の子もいて本当に和やかな交流の風景が展開していました。

アクターたちが親善交流をしている間、アナハイムにおける、インターアクト活動についてロータリアンの立場で話合いました。アナハイム第5320地区には56ロータリークラブがあり、そのうち15クラブがインターアクトを持っており、地区委員にあたるものが10人、それにアドバイザーが設置されているようでした。インターアクトの例会にはロータリアンはときどき顔を出す程度だと言っていました。委員長のパーソン氏はしかしなかなかインターアクト活動には情熱を燃やしておられる方で教えられることが多くありました。インターアクトクラブが地区に多いことを感心して尋ねてみますと、この地方では学校にかならず奉仕の時間があり、この奉仕の時間をインターアクトに当てることが可能でロータリーからの誘いに応じやすいようなのです。奉仕に対する地域の考えが日本とは根本的に違っていることを痛感した次第です。それでも尚、インターアクトを地区に増やしたい意向を聞き、我々も熱心に勧誘しなければならないと思ったことでした。

27日はさすが米国、第3次産業の国、大衆娯楽のメッカ、ハリウッドならではのユニバーサルスタジオの見学に出かけました。ゴルフ場を含め数十万坪ある敷地の一角にE・Tやジョーズなどポピュラーな映画のセットや撮影の一部を見せるのですがスケールが大きく大人も子供も一日十分に楽しめるよう企画されたものです、ここもすごい行列でしたが、行列を巧く捌く技術が出来ており、苦痛を感

じないで行列ができるよう工夫されていました。アクターたちも喜々として楽しさに溶けこんでいたようでした。

28日は午前8時50分朝食後すぐ解団式を行いました、空港の雑踏の中よりもいいだろうとの判断です。「我々は今回の海外研修で、将来を開く2つの鍵を手に入れた、一つは感動であり、今回それぞれが得た感動は必ず未来を開く糸口となるだろう、またずいぶんいろいろな人に世話になった、感謝の拍手を送ろう、真の幸福は人助けから、と言う意味が理解できたはずだ。これが第2の未来を開く鍵なのだ。」と話しました。

事故も病気も困難なことも一つとしてなく、大きな感動に包まれた海外研修でした。

"財団奨学生募集要項が変更されました!"

ロータリー財団奨学生募集

1994～'95年度 ロータリー財団国際親善奨学金

外国で専門分野の勉強をしながら国際理解の親善使節として、使命を果し得る青年男女に選考の上、奨学金が提供されます。

種　　類：大学院課程奨学金
　　大学課程奨学金
　　※従来の「職業研修」「障害者教師」「ジャーナリズム」の課程は削除されました。

奨 学 金：往復旅費、1学年間の教育費、生活費、雑費。
　　但し、旅費を除き20,000ドルを超過する分は自弁とします。

資　　格：

	大学院	大学
教育程度	学士号または同程度	大学2年終了、または高等学校を卒業し最少2カ年の職業に従事したもの
年齢（1993年7月15日現在）	18歳以上	18歳以上
既婚・未婚の別	不問	未婚

※年齢上限がなくなりました。

申請方法：第2660地区の希望者は、地区内の現住所（住民票に記載されている住所）または本籍地にあるロータリークラブ、もしくは希望者の在学、勤務先の地域にあるロータリークラブを通じて、**1993年4月30日**までに申請すること。
（ガバナー事務所宛締切日5月28日）

選考期日：**1993年6月12日(土)**
　　一次試験（語学力）
　　6月26日(土)
　　二次試験（面接）

◎語学力について

英語圏留学希望者はTOEFL 550点以上、その他の語学圏希望者はBerlitzの語学力試験に合格することを必要とし、第一次試験日までにその証明書を提出した場合には、当地区での語学力テストは免除されます。

☆注意事項

①今年度より(イ)1学年国際親善奨学金
(ロ)マルチ・イヤー国際親善奨学金
(ハ)文化研修のための国際親善奨学金
の分類になりましたが、初年度にあたる今年当地区では**(イ)1学年国際親善奨学金のみ**実施いたします。

②申請書（1992年12月12日、第2回ロータリー財団委員長会議で各クラブ財団委員長に配布済み）のオリジナルを各クラブで保管していただき、**コピーを**申請者にお渡しください。

お　知　ら　せ

◆新クラブ創立おめでとう!!

本ロータリー年度になって２つめの新クラブ、地区では第76番目として発足いたしました。

創立総会　１月28日（木）
クラブ名　大阪御堂筋ロータリークラブ
区域限界　大阪市天王寺区、浪速区及び中央区一部
スポンサー　大阪南ロータリークラブ
例会日時　毎週木曜日　12:30～13:30
例会場　大阪市中央区西心斎橋1-3-3
ホテル日航大阪32階
TEL.06-244-1111　〒542
事務局　大阪市中央区西心斎橋1-7-3
(株)大丸炭屋町別館6F
TEL.06-241-6893
FAX.06-241-6894
会長　近藤　貞彦
幹事　山下　治源

何とぞ新クラブの発展にご協力賜わりますよう、お願い申し上げます。

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が購られました。　(1992)

藤原　明弘	守口RC	11. 6
山田　英男	大阪城北RC	11. 6
山本　典	吹田RC	11. 6
※瀧川弥州男	大阪なにわRC	11.10
※荒井敬一郎	大阪北RC	11.10
西田　文明	大阪北RC	11.10
※森山　貞信	豊中RC	11.10
※呉　美憲	大阪北RC	11.10
中川　定雄	枚方くずはRC	11.11
※堀内　彦仁	豊中南RC	11.11
※北村　恭一	豊中南RC	11.11
※西口　信明	豊中南RC	11.11
※木村　豊吉	東大阪西RC	11.11
※松本　重臣	大阪大手前RC	11.13
井平　悟	大阪大手前RC	11.13
橋本　雅央	高槻東RC	11.13
浅井　定和	八尾中央RC	11.13
中山　武夫	八尾中央RC	11.13
高島　照夫	箕面RC	11.13

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。　(1992)

大木　令司	茨木RC
鰐洲　栄一	茨木RC
牧内　栄蔵	大阪RC
左海　潤一	大阪阿倍野RC
稲垣　邦弘	大阪東RC
※大島　長造	大阪東RC
※北村　昌幸(3回目)	大阪東RC
関口　啓	大阪柏原RC
山本　光則	大阪柏原RC
井上　吉雄	大阪難波RC
下山　博	大阪難波RC
増本　栄	大阪難波RC
尾下　千明	大阪西北RC
小西　昌夫	大阪心斎橋RC
高橋　正明	大阪鶴見RC
北村　弘一	大阪天満橋RC
矢野　卓生	大阪西RC
野村　正治	大阪西RC
平田　憲識	大阪西RC
上村　政夫	四条畷RC
田村　成明	四条畷RC
藤井　省司	千里RC

木下建三	高槻RC
伊藤登	八尾RC
柴田英一	八尾RC
堀内顕	八尾東RC
和田輝夫	八尾東RC
廣瀬僖計	八尾中央RC
松村謙一	八尾中央RC
三好秀弘	八尾中央RC
山田正雄	八尾中央RC
金田明治	大阪東南RC
高橋圭介	大阪梅田東RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。 (1992)

塚田雄一郎	東大阪RC
水谷弘	東大阪東RC
長村文雄	枚方くずはRC
三坂時雄	枚方くずはRC
田原一繁	枚方くずはRC
片山三郎	箕面RC
池内秀夫	大阪阿倍野RC
木村雅太郎	大阪阿倍野RC
小西浩二	大阪阿倍野RC
三野信雄	大阪阿倍野RC
武田秀孝	大阪阿倍野RC
山本芳朗	大阪城東RC
北政十郎	大阪西北RC
岡田健一	大阪心斎橋RC
大前利太郎	大阪心斎橋RC
黒川辰蔵	大阪心斎橋RC
辻寛	大阪心斎橋RC
原田繁	大阪心斎橋RC
岡豊	大阪鶴見RC
安達昌秀	千里RC
葛原寛	千里RC
田橋賢士	千里RC
廣間利隆	千里RC
芳沢弘司	千里RC
上條三郎	千里RC
小谷泰	千里RC
西田泰晤	千里RC
三輪谷俊夫	千里RC
小谷澄信	千里RC
板倉與兵衛	八尾RC
居相英機	八尾RC
小倉九蔵	八尾RC
小倉一幸	八尾RC
大槻美佐夫	八尾RC
加藤隆	八尾RC
高井栄彌	八尾RC
田中昌之	八尾RC
野村三男	八尾RC
三岡嘉治	八尾RC
森慶太郎	八尾RC
鈴木洋	八尾東RC
福本昭三	八尾東RC
増井博俊	八尾東RC
増田靖博	八尾東RC
辻本八郎	八尾中央RC
村上槇一	八尾中央RC
吉岡憲二	八尾中央RC
徳永孝哉	大阪船場RC
辻博	大阪梅田東RC
金子武夫	吹田江坂RC

1992年12月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	12月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	70	0	99.23	4	16
東大阪	84	83	−1	97.44	3	31
東大阪東	67	73	+6	97.23	5	35
東大阪中	60	58	−2	96.07	3	49
東大阪西	62	60	−2	95.24	3	60
枚方	54	58	+4	97.17	4	39
枚方くずは	50	56	+6	100.00	4	1
茨木	62	63	+1	98.94	3	19
茨木東	58	59	+1	95.98	4	50
池田	58	60	+2	93.87	3	64
池田くれは	51	54	+3	92.24	3	67
門真	31	31	0	90.63	4	72
交野	49	48	−1	95.26	4	59
箕面	68	67	−1	98.00	4	26
箕面中央	58	58	0	97.21	3	37
守口	87	85	−2	98.79	4	20
寝屋川	60	61	+1	95.54	4	56
大阪	311	319	+8	88.90	4	74
大阪阿倍野	61	67	+6	95.27	3	58
大阪ちゃやまち	62	65	+3	95.42	4	57
大阪中央	69	69	0	100.00	4	1
大阪堂島	62	62	0	95.57	4	54
大阪阪南	80	82	+2	99.26	5	15
大阪阪和	48	49	+1	92.00	4	69
大阪東	144	147	+3	97.82	4	28
大阪東淀	73	71	−2	96.71	4	42
大阪平野	62	56	−6	99.15	4	17
大阪本町	62	68	+6	96.33	4	47
大阪城	23	22	−1	100.00	3	1
大阪城南	81	81	0	99.69	4	12
大阪城東	72	74	+2	98.63	4	21
大阪柏原	45	47	+2	97.77	4	29
大阪北	198	202	+4	91.82	3	71
大阪北梅田	64	69	+5	96.69	4	43
大阪北淀	53	56	+3	96.82	4	41
大阪南	194	188	−6	92.04	4	68
大阪港	47	46	−1	90.59	4	73
大阪難波	87	90	+3	97.35	4	34
大阪なにわ	69	70	+1	95.71	4	52
大阪南西	73	72	−1	96.33	4	47
大阪西	113	111	−2	95.59	4	53
大阪大手前	66	65	−1	100.00	4	1
大阪大淀	70	71	+1	97.46	4	30
大阪西北	79	80	+1	98.04	4	24
大阪西南	116	119	+3	100.00	3	1
大阪船場	57	57	0	95.75	3	51
大阪心斎橋	81	85	+4	97.40	4	32
大阪城北	63	62	−1	100.00	3	1
大阪住之江	48	48	0	100.00	4	1
大阪住吉	84	81	−3	93.38	4	66
大阪天満橋	105	104	−1	98.28	4	23
大阪天王寺	51	51	0	95.56	4	55
大阪東南	65	65	0	93.85	4	65
大阪鶴見	54	52	−2	94.81	4	62
大阪梅田	67	70	+3	96.65	4	44
大阪梅田東	62	63	+1	99.60	4	13
大阪うつぼ	78	76	−2	97.94	4	27
大阪淀川	97	94	−3	96.93	3	40
千里	79	79	0	98.59	4	22
摂津	48	47	−1	95.00	4	61
四条畷	25	25	0	86.45	4	75
吹田	76	77	+1	99.03	4	18
吹田江坂	50	49	−1	100.00	4	1
吹田西	66	67	+1	100.00	4	1
高槻	71	70	−1	97.22	3	36
高槻東	57	58	+1	99.55	4	14
高槻西	42	38	−4	98.03	4	25
豊中	73	78	+5	96.63	4	45
豊中南	59	59	0	100.00	4	1
豊中－空港	64	63	−1	91.93	4	70
豊中千里	38	42	+4	94.39	3	63
八尾	78	80	+2	97.40	4	32
八尾中央	50	52	+2	97.20	5	38
八尾東	55	59	+4	96.55	4	46
大阪中之島	0	47	0	100.00	4	1

クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率
75	5,356	5,460	+104	96.64%

文　庫　通　信（64号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、１万６千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

半年間に登録された資料の中から

◎「ロータリー情報」　成田R.C.　　1987年　229頁　　【申込先　文庫(コピー)】
◎「ロータリー運動とは…」　小堀憲助　　1991年　95頁
【申込先　神奈川千種会　　FAX(044)711-8861】
◎「新会員の声―新会員へのアンケートの回答から―」　D.2750　　1991年　66頁
【申込先　文庫(コピー)】
◎「はぐれ鴉のちょっと気になるロータリー」　石川厳　　1992年　252頁
【申込先　石川厳　　TEL(0157)47-2288　FAX(0157)47-2900】
◎「女性ロータリアン懇談会」　福島中央R.C.　　1992年　17頁　　【申込先　文庫(コピー)】
◎「My friend 改訂版」　D.2770　　1992年　166頁【申込先　西幸治(会社)　　TEL(03)3256-0039】
◎「瞽女(ごぜ)の行水」　上方文生　　1992年　105頁【申込先　秋田北R.C.　　TEL(0188)33-4147】
◎「ロータリーへの独り言」　田中弘　　1992年　100頁【申込先　帯広R.C.　　TEL(0155)25-7347】
◎「わがロータリーへの道(抄録増補版)」　ポール・ハリス著・竹山涼一他訳　　1992年　126頁
【申込先　札幌南R.C.　　TEL(011)231-1297】
◎「ロータリー哲学」　アーサー・F. シェルドン著・小堀憲助訳　　1992年　95頁
【申込先　神奈川千種会　　FAX(044)711-8861】

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

訃　報

藤井　恒一君（大阪南R.C.）
平成４年12月５日逝去（享年82歳）
明治43年11月25日生まれ
昭和30年１月入会
1973～'74年度　会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

堀田　巍君（枚方R.C.）
平成４年12月２日逝去（享年78歳）
大正３年８月20日生まれ
昭和48年11月６日入会
1985～'86年度　副会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

秋田　晴夫君（大阪東淀R.C.）
平成４年12月17日逝去（享年53歳）
昭和14年９月23日生まれ
平成４年４月６日入会

青井　義臣君（大阪北R.C.）
平成４年12月31日逝去（享年79歳）
大正２年１月８日生まれ
昭和60年５月15日入会
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お　知　ら　せ

◆I.G.F. 第５組 ゼネラルリーダー 菅生P.G.
臨席P.G.　種田P.G.に変更

◆１月号ポール・ハリス・フェロー
大槻嶮央 → 大槻峡史
大阪ちゃやまちR.C.　　10.16
訂正とともにお詫び申しあげます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

3月

March.1 1993
NO.9
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山本文和

雛祭り

（木村光佑）

布施ともったいない心

ガバナー　**山　中　文　和**

会長さん　幹事さん　はや春の兆しを肌で感じる頃となり、御就任以来８カ月、残り４カ月のみとなりました。

お　布　施

お坊さんでもない私がこんな話しをしておこがましい事ですが、仏教の教えに「布施」という言葉があります。

施しをさせて頂いてお返しを求めない事を言うのです。施しを受ける喜びももちろんあるでしょうが、施しをさせて頂く喜びが、本当の喜びだと言われています。

これこそ、今年のＲＩテーマの「Real Happiness is Helping Others」と全く同じ心です。

三　つ　の　布　施

この布施には三つの布施があります。

(1) 財　施（ザイセ）　経済的に豊かな人がお金や物の施しをすることで、普通に施しと思われているものです。

(2) 法　施（ホッセ）　知識や智恵のある人が人の道や、生活の知恵、仏教の教えなど智恵を施すことを言います。

(3) 無畏施（ムイセ）　財産も智恵もなくても親切な心を持って、人の厄難を救うこと。恐怖の心を取り除く事、等心の施しをすること。明るい笑顔をもってその人がいるだけで、その辺りの人の心に和む様な暖かさを感じさせる事も大きな無畏施であります。

檀　　那

「ダーナー」とはサンスクリット語で「与える人」と言う事で、中国を経て「檀那」として日本へ伝わった。

自分の家が所属している寺を「檀那寺」と言い、お寺のお坊さんから常に人の道や仏の教えの施しを受けているのでそう呼ぶのであり、又一方お坊さんから言えば、常にお金や物のお供えを頂き、堂の建築や修復の経費を出して頂くので、その家を「檀家」と言うのです。

即ちお互いが、ダーナと言う意味です。

三つの布施と同様我々のロータリアンのHelping Othersにも物質的なものと知能的なものと心的な人助けであるのは当然でありますが、とりわけ心的なものが何よりも大切なのではないでしょうか。

もったいない心

私どもの会社の貿易部にミシガン州出身のハリー・H・シェパード君が居ります。彼はアメリカの軍政部の教育官として来日、宗教担当として私どもの会社に調査に来たのが出会いとなり、軍政部がなくなった時　どうしても私どもの仕事をしたいと言い出して、山中大仏堂貿易部へ就職、以来39年間、仏壇屋の番頭をしている「変な外人」ですが、素晴らしく心の奇麗な明るいアメリカ人で死ぬまで日本に住むんだと言っていた。

今になって、(現在67才) 大仏堂をやめてアメリカへ帰って余生を送りたいと言い出して驚いています。

彼の言によると「日本へ来たとき、お年寄りに、特に田舎のお年寄りに自然を恐れ敬う心と、食物をはじめ物の命を尊う心、足るを知る心、分不相応という謙虚さの心、等数多くの「心の布施」を頂いた。最も素晴らしいものの一つは、物質文明心、使い捨て経済ののアメリカでは想像も出来ぬ、ひと粒のお米でも１本の釘でも無駄にするのは申しわけないという「もったいない心」という考え方であった。この「もったいない心」に大きな感動を覚え日本に骨を埋めたいと思っていた。

がしかし、残念ながら一部の人々を除いて今の日本人の心から、せっかくのこの「もったいない心」が消えてしまっている。

使い捨てもよいところで、物の尊さが忘れられ、自然に対する尊敬が薄れ、お金の有難さすら忘れられている。こんな日本にはもうあまり魅力は感じなくなった。使い捨て中心の心なら、その先進国のアメリカのほうがずっと立派だ。せめてお金の有難さだけでも知っている。」と言う理由でした。

永年の友人と別れるだけでなく、その理由に一層の淋しさを感じています。

無駄な殺生するが殺生

すべての食物には「生命」がある、動物だけでなく米や豆のような植物にもすべて「生命」があるのは言うまでもありません。

食物を売っている人間にお金を支払ったからといって**食物そのものの生命を奪うこと**に何のお詫びもしていないのです。恥ずかしながら、決して私し自身もえらそうな事が言える生活態度でありませんが、「無駄な殺生、するが殺生」多くの食物を平気で食べ残して、捨ててしまうことがあまりにも多すぎるのではなかろうか。せめても食物の生命を無駄にしないことぐらいしかお詫びの表しようがないのではなかろうか。

環　境　保　全

今や環境汚染と破壊は全人類にとってぎりぎりの線まできている。

酸性雨、砂漠化、オゾン層の破壊、海洋・河川汚染、生活並びに産業廃棄物の処理限界、化石燃料の枯渇の懸念等、環境保全と資材のリサイクル等、問題は目白押しに押し寄せている。

環境保全の問題については、おそらく全ての人が総論的には賛成であろうけれどさて自分の企業の関係で職業奉仕の面でそれを実践しようとすると色々な問題につき当たる。

即ちこの不景気の最中にあたり少しでも安いものを少しでも多く売り上げて切り抜けねばならぬ大変なときに、果たして余分の人件費をかけてまで全ての産業廃棄物の適正処理や、リサイクルのための区分廃棄をより一層進めることができるだろうか。また割高な再生紙を使えるだろうか。能率が悪くなるのを承知の上で全従業員に車の使用を制限することが出来るだろうか。

この様に企業の経済性を犠牲にしてまで環境保全の実践をすることには多くの悩みがあると思います。

さりとて地球環境はいよいよ待ったなしの対策が必要な段階になっているのもご存知の通りです。

奉仕を通じて心の豊かさをとりもどそう

物の豊かさと引換に私たちは多くの心を失いました。

何よりも取り戻さねばならないのは、ものの命の尊さを思い、足るを知る心と自然を敬う心であります。そして日本人の心の中で1000年以上も培われてきたこの「もったいない心」をとりもどせば、うんと環境汚染を救う事が出来るのではなかろうか。

世間様への感謝を忘れず、奉仕させて頂く幸せをしっかりと身に付けて、心の豊かさを取り戻すという意識改革から始めようではありませんか。

ロータリーの友愛、感動

パストガバナー　**世　戸　一　夫**

出会い

年末最初のＸＭＡＳカードを頂いたのは、ロータリー歴44年、95才で尚、ＹＭＣＡリーダーとして奉仕しておられるリンバート博士で、1951年まだ日米平和条約も出来ていなかった時、北米ＹＭＣＡ同盟の留学生として招かれました私が、生意気にも米国の対日政策を批判してＦＢＩにつかまり訊問を受けた時に救って下さったのが学長の博士で、今もご指導を受けている尊敬する大先輩です。

感　動

地区ガバナーとして奉仕のあと、日韓親善委員として約５年間奉仕をさせて頂き、委員の一人としてソウル国際大会に日本より15,000人の参加を要望されました。皆さんの協力により予想以上の参加者がありまして私は Host Committee の名誉副議長という肩書を頂いて感激し、大会中、毎日日本の方々のための案内所に出て、質問、要望にお答えする役を引受けしました。その時の Host Committee 議長の呉在璟氏よりも毎年ＸＭＡＳカードを頂いています。

わがロータリーへの道

この本は札幌南ＲＣが刊行されたとロータリーの友２月号縦書き31頁に紹介されていますが、創始者ポール・ハリスが晩年その人生の歩みを省りみて「私の人生で、大切なものが二つある。一つは私の育った谷あいの村、もう一つはロータリーである。」と、New England の美しい自然の中で、誠実な祖父母の信愛の中に育った幼き日に受けた影響がロータリー運動の原点であったことを書いておられる素晴らしい本で、ご一読をおすすめします。私と同期の竹山ＰＧ様（当地区松本ＰＧが地区大会を開かれた時、ＲＩ会長代理としてお招きした方）より私にお贈り下さいましたその友情に深く感謝しています。

ローターアクトクラブ

私がまだ大阪南ＲＣの会員だった時、大阪府、和歌山県が一つの地区で366地区であった時代、ＲＡＣがまだ２つしかなかった頃でしたが、山中文和氏（現・ガバナー）津江孝夫氏（現・地区代表幹事）と共に、大阪南ＲＡＣを作ろうという事になり、今から24年前に夢みた願いが次第に協力者の輪を拡げ現在、当2660地区だけで20クラブに発展しました。私共３人で、第１回のＲＡＣ海外研修旅行の計画を考え、３人が責任上旅行に同行したこともなつかしい思い出です。ポール・ハリスは「ロータリーの歴史はたえず新しく書き変えられて行く」と言っておられます、若い世代の人々にロータリーの精神を積極的に受け継いで頂くＰＡＣ運動を、大阪南ＲＣの子クラブ大阪難波ＲＣ、孫クラブ大阪なにわＲＣにも拡がって行くことを夢みています。不思議な出会いが感動と友愛の輪となって、ロータリーの理想主義は限りなく拡がって行くことでしょう。

IGF 第5組 報告書

ホスト：大阪堂島ロータリークラブ
フォーラム実行委員長　藤本眞一郎

2月6日（土）午後1時より5時まで大阪全日空ホテル・シェラトンに於て、第5組のIGFを開催しました。

主宰者：第2660地区ガバナー　山中　文和
ゼネラルリーダー：(直前ガバナー)
菅生　浩三
来　賓：パスト・ガバナー　種田　憲次
ガバナー・ノミニー　大森　慈祥
地区代表幹事　津江　孝夫
地区幹事(IGF担当)　島岡　司
地区財団増進委員長　田中　穣二
地区米山奨学委員会委員
三好三郎丸
地区大会委員長　酒井　芳申
参加クラブ：大阪西、大阪天満橋、大阪西北
大阪大淀、大阪梅田、大阪港
大阪中央、大阪梅田東
大阪北梅田、大阪堂島
参加者：282名(登録者362名)の多数の御出席の下に、有意議に楽しい一日を過すことが出来ました。

最初に山中ガバナー及び菅生ゼネラル・リーダーより夫々御挨拶を賜り、次いで田中財団委員長、三好地区米山奨学委員会委員、酒井地区大会委員長より夫々「ロータリー財団」、「米山奨学生」、「地区年次大会」についての地区御報告があり、愈々IGFに移りました。

テーマは「地球にやさしい企業経営」として先ず追手門学院大学経済学部・西岡健夫助教授より「資源還境の制約が強まるなかでの企業経営」と言う題で市場システムと経営理念を中心とした基調講演を頂き、会員一同社会還境が益々厳しさを増す中での企業経営の難しさを認識した後、23テーブルに分かれてバズセッションに入りました。

バズセッションは、

第1テーマ「地球環境保全のためにわれわれの企業や職場で何をなしうるか」

第2テーマ「企業が地球環境問題に取り組む際の問題点と条件は何か」

の二つに分けて、各テーブル共に第1、第2の両テーマについて論議に花を咲かせました。社会環境が益々厳しくなる中で、職業を異にする会員が常日頃苦労されている丈けに、夫々の御発言は傾聴に値するものがありました。

約1時間に亘る討論の後に第1、第2テーマについて夫々4テーブルのテーブル・リーダーから内容の発表がありました。その内容も職業を異にする会員の発言である丈けに各種、多様に亘りましたが、問題点としては

- 税制、金融面での優遇措置
- ルール違反をすれば損をする
- 抜けがけにはボイコットする慣習
- Outsider 対策が必要で
- 要は心の問題、東洋倫理を忘れないこと

等々貴重な御意見が伺えました。

最後に菅生ゼネラル・リーダー並びに山中ガバナーから夫々御講評を頂き5時に閉会致しました。御懇篤な御指導を頂きました山中ガバナー並びに菅生ゼネラル・リーダーに厚く御礼申し上げます。又最後まで退席もなく熱心に討論を頂いた会員各位にも感謝申し上げます。

香港大学ＲＡＣを迎えて

大阪南ＲＡＣ会長　岸本　至泰

平成４年12月16日から19日にかけて、香港大学ＲＡＣが、大阪にきました。メンバーは男性４人、女性８人の計12名です。彼らは、18才から20才までの大学１、２年生で、大学では、経済学や法律及びコンピューター関係の学問を専攻しています。彼らの今回の、大阪訪問の目的は、「地球保全に関する教育制度研究」のための交流と、大阪南ＲＡＣと香港大学ＲＡＣとの姉妹クラブ関係の強化です。初日の16日は、大阪空港到着が午後８時20分と遅い時間だったので、その日は宿泊先のビジネスセンター三水に直行し、双方のメンバーの紹介及び、明日以降のスケジュールの打ち合わせをして就寝しました。

（丸島アクアシステム）

17日は早朝から、大阪南ＲＣ会員島岡様の御協力により、水質浄化設備見学に行きました。場所は奈良にある株式会社丸島アクアシステムです。工場内を見学した後、ビデオにより現在の日本における水質浄化の実態を説明していただきました。香港大学ＲＡＣのメンバーも熱心に質問をして、勉強していました。夕方に大阪城を見学した後、今宮戎神社におきまして、レセプションパーティーを行ないました。大阪南ＲＡＣと香港大学ＲＡＣとのバナー交換を行い、来年度以降の姉妹関係強化を約束した後、歓談及びアトラクションを披露して楽しい夜を過ごしました。

（大阪大学）

18日は、朝から大阪大学へ行き、午前中はキャンパス及びコンピューターセンターを見学し、大学生に専門的なことを聞いて、理解と交流をしていました。午後は、今回の来阪の目的の一つである「阪大生との地球保全に関するディスカッション」を行ないました。香港大学ＲＡＣが用意したビデオ、スライドを見て、香港の現状を見たうえで、「ゴミ」・「空気」など環境についてディスカッションを行ないました。大阪大学の協力もあり、教授、学生、計12名が参加し、活発に意見交換をしました。次に、吹田のリサイクルセンターをおとづれ吹田市のゴミ収集処理の方法やしくみについて話を聞き、リサイクル紙ということで牛乳パックからの再生紙作りを体験しました。この時作成した再生

（レセプション・パーティー）

紙は、後日香港大学ＲＡＣのメンバー宅へ送られるそうです。この日は香港大学ＲＡＣの要望もあり全員ホームスティをしました。２名ずつに別れて、おのおののホームスティ宅へ行き、家族の方と夕食を一緒にして楽しみました。

19日は、難波に集合した後、本町で買物をし大阪市立科学館へ行きました。館内を見学した後、彼らを新大阪まで送り、東京へ旅立つ香港大学ＲＡＣのメンバーを見送りました。

今回の香港大学ＲＡＣの大阪訪問受入れは、私達にとって初めてのことだったので、当初戸惑いましたが、大阪南ＲＣ及び他クラブのメンバーの協力により、無事成功することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後は、この貴重な体験を国際交流に役立てたいと思います。

お　知　ら　せ

◆新しいローターアクトクラブ創立 おめでとう!!

６年ぶりに待望のローターアクトクラブが誕生しました。地区第20番目のクラブとなります。

創立総会　１月19日（火）
クラブ名　大阪梅田ローターアクトクラブ
提唱ＲＣ　大阪梅田ロータリークラブ
例会日時　第１、３月曜日　19：00～20：30
例 会 場　クラブ　スターライト
　　大阪市北区梅田２丁目３番30号
　　ホテル阪神２階
事 務 局　ホテル阪神２階 大阪梅田RC気付
創立会員　25名　　会長　清水　幸弘
　　幹事　藤井　国博
認証状伝達式　３月23日（火）18：00より
　　ホテル阪神で開催の予定

地区大会が近づきました!

ご家族そろってぜひご出席下さい。

平成５年４月23日(金)・24日(土)です。リラックスした、楽しいロータリーのお祭りだと思って、お気軽に奥様とご同伴で、ご出席をお待ちいたしております。

21世紀に生きる人々のために、地球にやさしい生き方を考えるシンポジウムなど、多彩なプログラムを用意しました。

参加して良かったとお帰りいただけますよう、ホスト大阪南ロータリークラブ会員一同は、「まことの幸福は人助けから」の奉仕の心を持ちまして、準備をすすめています。

未登録の方は至急各クラブ幹事を通じてお申込下さい。

◆前号で財団奨学生の募集 要項変更記事に 追加をお願いいたします!

資格：私は次の者ではありません：(a)ロータリアンまたは名誉ロータリアン；(b)クラブ、地区、他のロータリー関係の組織および国際ロータリーの職員；(c)前記ａおよびｂ項の配偶者、尊属（血縁による両親または祖父母)、直系卑属（血縁による子または孫、入籍している養子)、その配偶者；さらに、ロータリー財団奨学金有資格者となるという明確な目的のためクラブを退会した元ロータリアンではありませんし前記ｃ項に該当する親族でもありません。

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

久田正一	守口RC	11.16
今井勇	守口RC	11.16
金澤忠信	大阪北RC	11.16
遠藤源太郎	大阪北RC	11.16
桐山輝彦	大阪北RC	11.16
西脇作	大阪北RC	11.16
江崎正道	大阪北RC	11.16
伯井守	大阪なにわRC	11.16
辻野昭夫	大阪西RC	11.17
西山富士太郎	大阪城北RC	11.19
浅尾博一	枚方くずはRC	11.19
田中太郎	枚方くずはRC	11.19
島田清隆	大阪RC	11.19
壁憲一	大阪RC	11.19
※大矢尚史	枚方RC	11.19
※服部修	枚方RC	11.19
里見博	東大阪RC	11.19
下垣外敏幸	東大阪RC	11.19
富岡成夫	東大阪RC	11.19
※高橋重光	大阪阪南RC	11.20
尾崎達郎	大阪平野RC	11.20
辻村弘	守口RC	11.20
平田達男	大阪淀川RC	11.20
浅野宜春	大阪なにわRC	11.20
吉田英哲	大阪阪南RC	11.20
藤井桑正	大阪北RC	11.25
井内博見	大阪住吉RC	11.25
城戸義雄	東大阪東RC	11.25
※橋本房利	高槻東RC	11.25
川本晴男	大阪城北RC	11.26
川村一郎	大阪城北RC	11.26
内藤一馬	大阪西南RC	11.26
丹羽健二	大阪西南RC	11.26
小川一光	大阪西南RC	11.26
岡田吉弘	大阪西南RC	11.26
露口佳彦	大阪西南RC	11.26
山本守昭	大阪西南RC	11.26
重村一	大阪西南RC	11.26
神島喜與一	大阪西南RC	11.26
村上秀夫	大阪西南RC	11.26
光満寛守	大阪南西RC	11.26
萱沢進作	大阪城南RC	11.26
服部貢	大阪城北RC	11.26
小野田勉	大阪天満橋RC	11.26
南川和茂	大阪天満橋RC	11.26
金田五郎	大阪天満橋RC	11.26
※鴻池藤一	大阪北RC	11.30
※勝間寿	茨木東RC	11.30
若原秀啓	大阪梅田東RC	11.30
金田五郎	大阪天満橋RC	11.30
丸橋博行	大阪RC	11.30
岸本忠男	高槻東RC	11.30
長野美喜知	高槻東RC	11.30
橋本亮一	大阪難波RC	11.30
田中武夫	大阪城東RC	11.30
渡辺一雄	大阪城東RC	11.30

ベネファクター

井村義治	大阪本町RC	11.16
小田貞夫	大阪南西RC	11.26
羽田昌司	大阪西南RC	11.26
朝倉治雄	大阪難波RC	11.26
瀧川弥州男	大阪なにわRC	11.30

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。 (1992)

※三善康平(2回目)	東大阪RC	
※川口暢彦(2回目)	東大阪RC	
津川正幸	池田RC	
※西村一夫(11回目)	池田RC	
※加藤隆司	池田くれはRC	
ダイワ省エネ㈱	寝屋川RC	
矢部文治	大阪RC	
※小長谷国男(2回目)	大阪RC	

横山守雄	大阪中央RC
大阪市信用金庫	大阪東RC
川上伸一	大阪西北RC
肥田昭	大阪西北RC
羽間収治	大阪西北RC
伊藤成幸	大阪城北RC
今西荘一	大阪西南RC
岡碩平	大阪西南RC
高木正巳	大阪西南RC
毛利哲三	大阪西南RC
岩崎剛巧	大阪住之江RC
崎島七郎(2回目)	大阪住之江RC
島田洋一(1回目)	大阪うつぼRC
高田省三	大阪うつぼRC
辻野一	大阪うつぼRC
中西克巳	大阪うつぼRC
野崎勉(2回目)	大阪うつぼRC
山田和義	大阪うつぼRC
好川三千雄	大阪うつぼRC
山村利貞(2回目)	吹田RC
坂東宏(3回目)	吹田RC
野田秀宇	豊中一大阪国際空港RC
松浦純男(7回目)	大阪阪和RC
河崎守男	豊中千里RC
青柳貞次	大阪梅田東RC
井村義治	大阪本町RC
小野一郎	大阪本町RC
土屋福蔵	大阪本町RC

※印＝2回以上

――米山ファンドフェロー――

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1992)

上野山昌秀	大東RC
恩地進	大東RC
加藤敏明	大東RC
高岡政一	大東RC
田中祥介	大東RC
藤井則郎	大東RC

宮裏忠夫	大東RC
森本正一	大東RC
谷中清孝	大東RC
水野昌幸	東大阪RC
竹広猛	枚方くずはRC
吉田伸之	茨木東RC
中住譲秀	池田RC
石田明正	池田くれはRC
藤井保雄	池田くれはRC
足立陽一	大阪中央RC
植村甚久	大阪中央RC
庄野嘉男	大阪柏原RC
中島信哉	大阪西北RC
下野多計夫	大阪西南RC
重村美恵子	大阪西南RC
室岡康資	大阪西南RC
山本秋夫	大阪西南RC
西田敦宜	大阪住之江RC
赤坂信義	大阪うつぼRC
大西岩男	大阪うつぼRC
平田晃祥	大阪西RC
古徳幸俊	吹田RC
山田潔	千里RC
尾前照雄	千里RC
栗林昭三	豊中一大阪国際空港RC
羽渕一司	豊中一大阪国際空港RC
吉川英親	豊中一大阪国際空港RC
藤江正謹	大阪阪和RC
中島徳人	大阪城RC
高未偕	吹田江坂RC
首藤雄二郎	大阪本町RC
長澤亨	大阪本町RC
西井久	大阪本町RC
藤田貞三	大阪ちゃやまちRC

1993年1月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	1月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	70	0	100.00	4	1
東大阪	84	82	−2	94.48	4	63
東大阪東	67	73	+6	97.27	4	44
東大阪中	60	58	−2	98.85	3	20
東大阪西	62	60	−2	100.00	3	1
枚方	54	60	+6	97.33	4	43
枚方くずは	50	55	+5	98.76	3	21
茨木	62	65	+3	100.00	4	1
茨木東	58	59	+1	95.09	4	60
池田	58	59	+1	98.31	4	30
池田くれは	51	54	+3	94.04	4	67
門真	31	30	−1	94.81	4	62
交野	49	48	−1	95.11	3	59
箕面	68	66	−2	98.00	4	36
箕面中央	58	57	−1	97.68	3	39
守口	87	87	0	97.92	4	37
寝屋川	60	60	0	96.36	3	52
大阪	311	318	+7	89.24	3	74
大阪阿倍野	61	67	+6	94.40	4	64
大阪ちゃやまち	62	65	+3	99.49	3	14
大阪中央	69	69	0	100.00	4	1
大阪堂島	62	62	0	96.23	3	53
大阪阪南	80	82	+2	99.59	3	12
大阪阪和	48	49	+1	90.28	4	73
大阪東	144	146	+2	98.02	4	35
大阪東淀	73	72	−1	98.04	3	33
大阪平野	62	56	−6	99.55	4	13
大阪本町	62	67	+5	98.51	4	26
大阪城	23	22	−1	94.05	4	66
大阪城南	81	80	−1	99.17	3	18
大阪城東	72	74	+2	98.63	3	23
大阪柏原	45	48	+3	97.87	4	38
大阪北	198	200	+2	91.06	4	72
大阪北梅田	64	71	+7	98.10	3	32
大阪北淀	53	56	+3	98.18	4	31
大阪南	194	185	−9	92.43	4	71
大阪港	47	46	−1	93.75	4	68
大阪難波	87	90	+3	98.04	4	33
大阪なにわ	69	70	+1	94.29	4	65
大阪南西	73	72	−1	97.62	3	40
大阪西	113	111	−2	98.52	3	25
大阪大手前	66	65	−1	100.00	3	1
大阪大淀	70	72	+2	99.28	4	16
大阪西北	79	78	−1	98.36	4	28
大阪西南	116	118	+2	100.00	4	1
大阪船場	57	56	−1	94.91	4	61
大阪心斎橋	81	85	+4	96.53	3	50
大阪城北	63	60	−3	100.00	4	1
大阪住之江	48	50	+2	99.18	3	17
大阪住吉	84	81	−3	92.67	3	70
大阪天満橋	105	103	−2	97.36	4	41
大阪天王寺	51	50	−1	95.33	3	58
大阪東南	65	65	0	95.38	4	57
大阪鶴見	54	51	−3	96.06	4	55
大阪梅田	67	71	+4	98.55	4	24
大阪梅田東	62	63	+1	98.41	3	27
大阪うつぼ	78	76	−2	99.10	3	19
大阪淀川	97	95	−2	96.91	3	46
千里	79	80	+1	97.21	4	45
摂津	48	46	−2	93.18	3	69
四条畷	25	24	−1	80.50	3	75
吹田	76	78	+2	99.36	4	15
吹田江坂	50	51	+1	100.00	3	1
吹田西	66	66	0	100.00	3	1
高槻	71	71	0	96.71	4	47
高槻東	57	58	+1	100.00	3	1
高槻西	42	39	−3	98.72	4	22
豊中	73	76	+3	96.18	4	54
豊中南	59	59	0	98.34	4	29
豊中－大阪国際空港	64	63	−1	95.50	3	56
豊中千里	38	40	+2	96.40	4	51
八尾	78	79	+1	97.34	4	42
八尾中央	50	51	+1	96.66	3	48
八尾東	55	59	+4	96.55	3	49
大阪中之島	0	47	+47	100.00	4	1

クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率
75	5,356	5,447	+91	96.93%

文　庫　通　信 (65号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万6千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

登録資料の中から

◎「よく均衡のとれたプログラム」 柳瀬省吾　16頁　【申込先 ロータリー文庫(コピー)】
◎「どうしたら例会をもっと楽しいものにすることができるか」
長浜R.C.　28頁　【申込先 ロータリー文庫(コピー)】
◎「ロータリー落梗集」 岡山西R.C.　1972年　54頁　【申込先 ロータリー文庫(コピー)】
◎「INTERCITY GENERAL FORUM REPORT　D. 359　第3分区」
横浜西R.C.　1975年　60頁　【申込先 ロータリー文庫(コピー)】
◎「出席規定の手引」 今治R.C.　1990年　24頁　【申込先 今治R.C. TEL(0878)22-3933】
◎「米山月間にあたり」 D. 274　1990年　38頁　【申込先 D. 2740 TEL(0958)23-5162】
◎「ロータリー情報歳時記」 西宮R.C.　1992年　33頁　【申込先 西宮R.C. TEL(0798)23-4500】
◎「職業奉仕アンケート集」 武生R.C.　1992年　17頁　【申込先 武生R.C. TEL(0778)23-5210】
＜スライドセット＞ 「YOUTH EXCHANGE SLIDESET」 R.I.　40枚（多国版台本付）
＝青少年交換への参加推進・プログラム紹介　【申込先 日本支局 TEL(03)3355-5391】
＜カセットテープ＞ 「ロータリーとのひととき」 R.I.　60分
＝ロータリーの歴史・哲学・プログラム・奉仕部門についての概説
【申込先 日本支局 TEL(03)3355-5391】

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

訃　報

手塚　慶一君（豊中千里R.C.）
平成5年1月22日逝去（享年64歳）
昭和3年10月18日生まれ
昭和51年9月14日入会
チャーターメンバー
1987～'88年度　会長
ポール・ハリス・フェロー

小川　明宏君（箕面中央R.C.）
平成5年1月29日逝去（享年65歳）
昭和2年11月11日生まれ
昭和55年6月13日入会
1987～'88年度　会長
マルチプル・フェロー
米山功労者

畑守　　衛君（大阪堂島R.C.）
平成5年2月13日逝去（享年64歳）
昭和3年12月9日生まれ
昭和62年6月15日入会
1991～'92年度　会長
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆**表紙版画**の大内裏様とお雛様の位置は、旧来の関西風です。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

〈COPY〉

Governor's Monthly Letter

4月

Apr.1 1993
NO.10
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2 6 6 0

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和

櫻 Kosolu Kimura

（木村光佑）

ロータリーと文献

ガバナー　**山　中　文　和**

美しい花のほほえみとすがすがしい若葉が目にしみるさわやかな春がやって来ました。会長さん、幹事さん、あと3か月を残すのみとなりましたがお互い悔いのない年度にしたいものと思います。

生まれも、育ちも、住まいも、職業も異なった人々が奉仕をさせていただこうといういきごみの中で友情を暖めあい、地域社会で何をさせていただくかを考え、青少年の育成に心を砕き、財団国際親善奨学生、米山奨学生に暖かい愛情をそそぎ国際交流に思いをはせ、世界の平和を願い、ともに語りともに活動するロータリーの集いは誠にすばらしいことだと思います。**ロータリークラブとは**単なる寄付団体でも、勤労奉仕団体だけのものでもありません。世間様にご恩返しを、他人への思いやりを、そして**奉仕をしようと心がける人々の集まり**なのです。

あるロータリーの先輩は「ロータリークラブの良否を判断するのはクラブの古さだけでもない、人数の大小だけでもない、出席率や寄付金も大変大事な事ですがそれだけでもない、立派なロータリアンを一人でも多く育てたかどうかにあります」と言っておられます。**ロータリーを正しく理解して、そしてロータリーを好きになって、**自ら進んで**奉仕するために行動を起こして**いただきたいと思っています。

そこで今日は改めてロータリーとは何かをみなさんと共に考えてみましょう。
いま、土井委員長を中心に当地区規定情報委員会が改訂しておられる**システムマニュアル**（1987年から当地区が作成し日本の各クラブにお送りしている大変参考になるマニュアルです）の一部をここに引用し、ご参考に供したいとおもいます。このマニュアル改正部分は地区大会で会長さんにお渡ししますのでぜひ全ロータリアンに読んでいただけるようご配慮いただきたいものです。

システム・マニュアルの10の質問　（例）

第１の質問　　**質問 Sheet No.1**

ロータリー活動が世界平和のために非常に役立ち、自分も積極的に参加したいと思いますか？

定　　義

ロータリーは、職業を通じて社会に、そして世界に貢献しようと考える活性ある事業と専門職務**に携わる人の集い**です。

単なる寄付団体ではありません。

功なり名遂げた人が自己満足し合う機会でも、お年寄りの昼食会でもありません。

目　　標

ロータリーは、進んで人道的な奉仕をします。『**職業において高い道徳的水準を守ります。**世界の親善と平和の確立に寄与します。世界の活性ある事業と専門職務に携わる人と手をとりあって努力します。』と誓いあった人達の組織であります。

最も大切なこと

奉仕をしようと心掛けることです。奉仕の精神を基礎にして日常生活を送ろうと心掛け、特に**職業生活を通じてそれを行うこと**です。

正しい理解を

ロータリーは、大会社の会長や社長が集まって、毎週昼食会やディナーを楽しむ会とか、老人の社交クラブだというイメージがあったり、とかく贅沢なイメージと解釈があることは残念ながら事実です。

しかし、本当のロータリーは、職業を通じて社会に貢献しようとしている人達の集まりです。企業のまわりにある総ての人に善意を示し、それを社会に広め、**その輪を世界にまで広めよう**とする人の集まりです。

ロータリーは行動する団体です。『入会しても何もできません』と言う人が入会する団体ではありません。

ロータリーの徽章は、奉仕と高い道徳的水準を表し、その歯車は、クラブと奉仕活動のシンボルなのです。

第３の質問　　**質問 Sheet No.3**

ロータリーには、綱領のほかに会員の行動を示唆する信条やTargetがあります。

①第1標語　〝Service Above Self〟

『超我の奉仕』と訳されていますが、「サービス第一　自己第二」とも教えられています。会員の生活全体に期待される思想です。

②第2標語　〝He Profits Most Who Serves Best〟

『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』と訳されています。東洋思想にある「積善の家に余慶あり」と同じような考えと言えます。Profitsは物質的報酬と受け取られ勝ちですが、それだけを意味するものではありません。

③四つのテスト　THE FOUR-WAY TEST

(1)真実かどうか	Is it the TRUTH ?
(2)みんなに公平か	Is it FAIR to all concerned ?
(3)好意と友情を深めるか	Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
(4)みんなのためになるかどうか	Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

何かを行うとき、これに照らして、行動をチェックしようとするものです。

④定款と細則、行動規範

組織の根本となる規定として、国際ロータリーの定款と細則があり、またクラブの定款と細則があります。また正式な機関の決議を経て定められた行動規範があります。

⑤これらの規定や行動規範は、会員に遵守義務が課されています。「知らない、配布されていない」ことを理由に、その遵守の責めを免れることは許されません。

システム・マニュアルの50の情報シート（例）

社会奉仕活動に対する方針　　情報　Sheet 追加 No.10

1．決議23-34

社会奉仕活動に対するロータリーの方針は、1923年の国際大会で採択され、以後の国際大会で改正された「決議23-34」に唱われています。

当初は「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」と題されていましたが、1926年にロータリーの奉仕活動が4分類されるようになって、「社会奉仕活動に対する方針」と改められました。こうした経緯とその内容に照らして、「決議23-34」は単に社会奉仕に関する方針であるにとどまらず、ロータリーの奉仕活動全体の根本指針を示すものとして、多くのロータリアンを教え育ててきました。特に日本のロータリーでは、「ロータリーの般若心経」と称する人があるまでに尊重されてきました。

「決議23-34」は、次のように整理できます。

ロータリーは人生哲学

1）第1に、「ロータリーは人生の哲学である」と、次のように述べています〔「決議23-34」1）『手続要覧(1992)』P.98〕。

〝ロータリーは、基本的には、自己のために利益を得ようとする欲望と他人に奉仕しようとする義務感との間に起こる心の葛藤を、調和させようとする人生の哲学である。その哲学は「超我の奉仕（Servic Above Self)」の理念であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる（He Profits Most Who Serves Best)」という実践倫理の原理に基づいている。〟

奉仕は行動で

2）第2に、「ロータリーの奉仕は行動することである」と、次のように述べています〔「決議23-34」4）『前掲』P.98～99)〕。

〝ロータリーで奉仕するものは、行動しなければならない。ロータリーとは単なる心構えをいうのではなく、ロータリーの哲学も、単に主観的なものであってはならず、これを客観的な行動に表さなければならない。〟

個人による奉仕、団体による奉仕

3）第3に、ロータリアン個人による奉仕とクラブによる奉仕については、「個人による奉仕を基本」としています。

A）個人としての奉仕については、〝各人が個人として奉仕の理論を、職業や日常生活のなかで、実践に移すこと〟を述べています〔「決議23-34」2）第3『前掲』P.98〕。

B）クラブによる奉仕については、

〝ロータリアン個人も、ロータリー・クラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない〟〔「決議23-34」4)〕と述べ、

クラブの役割について、

〝奉仕の理論が成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。〟

〝奉仕の実際例を、団体で自分達の間や地域社会に示すこと。〟

などと述べています〔「決議23-34」2)『前掲』P.98〕。

C）そして、両者の関係について、

〝クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなってしる。ロータリー・クラブの社会奉仕活動は、会員に奉仕の訓練を施すために考えられた「研究室の実験」としてのみこれをみるべきである。〟と、個人による奉仕が基本であるという考えを述べています〔「決議23-34」6)g)『前掲』P.99〕。

このように、今回のシステム・マニュアルの改定部分は**10の質問（Q＆A）**と**50の情報シートの部分のみ**出版されますがこれを読んでいただくとロータリーが大変よくわかりますので、ぜひみなさんが読んでくださるよう願っております。

ロータリー雑誌月間に因んで

直前ガバナー　菅　生　浩　三

毎年４月は「雑誌月間」に指定され、クラブはその月間に雑誌に関するプログラムを実施しなければならないこととなっております。

ところで、国際ロータリー細則の規定によって、ロータリーの機関雑誌は、1991年に創刊された英文の「The Rotarian」誌と、 そのスペイン語版の「Revista Rotaria」誌とされておりましたが、経済的な理由で後者が廃刊となりましたので、現在では「The Rotarian」誌だけとなっております。

さらに、国際ロータリー細則で、世界27か国で30種類に及ぶ公式の地域雑誌が刊行されています。この公式の地域雑誌は、1977年の規定審議会の決議によって生まれました。地域雑誌は自然発生的に世界各地に色々とあったものですが、ＲＩが、その中から、情報伝達の公式の手段として一定の要件を充足するものを公式の地域雑誌として指定し、その講読を「The Rotarian」誌に代わるものとして会員に義務付けることとしました。その一定の要件とは、ＲＩの指定記事を掲載すること、年４回以上刊行すること、記事の50％以上がロータリーに関するものであること、毎年７月号の表紙に新年度のＲＩ会長の写真を使用することなどであります。

「ロータリーの友」は、わが国におけるこのような公式の地域雑誌で、1953年１月に創刊されましたので、すでに40年の年月を閲しています。「友」は、全国のガバナーで組織されるガバナー会が委嘱したロータリーの友委員会の管理と監督下にあるロータリーの友事務所で編集され発行されており、各地区から１名宛選任された地区委員が地区と事務所との連絡や編集への参画や雑誌講読の普及の促進などに携わっていることなどは、周知のとおりであります。

「友」には、ロータリーに関する基本的な情報や流動的な情報の解説、ＲＩや各地区や各ロータリークラブの国際レベルや地区レベルや国内レベルでのプロジェクトや活動の実績の紹介、すぐれた講演の記録、ロータリアンの個人的意見や趣味の発表などが豊かに多彩に掲載され、広い意味におけるロータリー情報の宝庫というべき素晴らしい内容が盛られています。従って、「友」の横書きの部分の１年分を継続して読んだだけでロータリーのことは一応マスターできるとか、さらに購読すればロータリーの時代の進行に決して遅れることはないなどといわれています。そして、1991年１月には、世界中の公式の地域雑誌の編集長が参加したセミナーの席上で、「友」は、環境保全、ロータリーの真のイメージの普及、国際報道、内容改善の努力、デザインの優秀さなどのすべての諸点で最も優秀であるとして、ＲＩ会長から綜合優秀賞を与えられるという最高の評価を受けました。ところが、現実の講読者は３分の１以下、全く読まない会員が３分の１を数えるといった実情で、購

入して積んでおくだけの〝読まれざるベストセラーズ〟と揶揄され兼ねない状況にあるようで、この現実はまことに残念というほかはありません。その原因として、左開きのＲＩ指定記事を中心とする情報記事がややもすれば直訳文体で我が国の言語感覚にそぐわないため読みづらいとか、内容的に面白くないとか、字が小さ過ぎるとか、もっと興味のある一般的な話題に乏しいとか、読む時間がないとか、色々な理由があげられています。感覚的に読みにくいという点は確かに一理があると思われますので、翻訳担当の方々にとっては大変に困難な作業とは思いますが、表現しようとする内容を明確にした簡易で大胆な意訳文体を私どもの感覚に合わせて考えてみるなどの工夫も重ねることも、今後は是非必要でありましょう。しかし、その他の理由は、果して如何なものでしょうか。

私どもロータリアンは、ベテランの会員であっても、また比較的新しい会員であっても、基本的な情報を繰返し読んで理解を深めて行くとともに、日々新しい流動的な情報に接してこれを逐次取り入れて行かねばなりません。また、根底に統一性を求めつつ多用性に溢れた現実から遂に脱却できない国際的環境や地域の特性への理解を深め、人々の間に稔り豊かな相互理解を進めて行かなければなりません。そして、そのような努力なくしては、この激しい変化に押し流されて行く現在の社会の渦の中にあって、時代の要請に即応した活力溢れるロータリー活動を弾力的にかつ効果的に遂行し、自他の幸せの実現を目指して進んで行く意義深いロータリーの世界の中に身を置くことは、到底不可能でありましょう。そこで、私どもがこのような目的のためのロータリーの情報を手に入れてロータリーへの理解を深めて行く身近で最も手っ取り早い方法は、毎月一冊の「友」を読み続けることであります。文体に慣れ、読み癖が付けば、しめたものです。クラブ・フォーラムの資料に使用したり、新会員に「友」の読後感のスピーチをして貰ったり、会員が自ら設稿したり、原稿が掲載された会員を表彰したりすることも、「友」を身近なものとする大変有効な手段でありましょう。

最後に、私どもは、「友」を外部の一般社会の人々に読んで頂くよう努力しなけらばなりません。例えば、家族や友人にも読ませたり、提唱しているローターアクト・クラブやインターアクト・クラブの会員やロータリアン以外の卓話者に贈ったり、図書館、病院、学校などの施設とかマスコミや公私の団体などに寄贈したりすることです。また、毎年２回11月と４月に「友」の英語版が「友」と同様にロータリーの友事務所から刊行されておりますが、これを大学や高校の英文科とか留学生の多い大学の図書館に寄贈したり、ローターアクターやインターアクターの海外研修に持参させたり、米山記念奨学会の奨学生やロータリー財団国際親善奨学生や国際青少年交換学生やその世話クラブなどに贈呈することも大切です。ロータリーの基本思想である「サービスの理念」は、ロータリーだけの独占物でなく、人間社会一般に通ずる普遍的な真理ですから、ロータリーの内部だけでなく、外部の一般社会の人々にも、国の内外を問わず、ロータリーを理解して頂くよう努力を重ねることは、ロータリアンとしての基本的な責務であり、このような外部への広報のためにも、「友」を十分有効に活用しなければならないのであります。

IGF 第6組 報告

ホスト：大阪城ロータリークラブ
I.G.F.実行委員長　上坂　正治

第6組・I.G.F.は、大阪城がホストを承り、去る2月20日、武尾ゼネラルリーダーご指導の中、関わりをいただくパストガバナーを始め、地区委員各位のご臨席を賜り、所属10クラブの会員各位、222名のご参加を戴き「大阪国際交流センター」に於て盛大に開催された。

先づ、山中ガバナーより、〝先程、何方かが、こんなにいい天気の土曜日のお昼に、閉じこめられるのは勿体無いなぁ…。とおっしゃってましたが、その土曜日に、ほんとうに来てよかったなぁ…といえるような意義のある楽しいフォーラムになりますように…〟とのご挨拶に続き、武尾ゼネラルリーダーからは〝「長寿社会における社会的対応」という大きなテーマを、皆様と一緒に勉強したい〟とされ、セレモニーに続いてフォーラムへと移行した。

先づ、基調講演は、龍谷大学・社会学部・奈倉道隆教授の、〝今日のフォーラムは、社会のリーダー役であるロータリアンによるものであり、ここで考えた事をさらに地域や企業に持ち帰り、今後の社会の進展に役立てていただければ〟とされ、パネリストのお一人・地区社会奉仕委員長・新津敬直先生は、ロータリアンの立場で高齢者の問題を、もうお一人は、若い世代から、R財団・元奨学生原田温代嬢のアメリカから眺めた日本の高齢者の問題点などの話を伺い、パネルディスカッションが活発に展開された。

広い会場のあちこちから、奈倉コーディネーターに矢継ぎ早に質問が、提言が、意見が飛び交う。パストガバナーからも、米山奨学生からも、RACの皆さんからもその数は実に30を超える活況であった。

大きなテーマを包みこんで盛り上げていただいたご参会の皆様にご厚礼を申し上げます。

地区米山奨学生終了者歓送会報告

地区米山奨学委員長　増本　猛

日　時：1993年3月7日（日）11:30～14:30
場　所：新阪急ホテル「星の間」
出席者：米山奨学生終了者　24名中　17名
　　米山継続者　26名中　9名
　　同上指導教官　5名
　　カウンセラー他関係ロータリアン　53名
　　事務局2名　合計91名

当日はあいにくの小雨ではありましたが、会場一杯の出席者で大賑い。定刻に山中ガバナーの暖かい歓送のことばで、会は始まり増本委員長から出席の地区米山関係者並びに米山終了者の紹介。本日のハイライトである米山終了証書・記念品贈呈が行われました。先づ種田米山奨学会常務理事から立派な英文の終了証書(盾型式)が1人づつ丁寧におくられ、各人には末長く想出の宝物となると喜んでいる様子であった。次に加えて山中ガバナーからは若人の愛用する肩掛型のスポーツバックがおくられ、なかなかの好評でありました。

次いで列席のパストガバナーたちから祝辞が述べられ、それぞれに終了者たちは色々な想いや感銘を受けたことであろうと思いました。

やがて乾杯、会食に移り一同なごやかに、新阪急ホテルの懐石風フランス料理を頂きながら一時を楽しく、同席の指導教官・ロータリアンたちと交流がはずみました。

会食中には指導教官のお話しや全終了者たちのスピーチや元奨学生（学友会）たちのお話しが次々に披露され、時のたつのも忘れる程でありました。定刻14:00すぎに司会者が閉会の機会の切出しにムズカシイ程の盛上りの中、武尾米山奨学部門担当パストガバナーの閉会のことばで終えました。

彼等は一様に米山奨学制度のお金だけでない心のこもった交流に深い敬意と感謝の気持の現われる言葉が多く耳に残りました。尚一層のこの地区での奨学生へのお世話の努力が必要であると痛感しました。なかでも未だ一度も世話クラブになってないクラブは、なるべく積極的にお申出をお願いして次年度以降世話クラブとなって頂いて、カウンセラーの方共々肌にふれた国際交流の体験をされんことを切に期待してこの報告を終ります。

（文責：地区委員　渋谷）

第2回　提唱R.C.ロータリーアクト
地区正副委員長会議

地区RAC委員長　北村英一（吹田）

日　時：1993年1月28日(木)　14:00～16:30
場　所：薬業年金会館 4F
出席者：山中ガバナー、中田地区幹事
　　地区委員5名　提唱クラブ正副
　　委員長、委員　40名
　　特別参加　東大阪東ＲＣ　3名
　　豊中―大阪国際空港　3名
　　田上ＲＡＣ　北ゾーン代理

先づ山中ガバナーの御挨拶を頂き、インフォメーションとして前期の地区行事の実施状況を北村地区委員長、田上ＲＡＣ北ゾーン代理から報告、伊藤地区委員から３月14日開催予定の世界ローターアクトＤＡＹ　'93ローターアクトフェスティバル「チャリティオーク中の島を歩こう」の計画立案の経緯と実施要項の説明あり、又大阪淀川ＲＣ井上ＲＡＣ委員長より５月16日開催予定のＲＡＣ年次大会の案内があり、多数のＲＣ、ＲＡＣメンバーの参加を要請した。

次いで協議に入り各ＲＡＣの前期活動状況及び後期活動計画の報告を各提唱クラブより説明を頂き綿密な情報交換と質凝を行った。最後に中田地区幹事より講評を頂き後半期の活動の広がりをお願いした。

特に今回は去る１月19日創立総会を開催した大阪梅田ＲＡＣ25名が新しく加わり、各クラブ共会員増強に努めて頂いたおかげで地区としては20クラブ、会員総数408名の過去最高となった。又特別参加として東大阪東、豊中―大阪国際空港両ＲＣの出席を頂き、両クラブ共現在着々とＲＡＣメンバーを募集され、年度内設立を目指しておられる事と合せ、地区ＲＡＣが上昇気流に乗りつつある状況は何にもまして嬉しい事である。どうかこの機会に地区未提唱クラブも之に続いて設立の気運をもり上げて頂きたい。

国際ロータリー第2660地区1992～'93年度上期

クラブ名	'92.1.31	1992.7.1～1993.1.31			1992.12.31 現在			1993.1.31 現在
	会員数	一般寄付・基金	1名当り平均額	過去累計額	ポール・ハリス準フエロー	ポール・ハリスフエロー	マルチプルポール・ハリスフエロー	ベネファクター
大東	68	780,000	11	118,635.98	45	46	2	
東大阪	86	14,360.00	166	164,807.03	24	63	2	1
東大阪東	70	4,902.00	70	125,451.87	42	49	0	
東大阪中	62	600.00	9	100,353.71	47	50	7	
東大阪西	55	11,120.00	202	80,285.72	42	25	3	
枚方	57	9,425.00	165	98,003.96	19	35	3	
枚方くずは	54	5,400.00	100	57,440.88	24	24	0	
茨木	59	7,230.00	122	136,902.66	44	47	7	
茨木東	55	6,110.00	111	120,384.21	58	38	2	
池田	58	1,180.00	20	116,574.96	34	55	2	
池田くれは	50	6,110.00	122	58,474.79	31	27	5	
門真	33	1,896.79	57	38,192.54	9	11	0	
交野	51	3,858.33	75	50,472.34	33	21	4	
箕面	69	2,920.00	42	102,274.24	56	43	2	
箕面中央	56	3,447.90	61	76,838.75	27	42	4	
守口	90	4,870.00	54	143,924.27	22	85	3	
寝屋川	58	3,823.07	65	115,659.27	16	40	3	
大阪	314	34,031.66	108	513,527.19	101	169	25	1
大阪阿倍野	62	642.50	10	95,686.56	10	60	1	
大阪ちゃやまち	62	10,720.00	172	29,370.00	65	2	0	
大阪中央	73	2,710.00	37	100,665.44	47	52	6	1
大阪堂島	62	310.00	5	77,508.90	35	30	6	
大阪阪南	82	5,903.84	72	148,560.25	20	28	3	
大阪阪和	50	3,380.00	67	61,126.94	45	22	0	
大阪東	147	9,296.00	63	261,135.68	64	90	11	
大阪東淀	71	7,048.61	99	143,052.19	23	38	2	
大阪平野	62	5,420.32	87	137,251.38	41	66	7	
大阪本町	59	2,620.00	44	15,234.00	57	3	1	1
大阪城	24	840.00	35	25,859.46	32	9	1	
大阪城南	84	3,285.00	39	115,157.57	21	64	4	
大阪城東	79	12,627.00	159	158,616.00	19	67	4	
大阪柏原	46	447.00	9	91,468.74	23	45	10	
大阪北	199	21,694.00	109	350,712.89	196	113	8	
大阪北梅田	64	2,250.00	35	12,060.00	66	2	0	
大阪北淀	58	2,120.00	36	59,548.30	24	32	0	
大阪南	188	13,470.00	71	314,552.87	65	146	16	
大阪港	46	4,900.00	106	76,136.01	36	33	1	
大阪難波	97	6,870.00	70	130,369.66	23	73	5	1
大阪なにわ	71	5,400.00	76	73,798.66	1	49	4	1

ロータリー財団寄付額明細表

(1993.1.31　現在　単位：ドル)

クラブ名	'92.1.31	1992.7.1～1993.1.31			1992.12.31 現在			1993.1.31 現在
	会員数	一般寄付・基金	1名当り平均額	過去累計額	ポール・ハリス準フエロー	ポール・ハリスフエロー	マルチプルポール・ハリスフエロー	ベネファクター
大阪南西	72	7,030.00	97	120,602.96	1	80	6	1
大阪西	113	4,330.00	38	186,684.42	22	85	3	
大阪大手前	67	8,720.00	130	83,171.03	35	16	2	
大阪大淀	71	4,904.68	69	162,870.11	57	64	2	
大阪西北	81	790.00	9	122,955.23	60	58	3	
大阪西南	116	18,430.00	158	241,234.61	126	98	7	1
大阪船場	59	570.00	9	39,942.93	58	11	1	
大阪心斎橋	83	870.00	10	112,539.05	78	55	2	
大阪城北	61	5,770.00	94	85,886.59	9	34	2	
大阪住之江	53	2,700.00	50	96,818.70	55	48	4	
大阪住吉	86	3,590.00	41	137,691.58	10	61	4	
大阪天満橋	109	5,790.76	53	159,264.90	7	81	2	
大阪天王寺	54	4,610.00	85	42,860.95	43	16	0	
大阪東南	66	5,650.00	85	55,693.33	20	50	6	
大阪鶴見	55	860.00	15	45,166.80	32	19	1	
大阪梅田	70	3,953.07	56	124,141.94	27	34	1	
大阪梅田東	59	7,458.39	126	59,123.40	0	18	1	
大阪うつぼ	75	780.00	10	126,001.97	72	52	3	
大阪淀川	95	2,723.84	28	154,673.34	4	60	3	
千里	82	6,599.99	80	97,446.23	68	23	2	
摂津	50	680.00	13	54,528.88	17	22	1	
四条畷	25	6,523.07	260	49,905.29	9	13	3	
吹田	77	3,060.00	39	138,582.28	68	57	3	
吹田江坂	46	500.00	10	17,346.74	47	0	0	
吹田西	70	5,800.00	82	105,622.38	61	37	1	
高槻	66	814.00	12	80,803.70	14	36	1	
高槻東	56	6,420.00	114	80,290.36	53	27	2	
高槻西	44	430.00	9	20,919.99	49	5	0	
豊中	75	2,470.00	32	124,720.74	51	63	5	
豊中南	63	8,559.98	135	128,822.91	50	50	8	
豊中―大阪国際空港	64	2,440.00	38	122,051.45	74	57	8	
豊中千里	41	820.00	20	27,321.50	4	12	3	
八尾	75	14,545.00	193	179,633.58	69	70	13	
八尾東	60	735.00	12	105,693.96	57	43	6	
八尾中央	51	4,240.00	83	62,073.70	44	21	3	
大阪中之島	47	0	0	0	0	0	0	
その他				58,109.06	7	6	0	
合計	5,468	398,186.80	72	8,307,272.42	3,045	3,376	276	8

(注) この数字は、ロータリー財団管理委員会よりの報告による。

ボスニア・クロアチア救援募金活動感謝状

先般、当地区がダクターマンＲＩ会長の要請を受けて実施した、ボスニア・クロアチア救援募金活動に対して、同会長から次のような書簡が届きました。改めて、皆様に感謝申し上げます。

1993年２月25日

25 February, 1993

Mr. Fumikazu Yamanaka
Governor, District 2660, RI

Dear Fumikazu:

Thank you so very much for your district's response to the refugees in Croatia and Bosnia-Herzogovina. The response by Rotarians such as you to this club-to-club action appeal for help is heartening and I appreciate your prompt action. You truly are demonstrating the meaning of our theme that **"Real Happiness is Helping Others."** Thousands of refugee children and their parents, orphans, and elderly people will be able to face the cold winter with hope rather than with fear and despair, because Rotarians are willing to help.

I am proud to be a Rotarian and proud of you. When Rotarians marshal their resources, whether through world community service or direct action in a club-to-club activity, they are really expressing their care and concern for improving and sustaining the lives of people who need help.

In closing, all I can say to you again is **"Thank you"** for joining in this project to help others who will soon learn that Rotary means service.

Sincerely,

Cliff Dochterman

Clifford L. Dochterman
President

山中文和ガバナー殿

拝啓　クロアチアとボスニア・ヘルツエゴビナ難民救済にご協力頂きありがとうございました。貴地区のように、全クラブ挙げての救済活動は勇気づけられるとともに、その素早い対応に感謝いたします。まさに我々のテーマである〝まことの幸福は人助けから〟を身をもって実践しておられます。ロータリアンの積極的な援助があればこそ、多くの難民の親子、孤児、そして年老いた人々が、希望をもってこの苦境に立ち向かって行けるのです。

私は、自分がロータリアンであることを誇りに思うとともに、皆様を誇りに思います。ロータリアンがもてる力を発揮することは、世界社会奉仕であれ、あるいは直接クラブ間の活動であれ、援助を必要としている人々の生活を改善支援するために、懸念と関心を示すことになります。

最後に、この人助け計画に参画して頂いたことに対して、重ねて感謝申し上げます。ロータリーとは奉仕を意味することを、やがて人々は理解するはずです。　敬具

会長　クリフォード・ダクターマン

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

川本　富三	茨木東RC	12. 2
佐藤　義昭	茨木東RC	12. 2
※山出　敬二	吹田西RC	12. 2
河野　京哲	茨木東RC	12. 2
畑屋太一郎	枚方くずはRC	12. 3
寺西　太一	東大阪東RC	12. 4
村瀬　吉彦	大阪大手前RC	12. 4
※柏原　俊夫	八尾RC	12. 7
※増田　鼎	八尾RC	12. 7
※田中　純吉	八尾RC	12. 7
※山口　幸雄	八尾RC	12. 7
※吉川　鹿雄	八尾RC	12. 7
※那須　郷磨	八尾RC	12. 7
中島　孝夫	八尾RC	12. 7
中西　啓詞	八尾RC	12. 7
西海　元樹	八尾RC	12. 7
丸野　務	交野RC	12. 7
中安　正	交野RC	12. 7
樋田　虎一	交野RC	12. 7
藤井　省司	千里RC	12. 7
伊藤　誠	千里RC	12. 7
天野　清住	箕面中央RC	12. 7
※倉内　勇吉	枚方RC	12. 7
新居　恒男	八尾RC	12. 7
吉田日士光	豊中南RC	12. 9
※伊藤　七郎	大阪東RC	12.10
大岡　昇	大阪東RC	12.10
野崎　瞭一	大阪東南RC	12.10
毛尾　武史	大阪東南RC	12.10
前田　敏弘	大阪東南RC	12.10
三野　文男	大阪東南RC	12,10
松村　昌美	東大阪RC	12. 7
川添　堯彬	東大阪RC	12. 7
辻本　一義	東大阪RC	12. 7
土井　志郎	枚方くずはRC	12. 9
佐々木卓三	大阪RC	12. 9
樋口　哲三	池田くれはRC	12.10
稲垣　邦弘	大阪東RC	12.10
※青井　隆	大阪東RC	12.10
中島　秀樹	大阪城北RC	12.10
奥野　良臣	千里RC	12.11
森下　慶治	八尾東RC	12.15
武村　健一	八尾東RC	12.15
藤田　勇	八尾東RC	12.15
萱村　信造	八尾東RC	12.15
本田　陽一	大阪北RC	12.16
喜田　敏雄	東大阪東RC	12.18
藤本　修	東大阪東RC	12.18
山本　峰雄	東大阪東RC	12.18
※増本　栄	大阪難波RC	12.18
※関口　啓	大阪柏原RC	12.18
※青山　俊治	大阪柏原RC	12.18
長澤　義雄	吹田江坂RC	12.18
小野　雅章	吹田江坂RC	12.18
角井　勝美	東大阪西RC	12.22
石田　正弘	枚方くずはRC	12.22
吉田定司	豊中-大阪国際空港RC	12.22
※後藤　真清	交野RC	12.22
東　安英	大阪阪和RC	12.22
仲堅　勝	大阪北淀RC	12.24
※樋口　秀和	大東RC	12.24
山本　昌次	大東RC	12.24
吉田　昭巳	大東RC	12.24
米沢　貞夫	大東RC	12.24

中村　隆一	大　東RC	12.24
石田　和清	大　東RC	12.24
中道　弘美	大　東RC	12.24
江原　誠三	大　東RC	12.24
石丸　康一	大　東RC	12.24
澤邉　清	大　東RC	12.24
北井　清文	大　東RC	12.24
米沢　三吾	大　東RC	12.24
吉岡　重樹	大阪本町RC	12.24
※川口　鴨彦	東大阪RC	12.25
※吉城　鉄也	東大阪西RC	12.25
※渡邊　邦雄	大阪城南RC	12.25
※今岡　巖	大阪城南RC	12.25
藤原　博満	大阪心斎橋RC	12.25
早川　謙一	大阪心斎橋RC	12.25
川上　隆三	大阪心斎橋RC	12.25
熊澤　信	大阪心斎橋RC	12,25
森　泰輔	大阪心斎橋RC	12.25
成田　堯	大阪心斎橋RC	12.25
上野　好清	大阪心斎橋RC	12.25
芳鐘　淳	大阪心斎橋RC	12.25
ニシダケイシン	大阪城北RC	12.25
和田　安弘	大阪城北RC	12.25
野口　幸助	大阪天満橋RC	12.25
大西　岩男	大阪うつぼRC	12.25
鈴木　隆志	大阪うつぼRC	12.25
※田　季晴	大阪うつぼRC	12.25
※福本　桂三	大阪うつぼRC	12.25
※河　啓一	大阪うつぼRC	12.25
※野崎　勉	大阪うつぼRC	12.25
※多喜　久	大阪うつぼRC	12.25
岡崎　弘男	吹　田RC	12.25
成尾　紹雄	吹　田RC	12.25
ベネファクター		
青山　俊治	大阪柏原RC	12.18
畑田　豊	大阪城南RC	12.25

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1993)

尾崎　弘昌	東大阪中RC
中住　譲秀	池　田RC
神戸　昭典	寝屋川RC
坂本　正	大阪梅田RC
篠原　祥哲	大阪梅田RC
野口　清隆	大阪梅田RC
津本　洋一	大阪堂島RC
戸谷　晴治	大阪堂島RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1993)

岡田　早苗	東大阪中RC
矢野　信夫	大阪大手前RC
徳山　喜昭	大阪梅田RC
吉田　和弘	大阪梅田RC
尾崎　吉治	大阪うつぼRC
稲田　二千武	大阪堂島RC
植出　明雄	大阪堂島RC
川崎　全司	大阪堂島RC
高宮　英一	大阪堂島RC
梨本　幸男	大阪堂島RC

1992年2月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	2月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	2月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	70	0	99.61	4	11	大阪南西	73	72	+1	98.90	4	19
東大阪	84	82	−2	91.06	4	73	大阪西	113	112	−1	97.47	4	38
東大阪東	67	73	+6	97.92	3	31	大阪大手前	66	65	−1	100.00	4	1
東大阪中	60	59	−1	96.19	4	52	大阪大淀	70	72	+2	99.04	3	18
東大阪西	62	60	−2	100.00	4	1	大阪西北	79	77	−2	96.29	4	51
枚方	54	61	+7	97.81	4	34	大阪西南	116	118	+2	100.00	4	1
枚方くずは	50	56	+6	98.60	4	21	大阪船場	57	56	−1	96.30	4	50
茨木	62	65	+3	98.26	4	26	大阪心斎橋	81	85	+4	95.78	4	55
茨木東	58	58	0	96.40	3	49	大阪城北	63	60	−3	100.00	4	1
池田	58	59	+1	94.83	4	63	大阪住之江	48	50	+2	100.00	4	1
池田くれは	51	54	+3	95.47	4	57	大阪住吉	84	83	−1	93.24	4	67
門真	31	30	−1	92.75	3	69	大阪天満橋	105	103	−2	97.64	3	37
交野	49	48	−1	95.26	4	60	大阪天王寺	51	50	−1	93.00	4	68
箕面	68	66	−2	98.51	3	22	大阪東南	65	65	0	92.31	4	71
箕面中央	58	56	−2	97.36	4	39	大阪鶴見	54	51	−3	97.00	4	43
守口	87	87	0	98.22	4	29	大阪梅田	67	69	+2	97.02	4	42
寝屋川	60	60	0	95.46	4	58	大阪梅田東	62	63	+1	99.60	4	12
大阪	311	318	+7	87.75	4	74	大阪うつぼ	78	76	−2	96.96	4	44
大阪阿倍野	61	67	+6	95.30	4	59	大阪淀川	97	95	−2	95.00	4	61
大阪ちゃやまち	62	64	+2	97.21	4	40	千里	79	80	+1	99.31	4	15
大阪中央	69	68	−1	100.00	3	1	摂津	48	46	−2	95.73	4	56
大阪堂島	62	61	+1	98.77	4	20	西条畷	25	24	−1	81.25	4	75
大阪阪南	80	82	+2	99.06	4	17	吹田	76	78	+2	99.15	3	16
大阪阪和	48	49	+1	94.53	3	65	吹田江坂	50	51	+1	100.00	4	1
大阪東	144	148	+4	98.23	3	28	吹田西	66	66	0	100.00	4	1
大阪東淀	73	72	−1	96.69	4	47	高槻	71	70	−1	97.09	4	41
大阪平野	62	56	−6	98.16	3	30	高槻東	57	58	+1	99.54	4	13
大阪本町	62	67	+5	98.49	4	23	高槻西	42	39	−3	98.29	3	25
大阪城	23	25	+2	95.79	4	54	豊中	73	76	+3	97.83	4	33
大阪城南	81	80	−1	99.38	4	14	豊中南	59	57	−2	100.00	3	1
大阪城東	72	73	+1	97.92	4	31	豊中—空港	64	63	−1	94.51	4	66
大阪柏原	45	47	+2	97.77	4	35	豊中千里	38	40	+2	96.90	4	45
大阪北	198	202	+4	92.00	4	72	八尾	78	79	+1	97.76	4	36
大阪北梅田	64	71	+7	98.24	4	27	八尾中央	50	51	+1	96.00	4	53
大阪北淀	53	55	+2	96.82	4	46	八尾東	55	58	+3	94.64	4	64
大阪南	194	185	−9	94.96	4	62	大阪中之島	0	47	+47	100.00	3	1
大阪港	47	47	0	96.67	3	48							
大阪難波	87	90	+3	98.41	3	24	クラブ数	期初会員数		月末会員数	増減		平均出席率
大阪なにわ	69	69	0	92.75	3	69	75	5,356		5,445	89		96.83

文　庫　通　信（66号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万６千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「決議23-34」関連文献

◎「THE GOLDEN STRAND」Oren Arnold 1966年　312頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「ROTARY?」The University of Chicago Press 1934年　293頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY」 Guy Gundaker――32頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「Proceedings of The 1923 Rotary Convention」 R.I. 1923年　423頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「SHELDON-a Name to Remember "HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST"」 John Knutson The ROTARIAN：1955・3月号　4頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「Frank Collins：He gave us "Service Above Self"」 The Rotarian：1977・2月号　1頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「ロータリー・モザイク」 ハロルド T.トーマス著　松本兼二郎訳　1977年　327頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「忘れ得ぬロータリアン」 宮脇冨　ロータリーの友：1967・1～1968・3月号　46頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

◎「決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである」 末積正　1985年　112頁　【申込先 ロータリー文庫（コピー）】

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

訃　報

藤井　森男君（大阪西北R.C.）
平成５年２月19日逝去（享年85歳）
明治40年３月12日生まれ
昭和44年８月１日入会
1972～'73年度 会長
マルチプル・フェロー
米山功労者

安田　正君（大阪淀川R.C.）
平成５年３月４日逝去（享年79歳）
大正２年11月５日生まれ
昭和38年７月26日 入会
1975～'76年度 会長
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お　知　ら　せ

◆豊中南RC　幹事変更
山田　寛二君→大田比登史君

◆月信３月号（No.９）に誤りがありましたので、訂正とともにお詫び申し上げます。
ポール・ハリス・フェロー　光満寛守　大阪南西ＲＣ11.26　丸橋博行　大阪ＲＣ11.30はマルチ・プルフェロー
ポールハリスフェロー　田中太郎　枚方くずはＲＣは田中太一郎
米山功労者　野田秀宇　豊中大阪国際空港ＲＣは町田秀宇
米山ファンドフェロー　高末　偕、吹田江坂ＲＣは高末　偕
訂正とともにお詫び申しあげます。

◆ロータリー・レート変更
４月１日から　１ドル＝118円

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

〈COPY〉

Governor's Monthly Letter

5月

May.1 1993
NO.11
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和

端午の節句

（木村光佑）

「如是我聞」
ニョ ゼ ガ モン

ガバナー 山 中 文 和

「色々な奉仕の実践」

会長さん、幹事さん、はや後２ヶ月の任期となりましたがますますお元気にてご活躍と思います。

さてロータリーの奉仕の実践は千差万別であってこそよいのです。心の中に奉仕の火を燃やすのは一人ひとりのロータリアンであり、クラブの中でお互いが異業種としての倫理的な責任感にもとづく、個性を失わずに行動するが故に奉仕の実践もまた千差万別なのです。倫理的責任感にもとづく個性とは単なる思いつきで行動に移す野性とは異なり、ロータリーの理念を理解して頂いた上での個性であり、綱領の理念から大きくはみ出すことなく又、先輩諸兄がこの88年の歴史の中で常に色々な相反する理念の調和に苦しみ、そして多くの経験によって出来た今あるような素晴らしいロータリーの理念の原則をよく理解するよう努力しなければならないのは言うまでもありません。

ポリオ・プラスの活動は我々全世界のロータリアンの偉大な熱意と実践によってそれが「起爆剤」となって大きな世論をまきおこし、国連や各国の保健機構が力強く活躍し、80％の抑制が出来た事は素晴らしい事であります。絶滅の日が来るまで何がなんでもやりきろうと頑張っておられるロータリアンも多くあり、これはこれなりに素晴らしい事と思いますし、私も絶滅を熱望しているもののひとりです。がしかし、地区としてはもうここまで素晴らしい活動が定着すれば立派に本来の役目を果たしたのであり次の社会的ニーズに移るべきであり、もしポリオの問題のみを深追いすれば「エイズ」や「環境破壊」等多くの問題はどうなるのでしょうか。この意味でフィラデルフィア大会で「R.I.のポリオ・プラスキャンペーンの終了宣言」を出したのはR.I.が正しい方向を示したと言えるでありましょう。

「ロータリークラブはロータリアンを育てるところ」

このようにクラブとして、団体でする大きな奉仕活動は大変よい効果を得るのも事実であり、それに参加したロータリアンにとっても時には大きな感動をおぼえ、次なる奉仕への意欲を燃やすのも事実ですが、社会には色々なニーズがあり個人で奉仕をしてこそ色々なニーズにわかれわかれに一度に対応が出来てしかも一人ひとりの個性によっていろいろな型で奉仕が行われ、文字通り身近な地域社会に密着した奉仕が出来るのです。そしてこの様な一人ひとりのロータリアンを育てるところがまさにロータリークラブなのです。日本のロータリーの始祖米山梅吉翁は「ロータリークラブは素晴らしい奉仕をするロータリアンを育てるところであって奉仕クラブではない」と言いきっています。

「奉仕に対する発想の交換もクラブの大きな仕事のひとつです。発想の交換は命令服従の支配関係ではなく、本来リベラルなクラブ制度に根ざした平等対等の横社会的なものなのです。その発想の交換形態のひとつにバズセッション型形式によるフォーラムがあります。これは奉仕に対する意見が対立することがあった時、親睦を保つために自由に胸襟を開いて討議し、お互いの意見発想を交換し、なおかつ、その席では結論を出さずに終了する討議方法で素晴らしい智恵によって生まれた方法だと思います」と第2680地区の深川純一パストガバナーは言っておられます。

「我」

しかし時には奉仕に対する情熱が強すぎてどうしても意見が対立する事もあるでしょう。また、そんなつもりでなかったにもかかわらず、永年ロータリーの役員をしている間にロータリーの英知はただ自分にのみある様に錯覚し、よりもっと素晴らしい奉仕のあり方を願うあまり、ついには「我」の心が出てきて争いになることもありましょう。時には自分の意見を通さんが為に徒党を組み閥をつくって憎しみ合い葛藤すると言う情けない事もおこり得ると思います。しかし、考えてみればもともとロータリーの活動をどの様な方法でやろうと自分の利益の為にしていないのだから悪い筈がない。発想の交換をうまくやれば了解しあえない筈がないと思うのです。

「如 是 我 聞」

仏教のお経のはじめに「如是我聞」と書かれているのがたくさんあります。若し「お釈迦様はこのように言われた、そんなことを言ったのではない」と言いきった場合、その解釈の違いから大変な争いが生じるかもしれません。

お釈迦さんのお弟子さんには大変利口な方々がおられて「私はこの様に聞きましたよ、この様に了解しましたよ」と言ってからお釈迦様のおしえを「お経」として説いたのです。即ち「あなたはどの様に解釈されたか知りませんが、私はこの様に解釈しました」と言えば、ケンカになりません。なんと素晴らしい発想ではありませんか。お蔭で仏教の歴史には仏教徒同士がその派閥の為に血で血を洗うような争いはほとんどなく「和」の世界が続いて来たのです。

「奉仕をしようと心がける善意の人々の集まりがロータリークラブ」です。誰もが自分の利益を考えて事をする人はないはずです。若し意見の食い違いがおこっても是非「如是我聞」の心で許し合い、素晴らしい奉仕の実践にすすもうではありませんか。

まことの幸福は

パストガバナー　**廣　瀬　勘一郎**

国際ロータリーのカレンダーには５月の月間運動は何もない。社会奉仕活動も月間運動として何も提唱されていない。社会奉仕はとり立てて月や週を限らずとも、ロータリアン一人々々が、ボランティアの精神に基いて年中世界のどこかで、たえず実施されているからかも知れない。各クラブに於いては、既にその運動を着々と実行され、その実績を積み上げられている事と思う。本年度当地区社会奉仕委員会に於いても社会奉仕活動が、恒例の如く種々展開されて来た。

その中でも最大のハイライトは、４月11日大阪市立中央体育館に於いて開催された「身障児等とロータリアンとのなかよし運動会」であった。本年度は伝統ある「身障児との白浜旅行」にかわる地区活動として、はじめて昨夏、新しい企画と準備に着手した。この度び漸く桜花爛漫の好き季節に、山中ガバナーを迎え、身障児・健常児併せて204名、ロータリアン・ローターアクター・インターアクター100名、交換学生・米山奨学生20名、其の他関係協力者合計650名が、渾然一体となり、文字通り童心に帰り、この体育館で行事を心から楽しむ事が出来、その上金光八尾高校生等の素晴らしい吹奏楽によって、会場のムードをいやが上にも盛り上げて貰った事は、当地区に於ける画期的イベントであったといえる。NHKテレビでは早速その日の夕刻ニュースとして放映された。この運動会を通じて、とりわけ頭の下がるものは、ローターアクターの献身的な活動であり、正にロータリー精神の発露そのものとして、地区に於いて大いに賞賛に値するものがあった。このイベントを見事成功に導かれた新津地区社会奉仕委員長以下実行委員、ロータリアンの御苦労と関係者のご協力に、この紙上をかりて厚く感謝申し上げる次第である。

環境保全問題については、三年越しの地区活動を経て、漸く活動推進のためのガイドラインとして、地区環境保全委員会委員の近藤正臣（千里）先生の手によって「ロータリーと環境問題」と言う名著を完成して頂いた。これは国（行政）・地区・クラブ夫々の行動指針とも言うべきもので、当地区は勿論、他地区からの要望を合わせると約3000冊にも上る程の好評である。我々ロータリアンは今後、このガイドラインに基づいて、より積極的に環境保全活動に挺身して頂く事を切望して止まない。

本年度R.I.テーマ「まことの幸福は人助けから」を最も象徴的に表現し、最も多彩に実践しているものは社会奉仕活動であると言っても過言ではない。ロータリーは幾ら知識としてロータリーの事を知っていても、その精神を身に体して実行に移さねば何の価値もない。行動せずして人を批判する事はたやすい。それよりも先ず自らが助け合いの気持をもって、奉仕活動を実践してこそ、まことの幸福が得られるものだと思うのである。

財団学友・中田厚仁君を悼む

RI第2660地区
ガバナー **山　中　文　和**

当地区の財団学友・中田厚仁君が去る４月８日、国連ボランティアとしてカンボジアで選挙監視任務を遂行中、凶弾にたおれ殉職した。このニュースを出先で聞いた私は、これは大変なことになったと思った。彼が、1989年度のロータリー財団の奨学生として米国アイオワ州のグリンネル大学に留学したことは、当然知っていた。当時、私のホームクラブである大阪南RCがスポンサーしたのである。それだけではない。中田君の伯父上は、私と同じ大阪南RCの会員であり、本年度、地区幹事としてご奉仕いただいている。そのまたご尊父、つまり厚仁君のおじいさまが、大阪南RCの会長であられたとき、私はクラブ幹事としてお仕えしたという関係がある。このように、私と中田厚仁君との関係は、何かと因縁深いものがあった。

中田さん一家は、ロータリー一家である。ご一族にも多くのロータリアンがいらっしゃるが、とりわけ、おじいさん、おじさんと伝わるご家系は、大変熱心なロータリアンである。中田君がボランティアとして世界平和のために生命を賭してまで奉仕したことには、このようなご家庭のバックグラウンドがあることに気づくのである。伝えられるところによれば、商社員であった父君に従って幼少のころポーランドで過ごし、そのとき訪れたアウシュヴィッツで世紀の悲劇を見聞し、このことが世界平和に貢献したいという、彼の純粋で崇高な精神をつくり上げるきっかけとなった、と聞く。やがて彼は大学に進み、国際関係論を専攻しながら、心は絶えず、国際間の紛争を解決するのにどのように有効な方法があるのかを問い続けていたという。そして、国際理解と親善を目的とするロータリー財団の奨学生になると、ロータリーの実践的奉仕活動に強く心を動かされ、まっしぐらにボランティアの道に邁進していったのだろう。今年正月に一旦帰国した彼は、ご遺族の話によれば、「ああ、時間がない。時間がない。」となにかに憑かれたようにつぶやいていたという。25年の短い生涯を一途に駆けぬけた若者の死は、誠に痛ましい限りである。同じロータリーの奉仕の心を分かちもつこの25歳の若者が、炎熱のカンボジアで追い求めた平和の意味を、私はともに分かち合ってやりたいと思う。

「無償の奉仕」と言う。しかし現実に中田君に与えられたものは、無念な「死」の代償であった。それを思うと心が痛む。この若者の「死」が我々の胸をうつのは、まさにこのことのためである。ご両親をはじめご遺族のご心中は察するに余りある。

〝Service Above Self（超我の奉仕）〟すべてのロータリアンに与えられたこのテーマを、これ程強烈にまた身近に感じたことはない。

謹んで中田厚仁君のご冥福を祈る。

環境保全見学研修会報告

地区環境保全委員長　岡部次郎（箕面）

日　時：1993年４月２日（金）13:30～15:30
場　所：(財)千里リサイクルプラザ
出席者：山中ガバナー、廣瀬社会奉仕部門担当パストガバナー、地区委員７名、地区内69クラブ84名。

廃棄物の資源化・再生利用のための最新施設として昨秋オープンした千里リサイクルプラザを見学しました。ここはクラブ単位の見学も受入れていただけます。

万博公園の桜も咲初め、雲一つない好天に恵まれ定刻に開会。山中ガバナー、廣瀬パストガバナーより、環境問題は今や避けて通れない重要課題であり、ロータリーの活動も大いに期待されるところである旨のご挨拶をいただき、続いてセンターの井上信一業務課長の施設説明を拝聴。三班に分かれて現場を見学した。

１～３階は分別収集された廃棄物を破砕・選別し資源化等を行う施設、４～５階は学習・研究等の施設とリサイクル市民工房。廃棄された自転車や電気製品は使用可能な部品を使って再生し、留学生等に提供されているとのこと。

ここを見学すれば、分別収集の必要性、捨てる側のマナー、消費浪費の悪癖、再生する為の労力等々いろいろと考えさせられる点が多い。どんな人達に見学してもらうのが一番効果的なのかを考慮の上、クラブ環境保全委員会のご活動に利用いただければ結構だと考えております。

I.G.F 第３組 報告書

ホスト：四條畷ロータリークラブ
フォーラム委員長　柳本久治

３月６日（土）　午後０時30分より４時30分迄四條畷市民総合センターに於て第３組のI.G.Fを開催致しました。

主宰者：第2660地区ガバナー　山中文和
ゼネラルリーダー(パストガバナー)坂東　宏
来賓ガバナーノミニー　大森慈祥
パストガバナー　伊藤恭一
パストガバナー　種田憲次
地区幹事　中田康仁
地区財団増進委員　執行経世
地区米山奨学委員　菅　晃生
参加クラブ：大東・枚方・枚方くずは・門真・寝屋川・守口・交野・四條畷
参加者：188名（登録者435名）

多数の御出席の下に楽しい有意義な一日を過ごすことが出来ました。

最初に山中ガバナー及び坂東ゼネラルリーダーより夫々御挨拶を賜り次いで中田地区幹事より地区大会の案内と報告、執行財団増進委員よりロータリー財団の地区報告、菅米山奨学委員より米山奨学生の地区報告をそれぞれ受けました。

当日のＩＧＦのメーンテーマは「まことの幸福は人助けから」を軸として第一部は比叡山麓宝莚住職柏木寛照師の講演約80分「人生ほんとの幸せとは、ほんとの人助けとは、ほんとの愛とは」をテーマに人生の基本理念を詳細に熱弁をふるっていただきました。

第二部のフォーラムは

コーディネーターの柳本久治（四條畷）よりまことの幸福は人助けからの解説と職業奉仕部門から如何に職業奉仕で生かして人助けをするか

パネラー　円満字正和（大東）
パネラー　田中太一朗（枚方くずは）
社会奉仕部門から如何に社会奉仕で生かして人助けをするか
パネラー　徳山　順一（門真）
パネラー　下牧　重彦（寝屋川）
国際奉仕部門から如何に国際奉仕で生かして人助けをするか
パネラー　舟橋　透（守口）
パネラー　服部　修（枚方）
以上熱心な又貴重な御意見を伺い又会場からも質疑や意見発表があり、70分の時間が有効に楽しく有意義に終始致しました。

最後に坂東ゼネラルリーダー並びに山中ガバナーより夫々御講評を戴き4時40分に閉会致しました。

終始御懇篤なる御指導を賜りました山中ガバナー並びに坂東ゼネラルリーダーに厚く御礼申上げますと共に交通不便な四條畷に御参加賜りました会員各位に最後迄熱心に討論いただき心から厚く御礼申上げます。

I.G.F 第2組 報告書

ホスト：高槻西ロータリークラブ
フォーラム委員長　高津　嘉夫

3月13日（土）　午後1時より4時30分まで高槻市立文化会館中ホールに於て第2組のI.G.Fを開催致しました。

主宰者：第2660地区　山中文和
ゼネラルリーダー(パストガバナー)松本良諄
来賓　パストガバナー　坂東　宏
直前ガバナー　菅生浩三
地区IGF担当幹事　島岡　司(大阪南)
地区大会委員長　酒井芳申(大阪南)
地区ロータリー財団増進委員　柳澤忠磨(大阪住之江)
地区米山奨学委員　崎山耕作(大阪住吉)
参加クラブ：吹田・吹田西・吹田江坂・千里・摂津・茨木・茨木東・高槻・高槻東・高槻西
参加者：在籍メンバー606名中387名の登録を得、有意義な一日を過ごすことができました。

開会式に於ては山中ガバナー及び松本ゼネラルリーダーよりご挨拶があり、地区報告に於ては、1)地区年次大会案内　2)地区ロータリー財団報告　3)地区米山奨学会報告がそれぞれ担当委員長よりあった。

フォーラムのテーマは「ロータリーの原点にもどり奉仕のあり方を考える」としサブテーマとして国際問題・環境問題を掲げこれらサブテーマを通してロータリーの奉仕が個人やクラブに於てどうあるべきかの論議が第一部　パネルディスカッション　第二部　フロアーとの意見交換（パネルディスカッションのメンバー5名の他　松本ゼネラルリーダー、坂東パストガバナー、菅生直前ガバナーにもご登壇いただき新しいスタイルで行った）

第一部に於てモデレーターに足達忠利（吹田）、サブテーマ国際問題には瀧川紀征(吹田西)・西本勝（摂津）が、また、環境問題には船越久葵（茨木）・今堀幸（高槻）と4名のパネラーにて行われ次のような意見発表があった。

日本と外国との文化の相違その中での国際貢献やロータリーの奉仕の国内外における難しさ。ロータリーの国際交流に関し具体的に実施した経験をふまえた成果と課題。また環境特にゴミ問題について減量策、リサイクル策に関し企業側としてまた消費者として個人側からそれぞれ有益な報告と問題の投げかけがあった。

第二部においては上記を受けフロアーとの熱心な意見交換が行われ大きな成果が挙った。

最後に松本ゼネラルリーダーより総括があり、菅生直前ガバナーより講評をいただき無事プログラムどおり終了した。種々ご指導を賜った山中ガバナー・松本ゼネラルリーダーに厚くお礼申上げますと共に最後まで熱心にフォーラム運営にご協力頂いた、会員各位に厚くお礼申上げます。

平成５年「春の全国交通安全運動」初日行事に参加して

地区職業奉仕委員長　浅　沼　清太郎

大阪府交通対策協議会主催による平成５年「春の全国交通安全運動」初日行事は、桜花満開の下、４月６日大阪城公園大手門前広場で実施された。

職業奉仕部門の具体的実践活動の一環として、各職業奉仕委員長さんの同大会への参加協力要請をお願いしたところ、46クラブという多数の参加を得て大手門前広場におけるセレモニーにひき続き、北大江公園までの約１キロの徒歩パレードを行い、参加19団体とともに交通安全を呼びかけ、90回目の節目ある本大会に花を添えることができた。

交通安全とりわけ「違法駐車問題」は一朝一夕に、また我々の力だけで解決できるものではないが、地域社会の職業代表人として私どもは、今後とも、この種問題解決に向け、積極果敢かつ真摯に取り組まなければならないと痛感した。

1992～'93ローターアクトフェスティバル

国際ロータリー第2660地区
ローターアクト代表　磯　田　郁　子

本年はローターアクト創立25周年という記念すべき年です。世界じゅう、日本じゅうで記念の行事が企画されローターアクトを広く人々にP.Rするための行事が開催されたようです。私ども第2660地区ローターアクトも年度始めより今回のローターアクトフェスティバルを計画し準備を進めてまいりました。

平成５年３月14日(日)、中之島公園において「1992～'93 ローターアクトフェスティバル・チャリティーウォーク～中之島を歩こう～」を開催いたしました。当日はチャリティーウォークを中心にその外ニュースポーツの体験コーナーや、体力・血圧測定、ローターアクトの活動内容の写真展示などを行いました。

今回のこの催しの目的は、ロータリアンはもちろん、広く一般の人々にローターアクトの存在を知っていただき、その活動内容を理解していただくということにありました。

当日は久しぶりの快晴のもとロータリアン83名、ローターアクター99名、一般98名、合計280名が参加し盛大に開会式が行われ、その後、４kmと７kmの２コースに分かれウォークをスタートしました。参加者から500円のチャリティー金をいただき総額15万４千251円のチャリティーを集めることができました。このお金で４月11日（日）に行われる「ロータリアンと身障児などとの仲良し運動会」に参加する約300名の子供たちに色鉛筆を送ることにしました。

予想をやや下回る参加者ではありましたが、初めて地区の20のクラブが協力し、一丸となってホストしたという点では意義深い行事だったのではないかと思います。

最後になりましたが、この行事をするにあたって多くのロータリアン、また関係各位にお世話になりましたことを心より感謝申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

'93～'94年度 全国会員名簿申込

全国会員名簿は地区、全国、を結ぶ会員相互の唯一の名簿です。新らしいクラブと、新会員の方は、是非手許に置いて、メークアップと、奉仕活動、他クラブとの交流に活用していただきたいと思います。今年度より、増ページして、内容の充実を期しておりますが価格は据置きです。(4000円)

未だ申込んでおられないクラブや会員の方は至急、お申込下さい。

(ロータリーの友担当地区委員)

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。 (1992)

森本　章	高槻東RC	12.28
大橋　健一	高槻東RC	12.28
磯田　勝信	枚方くずはRC	12.29
山下　義一	大阪阿倍野RC	12.29
高田多喜男	大阪阿倍野RC	12.29
藤田誠一郎	大阪阿倍野RC	12.29
※成田　重彦	大阪住之江RC	12.29
佐々木純一	大阪南RC	12.30
勝山　巌	東大阪東RC	12.30
徳永　孝哉	大阪船場RC	12.30
平林　昇	大阪鶴見RC	12.30
木田　壽雄	吹田西RC	12.30
谷口　吉弘	大阪東RC	12.30
高木　一夫	大阪東RC	12.30
前田　丹次	大阪東RC	12.30
大島　長造	大阪東RC	12.30
中村健太郎	大阪東RC	12.30
北村　充彦	東大阪東RC	12.30
長谷川元耶	箕面RC	12.31
山下　霊瑞	箕面RC	12.31
		(1993)
曽々木　敦	大阪なにわRC	1.11
窪田　開拓	大阪天満橋RC	1.11
濱田　稔夫	大阪住吉RC	1.11
市川　隆三	東大阪西RC	1.14
※三谷　裕康	千里RC	1.18
中西　正七	大阪梅田RC	1.18
奥田　孝夫	大阪梅田RC	1.18
篠原　耕一	大阪梅田RC	1.18
横井　浩	大阪うつぼRC	1.18
田中　健次	東大阪RC	1.21
中島俊一朗	大阪南RC	1.21
森脇　太郎	大阪難波RC	1.25
杉本　文男	大阪RC	1.26
仲庭　裕明	大阪堂島RC	1.27
戸谷　晴治	大阪堂島RC	1.27
西野　公康	大阪堂島RC	1.27
中濱　巌	吹田西RC	1.27
※岡倉　三郎	大阪城南RC	1.27
川辺　清	大阪堂島RC	1.27
小林　保伸	大阪堂島RC	1.27
水山　章	大阪堂島RC	1.27
※村野　壽昭	大阪堂島RC	1.27
梨本　幸男	大阪堂島RC	1.27
津本　洋一	大阪堂島RC	1.27
※植出　明雄	大阪堂島RC	1.27
佐藤太一郎	大阪堂島RC	1.27
海原　旦	大阪堂島RC	1.27
吉川　博通	大阪堂島RC	1.27

提　重義	寝屋川RC	1.27
中尾　豊	寝屋川RC	1.27
青木　憲治	大阪阿倍野RC	1.29
樺島　正法	大阪阿倍野RC	1.29
小谷　一郎	大阪阿倍野RC	1.29
安井　完之	大阪阿倍野RC	1.29
飯田　誠一	大阪心斎橋RC	2.3
石井　洋介	大阪心斎橋RC	2.3
川端　義孝	守口RC	2.3
上西　宏侑	大阪城東RC	2.4
津乗　宏通	大阪心斎橋RC	2.10
※小川　明宏	箕面中央RC	2.18
※堀江　正巳	箕面中央RC	2.18
岩崎　泰一	大阪柏原RC	2.23
張　哲彦	大阪東RC	2.25
赤坂　登	大阪南西RC	2.25
佐々　進一	大阪南西RC	2.25
吉田　武雄	大阪南西RC	2.25
ベネファクター		(1992)
米田　誠宏	高槻RC	12.29
勝間　寿	茨木東RC	12.30
浦西　正雄	大阪東RC	12.30
		(1993)
古田　敬三	大阪RC	1.15
高宮　英一	大阪堂島RC	1.22
増田　鼎	八尾RC	1.26
北村　巖	大阪梅田RC	1.27
前川彦右衛門	大阪住吉RC	2.2
小竹　正男	豊中千里RC	2.4
細江　重	大阪東淀RC	2.19

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。　(1992)

住友金属工業㈱	大阪RC
㈱船場吉兆	大阪RC
㈱アイドマ	大阪大淀RC
※原田肇	摂津RC
松尾寛	大阪北淀RC
※徳田功(3回目)	枚方くずはRC
中村一郎	茨木RC
池田啓一郎	大阪東淀RC
渡邊邦雄	大阪城南RC
向山裕三郎	大阪城北RC
大川和美	大阪南RC
松村武	大阪住吉RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。　(1993)

藤原英夫	東大阪中RC
辻卓史	大阪RC
今市憲作	大阪RC
森井清二	大阪RC
瀧内氏重	大阪大手前RC
表康之	東大阪東RC
河原崎篤	茨木RC
西條泰隆	茨木RC
橋本秀雄	茨木RC
村岡正義	茨木RC
城戸宏敏	大阪城東RC
庄野昇	大阪阪和RC

1993年3月　出席報告

クラブ	期初の会員数	3月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	3月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	69	−1	99.69	5	11	大阪難波	87	93	+6	98.81	4	22
東大阪	84	82	−2	92.16	5	70	大阪なにわ	69	68	−1	94.12	4	63
東大阪東	67	72	+5	96.88	4	46	大阪南西	73	72	−1	98.00	5	29
東大阪中	60	60	0	98.33	5	25	大阪西	113	112	−1	97.97	5	31
東大阪西	62	60	−2	100.00	5	1	大阪大手前	66	65	−1	100.00	4	1
枚方	54	61	+7	98.25	5	27	大阪大淀	70	72	+2	98.20	4	28
枚方くずは	50	56	+6	96.69	5	48	大阪西北	79	77	−2	99.17	5	18
茨木	62	64	+2	99.95	5	21	大阪西南	116	118	+2	100.00	5	1
茨木東	58	58	0	99.14	4	19	大阪船場	57	56	−1	94.81	5	57
池田	58	60	+2	92.44	5	68	大阪心斎橋	81	85	+4	97.40	4	38
池田くれは	51	54	+3	94.61	5	59	大阪城北	63	59	−4	99.62	5	14
門真	31	30	−1	93.48	4	65	大阪住之江	48	50	+2	99.56	5	15
交野	49	48	−1	96.34	4	50	大阪住吉	84	83	−1	93.16	4	67
箕面	68	66	−2	95.89	4	54	大阪天満橋	105	105	0	95.68	4	56
箕面中央	58	56	−2	96.89	4	45	大阪天王寺	51	50	−1	90.00	4	72
守口	87	87	0	97.62	4	36	大阪東南	65	65	0	92.31	5	69
寝屋川	60	60	0	95.98	4	53	大阪鶴見	54	51	−3	94.35	5	60
大阪	311	317	+6	88.60	4	75	大阪梅田	67	69	+2	97.30	5	40
大阪阿倍野	61	66	+5	96.22	5	51	大阪梅田東	62	64	+2	96.85	4	47
大阪ちゃやまち	62	65	+3	100.00	5	1	大阪うつぼ	78	77	−1	97.99	4	30
大阪中央	69	68	−1	100.00	4	1	大阪淀川	97	95	−2	96.01	4	52
大阪堂島	62	61	−1	97.06	5	43	千里	79	80	+1	97.22	5	42
大阪阪南	80	82	+2	98.28	5	26	摂津	48	46	−2	94.19	4	62
大阪阪和	48	50	+2	93.50	4	64	四條畷	25	24	−1	77.08	4	76
大阪東	144	147	+3	97.87	4	34	吹田	76	77	+1	99.04	4	20
大阪東淀	73	72	−1	97.92	5	32	吹田江坂	50	50	0	100.00	5	1
大阪平野	62	55	−7	99.53	4	16	吹田西	66	66	0	100.00	5	1
大阪本町	62	71	+9	97.32	5	39	高槻	71	68	−3	99.67	5	13
大阪城	23	25	+2	95.83	5	55	高槻東	57	58	+1	100.00	4	1
大阪城南	81	80	−1	99.69	4	11	高槻西	42	41	−1	98.75	4	23
大阪城東	72	72	0	97.57	4	37	豊中	73	75	+2	97.88	5	33
大阪柏原	45	47	+2	97.87	5	34	豊中南	59	56	−3	99.46	4	17
大阪北	198	202	+4	91.27	5	71	豊中－空港	64	63	−1	94.24	4	61
大阪北梅田	64	74	+10	98.65	5	24	豊中千里	38	40	+2	96.50	5	49
大阪北淀	53	59	+6	97.23	4	41	八尾	78	79	+1	96.90	5	44
大阪御堂筋	0	43	+43	89.54	4	74	八尾中央	50	51	+1	100.00	4	1
大阪南	194	185	−9	93.40	5	66	八尾東	55	58	+3	94.64	4	58
大阪港	47	46	−1	90.00	4	72	クラブ数	期初会員数		月末会員数		増減	平均出席率
大阪中之島	0	47	+47	100.00	4	1	76	5,356		5,495		139	96.55

文　庫　通　信（67号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万６千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新年度に向けて

◎「新年度に対する準備体制の確立」　柏原孫左衛門　５頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリーサービスとクラブレベル向上に関する一試案」
A)〝ロータリーサーヴィス〟実行の数案　B)例会のプログラムについて
渥美育郎　1956年　４頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「年度の準備」　宮脇冨　1958年　６頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「新会員の推薦はまずこれを読んでから」　大阪R.C　1974年　20頁
【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「年次計画書作成の手びき」　D.263　1979年　45頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「100％出席のロータリークラブに聞いた出席促進策」　虎井義明
友：1987・10月号　４頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「わかりやすい定款・細則」　杉戸B.C　1988年　８頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリーの広報のあり方」　栗原正　1990年　15頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリー・クラブの会費等の会計処理について」　加藤準四郎
D.267月信:1990・11月　１頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「リーダーシップ養成のしおり」　戸田孝　D.2700月信:1992・５月　９頁
【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「K・J・法の紹介－会員意識の把握とその解決策－」　佐藤鉄弥
D.2510信:1992・6月　４頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】

訃　報

川上　隆三君（大阪心斎橋R.C.）
平成５年４月２日逝去（享年74歳）
大正７年10月３日生まれ
昭和57年２月１日入会
1989～'90年度 会長
ポール・ハリス・フェロー

青木豊二郎君（大阪大手前R.C.）
平成５年４月12日逝去（享年69歳）
大正12年12月27日生まれ
昭和58年３月18日入会
チャーターメンバー
米山功労者

山本　照雄君（大阪淀川R.C.）
平成５年４月14日逝去（享年67歳）
大正15年２月22日生まれ
昭和56年９月４日入会

辻井　録郎君（大阪阪南R.C.）
平成５年４月25日逝去（享年68歳）
大正14年１月１日生まれ
昭和45年５月26日入会
1982～'83年度　会長
1994～'95年度　地区ガバナー・ノミニー
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆月信４月号(No.10)に誤りがありましたので、訂正とともにお詫び申しあげます。
米山ファンドフェロー
高末偕 → 高木偕（吹田江坂RC）

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

Governor's Monthly Letter

6月

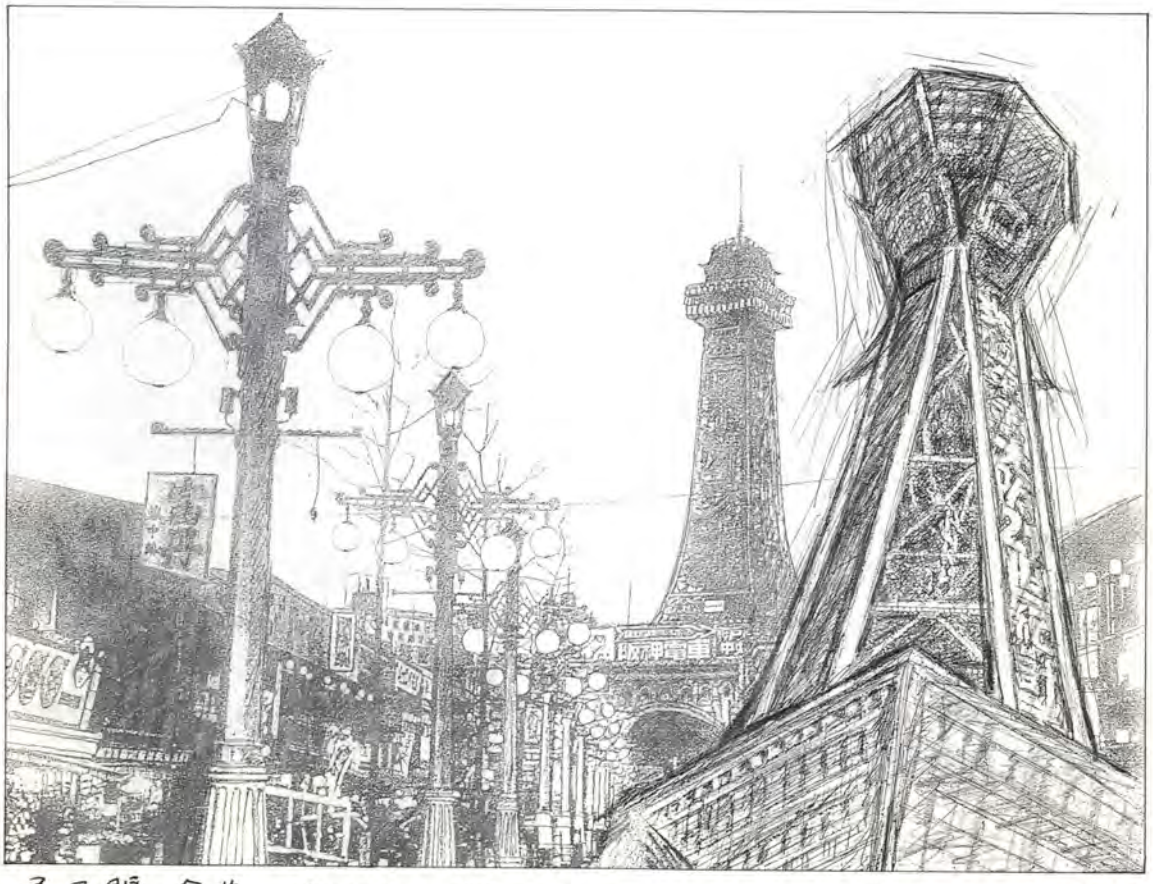
Jun.1 1993
NO.12
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和



（木村光佑）

ロータリアンの皆様
本当にお世話になりました

ガバナー
山　中　文　和

会長さん、幹事さんの任期も、いよいよもうしばらくで終らんとしています。

地区内の5,600人の会員の方々は云うに及ばず、地区外の、そして海外の、多くのロータリアンやそのご家族とのすばらしい出合いと心のふれあいを頂きました。

この一年間に皆様と共にした尽くせぬ思い出と、まことの幸福を味わわせて頂いたガバナー冥利をひそかに噛みしめつつ、ほぼ無事に勤め終えるであろうという喜びに浸っております。

ちょうど6年前胃の摘出手術を受けましたので、はたしてガバナーのような忙しいお役をつとめさせて頂けるかどうか、健康上で大変不安をもっておりました。ところが毎日が時間と追いかけっこのような慌ただしさのなかで、不思議にもかえって益々健康になり、今や元気一杯で頑張らせて頂いております。

仏様のご加護は云うまでもありませんが、全く皆様から頂いた温かいご厚情のお蔭と改めて深く感謝申し上げております。

多くの頂いたものを心の糧として、これからの残りの命を少しでも世間様のお役にたたせて頂き、そして又、今後は「メダタヌヨウニ、デシャバラズ」？　せい一杯ロータリアンの方々のお手伝いをさせて頂かねばならないと、思いを新たにしているところです。

この2年間に何かとご配慮を頂いた先輩のパストガバナーの皆様、そして私と共に頑張って頂いた、否もっとご苦労をして頂いた、地区関係並びにホームクラブの諸兄と、そしてガバナー事務所の皆様に心からお礼を申し上げ、地区内全ロータリアンが、来るべき年度には大森ガバナーと共に奉仕活動に尚一層のご精進を賜らんことを心より念じあげ、感謝のご挨拶とさせて頂きます。

RI第2660地区1994～95年度ガバナー・ノミニーの推薦

地区ガバナー指名委員会は、ガバナー月信第２号（1992年８月号）において、国際ロータリー細則第12条第７節(e)項及び本年度地区大会における改正前の地区ガバナー指名委員会規約第６の規定に基づき、1994～95年度地区ガバナー・ノミニーの推薦をお願いしましたが、期日までにそのお申出がありませんでした。

そこで、委員会は、一旦上記規約の規定に基づき大阪阪南ロータリー・クラブ会員の辻井録郎君をガバナー・ノミニーとして推薦いたしましたが、ご高承のとおり、同君は1993年４月25日急逝されましたため、改正後の同委員会規約に基づき、1993年６月14日開催の委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、大阪阪南ロータリー・クラブ会員中野董夫君を、同年度のガバナー・ノミニーとして推薦いたしました。

1993年６月15日　　地区ガバナー指名委員会

RI第2660地区1994～95年度ガバナー・ノミニーの宣言

国際ロータリー細則第12条第７節(e)項の規定に基づき、大阪阪南ロータリー・クラブ会員中野董夫君を、1994～95年国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニーとして宣言します。

1993年６月15日　　国際ロータリー第2660地区ガバナー　山中　文和

中野董夫君の略歴

生年月日	大正15年６月18日	
最終学歴	昭和23年３月	大阪大学理学部物理学科卒業
職歴	昭和25年３月	大阪市立大学教員、理学部勤務助手、講師、助教授
	昭和37年４月	大阪市立大学理学部教授
	昭和58年４月～同61年３月 昭和63年４月～平成２年３月	同大学理学部長
	平成２年３月	大阪市立大学定年退職、同大学名誉教授
	平成２年５月	大阪市立科学館長、現在に至る。
	昭和34年11月	京都大学より理学博士の学位を授与さる。
ロータリー歴	昭和45年９月	大阪阪南ロータリー・クラブ入会
	昭和57～58年度	幹事
	昭和60～61年度	副会長、クラブ奉仕委員長
	昭和63～64年度	会長
職業分類	シニア・アクチブ（理化学教育）	

1992～1993年度 R.I.第2660地区大会

大会委員長 **酒 井 芳 申**（大阪南）

1992～1993年度第2660地区大会は去る４月22日（木）茨木カントリークラブでの記念大会から始まった。

当日は相憎、朝来の細雨が、次第に春雨とはいえぬ程の強い降りと変わっていったが、その雨をも物ともせず参加全員169名の多数が、ビショぬれとなりながらも、その技を競い、愉快に一時を過ごした。

優勝杯は池田RCクラブの松本弘氏であった。

翌４月23日（金）は幸いにも快晴に恵まれ、ロイヤルホテルで午後１時。山中ガバナーの点鐘で第一日が始まった。

R.I.会長代理南宮炕ご夫妻を始めご来賓、ご招待者に加えて会員家族約350名の参加の下にプログラムは進められた。

当日のメインイベントは毎日放送の小池清氏をコーディネーターに、大阪市助役佐々木伸氏、淡水生物研究所所長森下郁子氏、国際日本文化研究センター助教授井上章一氏の三氏がパネラーで〝水都大阪の再生、近畿は美しく〟とのテーマでビデオの映像を交え、わかり易く、90分に亘たり討議が行われ、参加者からは、むずかしい問題を平易に聞かせて頂いて、参考になりましたとの反響があった。

その後恒例の会長幹事の懇談会を始め各部門別懇談会が催され、特に本年度は青少年奉仕部門も加え五部門、夫々パストガバナーのリーダーの下で、熱心な研究が進められ、南宮炕会長代理も各部門を廻りご挨拶と激励のお言葉を頂いた。

一方この間会長代理夫人姜信喜さんを始めご夫人方にはバスで東洋陶磁美術館の見学をして頂いたが、ご夫人方からもっとゆっくり見たかったのが、時間が短く残念であった、といわれる程充実した観賞会であった。

夜６時からは南宮会長代理ご夫妻の、歓迎晩餐会が伊藤元RI理事の乾杯のご発声で、各地から奔せ参じて大会を盛り上げて頂いた、ガバナー、パストガバナーご夫妻を始め多数のご来賓、ご招待を加え会員、夫人合計330名、特に本年は昨年に信ずるご婦人約80名のご参加があり華やかな、楽しい語らいの内に食事が進められた。

デザートに入って大阪南クラブの会員でバリトンの名手横田浩和氏と、関西二期会の岡坊久美子さんのソプラノで、アリランの歌、宵待草の二曲につづいて、世界の愛唱歌が歌われ、会場の雰囲気は頂点に達した午後8時10分、明日の再会を楽しみつつ閉会となった。

大会第二日目も天候に恵まれ、会員の出足も早く、午前10時30分交歓の広場がオープンされ、また地下ジオでは大阪の伝統産業工芸紹介コーナーにも多くの会員が集まり、大阪でもこんな物が造られているのかと印象を改める点でも意義があったようだ。

恒例の公式行事は午後12時30分、ガバナーの点鐘から始まり、中川和雄大阪府知事、佐々木伸大阪市助役から夫々ご丁重なご祝辞を頂き参加クラブ紹介、ついで物故会員に対し心からなる黙禱が捧げられ、山中ガバナー挨拶並びに地区現況報告、R.I.会長代理のご挨拶及び国際ロータリーの現況報告が映像を交えながら行われ、小憩の後各種功労団体又個人に対する表彰式に移り、更に各種委員会報告、大会決議案上程並びに採択と会議は進行、茲で南宮会長代理よりご講評があり、更に山中ガバナーから会長代理に記念品贈呈、続いて直前ガバナー菅生浩三氏にも記念品が贈呈された。

一連の議事は、今宮戎神社福娘嬢20名の特別参加ご協力によってなごやかに美しく進行、午後3時からは一般招待客の入場をお迎えして、待望の記念講演が始まった。

宇野　収関経連会長から〝関西の活性化の展望〟について、随分とご苦労をされご活躍のご様子が、ヒシヒシと身にしみて分かる様な有益なお話しであり、今後も更にご自愛の上愛する関西の活性化に、ご健斗をお願いしたいとの祈りを込めての大拍手が湧き起こっ

た。

引続き阿川泰子さんの独演ショーが、バンドの演奏と共に次第に熱を加え、最高潮に達した時ドン帳が下り、大拍手はしばらく絶えなかった。

昨年に引続きロータリー財団75周年記念募集の結果発表の後、岡田ホストクラブ会長の閉会の挨拶があり、明年は茨木で又会いましょうと再会を約しつつ、横田ソングリーダーの指導で〝手に手つないで〟の大会場をもって二日間の大会の幕をとじた。

更に本年の特色として午後5時30分から地下一階ジオで、青年のつどいが催されたことである。

青少年交換学生、米山奨学生、ロータリアクト、インターアクト、ライラ、GSE、ロータリー財団学友会ら68名になんなんとする青少年が、山中ガバナー、大森ガバナーノミニーを中心に、若さ溢れる活気の中でのパーティーが午後8時迄行われ、次代のロータリーの発展と、世界平和のために頑張ろうと、万歳三唱して、地区大会の一切の行事は芽出度く終結した。

最後に大会の成功のため、日夜長期に亘たりご協力を賜ったロータリアンの方々を始め、ご関係下さった多くの方々のご支援ご努力に心から感謝申し上げる次第であります。

有難うございました。

「身障児等とロータリアンとの仲よし運動会」

地区社会奉仕委員長　**新　津　敬　直**

春爛漫の4月11日（花冷えではありましたが）大阪市立中央体育館で山中ガバナー、廣瀬社会奉仕担当パストガバナー、武尾パストガバナー、御臨席のもと開催されました。

定刻前から参加者が、三々伍々集合し、ファンファーレと共に開会されました。

さくらんぼファミリーのぬいぐるみショーや3B体操のお姉さん方の演技を楽しみ、ハンディキャップをもった子供さん方に（小学3・4年を中心にした小学生）適した競技に次々と参加し、休憩となり、JRウェストラン心盡しのサンドイッチを頬張り、金光八尾高校の全国に名を馳せる吹奏楽団の見事なドリル演奏に歓声を挙げました。

つづいてくまさんチームとさるさんチームとに別れ、競技を続行し、最後に全員がフロアーに出て、むかでジャンケンに参加し、大変盛り上がりました。

今回は初めての企画にかかわらず

招待児	204名
付添	52名
ロータリアン	195名
ローターアクト	63名
インターアクト	30名
交換学生	7名
米山奨学生	14名　他

金光八尾高校吹奏楽部	
3B体操チーム（女性）	
大阪キッズ	等
スタッフ	119名
合　計	684名

の大多数で何の事故もなく、スムーズに楽しいひとときでした。

これも実行委員を始め、参加の皆様方の御協力の御陰と感謝致しております。

特にRAC、IAC、米山奨学生、交換学生らの若い人達の御協力がなければ、この大運動会は成功出来なかったでしょう。

これからも、是非若い人達と共に社会奉仕活動を実践したいと念願しています。

前略

先日は、「身障児等とロータリアンとのなかよし運動会」にお招き頂き誠に有り難うございました。

運動会と聞き、参加いたします子ども達は、早くから胸踊らせておりました。当日は、少し余裕をもって出掛け、大阪城公園で満開の桜の下、昼食をとり、春の陽光を感じながらの体育館到着となりました。

「えっ、こんな大きな体育館で運動会ができるの！」なにしろ体育館での運動会は、始めてなのですから、正直な感想だと思います。

レーザーショー、さくらんぼファミリーによる歌とぬいぐるみのショー3B体操演技、吹奏楽部のドリル演奏と、どれをとりましても子ども達は、楽しさ一杯に目を輝かせながら見ていました。運動会のプログラムが始まりますと、力一杯自分達の力を発揮し、勝ち負けに一喜一憂しながら、楽しさを身体全体にあらわしていました。結果的に、自分達のチームが負けたことが少し残念だったようですが、楽しかった運動会に子ども達は、充分満足していました。

参加賞として頂きました色鉛筆と人形風船を手に、今日の楽しかった思い出を、互いに話しながらの帰路となりました。帰園いたしましても今日の運動会の事ばかりが、尽きる事のない話題でした。

同封いたしました作文は、子ども達一人一人の正直な当日の感想でございます。ロータリークラブの皆様方は元より、大会役員、スタッフの皆様方にも、子ども達の思いをお伝え頂きましたら幸いでございます。

平成5年4月14日

養護施設 生駒学園
児童指導員　竹田　功

'93海のライラレポート

「やさしい地球で豊かな生活」

地区青少年活動委員会
委員長　西　正中

枚方ーくずはロータリークラブ　片山通夫

環境問題が年々大きく取り上げられて行く中で「私たちが身近にできることから考え直してみよう。」

折しも会場の大阪府立青少年海洋センターの５㎞沖合に関西新空港が建設中です。テーマ特別講師に３月まで関西新空港にお勤めだった先名征司氏をお迎えしての今年度の海のライラが去る５月２日から２泊３日の予定で開催されました。集まった参加者は青少年163名、ロータリアン191名参加総数354名にのぼり、開講式のあと先名氏の講演からプログラムが始まりました。今年度は初日に雨にたたられての開催となってしまいましたが、幸い初日のプログラムが先名氏の講演だったので反って気持ちが外を向かずにテーマについてじっくりと考えられたと参加者の何人かが話していました。「明らかに地球は汚染が始まっている。」ということを参加者全員が改めて感じた講演だったと思います。その後関西新空港の工事の様子や工事による海洋汚染の問題にどう取り組んでいるかをVTRを通じて知ることができました。そして、この問題が最終日の宿題となって初日が終わり、２日目が始まりました。恒例のカッター競技とともに、今年度は「凧作り」を通じて共同制作や自然と遊ぶ楽しさを経験してもらおうとプログラムに取り入れました。昨日の雨は幸いにしてあがり午前中の海はまだ多少のうねりが残っていましたが、天候に左右されるほどのこともなく、予定が次々とこなされて行きました。中でも圧巻は600メートルも糸を延ばしての連凧あげでした。最初は風もあまりなく心配された凧あげでしたが徐々に風も吹き初めて夕方にはバーキュー大会が始まろうという時刻になってもあまりの糸の強さに降ろすことさえ難しい位だったことが印象的でした。

２日目の夜はパフォーマンスです。それぞれ趣向を凝らした班ごとのパフォーマンスに笑ったり考えさせられたりの２時間あまりでした。ただあまり上品でないネタも見受けられたことがちょっと気掛かりといえば気掛かりでした。そして何事もなく２日目が過ぎて行き３日目。

このセミナーのテーマ「環境問題」をみんなで考えて班ごとにまとめて発表しようという時間がきました。

それぞれの感性が発表に生かされて「世界の環境問題」から「我々の環境問題」まで網羅されて見応え、聞き応えのある研究発表であったと感じられた事と共に、果たしてこのセミナーの経験を「参加者全員がいつまで、どこまで」生かしてくれるかが私たちの今後の課題と言えるかも知れません。

最後に海洋センターの松林所長はじめ職員のみなさんにお礼を申し上げます。有難うございました。　以上

1993学年度

米山奨学生オリエンテーション

地区米山奨学委員長　**増　本　　猛**（茨木東）

新緑たけなわの５月12日（水）13:00から1993学年度の米山奨学生30名を迎えて、初顔合せを兼ねオリエンテーションの会合が恒例の薬業年金会館にて実施された。

参加者は大森ガバナー・ノミニーを始め、武尾地区米山担当PG、(財)ロータリー米山記念奨学会常務理事の種田PG、伊瀬PG、永野米山委員会アドバイザー等地区関係者14名、各世話クラブのカウンセラー42名、新規奨学生を主体に奨学生が35名となり誠に盛会であった。

大森GNから開会のおことばを頂いたのち、先ず最初に、これからお互いに確かりと肩を組み合ってゆくべき奨学生とカウンセラーの会員とが隣り合った席で十分に話し合い交流を深め、次いで奨学生にとっては重要な確約書３通にサインをいただいて緊張の中にも、これで実質的に奨学生になった安堵感を味わったような喜びの表情がうかがえた。先ずはおめでとうございました。

引続き武尾PGから米山奨学会の歴史について、詳細にお話があり、在日外国人奨学生に対する日本での最大の奨学団体の全貌を了解出来たことと思う。

次に奨学会の当地区担当の常務理事である種田PGから約50分間、ロータリーとは!!、他人へのおもいやり、他人への奉仕の心etc、短い言葉では仲々説明しきれない内容を具体的にお話し頂き、他に各種の米山奨学生の分類や先刻作製作業の終った奨学生の確約書の重要さやその内容について再度お話を頂き、確約書の内容を無視して、奨学金の支給停止の事故のないように、十分なご注意があった。奨学生にとってこれは難しい事ではなく事前に十分な連絡をとって行動すれば事故は防げることであるし、奨学会側も相談があれば積極的に対応することであるので面倒がらずに相談してほしいとお話しされた。

尚、奨学生にはロータリーを十分に承知して貰いたいので、毎月発行の〝ロータリーの友〟と英語版の〝ROTARY NO TOMO〟（年２回）及び〝米山だより〟をこれ又年２回、各自、自宅宛に無料で郵送するので、よく読んでほしいし、将来各国でのロータリアンの大いにご活躍をして貰いたいとのことであった。

又クラブ・カウンセラーの会員各位に対しても特に各自クラブの会員全員に奨学生を十分紹介して交流を深めて貰いたいし、米山月間の行事には奨学生本人に卓話のチャンスを与えて、こんなに有意義なロータリーの活動をご認識いただいて、寄付金へのご理解をより深めて貰えるよう要請された。

終って、質疑応答の時間を、これ又50分とり７～８人の方々から活発なQ&Aがあり、より一層の相互理解の助けになったことと信ずる。

16:00頃からは米山奨学生のOB会である、米山学友会について、再度種田PGから、説明があり、当地区の奨学生は終了後は第2640、2650、2660、2680地区のエリアをカバーする米山学友会（関西）に入ってほしいとの要望があった。

最後に武尾米山担当PGの閉会のことばを頂いて終了しました。

一旦休憩してから引続き懇親会に移り、３階の大ホールで、緊張から解放されて、カウンセラーの方や地区関係者を交え、丸テーブ

ルに８～９人宛分かれて、懇親の実をあげ、この間各クラブ毎に奨学生とカウンセンラーが夫々立上って自己紹介があり、予定の18:30、永野アドバイザーの閉会のことばを最後に解散した。各世話クラブの方々は夫々奨学生と十分なお話しの上、これからの毎月の例会での交流、奨学金の支給等よろしくお願い申し上げます。　以上

（文責　渋谷）

海遊館高齢者招待行事報告

地区社会奉仕委員長　**新　津　敬　直**

平成５年４月９日

山中ガバナー、廣瀬社会奉仕担当パストガバナー臨席のもと、行事を行ないました。

招待高齢者70才以上215名、付添72名ロータリアン112名で各組の旗のもとに、AM10:00に集合し、折柄の好天にイベント広場で短かいセレモニーを済まし、組ごとに写真を撮り、ロータリアンの誘導で、海遊館に入り、環太平洋海域の魚類の生態を楽しく見学しました。昼前には、組ごとにJRウエストランの心盡しのお弁当を各自に差し上げ、食事をして、楽しく帰路に就かれました。

ガバナー、パストガバナー、実行委員、地区委員一同は、４階のカーペットを敷いた大部屋に車座に座り、昼食をし、色々と話しました。

ロータリーでは珍しい昼食風景で花はないけれども、花見に行った様な気分でした。

お　知　ら　せ

◆本年度２番目の新ローターアクトクラブ創立おめでとう

１月創立の大阪梅田RACに続いて、地区21番目のクラブが誕生しました。

創立総会　４月21日（水）

クラブ名　大阪空港ローターアクトクラブ

提唱ＲＣ　豊中―大阪国際空港ロータリークラブ

例会日時　第２、第４木曜日　19:00～20:30

例会場　大阪空港前　ホテルAP会議室

事務局　豊中市蛍池西町3-555
大阪国際空港ターミナルビル内
豊中―大阪国際空港RC気付

創立会員　27名　会長　橋田一朗
幹事　道満隆二

認証状伝達式　６月５日（土）18:00より
大阪国際空港
ホテルアイボリー

クラブ会員 エレクト研修セミナー

と　き：1993年４月16日（金）
ところ：辯天宗信者会館

例年になく寒い日が続いたせいか、大森慈祥次期ガバナーの国際協議会からの帰国を待ちわびるかのように桜の花が咲き乱れた中、山中ガバナー主宰の下、清野次期地区代表幹事の司会進行により、地区内全76R.C.の会長エレクトが参加して研修セミナーが開催された。

大森次期ガバナーより、次年度のR.I.のテーマ〝行動に信念を―信念は行動に〟の解説、次年度の方針説明があり、種田パストガバナー（R.I.会長情報カウンセラー）より「PETSの目的と実行について」また津江地区リーダー会議長より「アンケートについて」それぞれの講話を受けて、約４時間のセミナーを盛会裡に閉会した。

次期地区委員長会議

と　き：1993年４月16日（金）
ところ：辯天宗信者会館

山中ガバナー、大森次期ガバナー、故辻井ガバナーノミニー、菅生直前ガバナー、伊瀬、種田、世戸、中西、坂東、松本、古田、武尾、廣瀬パストガバナー、次期地区委員長、地区大会財務、幹事の計50名出席の下、大森次期ガバナーより、次年度R.I.のテーマ、次年度の方針について報告並びに説明があり、中村次期財務委員長より地区予算の報告、鈴木次期地区幹事より委員会開催についてのお願い等スムーズに議事進行され、次年度の活動について思いを新たに散会した。

故辻井ガバナーノミニーが最後に出席された会議及びセミナーではなかったかと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。　(1992)

武田　直和	大阪中央RC	12.28
※藤井　宏一	大阪西北RC	3．2
大森喜美子	大阪住吉RC	3．2
※吉田　尚司	大阪難波RC	3．4
平田　至宏	交野RC	3．4
宮本　貞雄	東大阪西RC	3．5
※横田喜久雄	大阪東淀RC	3.10
赤堀　精一	大阪東淀RC	3.10
高津　秀剛	豊中千里RC	3.12
中西　洋介	大阪西RC	3.17
木村　正一	東大阪中RC	3.29
松崎　高	東大阪中RC	3.29
松岡　勉	大阪難波RC	3.29
徳田　功	大阪難波RC	3.31

(1993)

ベネファクター

梶　健一	大阪鶴見RC	3.24
高木　宏	東大阪西RC	3.25
下辻　荘幸	東大阪西RC	3.25
土橋　博一	東大阪西RC	3.25

※印＝マルチ・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。　(1992)

泉岡久夫　大阪城北RC

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。　(1992)

立岡寛次	東大阪RC
若松　潔	大阪城東RC
崎山耕作	大阪住吉RC

1993年4月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	4月末会員数	増減	出席率	例会	順位	クラブ	期初の会員数	4月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	69	−1	98.40	4	30	大阪難波	87	91	+4	97.08	4	46
東大阪	84	83	−1	94.28	4	66	大阪なにわ	69	68	−1	95.59	4	59
東大阪東	67	72	+5	95.63	4	56	大阪南西	73	72	−1	97.46	4	38
東大阪中	60	60	0	97.92	4	35	大阪西	113	112	−1	98.58	4	26
東大阪西	62	60	−2	100.00	4	1	大阪大手前	66	65	−1	100.00	4	1
枚方	54	60	+6	96.86	4	49	大阪大淀	70	71	+1	97.48	4	37
枚方くずは	50	55	+5	99.06	4	20	大阪西北	79	77	−2	98.97	4	23
茨木	62	64	+2	99.53	4	17	大阪西南	116	119	+3	100.00	4	1
茨木東	58	58	0	95.61	4	57	大阪船場	57	55	−2	95.30	4	60
池田	58	60	+2	93.98	4	67	大阪心斎橋	81	84	+3	98.02	4	33
池田くれは	51	54	+3	93.71	4	70	大阪城北	63	60	−3	98.98	4	22
門真	31	31	0	94.79	4	62	大阪住之江	48	51	+3	93.23	4	71
交野	49	48	−1	95.00	4	61	大阪住吉	84	83	−1	96.23	4	52
箕面	68	65	−3	99.58	4	14	大阪天満橋	105	104	−1	96.23	4	52
箕面中央	58	56	−2	97.09	5	44	大阪天王寺	51	50	−1	96.00	4	55
守口	87	87	0	97.32	4	41	大阪東南	65	65	0	93.85	4	68
寝屋川	60	61	+1	96.93	4	47	大阪鶴見	54	51	−3	94.45	4	64
大阪	311	316	+5	88.40	4	76	大阪梅田	67	69	+2	96.93	4	47
大阪阿倍野	61	68	+7	98.46	4	28	大阪梅田東	62	64	+2	97.27	4	42
大阪ちゃやまち	62	66	+4	99.20	4	19	大阪うつぼ	78	76	−2	96.34	4	51
大阪中央	69	67	−2	100.00	4	1	大阪淀川	97	94	−3	95.60	5	58
大阪堂島	62	61	+1	99.57	4	15	千里	79	80	+1	99.65	4	13
大阪阪南	80	79	−1	98.41	4	29	摂津	48	47	−1	97.20	4	43
大阪阪和	48	51	+3	96.03	4	54	四条畷	25	24	−1	91.66	4	73
大阪東	144	147	+3	97.09	4	44	吹田	76	77	+1	100.00	4	1
大阪東淀	73	72	−1	98.49	4	27	吹田江坂	50	50	0	100.00	4	1
大阪平野	62	57	−5	100.00	4	1	吹田西	66	64	−2	100.00	4	1
大阪本町	62	70	+8	98.92	4	24	高槻	71	68	−3	98.28	4	31
大阪城	23	25	+2	100.00	4	1	高槻東	57	58	+1	99.54	4	16
大阪城南	81	80	−1	99.69	4	12	高槻西	42	41	−1	98.78	4	25
大阪城東	72	73	+1	96.65	4	50	豊中	73	76	+3	97.40	4	40
大阪柏原	45	48	+3	97.87	4	36	豊中南	59	57	−2	100.00	4	1
大阪北	198	201	+3	91.72	4	72	豊中—大阪国際空港	64	64	0	94.36	4	65
大阪北梅田	64	75	+11	98.99	4	21	豊中千里	38	42	+4	98.21	4	32
大阪北淀	53	59	+6	97.41	4	39	八尾	78	79	+1	99.22	4	18
大阪御堂筋	0	43	+43	91.28	4	74	八尾中央	50	51	+1	97.96	4	34
大阪南	194	185	−9	93.74	4	69	八尾東	55	57	+2	94.55	4	63
大阪港	47	44	−3	90.22	4	75	クラブ数	期初会員数		月末会員数	増減		平均出席率
大阪中之島	0	51	+51	100.00	4	1	76	5,356		5,497	141		97.08

文　庫　通　信（68号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万６千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

文献の翻訳について

◎「ロータリー文献の活用」　宮脇富　1959年　８頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリー資料の効果的利用」　柏原孫左衛門　―― ４頁【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリー資料の効果的利用」　宮脇富　1960年　５頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリーのカタカナ」　斎木亀治郎　1969年　18頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「文献の活用－①ロータリー文献の意義②内容・翻訳等についての要望：11名のアンケート」
友：1970・５月号　６頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリーで用いる日本語の問題について」　塚本義隆　大阪R.C.　1973年　24頁
【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「今のままでよいかロータリーの日本語」　塚本義隆　大阪R.C.　1974年　25頁
【申込先　ロータリー文庫（コピー）】
◎「ロータリー用語の改善について」　塚本義隆　1977年　11頁［申込先　ロータリー文庫（コピー）］
◎「翻訳という芸術―国際コミュニケーションに不可欠な翻訳と通訳」
ホアキン・メヒア　友：1922年・10月号　４頁　【申込先　ロータリー文庫（コピー）】

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

訃　報

大石　三郎君（大阪うつぼR.C.）
平成４年４月28日逝去（享年72歳）
大正11年２月１日生まれ
昭和56年４月17日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

大川　和美君（大阪南R.C.）
平成５年４月30日逝去（享年73歳）
大正８年８月29日生まれ
昭和55年10月入会
ポールハリスフェロー
米山ファンドフェロー

藤田　則夫君（高槻西R.C.）
平成５年５月８日逝去（享年62歳）
昭和５年５月28日生まれ
平成１年６月27日入会
1991～'92年度 会長

山本　昌次君（大東R.C.）
平成５年５月27日逝去（享年63歳）
昭和４年10月30日生まれ
昭和52年８月23日入会
ポールハリスフェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訂正とお詫び

◆月信４月号(No.10) ９頁　右側上段　見出し
第２回　提唱R.C. ロータリーアクト は誤りで ローターアクトに訂正致します。
◆月信５月号(No.11)10頁　ポール・ハリスフェロー
※前川彦右衛門 大阪住吉RC は誤りで マルチフェローに訂正致します。

◆ロータリレート変更
６月１日から１ドル＝110円

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511

〈COPY〉

Governor's Monthly Letter

6月

Jun.30 1993
NO.13
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

まことの幸福は人助けから

1992－'93年度 国際ロータリー会長 クリフォード・L・ダクターマン　国際ロータリー理事 松 本 卓 臣

クラブ会長並びに幹事殿

ガバナー 山中文和

直前会長、幹事さん、昨年度一年間は、大変ご苦労さまでございました。いろいろなすばらしい実績と思い出を残されたことと思います。

7月1日に東京で行われたガバナー会での報告やRI理事会の決議事項を中心に国際ロータリーに関する最新の諸情報の一部をご報告申し上げ、最後の月信にしたいと思います。

RI役員

・国際ロータリー

会長	ローバートR. バース	スイス・アーラウRC
副会長	ウィルフレッドJ. ウィルキンソン	カナダ　オンタリオ州トレントンRC
財務長	松本　卓臣	福山RC

今年度日本から選出されている松本RI理事が、上記のごとくRIの3役の一人として財務長に就任されました。松本新財務長は、今年度もRI関係諸費用の一層の引き締めを行い、緊縮財政でいくとおっしゃっております。

次期RI理事として、服部禮次郎（東京銀座RC）さんが決定致しました。

第2640地区の中島治一郎（泉大津RC）さんが、全世界で13名のロータリー財団管理委員の一人としてご就任（管理委員会委員長アビー元会長、副委員長アーチャー元会長）し、ご活躍中である。

当地区としては、RI会長情報カウンセラーに種田PDGが就任され地区ガバナーや、クラブの要請に応じてロータリーインフォメーションを向上させるため支援と補佐を提供してご活躍中である。

昨年度16項目あったタスクフォースを今年度は10項目のプログラムで実施されることになり古田PDGは、薬物乱用防止部門のアジア第１ゾーン（東日本）担当タスクフォース実行委員に就任された。今年度国際ロータリーの組織を、また他の組織をも通じて麻薬覚醒剤等の乱用だけではなく、たばこ・アルコールを含んでの乱用防止プログラムの実施を推進せられることになった。

会　合

・国際大会

1993－1994年	1994年６月12日～15日	台北
1994－1995年	1995年６月11日～14日	ニース
(1995－1996年	1996年６月23日～26日	カルガリー)
1996－1997年	1996年10月25日～28日	バンコック

・メルボルン国際大会

５月23日～26日まで行われた国際大会では、日本から国際大会委員に上野豊PDG（横浜RC）と玉村文夫PDG（東京RC）の２人が出るという異例のことで、日本からの参加をいかに重視したかと思われる。大会は人数的にも内容的にも大成功であったが、ホストクラブの親身な行き届いたお世話とご配慮に、また市内全住民を上げての歓迎に大変な感銘を受けた。

この度は、当第2660地区から250名以上（全日本から約3,200名参加）の多数の参加があったので開会式前夜（６月22日）メルボルン市内サントリーで「2660地区の夕べ」を開催したところ、種田PDGご夫妻、古田PDGご夫妻、大森ノミニーご夫妻初め68名のご参加を得て楽しい一夜を持った。

その節、大阪本町RCが、メルボルンのポート・フィリップRCと友好関係を締結し、そのポート・フィリップRCのメンバーだけでなく、大阪市と姉妹都市関係にあるメルボルン市のロードメイアクラーク（メルボルン市長）を初め市職員も多数御臨席下され、大いに両市民の理解とおたがいの真の友情を深めた意義ある会合となった。

・国際研究会

この大会では現、元RI役員（現、元ガバナー）のための国際研究会（International Institute）が大会前２日間行われ、急速変貌しつつあるロータリーの諸問題の勉強を行ったが日本からの参加が少ないので、次回からは是非多数参加していただきたいとの要望があった。

・1995年規定審議会

1995年　１月23日～27日　ベネズエラ・カラカスの予定。したがって、各クラブ、各ロータリアンより規定審議会へ提出希望の提案は、ガバナー事務所へ提出し、来る1994年４月８日、９日の当地区年次大会（茨木）の決議を経て、1994年５月１日までに国際ロータリー事務総長（スペンサー・ロビンソン）のもとに提出しなければならない。

拡大・増強

・地区分割

第2540地区を秋田県の第2540地区と青森県の第2830地区に分割することがRI理事会で承認された。

（RIの地区分割の条件は１地区40クラブ　1,200名以上）

この分割ができると全国で34地区になる。

・ニューカントリーの拡大

1989年以来東欧に109のロータリークラブができたが、人頭分担金不払問題や民主主義、リーダーシップの考え方の違いも多くその他いろいろな点で多くの問題がある。

中国のロータリークラブ復帰の点でも中国政府の姿勢から見てまだまだ難しいといえよう。

・女性会員のみのロータリクラブ

これは定款細則上では、問題がないので認めないわけには行かないが、いろいろな問題がありRI理事会は「BEST　INTERESTではない」という表現をしている。

プログラム

・エイズ

今年度は、エイズの問題が重要課題となっており、本年12月開催のロータリー研究会でも十二分に意見が交換される予定である。

・ポリオ絶滅の問題

ポリオ・プラスの活動は我々全世界のロータリアンの偉大な熱意と実践によってそれが「起爆剤」となって大きな世論を巻き起こし、国連や各国の保健機構が力強く活躍し、80％の抑制ができたことはすばらしいことであります。私も絶滅を熱望しているものの一人です。

がしかし、地区としてはもうここまですばらしい活動が定着すれば立派に本来の役目を果たしたのであり次の社会的ニーズに移るべきであり、もしポリオの問題のみを深追いすれば「エイズ」や「環境破壊」等多くの問題はどうなるのでしょうか。この意味でフィラデルフィア大会で「RIのポリオ・プラスキャンペーンの終了宣言」を出したのはRIが正しい方向を示したといえるでしょう。

がしかし、各クラブ、各ロータリアンが世界社会奉仕の活動の一つとしてポリオの絶滅に大変な協力をしておられる方々もたくさんおられます。

第2640地区の平岡正己PDGは、WHOのポリオ根絶者専門会議（TAG）へ国際ロータリーのアジア地区コーディネーターとして（ポリオプラス・タスクフォース）参加されている。ベトナムでの絶滅に対してはすばらしい成果を上げておられるが、中国のポリオ絶滅にはまだまだ多くの問題があり、全日本のロータリアンにげきを飛ばされ、多くの方々の賛同を得て昨年度中に一億円に及ぶ募金の協力を得て、中国産ワクチンの3,750万ドースの購入に協力された。この日本のロータリアンの行動が、外務省を動かし３年間で６億円が予算化され、WHOでも大きな評価をしている。ちなみに、中国30省の内、この３か月の内に16省でポリオ患者が発生していないことが報告され、ポリオ絶滅のため全世界が動いている起爆剤としてロータリーは、なお現在大きな役割を果している。このプログラムにご協力頂く方々は、第2640地区の平岡PDGまでお問い合わせ下さい。

ロータリー財団

・教育的プログラムと人道的プログラムの比率

管理委員会の内一つのアドホック委員会（中島委員を含む５名）は、財団の奨学制度はこのままでいいかどうか目下見直し中、同時に教育的プログラムと人道的プログラムへの支出割合は本年が75％と25％、来年度は70％と30％となる予定であるが、発展途上国からは50％、50％との強い要望があり（日本、アメリカ等は、教育的プログラム重視）多角的見地より検討し、来年４月に結論をだしRI財団委員会にアドバイスすることになる。

・シェアーシステム

新しいシェアーシステムが今年度から実施され、３年前の当地区一般寄付額の60％（約US＄40万）を何に投入するかを当地区で決定することになる。地区ガバナー、ガバナー・ノミニー、地区財団委員長は地区内ロータリアンと協議してプログラム選択用カタログ「シェアーシステム」によりどのプログラムに資金を投入するかを決めて財団管理委員会に報告する。残りの40％は「国際地区財団活動資金」となり各地区が申請できる研究グループ交換補助金、3H補助金、同額補助金、ロータリーボランティア補助金などに使われる。

・ロータリー財団の免税国内検討委員会

免税国内検討委員会として

委員長　吉田盛次PDG、副委員長　斎藤　隆PDG（日立RC）をはじめ13人の委員と７人の顧問をもって構成されており引き続き活躍中である。

カナダ、イギリス、ドイツ、インド、オーストラリアにはすでにRI財団の下部財団が各国内にできており免税の措置が講じられている。フランスは、２年前よりRI財団と交渉中であるが最終案がまだ財団のガイドラインから少しはずれるということで今回は申請が却下された。

上記委員会として我国でもいろいろと検討中で、

①文部省の条件とするスカラシップ70％が最低条件であり、RI財団プログラムが教育面を削減し人道面を多くしつつあるのが懸念される。

②なお、もう一つはフランスの下部財団設置却下の主たる原因が下部財団の役員構成にあった点を十分考慮してRI財団と交渉する要あり。

その点をふまえて、中島トラスティがRI財団と折衝されている。その結果、①のスカラシップについては1991－2000年度までの財団の総プログラムによる活動支出中GSEを含む教育面の占める推定比率では約67％程度で許されるギリギリの線になる見込み。②の役員構成は、例えば理事を15名とするとトラスティ１名（現存）を含んで日本人８名とすることでRI財団のほぼ了解が得られる様である。

この２点に問題を絞り、文部省から伺っている問題点を踏まえて法人設立書式に準拠して申請書起草のための小委員会を設け、至急文部省との合意を取り付けその上で、RI財団の合意に持っていく予定。財団設立による免税措置については大蔵省主税局では財団設立認可後３年間の経過実績を見てその可否を認定することになる。

この財団は、一般の公益法人と異なり現在のRI財団の下部財団としてこれに協力しながら日本の免税に関する法律に沿って運営していくことになるので極めて複雑かつ困難な要素を含んでいる。したがって、その成否についてはまだ何ともいえぬが、明年６月末（今期末）までには設立の可能性を見いだせるようなスケジュールで目下慎重に対処されている。

米山記念奨学会報告

・奨学生数

1993－1994年度		全国	当地区
YMD	(大学院)	391名	30名
YU	(学部)	264	8
CY	(クラブ米山)	32	5
DisY－A	(地区米山A)	4	1
DisY－B	(地区米山B)	186	14
SY－1	(特別米山－1)	11	0
SY－OB	(特別米山OB部門)	10	0
Y－J	(日本研究、特別米山)	2	2
	合計	900	60

この10年間の推移を見ると、1982－1983年度の寄付金は６億９千万円であり、1992年は18億７千万円あまりであるので、2.7倍の増加である。

本年度の奨学生は900名になり、これらの学生への物心両面からの奉仕を考えるときこれを与え、かつカウンセラー層の原を増してゆくことが重要な課題となり、今後は一層のご協力をお願いしたい。

・SY－J（日本研究、特別米山）

外国の大学院において日本研究をしている若干学者を我国の大学等学術研修機関において短期間外国人上級研究生として招聘する新しい制度である。

我が第2660地区で今年度初めて２人を招聘し施行することになった。

★1993年10月～1994年７月

ホルマー・クラウス（ハンブルグ大学）

大阪市立大学文学部　阪口弘之教授の下で、

テーマ

「日本の芸能における聖と践、古代祝福芸から近世被差別民まで」

世話クラブ　大阪住吉　カウンセラー　崎山　耕作会員

★1994年１月～８月

バァーンズ・スーザン・リン（コネチカット大学）

大阪大学文学部　脇田　修教授の下で

テーマ

「日本近世の社会と文化」

世話クラブ　大阪　カウンセラー　金森順次郎会員

以上でご報告は終わりますが、本当にこの１年間大変なお世話になりました。大過なくガバナーの任務を勤めさせて頂いたのもまったくもって皆様方のご支援の賜物であり、あらためて厚く厚く御礼を申し上げます。

1992～'93年度国際ロータリー第2660地区現況

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山　中　文　和
(1993年６月作成)

1．クラブ数（1993年６月末現在）
76クラブ
（大阪市内：42　大阪市域外：34）

2．会 員 数（1993年６月末現在）
5,414名（期首5,356名）

3．拡　　大
①大阪中之島ロータリー・クラブ
1992年10月29日創立
会員数：47名
スポンサー：大阪大手前RC
1992年11月20日加盟承認
例会日：木曜日　12:30～13:30
例会場：太閤園
②大阪御堂筋ロータリー・クラブ
1993年１月28日創立　会員数：43名
スポンサー：大阪南RC
1993年３月９日加盟承認
例会日：木曜日　12:30～13:30
例会場：ホテル日航大阪

4．国際奉仕
(1)ロータリー財団への寄付
（1992年７月～1993年６月）

一　般　寄　付	737,172.33ドル
ベネファクター：	27,000.00ドル
計	764,172.33ドル

（一人当り＄138但し上記数字は1993.６月の中間報告数字である）
ポールハリスフェロー：累計3,533名
（1993．４．30現在）
ベネファクター：27名
(2)ロータリー財団奨学生
・1992～1993年度留学生、派遣：22名
（派遣国：米国10名、イギリス５名、フランス２名、ドイツ１名、ポルトガル１名、イタリア１名、スイス１名、スペイン１名）
（過程別　大学院：18名、大学：２名、職業研修：２名）
受　入：０
・1993～1994年度留学生、派遣：25名
（派遣国：米国10名、イギリス５名、ドイツ６名、スイス１名、タイ１名、ブラジル１名、トリニダード１名）
（過程別　大学院：21名、大学：２名、職業研修：１名、ジャーナリズム１名）
(3)米山奨学会への寄付

（1992年７月～12月）	前年比
普通寄付：13,990,000円	110.7%
特別寄付：74,498,220円	91.1%
計　：88,488,220円	93.7%

(4)米山奨学生
1992～1993年度支給学生

大学院（博士課程）	29名	Y奨学生	36名
〃　（修士課程）	12名	DisY－A奨学生	1名
大学課程	6名	DisY－B奨学生	10名
特別米山奨学生	3名	特別米山奨学生	3名
計	50名	計	50名

（国籍別奨学生数）
韓国29名、中国９名、マレーシア５名、台湾４名、タイ１名、ミャンマー１名、

バングラデシュ１名、計50名

(5)青少年交換

派遣　14名

長期：８名（米国４名、ドイツ２名、カナダ１名、ニュージーランド１名）

短期：６名（イタリア５名、ドイツ１名）

受入　14名

長期：９名（米国３名、カナダ２名、ブラジル２名、ドイツ１名、ニュージーランド１名）

短期：５名（イタリア５名）

(6)世界社会奉仕（WCS－地区レベルのプロジェクト）

①バングラデシュ・ローン・プロジェクトの援助（バングラデシュ）

¥3,900,000（$30,000）

ウバジラのボグラ地区、シブカンにおいて、洪水による被害が著しく、慢性的な貧困、飢餓状態が続いている。その地域の生活困窮者に、教育援助と生活水準の向上を図るための貸付けプロジェクトで、1996年まで継続。

②マナウス日伯初等中等学校建設へ援助（ブラジル）

¥500,000

日本人移住者がブラジル州政府の許可を得て、地元民のためにマナウス市に設立した日伯初等中等学校建設に対する資金援助。

③グルシャンRC社会福祉センターへ援助（バングラデシュ）

¥390,000（$3,000）

グルシャンRCが運営する社会福祉センターの諸活動（地域の著しい人達に、医療・児童福祉・家族計画・教育・衛生設備の提供等）の充実を図るための資金援助。

④カンボジア貯水池工事および社会調査（カンボジア）

¥2,775,000（スイス円送金）

カンボット州は栄養失調が蔓延し、その上、1992年の洪水により灌漑用の貯水池が損壊。このため、貯水池の再建の活動と費用を調査し、併せて地域の人々の健康・衛生・教育計画を実施するための資金援助。

⑤タイ水資源開発（タイ）

¥2,270,000（$17,742）

タイ王国政府が希望者に対して無償で土地を提供した地域、スリン地区の５村落に井戸の建設と補修、技術訓練、貯水槽と排水溝の建設、便所の建設（衛生管理）等の水資源開発の援助。

⑥ケソン・ローン・プロジェクト（フィリッピン）

¥1,300,000（$10,000）

フィリッピンで奉仕活動を展開しているFHのグループを通じて、生活向上のために生活回転資金を貸し付けるプログラムを支援。

⑦ロッタリー・スープ・キッチン財団職業訓練学校（WCS#3821）

¥1,800,000（$14,000）

ピナツボ火山被災者の自立訓練のために教室建設、さらには栄養失調の子供達への栄養食品の提供、そして職業訓練を行うための資金援助。

⑧インドの学校施設建設（インド：大阪南RC・水野会員提唱）

インド（マイトリの会）小学校の教室の建設を支援する。

⑨第三世界視察研修旅行の開催

参加クラブ、豊中－大阪国際空港RC２名、八尾東RC３名、計５名が、1993年１月17日～23日まで、フィリッピン、ピナツボ火山被災地を含め、マニラ、バングラデシュのダッカ及び、車で約３時間のマイメイシン地区の

農業地域視察研修、タイのバンコックで働く救済活動家から開発状況について研修。またフィリッピンではフィデル・ラモス大統領を表敬訪問した。

5．社会奉仕

⑴ローターアクト・クラブ

クラブ数：22クラブ（提唱ロータリー・クラブ数：23クラブ）

《海外研修》研修先：香港・シンガポール　実施期間：1992.9.19～9.23

《年次大会》1992年5月16日

⑵インターアクト・クラブ

クラブ数：9クラブ（提唱ロータリー・クラブ数：9クラブ）

《海外研修》研修先：米国・カルフォルニア州

参加者：IA71名、顧問18名、ロータリアン2名 合計91名

《年次大会》1992年11月1日

⑶青少年指導者養成セミナー（RYLA）

①山のライラ

実施日：1992年9月12日～14日

会　場：大阪府立総合青少年野外活動センター

参加者：291名（青少年128名、ロータリアン163名）

ホスト：茨木東ロータリー・クラブ

②海のライラ

実施日：1993年5月2日～4日

会　場：大阪府青少年海洋センター

ホスト：枚方くずはロータリー・クラブ

⑷少年少女ニコニコキャンプ

実施日：1992年8月7日～9日

場　所：大阪府立総合青少年野外活動センター

参加者：118名(児童74名、リーダー16名、ロータリアン28名)

ホスト：大阪西南ロータリー・クラブ

⑸太陽の家研修会

実施日：1992年7月2日

⑹大阪市立盲学校・大阪府立盲学校訪問

実施日：1992年10月14日

⑺高齢者の海遊館招待（第3回）

実施日：1993年4月9日

参加者：高齢者215名、付添72名、ロータリアン112名　計399名

⑻身障児等とロータリアンとの仲良し運動会

実施日：1993年4月11日

参加者：招待児204名、付添52名、RA63名、IA30名、米山奨学生14名、金光八尾高校59名、スタッフ60名　計684名

⑼第1回GSCの集い

実施日：1993年6月16日

⑽環境保全研修見学会

実施日：1993年4月2日

場　所：千里リサイクルプラザ

参加者：69クラブ　93名

1992～'93年度 R.I.第2660地区
行事実施報告

7月度

7月2日(木)	第1回研修会「太陽の家」見学	13:00～18:30	
7月3日(金)	拡大委員会	13:00～15:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
7月11日(土)	合同地区委員会	10:00～15:15	新阪急ホテル
	ガバナー指名委員会	15:30～16:30	新阪急ホテル
7月13日(月)	インターアクト正副委員長会議	14:00～16:00	薬業年金会館
7月16日(水)	青少年交換受入ホストクラブ・カウンセラー・ホストファミリー打ち合わせ会	15:30～18:00	西武高槻ショッピングセンター
7月23日(木)	青少年活動委員会	17:30～19:30	多幸梅
7月29日(水)	ロータリー・ボランティア委員会	14:00～16:00	高島屋会議室
7月30日(木)	ロータリーアクト正副委員長会議	14:00～16:30	薬業年金会館
	会員増強委員会	15:00～17:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）

8月度

8月18日(火)	地区幹事会	11:00～12:30	サウスタワーホテル
	クラブ世界社会奉仕・国際交流平和委員長会議	14:00～16:00	薬業年金会館
8月19日(水)	第2回ロータリー財団委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
8月20日(木)	クラブ規定・情報委員長会議	14:00～16:30	薬業年金会館
8月22日(土)	PSC総会	17:30～18:00	YMCA 102
	1992～'93年度財団奨学生帰国歓迎報告会	18:00～20:00	YMCA 103
8月25日(火)	GSE委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
8月26日(水)	第1回諮問委員会	15:30～20:00	芝苑
8月28日(金)	ボランティア活動委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
8月29日(土)	ガバナー事務所検討小委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）

9月度

9月4日(金)	クラブ米山奨学委員長会議	13:00～16:30	薬業年金会館
	インターアクト・提唱クラブ委員長会議	16:50～18:00	薬業年金会館
9月5日(土)	クラブ職業奉仕委員長会議	14:00～16:00	神社庁
9月7日(月)	クラブ社会奉仕委員長会議	14:30～16:30	薬業年金会館
9月9日(水)	クラブ青少年交換担当者会議	14:00～16:00	薬業年金会館
9月12日(土)～14日(月)	山のライラ		大阪府立青少年野外活動センター（ホストクラブ：茨木東）
9月18日(金)	クラブボランティア活動委員会担当者会議	14:00～16:30	薬業年金会館
9月19日(土)	I.G.F.第・8組	13:00～17:30	天王寺都ホテル ホストクラブ：大阪天王寺
9月21日(月)	環境保全委員会	15:00～17:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
9月22日(火)	地区幹事会	16:00～17:00	五色園
9月26日(土)	第2回財団増進委員会	11:00～13:00	YMCA
	国際親善財団奨学金委員会	〃	〃
	クラブロータリー財団委員長会議	13:30～16:30	〃
9月28日(月)	日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会		茨木CC
9月29日(火)	ガバナーとマスコミの皆様との懇談会	12:00～14:00	ローズルーム

10月度

10月 3 日(土)	I.G.F.第 4 組	13:00～16:50	ホテルセイリュウ
10月 4 日(日)	米山レクリエーション	10:00～17:30	宝塚大劇場
10月14日(水)	社会奉仕委員会　第 2 回研修会	14:00～16:00	大阪私立盲学校
10月17日(土)	I.G.F.第 8 組	13:30～17:00	フクトクホール
10月20日(火)	クラブ会員増強委員長会議	14:00～16:00	薬業年金会館
10月27日(火)	ロータリー財団委員会	10:00～12:00	五色園
	財団増進委員会	13:30～15:30	ガバナー事務所
	第 2 回　諮問委員会	16:00～20:00	ロイヤルホテル
	社会奉仕第 1 回実行委員会	14:30～14:30	薬業年金会館
10月29日(木)	大阪中之島ＲＣ　創立総会	11:30～12:30	太閤園
	〃　第 1 回例会	12:30～13:30	〃
10月31日(土)	第 1 回ロータリー財団奨学生オリエンテーション	13:00～16:00	YMCA

11月度

11月 1 日(日)	インターアクト年次大会	09:30～	金光八尾高等学校
11月10日(火)	ガバナー事務所検討委員会	17:00～20:00	七生
11月16日(月)	システム・マニュアル改訂に関する打合せ会	14:00～16:00	ガバナー事務所
	意義ある業績賞委員会	16:00～	〃
11月17日(火)	GSE委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所
	環境保全委員会	15:00～17:00	ヒロセビル
11月19日(金)	地区米山奨学生　書類審査	14:00～17:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
11月24日(火)	社会奉仕　第 2 回実行委員会	14:30～16:30	薬業年金会館
11月26日(木)	地区米山奨学生　選考委員打合せ	14:00～16:30	五色園
11月26日(木)	国際交流・平和委員会	15:00～16:30	ガバナー事務所（ビジネスセンター）

12月度

12月 1 日(火)	クラブ環境保全担当者会議	14:00～16:00	薬業年金会館
12月 8 日(火)	GSE委員会	14:00～16:00	ガバナー事務所（ビジネスセンター）
12月12日(土)	ロータリー財団委員会	11:00～13:30	薬業年金会館
	クラブロータリー財団委員長会議	14:00～16:30	薬業年金会館
12月14日(月)	規定・情報委員会	12:00～13:30	薬業年金会館
	クラブ規定・情報委員長会議	14:00～16:30	薬業年金会館
12月18日(金)	米山書類選考会議	15:00～18:00	サウスタワーホテル 7 階
12月22日(火)	第 3 回諮問委員会	16:00～20:00	相生楼
12月24～29日	インターアクト海外研修		ロザンゼルス・アナハイム

1 月度

1 月18日(月)	規定情報委員会	12:00～17:00	ガスビル会議室
1 月18日(月)	米山委員会	14:00～16:30	五色園
1 月18日(月)	地区幹事会	16:30～20:00	阪口楼
1 月19日(火)	大阪梅田ローターアクト創立総会	18:00～20:00	ホテル阪神
1 月23日(土)	I.G.F.第 1 組	13:00～17:00	池田市民文化会館
1 月26日(火)	第 3 回実行委員会	14:30～16:30	薬業年金会館507
1 月26日(火)	大輪幹事会	14:30～16:00	ニューオータニ大阪
1 月28日(木)	大阪御堂筋ロータリークラブ創立総会	11:00～12:00	ホテル日航大阪
1 月28日(木)	提唱RC正副ローターアクト委員長会議	14:00～16:00	薬業年金会館401
1 月28日(木)	地区インターアクト委員会	17:00～19:00	あじびる南

2月度

2月1日(月)	規定情報委員会	12:00～17:00 ガスビル会議室
2月1日(月)	地区大会表彰委員会	14:00～16:00 ビジネスセンター
2月5日(金)	米山選考委員打ち合わせ	14:00～17:00 五色園
2月5日(金)	青少年活動委員会	17:30～20:30 関西文化サロン
2月6日(土)	I.G.F.第5組	13:00～17:00 全日空ホテルシェラトン
2月8日(月)	規定情報委員会	12:30～16:00 ガスビル会議室
2月8日(月)	インターアクト海外研修反省会	18:00～20:00 百楽
2月9日(火)	地区大会会長部門打合せ会	12:00～14:00 ビジネスセンター
2月10日(水)	ガバナー事務所検討小委員会	17:00～ 藤久
2月11日(木)	米山奨学生選考試験	09:00～17:00 新阪急ビル
2月14日(日)	米山奨学生選考試験	09:00～17:00 新阪急ビル
2月17日(水)	規定情報委員会	10:00～14:30 ガスビル会議室
2月17日(水)	米山奨学生最終選考会議	14:00～18:00 新阪急ビル
2月17日(水)	地区ロータリー財団功労賞委員会	15:00～18:00 ビジネスセンター
2月18日(木)	地区協議会幹事部門打合せ会	14:00～16:00 ビジネスセンター
2月20日(土)	I.G.F.第5組	13:30～17:00 大阪国際交流センター
2月23日(火)	提唱RCインターアクト委員長会議	11:00～12:30 五色園
2月23日(火)	第4回実行委員会	14:30～16:30 薬業年金会館507
2月23日(火)	地区大会表彰委員会	14:00～16:00 ビジネスセンター
2月24日(水)	第4回諮問委員会	16:00～18:00 ホテル日航大阪
2月26日(金)	規定情報委員会	14:00～16:00 ビジネスセンター
2月27日(土)	第2回ロータリー財団奨学生オリエンテーション	13:00～16:00 大阪YMCA

3月度

3月1日(月)	社会奉仕委員会	14:30～16:30 ビジネスセンター
3月2日(火)	地区幹事会	11:00～12:30 サウスタワーホテル7階
3月3日(水)	地区大会表彰委員会	14:00～16:00 ガバナー事務所
3月3日(水)	地区大会青少年部門打合せ	14:30～16:30 ビジネスセンター
3月6日(土)	I.G.F.第3組	12:30～16:30 四条畷市民センター
3月7日(日)	米山奨学生終了者歓送会	11:00～14:30 新阪急ホテル
3月9日(火)	GSE団員選考委員会	14:30～16:30 薬業年金会館507
3月9日(火)	社会奉仕実行委員会	14:30～16:30 ビジネスセンター
3月10日(水)	拡大委員会	13:00～15:00 ビジネスセンター
3月12日(金)	社会奉仕実行委員会	14:30～16:30 ビジネスセンター
3月13日(土)	I.G.F.第2組	12:30～16:30 高槻市立文化会館
3月14日(日)	ローターアクト・フェスティバル	10:00～15:30 中之島公園
3月14日(日)	GSE団員選考委員会	10:00～14:00 国際交流センター
3月15日(月)	社会奉仕実行委員会	14:30～16:30 ビジネスセンター
3月16日(火)	環境保全委員会	15:00～17:00 ビジネスセンター
3月17日(水)	職業奉仕委員会	14:00～16:00 都市交通調査会
3月22日(月)	ガバナー事務所検討小委員会見学会	13:40～16:00 ORC 200
3月23日(火)	大阪梅田ローターアクト認証状伝達式	18:00～20:00 ホテル阪神
3月24日(水)	米山委員会	14:00～16:00 ビジネスセンター
3月28日(日)	2640・2660地区ローターアクト交流会	13:00～16:00 羽衣荘
3月31日(水)	ガバナー事務所検討小委員会	14:00～16:00 菅生法律事務所

4月度

4月2日(金)	環境保全見学・研修会	13:30～15:30 千里リサイクルプラザ
4月5日(月)	地区幹事会	12:00～14:00 大阪グランドホテル
4月5日(月)	地区大会リハーサル	14:00～18:00 フェスティバルホール
4月6日(火)	春の交通安全運動	10:30～11:30 大阪城公園
4月6日(火)	拡大委員会	13:00～15:00 ビジネスセンター

4月7日(水)	国際大会オリエンテーション	14:30～16:00	薬業年金会館601
4月8日(木)	地区大会青少年部門打合せ	14:00～16:00	ビジネスセンター
4月9日(金)	社会奉仕高齢者海遊館招待の集い	09:00～13:00	海遊館
4月11日(日)	〃 身障児等仲良し運動会	12:50～14:30	大阪市立体育館
4月12日(月)	青少年活動委員会	18:00～20:30	関西文化サロン
4月12日(月)	地区協議会財団打合せ会	14:00～16:00	ビジネスセンター
4月16日(金)	次期地区委員長会議・PETS	09:30～17:30	辯天宗サラスバティホール
4月19日(月)	インターアクト顧問会議	18:00～20:00	清風学園
4月20日(火)	地区大会部門別リーダー打ち合わせ	12:30～13:30	サウスタワーホテル7階
4月20日(火)	ガバナー事務所検討小委員会	14:30～16:00	丸水楼
4月20日(火)	第4回諮問委員会	16:00～18:00	丸水楼
4月21日(水)	社会奉仕反省会	14:30～16:30	ビジネスセンター
4月21日(水)	大阪空港ローターアクトクラブ創立総会	19:00～20:30	大阪空港ビル
4月22日(木)	地区大会記念ゴルフ	08:00～	茨木CC
4月23日(金)	地区大会　第1日	12:00～	ロイヤルホテル
4月24日(土)	地区大会　第2日	10:00～	フェスティバルホール
4月25日(日)	RAC大阪ゾーン交流会	11:00～16:15	今宮中学校
4月25日(日)	青少年交換学生座禅体験会	10:00～15:00	神峯山寺
4月26日(月)	地区協議会クラブ奉仕部門打合せ	13:00～15:00	ビジネスセンター
4月27日(火)	地区協議会幹事部門打合せ	14:00～16:00	ビジネスセンター
4月28日(水)	拡大委員会	13:00～15:00	ビジネスセンター

5月度

5月2日～4日	海のライラ		大阪府青少年海洋センター (ホストクラブ：枚方くずは)
5月6日(土)	東大阪ローターアクトクラブ創立総会	18:30～19:30	ホテルセイリュウ
5月8日(土)	地区協議会	09:15～16:15	辯天宗冥応寺信者会館
5月12日(水)	米山奨学生オリエンテーション	13:00～18:00	薬業年金会館
5月13日(木)	大阪中之島RC認証状伝達式	16:00～20:00	太閤園
5月15日(土)	新旧合同地区委員長会議	10:00～15:00	薬業年金会館
5月15日(土)	地区ガバナー指名委員会	15:00～16:30	薬業年金会館
5月16日(日)	ローターアクトクラブ年次大会	10:00～19:00	国際交流センター

6月度

6月2日(水)	特別会計委員会・地区委員小委員会	14:00～15:00	ビジネスセンター
6月2日(水)	次年度学友委員会	15:00～16:00	ビジネスセンター
6月5日(土)	第3回ロータリー財団奨学生オリエンテーション	14:30～18:00	大阪YMCA
6月5日(土)	豊中空港RAC認証状伝達式	19:00～19:30	ホテルアイボリー
6月6日(日)	IACクリーンハイク	10:00～16:00	八尾高安山
6月8日(火)	拡大委員会	14:00～16:00	ビジネスセンター
6月11日(金)	次年度青少年活動委員長会議	14:00～16:30	薬業年金会館
6月12日(土)	財団奨学生第1次選考試験	09:00～16:30	大阪YMCA
6月14日(月)	第6回地区諮問委員会	16:00～20:00	ロイヤルホテル
6月16日(水)	青少年活動委員会	17:30～19:00	関西文化サロン
6月17日(木)	大阪御堂筋RC認証状伝達式	16:00～19:30	ホテル日航大阪
6月18日(金)	東大阪東RAC認証状伝達式	18:30～19:30	ホテルセイリュウ
6月19日(土)	新旧米山委員会	14:00～16:00	辯天宗冥応寺信者会館
6月23日(水)	青少年交換オリエンテーション	15:00～17:00	西武高槻SC
6月25日(金)	新旧地区幹事会	18:00～	アイル・モレ・コタ
6月26日(土)	財団奨学生第2次選考試験	09:00～16:30	大阪YMCA
6月29日(金)	次年度IA正副委員長会議	14:00～16:00	薬業年金会館

国際交流大いに盛り上る

—— メルボルンで「2660地区の夕べ」 ——

本年度の国際大会は豪州・メルボルン市で開かれた。会場は、新装なったナショナル・テニス・センター（フリンダース・テニスコート）という、テニスファンならよくご存じの、あの有名な全豪オープンの会場である。大会登録者は、115の国家・地域から約２万2000名、そのうち日本からは3,288名でオーストラリア、アメリカについで第３位の成績だった。ちなみに４位・ニュージーランド667名、５位・韓国522名という順で、以下台湾、カナダ、フィリピン、英国…と続く。開催国のオーストラリアが多いのは当然としても、上位３ヶ国だけで登録者全体の３分の２を占めたことになる。当地区からは、約250名の参加者があり、これまた日本の全地区平均から見ると極めてよい成績であった。これには地区国際交流・平和委員会の皆さん、とりわけ松本一夫委員長（大阪中央RC）のご尽力に対して深く敬意を表したい。

◀ポートフィリップＲＣ会長夫妻と交歓する山中ガバナー

クラークメルボルン市長も出席して「2660地区の夕べ」は大いに盛り上った ▶

さて、大会前日の５月22日（土）には同市内の和風レストラン「燦鳥」で、「2660地区の夕べ」が開催された。これは当地区からの大会参加者250名のうち約60名の有志が集って、山中文和ガバナーを囲んで異国での交流を楽しもうという企画である。この夕食会には、大阪市の姉妹都市であるメルボルン市のクラーク市長夫妻も出席し、山中ガバナーと記念品を交換するなど、両市の親密な関係が印象的だった。クラーク市長は翌日の開会式にも開催市を代表して列席し、祝辞の中で、特に姉妹都市大阪との密接な関係について言及したのは、ひとしお感銘深いものがあった。

▲「友愛の広場」

▲ロビー風景

◀大会会議場
会議は４ヶ国語に
同時通訳された

また大阪本町RCは、この大会を契機にして、かねて交渉を続けていたポート・フィリップRC（メルボルン市）との友好関係を樹立した。両クラブは、その歴史、規模、ポールハリス・フェローの数にいたるまで似通った、全く似合いのクラブである。ここに至るまでのそれぞれの関係者の周到な準備と努力には、今後の国際交流を推進する上で示唆に富んだ多くの教訓が隠されていると思う。両クラブの代表も、この夕食会に出席して改めて国際交流の実を挙げた。今後の両クラブの友好発展を期待したい。

「2660地区の夕べ」はカラオケこそなかったが、このように大いに盛り上がった。帰り際、冷んやりした夜気にフト見上げると、南十字星が美しく輝いていた。　　（文責：中田）

故中田厚仁君へ地区内外から厚い友情

直前ガバナー　**山中　文和**

当地区財団学友の中田厚仁君が、国連ボランティアとしてカンボジアで奉仕活動中に殉職したことは「ガバナー月信」(1993年5月号)に記載した。また、多くのメディアもこの中田君の奉仕活動とその「死」を取り上げ、ボランティアのあり方などについて多くの時間と言葉を割いた。とりわけ、父君の中田武仁氏が会社を退職して、ご子息の遺志を継いで国連ボランティアを支援するために「中田厚仁記念基金」を設立された事は大きな波紋を投げかけた。当地区では大阪うつぼRC、大阪本町RCが率先して募金活動を展開した。ローターアクトのOBの有志でつくる「つたの会」もメンバーに募金を呼びかけ基金に協力した。このほかにも地区内のいくつものクラブが同基金への協力を表明している。

また、「ガバナー月信」に掲載した中田君に対する私の追悼文が、奉仕の精神を共有する全国のロータリアンの共感を呼び、とくに第2710地区(眞鍋直前ガバナー)、2790地区(内9クラブ)ではそれぞれのガバナーのお呼びかけに呼応して早速、善意の寄付金が同基金に届けられた。うれしいことである。

また、「ガバナー月信」に掲載した中田君に対する私の追悼文が、奉仕の精神を共有する全国のロータリアンの共感を呼び、とくに2710地区(眞鍋直前ガバナー)、第2790地区(内9クラブ)ではそれぞれのガバナーのお呼びかけに呼応して早速、善意の寄付金が同基金に届けられた。うれしいことである。

他人のために尽くす、困っている人を助ける、他人の痛みや悲しみをわがものとして感じる、人間が持つ最も人間らしいこのような感情、言い換えれば「優しさ」をあらゆる価値観の核として育てたいものである。そしてこのことこそが、ロータリーの基本理念である。ロータリアン各位の善意に対し、改めて心から感謝を申し上げる。

写真は1993年6月10日
第2660地区ガバナー事務所で
大阪うつぼR.C.横井浩会長より父君中田武仁氏に中田基金の募金を手渡した。
出席者　第2660地区　山中文和ガバナー
大阪うつぼロータリークラブ
横井　会長
藤井　幹事
野崎　国際奉仕委員長
押村　会場監督
大阪本町ロータリークラブ
井村　会長

国際青少年交換の輝かしい足跡

パストガバナー　戸田　孝

§1.

1992～'93年度の最終の諮問委員会が6月14日（月）に開催されました。プログラムの最終に種田憲次PGからメルボルンで行われた国際大会についての報告があり、その中で特に私達の心を打つ青少年交換（オーストラリア←→日本)の話が出たのです。メルボルン大会が行われた機会に、ある小さな集いがもたれました。その会合は故渡辺和美PG（D. 2750）のお嬢さんのご主人（菊池氏）がメルボルンの総領事として駐在しておられるので、故渡辺PGの奥様(和子様)、ご子息(ロータリアン）を囲み、親しい人々が集う楽しい会合でありました。種田PGご夫妻もその席に招かれ旧交を深められたのです。

菊池総領事が挨拶に立たれました。

「私が、書記官として1972年に赴任した頃は、日本とオーストラリアの関係は非常に悪い状況でありました。戦争での感情に加え、大量の砂糖の買付約定を、日本が他の安いものを買うことで約束破棄したこと、などなど、対日感情が非常に悪くなっておりました。しかし最近、総領事として再びオーストラリアに参りましたとき、以前と天、地のように変わり、非常に友好的になっていたのです。とても驚きました。なぜこのように良くなったのか？それは、オーストラリアと日本との間でロータリー国際青少年交換が行われ、毎年多くの高校生が日本を訪問し、日本の文化、習慣、国民性、特に日本人の温かい心を学んで帰国し、日本の良さ、真の姿を、母国の人々に伝えてくれたお蔭であると知りました。延べ約2000名の純真な高校生がこんなにも大きい力となったことを思うとき、ロータリーの国際的な偉大な奉仕に対して深く深く感謝致しております。」

その席に列席したロータリアンは、政治力などで到底なし得ないロータリーの国際的な無償の奉仕が年月を経て、偉大な力に増大していることに大きい感動をおぼえたとのことであります。

§2.

オーストラリアと日本との青少年交換が、劇的ともいえるオーストラリアのロータリアンの熱意によって始まったことを私は知っています。それは私達の胸を打つ話であります。

第2次世界大戦、オーストラリア空軍にドン・ファクファーが志願しました。

不幸にも彼は1942年9月、日本軍の対空砲火をうけて負傷し、永遠の盲目の身となりました。彼は極度の人間不信に陥ったのですが、1955年、ローズバットRCが創立されるにあたり、全盲の身ながらチャーターメンバーとして加入することができました。

彼がロータリーに入会してからは、戦争の愚劣さを力説し、世界平和がいかに重要であるかを周りの人々に説きました。それには蓋しは、かつての敵国日本との友好を確立することこそ、最も重要なことだと悟ったのです。彼は思讎を越えて、青少年交換という新しいプログラムにより日本の高校生を招待し、日本のクラブでホストなることが一番の近道と考えたのです。彼はパストガバナーのジョー・ブラッドバリーに相談して、各RCからの募金500ポンドを集め、1961年5月、東京での国際大会に参加したのです。幸いに福岡県八幡RCの故松本藤太郎ガバナーに会うことができ、合意に達しました。松本PGは対日感情の悪いオーストラリアへは女子高校生が適していると考え、久留米RCのスポンサーによる宮崎洋子さんを決定し1962年1月、ドンのクラブへ派遣したのです。これが日本人交換学

生の第１号となったのです。

ローズバット〝ばらのつぼみ〟という美しい名のRCで始められた青少年交換は、年間それぞれ１名を超す高校生が両国間の友好・親善の実をあげ、民間大使としての使命を果しているのです。私達は、日本と戦って全盲となりながら、かつての敵国である日本と青少年交換の糸口をつくってくれたドン・ファクファーの偉大なロータリーの心、平和を求める熱い心に深甚なる敬意を捧げたものであります。

§３.

私が、かつて国際奉仕部門担当の諮問委員を３年間つとめたとき、青少年交換学生の受入れに当って、各段階でたいへんな奉仕が行われていることにびっくりしました。引受けクラブの熱意、担当される学校と先生のご理解、ホームスティを引き受け、日本のお父さん、お母さんとして愛情をそそがれるロータリアン家庭、又、外国との巾広い交換によって交換学生を受入れ派遣し、巾広い面倒をみられる地区委員会の熱心な活動などなど…その中で特に、帰国に際し、抱き合って涙を流す日本のお母さん、ご家族、交換学生、国境を越えた人間愛、これが純真な青年の胸に刻み込まれ、帰国後、生涯にわたって多くに人々に語り伝えることにより本当の国際理解、国際親善の広がりを確実にするものだとの思いを新たにしたのであります。

(付記)

青少年交換は現在日本では、米英独仏など14ヶ国に及び年間約650名を越えています。又、世界のロータリー国際青少年交換は年間約12,000名に及び、将来を担う青少年が広く他国で学び、他国を理解し親しくなることで、世界平和への確実な礎（イシズエ）を築いてくれるであろうと前途に明るい希望の光を見る思いであります。

「第1回GSCの集い」

地区社会奉仕委員長　**新　津　敬　直**

グランドシニアサークルは菅生ガバナーの時の地域対策委員長会議の高齢者問題のディスカッションにおいて、70才以上の80%の方は元気でおられるので、美しく楽しく老いる為に相集い各RCの枠を離れ、元ロータリアンを含め友を作り、好きな時に好きな事をするサークルです。

みなさまに御案内をさしあげたところ多数の入会希望があり、その上、もう少し暇になったら又はもう少し加齢してから入りたいという方が30名近くいらっしゃいます。

平成５年６月16日水曜日、武尾さん、廣瀬さんを始め、総勢23名で和気藹々と、お互いに話し合いました。２時間の間、居眠りをされる方も全くなく、誠に実りのある集いでした。

御希望が一番多かったのは、友を作りたい、サークル内外の方からいろいろな話しを聞きたい、いろいろの趣味の会合を持ちたい、旅行・グルメ紀行・音楽鑑賞など。30代から上の方は各RCで奉仕・親睦を実践しているが20代の方々とはRACの行事に、又、10代の方々とはIACの行事に参加する。

以上の事などを話し合い、いろいろと多方面に渡る集いを持ち、好きな時に好きな事に、気楽に参加し、いろいろの友と楽しく語り合うという結論を得、事務的な事は、地区社会奉仕委員会で、御世話させていただき、会合は受益者負担で実行する事に決まりました。皆様の益々の御参加を期待いたします。

「身障児等とロータリアンとのなかよし運動会反省会」

地区社会奉仕委員長　**新　津　敬　直**

平成５年６月19日山中G、廣瀬PGご臨席のもと、各施設代表者、RAC代表者、実行委員、地区委員が集合し、上記の会が開催されました。

施設より

子供にとって大きな体育館での運動会は初めての経験

金光八尾高校のドリル演奏、レーザーショーに感動。

障害児と健常児との運動会は他でもあまり経験がない

ぬいぐるみが大好きでもっとたくさんいてほしかった

競技種目をもっと増やしてほしい

RAC代表者より

ぬいぐるみ等、やりたい人が結構いるので、次からRACで担当する。

大阪キッズのした事は、RACでもできるのではないか。

IAC、米山奨学生、交換学生と、もっと連携を深めたい。

企画の段階から、ぜひ参画したい。

実行委員、地区委員より

招待児と、ロータリアンとのふれあいの為に、事前に、２・３回ロータリアンが施設を訪問し、仲良くなり、当日は一緒に座り、競技をしたり、おやつを食べたりすることが徹底していなかった。

ある組ではよくやっていた。

挨拶は平易に子供向けにする。

二階の席へは大勢のロータリアンや家族の方が来てほしい。

次年度、IGFホストクラブの社会奉仕委員長に、本年度各組の実行委員補佐をなさった方が、完全な連絡をお願いしたい。

以上は話し合われた要旨で、他いろいろと和やかな雰囲気でした。

当日のもろもろの意見を参考にし、次年度は益々楽しく立派な運動会を開催したいと思います。

「視覚障害者コンサートへ招待」

地区社会奉仕委員長　**新　津　敬　直**

平成５年６月５日、シンフォニーホールにおいて、大阪城東ロータリークラブと大阪ライトハウス共催で、全盲の世界的バイオリン奏者和波氏率いる弦楽合奏団の演奏と幼なき頃より歌った懐かしいママさんコーラスのチャリティコンサートに、大阪府立・大阪市立両盲学校の生徒、それぞれ30名ずつを招待しました。

視覚障害者の卓越した音感教育の一助にもなればと、期待しています。

生徒さん達の感激ぶりは招待してよかったなと思いました。

大阪城東ロータリークラブが単独で12回もコンサートを開いておられることに敬意を表します。

感謝状

国際ロータリー第二六〇地区
社会奉仕委員会　殿

貴地区は視覚障害者の福祉と社会参加に深いご理解を寄せられ当法人が開催する第十二回チャリティーコンサートに際し大阪府・大阪市立盲学校生徒六十名を招待賜りましたここに貴地区が寄せられたご厚志とご援助に対し衷心より感謝の意を表します

平成五年六月二十八日

社会福祉法人日本ライトハウス
理事長　岩橋明子

大阪中之島・大阪御堂筋ロータリークラブ
認証状伝達式

大阪中之島ロータリークラブ
会長　**牛嶋奎宇**

私共、大阪中之島ロータリークラブは、昨年10月29日47名のチャーターメンバーにより創立され、11月20日国際ロータリークラブ第2660地区の75番目のクラブとして加盟が認証

されました。これをうけて、去る5月13日午後4時より京橋の「太閤園」におきまして、認証状伝達式ならびに祝宴を総勢350名余名の先輩ロータリアンの皆様のご来駕を得て無事挙行させていただくことができました。

これはひとえに、スポンサークラブである大阪大手前ロータリークラブの皆様をはじめといたしまして、関係各位の多大なご尽力と、ご支援によるものと心から感謝するとともに、厚く御礼を申し上げます。

現在、51名の大阪中之島ロータリークラブのメンバーのひとり一人は、ロータリーの基本理念である四つのテストをベースに、当クラブのテーマである「連帯と融和で、楽しい輪をいつまでも」のもとに、大阪のロマンを匂わせる中之島という名称にふさわしいクラブとして、超我の奉仕に努力させていただく所存でございます。

どうか、今後とも一層の指導・ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪御堂筋ロータリークラブ
会長　**近藤貞彦**

国際ロータリー第2660地区の76番目のクラブとして誕生いたしました大阪御堂筋ロータリークラブの認証状伝達式が去る6月17日ホテル日航大阪で、山中ガバナーを始め、スポンサークラブである大阪南ロータリークラブ岡田会長以下、多数のロータリアンのご参加を頂き、小粒でピリッとしたチャーターナイトが何とか思惑通り出来ました。先輩クラブの先例と当クラブのカラーを、式典祝宴に盛り込めないかと意図しつつも、経験未熟な為、各先輩クラブの通り過ぎたご苦労を忍ばせて頂きました。一丸となって6月17日に向かっている中で、見知らぬあの人もこの人もいつしか我が友、我がメンバーと変わっていくのを痛感いたしました。祝宴では胸襟を開いて職業や年令を超えて語り合い、本音の交流が出来た事は、チャーターナイトの目的を正に達成した思いで一杯です。酒井特別代表のユニークな慈愛あふれる式典の挨拶もあり思い出深いいちにちとなりました。

私どもは賜りましたご厚情に報いるべく立派なロータリークラブに成長するよう努力する所存ですので今後ともなお一層のご指導をお願い申し上げます。

1994～1995年度

ロータリー財団国際親善奨学金選考試験報告

地区財団国際親善奨学金委員会 委員長　名　張　隆　政（吹田RC）

1．第1次選考

日時：1993年6月12日（土）

場所：大阪YMCA

今年度は、当地区単独で実施。

午前、翻訳と小論文、午後、会話試験が行われ71名の応募者の中から36名が選考された。

TOEFL550点以上の保持者は語学試験が免除され、二次試験の為の小論文のみ受験。

2．第2次選考

日時：1993年6月26日（土）

場所：大阪YMCA

9名ずつ4グループに分け、午前・午後2グループづつ面接を実施。

ガバナーを初め、選考委員の慎重な判定会議の結果、20名の正候補者、5名の補欠候補者を選考。即日、本人及び推薦クラブに通知。

今後の予定は、地区確認事項の作成に入るとともに、推薦クラブより各候補者の顧問ロータリアンの推薦を受け、ガバナー署名の上財団本部に8月初旬送達する。

奨学金受領者の内定通知は12月初旬の予定。

1994～1995年度ロータリー財団国際親善奨学生候補者一覧表

氏名	年齢	性別	推薦クラブ	留学国	課程	出身・在学校	志望専攻分野
松山和子	24	F	大東	アメリカ	院	大阪市立大学	社会経済開発学
占部順子	21	F	枚方	スペイン	学部	大阪外国語大学	スペインの外交史・植民史
椚座陽子	20	F	箕面	イギリス	学部	大阪外国語大学	社会人類学・民族学
佐々木睦	22	F	箕面	ドイツ	学部	大阪外国語大学	経済
下川美和子	30	F	守口	アメリカ	院	京都大学	経済学
田中美穂	25	F	大阪阿倍野	アメリカ	院	同志社大学	母子保健学
井ノ上美佐子	27	F	大阪東	イギリス	院	大阪女学院短・クリスチャーチ大・同志社女子大	応用言語学
本田里美	28	F	大阪東淀	アメリカ	院	京都外大・院 名古屋大学院	言語学
北村育子	35	F	大阪平野	アメリカ	院	同志社大学	社会福祉学
神田淑	22	F	大阪天王寺	アメリカ	院	聖心女子大学	国際関係
永井史男	27	M	大阪天王寺	タイ	院	京都大学・院	タイ政治
森正樹	30	M	吹田	イギリス	院	東京大学・院	英文学
木村久美	22	F	吹田	フランス	学部	大阪大学	仏文学
林千里	22	F	吹田西	スペイン	学部	大阪外国語大学	スペイン研究
松本恵子	24	F	吹田西	アメリカ	院	関西大学	マーケティング
村上奈穂子	21	F	高槻	カナダ	学部	早稲田大学	環境政策・行政
高木あゆみ	27	F	高槻東	アメリカ	院	同志社大学 同志社大学院	英文学
菊澤佐江子	22	F	豊中	アメリカ	学部	京都大学	家族社会学
林直子	24	F	豊中南	フランス	院	大阪大学・院	フランス文学
中井富美子	24	F	豊中千里	イギリス	院	神戸大学 セントクラウド州立	国際関係論

M：男性　　F：女性　　院：大学院課程　　学部：大学課程

ローターアクト地区年次大会

地区ローターアクト
委員会委員長　北村　英一（吹田）

「とびだそう世界へ

国際化へ向けて今、私たちにできること」を大会テーマに、5月16日（日）大阪国際交流センターに於て当地区RAC年次大会が盛大に開催されました。

山中ガバナー、大森ガバナーノミニー、種田パストガバナー、中田地区幹事、地区RAC委員、提唱RC、22RACメンバー及びOB、OGの方々等総勢400名をこえる参加者でした。又友好地区として2640、及び2680地区よりRC、RAC13名の特別参加も頂きました。

午前10時開会セレモニーに始まり、来賓挨拶地区及びゾーンの活動報告、優秀クラブとして社会奉仕活動に励んだ池田、住吉両クラブが表彰されました。

記念講演は「さくらんぼに見えた梅干し」〝目を覚ませ日本の若者〟の演題でタレントとしても有名なジェフ・パークランド大手前女子学園教授のユーモアあふれる日本人顔負けの巧みな話術に魅了されました。

午後はザイール、アメリカ、中国、韓国、ミャンマーの5ヶ国の国際色豊かなパネラー

によるディスカッション

「私達若者にとって国際化はどこまで必要か?」のテーマで夫々の国、民族の風習の違いの中から世界理解はどうあるべきかと熱心な討論が続いた。

次いで各クラブの成果発表も独特のパフォーマンスが続き満場を楽しませた。

最後の記念パーティもにぎやかに和気あいあいの中に午後7時閉会、別れを惜しみつつ意義ある一日を終えた。

本年度は3つの新クラブの誕生があり、各クラブの会員増強も進んで、地区全体として大きなもり上がりがこの大会にも反映されてきた。今後も国内、国外他地区との交流を一層広げ、当地区RACの内容を一層充実したい。

1993年5月度　出席報告

クラブ	期初の会員数	5月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大東	70	67	−3	100.00	3	1
東大阪	84	82	−2	94.58	3	67
東大阪東	67	72	+5	96.83	4	46
東大阪中	60	60	0	98.34	4	27
東大阪西	62	59	−3	100.00	4	1
枚方	54	60	+6	96.43	3	54
枚方くずは	50	56	+6	100.00	3	1
茨木	62	66	+4	99.44	3	16
茨木東	58	57	−1	99.56	4	14
池田	58	60	+2	93.74	3	70
池田くれは	51	52	+1	95.65	4	58
門真	31	31	0	94.79	4	65
交野	49	47	−2	96.71	4	50
箕面	68	65	−3	99.16	4	18
箕面中央	58	56	−2	97.31	4	39
守口	87	88	+1	97.65	3	35
寝屋川	60	61	+1	95.62	4	59
大阪	311	311	0	86.13	4	75
大阪阿倍野	61	68	+7	95.77	3	57
大阪ちゃやまち	62	68	+6	98.45	4	25
大阪中央	69	67	−2	100.00	4	1
大阪堂島	62	61	−1	99.16	4	18
大阪阪南	80	79	−1	97.85	3	32
大阪阪和	48	52	+4	94.73	4	66
大阪東	144	145	+1	97.25	4	41
大阪東淀	73	72	−1	98.14	4	28
大阪平野	62	57	−5	100.00	4	1
大阪本町	62	70	+8	97.62	3	36
大阪城	23	25	+2	100.00	3	1
大阪城南	81	80	−1	99.06	4	21
大阪城東	72	73	+1	97.56	4	37
大阪柏原	45	48	+3	97.87	3	31
大阪北	198	200	+2	91.25	3	72
大阪北梅田	64	76	+12	98.65	4	23
大阪北淀	53	58	+5	97.70	3	34
大阪御堂筋	0	49	+49	90.61	4	74
大阪南	194	184	−10	95.56	3	61
大阪港	47	44	−3	91.45	4	71
大阪中之島	0	51	+51	100.00	4	1

クラブ	期初の会員数	5月末会員数	増減	出席率	例会	順位
大阪難波	87	91	+4	96.51	4	53
大阪なにわ	69	68	−1	95.59	4	60
大阪南西	73	73	0	97.15	4	42
大阪西	113	111	−2	97.44	4	38
大阪大手前	66	65	−1	96.77	4	48
大阪大淀	70	71	+1	97.85	4	32
大阪西北	79	77	−2	100.00	3	1
大阪西南	116	119	+3	100.00	3	1
大阪船場	57	55	−2	96.76	4	49
大阪心斎橋	81	83	+2	97.02	4	44
大阪城北	63	58	−5	97.30	3	40
大阪住之江	48	52	+4	98.50	4	24
大阪住吉	84	86	+2	95.33	4	62
大阪天満橋	105	104	−1	95.05	4	64
大阪天王寺	51	50	−1	96.00	4	56
大阪東南	65	65	0	90.77	3	73
大阪鶴見	54	49	−5	95.33	3	62
大阪梅田	67	70	+3	97.95	3	29
大阪梅田東	62	63	+1	98.44	4	26
大阪うつぼ	78	76	−2	99.33	4	17
大阪淀川	97	94	−3	96.82	4	47
千里	79	80	+1	99.07	3	20
摂津	48	47	−1	98.86	4	22
四条畷	25	24	−1	79.16	3	76
吹田	76	77	+1	100.00	4	1
吹田江坂	50	50	0	100.00	3	1
吹田西	66	64	−2	99.59	4	13
高槻	71	68	−3	97.13	3	43
高槻東	57	58	+1	99.53	4	15
高槻西	42	40	−2	96.88	4	45
豊中	73	77	+4	96.62	3	51
豊中南	59	56	−3	100.00	4	1
豊中－空港	64	64	0	93.94	4	69
豊中千里	38	42	+4	94.40	3	68
八尾	78	80	+2	97.95	3	29
八尾中央	50	51	+1	96.60	3	52
八尾東	55	56	+1	96.23	4	55

クラブ数	期初会員数	月末会員数	増減	平均出席率
76	5,356	5,491	135	96.87

1993年６月度および年度間の出席報告

	最初の会員数	６月末会員数	年間増減	入会	退会	1993年６月 出席率	例会	順位	年度平均 出席率	順位
大東	70	68	－1	5	6	100.00	5	1	99.63	7
東大阪	84	82	－2	4	6	94.98	4	59	94.66	59
東大阪東	67	71	＋4	7	3	96.77	4	43	96.72	50
東大阪中	60	59	－1	3	4	97.08	4	41	97.23	39
東大阪西	62	58	－4	3	7	100.00	4	1	98.97	15
枚方	54	59	＋5	11	6	97.18	5	38	97.38	38
枚方くずは	50	56	＋6	9	3	98.61	4	19	98.28	22
茨木	62	64	＋2	11	9	99.14	4	13	99.23	14
茨木東	58	55	－1	4	5	97.43	4	34	97.11	44
池田	58	60	＋2	4	2	90.35	4	72	94.05	65
池田くれは	51	52	＋1	3	2	90.92	4	69	94.08	64
門真	31	31	0	5	5	93.91	4	65	94.00	66
交野	49	47	－2	1	3	95.55	4	55	87.56	75
箕面	68	64	－4	0	4	98.71	4	17	97.97	27
箕面中央	58	56	－2	1	3	97.30	4	36	97.14	43
守口	87	88	＋1	6	5	97.65	4	31	97.91	29
寝屋川	60	60	0	2	2	95.08	4	58	95.96	54
大阪	311	304	－7	19	26	87.76	4	75	88.37	73
大阪阿倍野	61	66	＋5	9	4	98.04	4	23	98.81	17
大阪ちゃやまち	62	66	＋4	11	7	98.48	4	21	98.50	20
大阪中央	69	62	－7	2	9	100.00	4	1	99.96	4
大阪堂島	62	61	－1	2	3	93.65	4	66	97.23	39
大阪阪南	80	80	0	3	3	98.20	5	22	98.68	18
大阪阪和	48	50	＋2	8	6	90.88	4	71	93.32	69
大阪東	144	140	0	0	0	97.23	4	37	97.60	35
大阪東淀	73	72	－1	2	3	95.48	4	56	96.92	45
大阪平野	62	57	－5	3	8	100.00	4	1	99.32	12
大阪本町	62	70	＋8	10	2	95.24	5	57	96.86	46
大阪城	23	25	＋3	7	4	96.88	4	42	96.45	51
大阪城南	81	77	－4	4	8	99.68	4	12	99.62	8
大阪城東	72	70	－2	3	5	97.86	4	28	98.57	19
大阪柏原	45	47	＋2	6	4	97.87	5	27	97.83	32
大阪北	198	197	－1	9	8	91.04	4	68	91.69	70
大阪北梅田	64	74	＋10	12	2	97.33	4	35	98.24	25
大阪北淀	53	56	＋3	7	4	99.12	4	14	97.63	34
大阪御堂筋	0	49	＋49	50	1	87.93	4	74	89.84	71
大阪南	194	184	－7	8	15	95.64	5	53	93.72	68
大阪港	47	42	－5	2	7	89.47	4	73	89.82	72
大阪中之島	0	52	＋51	52	1	100.00	4	1	100.00	1

	最初の会員数	６月末会員数	年間増減	入会	退会	1993年６月 出席率	例会	順位	年度平均 出席率	順位
大阪難波	87	89	＋2	11	9	97.95	4	26	97.86	31
大阪なにわ	69	64	－4	7	3	94.12	4	62	95.42	56
大阪南西	73	74	＋1	5	4	96.17	4	50	96.78	47
大阪西	113	107	－6	5	11	97.70	4	29	97.15	42
大阪大手前	66	64	－2	1	3	96.77	4	43	99.46	10
大阪大淀	70	71	＋1	3	2	97.11	4	39	98.27	23
大阪西北	79	79	0	4	4	98.66	5	18	98.23	26
大阪西南	116	117	＋1	5	4	100.00	4	1	99.98	3
大阪船場	57	58	＋1	5	4	94.40	4	60	95.92	55
大阪心斎橋	81	79	－2	6	8	96.33	4	48	96.73	49
大阪城北	63	58	－6	2	8	98.00	4	24	99.24	13
大阪住之江	48	52	＋4	5	1	99.00	4	15	98.95	16
大阪住吉	84	84	0	5	5	94.15	4	61	93.91	67
大阪天満橋	105	105	0	4	4	95.96	4	52	96.30	52
大阪天王寺	51	49	－2	2	4	94.00	4	63	94.14	63
大阪東南	65	66	＋1	1	0	90.91	5	70	94.17	62
大阪鶴見	54	47	－7	2	9	97.51	5	33	94.99	58
大阪梅田	67	66	－1	7	8	96.01	5	51	97.41	37
大阪梅田東	62	60	－3	5	8	98.81	4	16	98.27	23
大阪うつぼ	78	76	－2	3	5	98.00	4	24	97.88	30
大阪淀川	97	83	－14	2	16	92.77	4	67	96.03	53
千里	79	79	0	2	2	98.59	5	20	98.31	21
摂津	48	47	－1	2	3	96.59	4	45	94.37	60
四条畷	25	24	－1	0	1	80.20	4	76	84.30	76
吹田	76	76	0	3	3	100.00	4	1	99.56	9
吹田江坂	50	51	＋1	3	2	100.00	5	1	100.00	1
吹田西	66	66	0	8	8	100.00	4	1	99.94	5
高槻	71	68	－3	6	9	96.56	4	46	97.44	36
高槻東	57	58	＋1	2	1	100.00	4	1	99.64	6
高槻西	42	39	－3	5	8	95.63	4	54	97.94	28
豊中	73	77	＋4	7	3	96.45	5	47	96.75	48
豊中南	59	57	－2	7	9	100.00	4	1	99.33	11
豊中－大阪国際空港	64	64	0	3	3	93.98	4	64	94.21	61
豊中千里	38	42	＋4	7	3	97.10	4	40	95.19	57
八尾	78	80	＋3	5	2	97.69	4	30	97.82	33
八尾中央	50	50	0	2	2	97.55	5	32	97.18	41
八尾東	55	57	－3	5	8	96.23	4	49	87.90	74
クラブ数76	5,356	5,414	＋58	465	407	96.31			96.46	

平成５年７月26日

国際ロータリー第2660地区1992～'93年度地区大会収支報告

会　計　國分紀一
会計監査　海原　旦

本会計　収入の部

科　目	金　額	摘　要
・大会登録料	61,042,000	16,000円×3,742名 10,000円×117名
・大会分担金	16,650,000	3,000円×5,500名＝16,650,000
・地区補助金	1,100,000	RI会長代理記念品代、直前ガバナー記念品代、地区大会補助、RI会長代理歓迎費
・雑　収　入	956,631	祝い金、利息等
収入合計	79,748,631	

(単位:円)

別会計

ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会収支報告

収　入		支　出	
・参加者会費 (20,000円×380名)	7,600,000	・晩餐費 ・余興費	7,430,588 651,000
・本会計より補助	618,831	・雑費	137,243
合　計	8,218,831	合　計	8,218,831

(単位:円)

ゴルフ大会収支報告

収　入		支　出	
・参加者会費 (10,000円×203名)	2,030,000	・懇親会費 ・賞品費 ・参加記念品費 ・カップ代 ・会場設営費 ・写真代 ・雑　費 ・本会計繰入れ	816,051 447,631 473,897 70,000 40,000 26,571 50,000 105,850
合　計	2,030,000	合　計	2,030,000

(単位:円)

本会計　支出の部

科　目	金　額
・総務費	27,239,853
印刷費	7,014,618
交通・通信費	303,783
会合費	1,550,499
登録費	831,350
記念品代	6,910,847
記録費	6,180,000
雑費	208,756
人件費・事務所費	4,240,000
・プログラム	21,098,505
記念講演費	118,000
夫人の集い	193,708
シンポジウム	2,174,332
余興費	7,233,780
舞台進行費	7,424,355
記念事業費 (伝統工芸展・青年の集い)	3,954,330
・会場	20,741,592
会場使用料	7,855,146
会場設営費	12,823,356
救護費	63,090
接待	9,858,824
接待	1,106,045
来資	3,190,779
食事	5,562,000
・補助（本会計繰入）	512,981
RI会長代理晩餐会	618,831
ゴルフ	−105,850
・余剰金(地区資金繰入)	296,876
支出合計	79,748,631

(単位:円)

国際ロータリー第２６６０地区

収支決算書

ガバナー　山中文和
地区財務委員長　池田一郎
地区会計　國分紀一

本会計　　自平成４年７月１日
　　至平成５年６月３０日

収入の部　　（単位：円）

科目	予算額	累計額	備考
前期繰越金	17,000,000	22,021,542	
R.I.交付金	800,000	965,601	
地区資金（15,000円×5,550人）	83,250,000	81,950,500	
米山記念奨学会交付金		944,000	
雑収入	700,000	1,816,905	
合計	101,750,000	107,698,548	

支出の部

科目			予算額	累計額	備考
委員会活動費	地区ガバナー指名委員会		200,000	60,646	
	意義ある業績賞委員会		50,000		
	クラブ奉仕部門	会員増強委員会	200,000	115,670	
		広報雑誌委員会	500,000	367,104	
		規定情報委員会	700,000	404,826	
	職業奉仕部門	職業奉仕委員会	400,000	135,324	
		ボランティア活動委員会	150,000	140,978	
	社会奉仕部門	社会奉仕委員会	1,950,000	1,618,752	
		環境保全委員会	250,000	149,774	
	青少年奉仕部門	青少年活動委員会	2,600,000	2,600,349	
		インターアクト委員会	3,200,000	3,136,517	
		ローターアクト委員会	5,700,000	5,141,050	
	国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	200,000	78,339	
		青少年交換委員会	500,000	492,792	
		国際交流平和委員会	250,000	115,039	
	ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	100,000	44,877	
		国際親善奨学金委員会	1,500,000	1,568,820	
		研究グループ交換委員	1,300,000	1,127,794	
		財団増進委員会	240,000	113,488	
		財団学友委員会	600,000	614,340	
	米山奨学部門	米山奨学委員会	700,000	533,454	
		米山奨学生選考委員会		753,061	
	拡大部門	拡大委員会	200,000	184,745	
	委員会活動費予備費		900,000		
	計		22,390,000	19,497,739	
会議費	地区大会補助費		310,000	310,000	
	地区協議会補助費		310,000	310,000	
	地区委員会費		3,500,000	3,393,956	
	ガバナー打ち合わせ会議費		2,100,000	2,076,434	
	R.I.会長記念品代		160,000	160,000	
	R.I.会長歓迎費		370,000	370,000	
	直前ガバナー記念品代		260,000	260,000	
	ガバナーノミニー国際会議参加補助費		830,000	830,000	
	予備費		800,000		
	計		8,640,000	7,710,390	
日本国内地区ガバナー会（200円×5,550人）			1,110,000	1,081,600	
ロータリー文庫協力費（300円×5,550人）			1,665,000	1,622,400	
地区大会分担金（3,000円×5,550人）			16,650,000	16,650,000	
ガバナー月信印刷費	製版.印刷.ホルダー		9,400,000	9,552,300	
	予備費		300,000		
	計		9,700,000	9,552,300	
ガバナー事務所経費	借室料		5,160,000	5,151,257	
	光熱費		12,920,000	12,914,766	
	賃金給料		1,300,000	1,267,172	
	ガバナー交通費		1,600,000	1,861,075	
	通信費		2,400,000	2,432,851	
	印刷通信費		160,000	117,516	
	交通費		1,100,000	1,094,367	
	文献購読費		600,000	142,777	
	事務用消耗品費		1,800,000	2,195,447	
	什器備品費		500,000		
	雑費				
	予備費				
	計		27,540,000	27,177,228	
合計			87,695,000	83,291,657	
差引収支差額			14,055,000	24,406,891	

私は国際ロータリー第2660地区1992年～1993年度の収支決算書に表示されている本会計及び特別会計について監査した結果、正確であることを証明致します。

平成５年７月26日　　公認会計士　海原旦

特別会計

(1) 青少年交換ファンド

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	8,786,165	補助金	8,000,000
各クラブ分担金	16,827,000	行事費	476,798
預金利息	34,378	通信費	208,404
雑収入	279,911	青少年交換委員	150,000
		雑費	230,348
		次期繰越金	16,861,904
合計	25,927,454	合計	25,927,454

(2) ライラ指導指針

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
[illegible]期繰越金	696,694	雑費	1,236
預金利息	2,987		
		次期繰越金	698,445
合計	699,681	合計	699,681

(3) 世界社会奉仕委員会基金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	5,264,254	支援金	12,986,000
各クラブ分担金	12,842,784	雑費	4,326
預金利息	24,834		
		次期繰越金	5,141,546
合計	18,131,872	合計	18,131,872

(4) 社会奉仕委員会身障児等参加費

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	2,868	社会奉仕委員会	2,468
預金利息	12	雑費	412
[illegible]			
		次期繰越金	0
合計	2,880	合計	2,880

(5) 社会奉仕委員会身障児等招待費

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	8,635	社会奉仕委員会	7,648
預金利息	43	雑費	1,030
		次期繰越金	0
合計	8,678	合計	8,678

(6) マニュアル編集委員会

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	653,204	ｼｽﾃﾑﾏﾆｭｱﾙ	1,955,358
各クラブ分担金	1,525,200	雑費	2,472
預金利息	2,799		
雑収入	126,400		
		次期繰越金	349,773
合計	2,307,603	合計	2,307,603

(7) S&C海遊館の集い

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	58,159	雑費	1,236
預金利息	251		
		次期繰越金	57,174
合計	58,410	合計	58,410

(8) 職業分類編集委員会

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	32,248	雑費	1,133
預金利息	136		
		次期繰越金	31,251
合計	32,384	合計	32,384

(9) 島原災害義捐金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	4,234	雑費	412
預金利息	18		
		次期繰越金	3,840
合計	4,252	合計	4,252

(10) 世界社会奉仕災害義捐金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	66,724	雑費	721
預金利息	283		
		次期繰越金	66,286
合計	67,007	合計	67,007

お　知　ら　せ

◆続々新RAC誕生!!

大阪梅田、大阪空港RACに続いて今年度３つめの新クラブが誕生しました。地区22番目のクラブとなります。

創立総会　５月６日（木）
クラブ名　東大阪東ローターアクトクラブ
提唱ＲＣ　東大阪東ロータリークラブ
例会日時　毎月第２、第４水曜日
例 会 場　ホテル セイリュウ
　　東大阪市上石切町1-11-12
事 務 局　ホテル セイリュウ 306号
　　東大阪東RC気付
創立会員　25名
　　会長　城戸常利
　　幹事　北村充昭
認証状伝達式　６月18日（金）18:30より
　　ホテル セイリュウ

この１年間、ガバナー月信の編集に際しましては、パストガバナー、各委員長、各地区幹事、並びに関係各位に原稿を御依頼申し上げたところ、快くご投稿を賜り、お蔭をもちまして無事編集を終えることが出来ました。不行届の点多々ありましたことを深くお詫び申し上げると共に、御協力頂きました。ガバナー事務所や大阪南ＲＣの事務局の皆様、印刷関係の各位に厚く御礼を申し上げます。

月信担当幹事

訃　　報

澤　　潤一君（豊中R.C.）
平成５年６月２日逝去（享年76歳）
大正５年８月３日生まれ
昭和34年８月18日豊中RC入会
昭和44年６月３日豊中RCより移籍
1972～1973年度　会長
昭和48年７月　PHF受章

藤田　貞三君（大阪ちゃやまちR.C.）
平成５年６月５日逝去（享年71歳）
大正10年11月19日生まれ
平成４年１月27日入会
チャーターメンバー
米山ファンドフェロー

中田　正信君（大阪－淀川R.C.）
平成５年６月12日逝去（享年76歳）
大正５年12月１日生まれ
昭和43年12月１日入会
1984～'85年度 会長
ポールハリスフェロー
米山功労者

千原　通禮君（大阪港R.C.）
平成５年６月14日逝去（享年68歳）
大正13年10月６日生まれ
昭和56年３月２日入会
ポールハリスフェロー
米山功労者

杉森　芳雄君（東大阪東R.C.）
平成５年６月26日逝去
昭和41年２月17日入会
昭和54年～55年 クラブ会長
地区財団学友委員会委員
P.H.F. 米山功労者

小寺大次郎君（大阪北R.C.）
平成５年７月12日逝去（享年86歳）
明治40年１月２日生まれ
昭和39年２月19日入会
ポールハリスフェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　山中文和
〒542 大阪市中央区難波5-1-60
南海サウスタワーホテル大阪1403号室
電話 大阪(06)634-7511